

令和5(2023)年度
学生生活実態調査
報告書

Student Life Survey Report 2023



目次

まえがき …… 1

調査の概要 …… 2

調査設問一覧 …… 3

第1章 住居について

(1) 居住地域 …… 20

(2) 住居形態 …… 22

(3) 住居(部屋)を選ぶ際に考慮した条件 …… 22

(4) 家賃 …… 23

(5) 九大の学生寄宿舍に入りたいと思うか …… 24

(6) 九大の学生寄宿舍に入りたい理由 …… 24

(7) 九大の学生寄宿舍に入りたくない理由 …… 25

第2章 通学・事故等について

(1) 主な通学方法 …… 26

(2) 片道の通学時間 …… 27

(3-1) 任意保険の有無(自転車) …… 27

(3-2) 任意保険の有無(原付) …… 28

(3-3) 任意保険の有無(バイク) …… 28

(3-4) 任意保険の有無(自動車) …… 28

(4) キャンパス間の移動頻度及び交通手段 …… 29

(5) キャンパス間の主な移動理由 …… 32

(6) 学内及びキャンパス間移動時に交通事故を起こした経験(自損・被害を含む) …… 33

(7) 交通事故を起こした時の状況 …… 34

(8) 学生の交通マナー …… 35

(9) 学生の交通マナーで良くない点 …… 35

第3章 食事について

(1) 朝食の有無 …… 36

(2) 朝食を食べていない理由 …… 37

(3) 食事の場所 …… 38

(4) 学内の食堂の利用状況 …… 40

(5) 学内の食堂の改善すべき点 …… 42

(6) 食材購入場所 …… 43

第4章 健康管理について

(1) 最近の体調 …… 44

(2) 入学後に怪我をしたときの状況 …… 46

(3) 怪我や体調不良の主な原因 …… 47

(4) 身体面、心理面での悩みの解消方法 …… 48

(5) 喫煙の有無 …… 49

(6) キャンパス内全面禁煙を受けて、禁煙に対する意識の変化 …… 50

(7-1) この1か月①将来への不安	51
(7-2) この1か月②イライラする	52
(7-3) この1か月③気分の落ち込み	53
(7-4) この1か月④集中力途切れ	54
(7-5) この1か月⑤孤独感、孤立感	55
(8) 健康維持・体力向上のための運動	56
(9-1) コロナの影響①学業	57
(9-2) コロナの影響②就職、進学	58
(9-3) コロナの影響③家族、友人関係	59
(9-4) コロナの影響④メンタル、健康	60
(9-5) コロナの影響⑤収入	61
(9-6) コロナの影響⑥余暇時間の過ごし方	62

第5章 悩みについて

(1) 悩みの有無	63
(2) 悩みの内容	64
(3) 悩みの相談先	66
(4) 相談窓口の認知度	68
(5-1) ハラスメントを受けた経験	69
(5-2) 自分が受けたハラスメントの種類	70
(6-1) 他人がハラスメントを受けているのを見た経験	71
(6-2) 他人が受けていたハラスメントの種類	72

第6章 生活について

(1) 睡眠時間	73
(2) 平日の起床時間のリズム	74
(3) 授業以外のキャンパスの居場所	74
(4) 土日祝日に学校に行く理由	75
(5) 現在、力を入れていること	76
(6) 大学生活の満足度	77
(7) 大学生活の不満点	77
(8) 1日のうち、勉学・研究以外の目的でインターネットを使用する時間	78
(9) 友人について	79
(10) 同級生とのコミュニケーション	80
(11) SNSの利用状況	81
(12) SNSの利用で危険な(嫌な)思いをした経験	82
(13) 身の危険を感じた経験	83
(14) 身の危険を感じた内容	84
(15) 事務の窓口サービス	85
(16) 事務の窓口サービス改善点	85

第7章 収入・支出について

(1) 1か月の平均収入額(平均金額)	86
(2) 1か月の平均支出額(構成比)	89

- (3) 家族等からの送金と修学との関係 …… 91

第8章 アルバイトについて

- (1) アルバイトの状況 …… 93
- (2) アルバイトをしている理由 …… 95
- (3) アルバイトの職種 …… 97
- (4) 1 週間の勤務日数 …… 99
- (5) 1 週間のアルバイト時間 …… 100
- (6) アルバイト収入の使い道 …… 102
- (7) アルバイトと学業の関係 …… 104
- (8) アルバイトの勤務地 …… 106
- (9) アルバイトについて感じていること …… 107
- (10) アルバイトをしていない理由 …… 109

第9章 課外活動(サークル、ボランティア)について

- (1) サークル(課外活動)への参加状況 …… 111
- (2) サークルに加入した主な理由 …… 112
- (3) サークルの満足度 …… 113
- (4) サークル活動の場所 …… 114
- (5) 1 週間あたりのサークル活動時間 …… 115
- (6) サークル活動と学業との関係 …… 116
- (7) サークルに加入していない理由 …… 117
- (8) ボランティア活動の経験 …… 118
- (9) ボランティア活動の内容 …… 119
- (10) ボランティア活動の頻度 …… 120
- (11) ボランティア活動の感想 …… 120

第10章 入学・授業等関係について

- (1) 大学に入学した理由 …… 121
- (2) 志望校決定時に注目した情報 …… 122
- (3) 入学前の情報収集 …… 123
- (4) 入学希望の程度 …… 124
- (5) 九大に入学した主な理由 …… 125
- (6) 大学院生の出身大学等 …… 126
- (7) 九大の大学院に進学した理由 …… 127
- (8) 現所属以外の大学院の受験の有無 …… 128
- (9) 大学院受験と並行した就職活動の有無 …… 128
- (10) 授業内容の難易度 …… 129
- (11) 授業の満足度 …… 130
- (12) 授業に不満な理由 …… 131
- (13-1) 大学院生の研究環境の満足度 …… 132
- (13-2) 大学院生の研究環境に不満な理由 …… 133
- (14) 大学院生の学会参加等に必要な費用の捻出元 …… 133
- (15-1) 学部・学科等の変更希望 …… 134

- (15-2) 学部・学科等を変えたい理由 …… 135
- (16-1) 大学院生の現在の所属の変更希望 …… 136
- (16-2) 大学院生の現在の所属を変えたい理由 …… 137
- (17) 教員と直接話す機会の有無 …… 138
- (18) 教員と直接話す機会が無い理由 …… 139
- (19) 教員ともっと直接話をしたいと思うか …… 139
- (20) 教員に希望すること …… 140
- (21-1) 電子システム(シラバス、学修支援システム(M2B)など)の満足度 …… 141
- (21-2) 電子システムの不満理由 …… 142
- (22) 授業時間以外の学習に費やしている時間 …… 143
- (23) 授業時間以外の学習を行っている場所 …… 144
- (24) 1 か月間の読書の状況 …… 145
- (25) 新聞を読む頻度 …… 146
- (26) 新聞を読まない理由 …… 147
- (27) 大学のピア・サポート制度や学習相談を利用した経験 …… 148
- (28) 合理的配慮の理解 …… 149

第 11 章 図書館について

- (1) 図書館の利用頻度 …… 150
- (2) 図書館の利用目的 …… 151
- (3) 図書館でよく利用するスペース …… 152
- (4) 図書館の満足度 …… 153
- (5) 電子リソースで使ったことがあるもの …… 154
- (6) 図書館に改善してほしいこと …… 155

第 12 章 卒業後の進路について

- (1) 卒業後の進路希望 …… 156
- (2) 将来の就職に関して重要視するもの …… 157
- (3) 希望する勤務地 …… 158
- (4) 就職に関して大学に希望すること …… 159
- (5-1) 就きたい職業(1 番目) …… 160
- (5-2) 就きたい職業(2 番目) …… 161
- (5-3) 就きたい職業(3 番目) …… 162

第 13 章 海外渡航・国際交流について

- (1) 九大入学後の海外渡航回数 …… 163
- (2) 海外渡航の目的 …… 164
- (3) 交換留学制度の認知度 …… 165
- (4) 外国語での会話の状況 …… 166
- (5) 語学力を高めるために行っていること …… 167
- (6) 留学や研究を目的とした海外渡航の意向 …… 168

第 14 章 自由記述

- (1) 本調査について …… 169
- (2) 教育・研究体制について …… 173

- (3) 学生支援・相談体制について …… 177
- (4) 大学の経済支援等の諸制度について …… 181
- (5) 大学の施設・設備について …… 184
- (6) 大学生活全般について …… 190
- (7) 大学におけるダイバーシティ(人種・性別・障害等の多様性)への対応について …… 194

ま え が き

この学生生活実態調査は、本学の学生の生活や学習環境などの現状を把握し、今後の学生支援の充実や改善に役立てるための基礎資料を収集することを目的として4年ごとに実施しております。前回の調査以降に新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが発生し、学生の生活にも大きな変化が起きました。またその一方でパンデミックの終息後には、コロナ以前の生活環境に急速に戻るなど学生の生活環境は目まぐるしく変化しております。このような状況下で行った本調査は、現在の学生が置かれている修学環境に対する彼らの意見・要望を把握するための重要な機会と位置付けることができます。

本報告書に収集された様々なデータから見ると、最近の学生生活の特徴として以下の点などが挙げられます。

- 1) 新型コロナによる行動制限時に普及したオンライン講義に関しては、学びの面で良い点と悪い点の両方あった。ただし、家族友人関係やメンタル・健康に関しては悪い影響の方が顕著に認められた。
- 2) 新型コロナ感染症による行動制限は既に解除されたにもかかわらず「全く運動していない」学生の増加傾向が継続して認められる。
- 3) 教員に対する要望として、学部生・大学院生ともに「わかりやすく教えてほしい」と希望する学生の割合が高くなるなど、学部生と大学院生の意識にあまり差が無くなっている。
- 4) 悩みを自分で抱え込んで誰にも相談しない学生が増えており、学生に自発的な相談等の行動を促すなど啓発・教育を行う必要があることが伺えた。
- 5) 合理的配慮に関する理解が進み、約50%の学生は理解できていると答えていた。
- 6) 図書館の開館時間の延長に関する要望が高い。
- 7) 現在の大学生生活に関する不満として、伊都キャンパス周囲に商業施設・娯楽施設が少ないことや通学にかかる交通費の高さなどの指摘が多く見られた。
- 8) 授業・研究が多忙で友人関係を築くことが難しいという意見が見られた。また、今回調査に特有の点として、コロナ禍の影響（友人ができなかった、充実した大学生活を送りたかった等）に関するものが多く寄せられた。

本学では、上述の課題に適切に対応するため、学生支援体制の充実に努めるだけでなく、近年では、経済的支援の提供、就職活動支援、学生相談体制の強化・改善にも取り組んでまいりました。具体的には、大学独自の奨学金制度の創設、入学料・授業料免除手続きの簡素化、進路・就職アドバイザーや英語対応可能なカウンセラーの増員、さらには合理的配慮申請システムの開発などを進めています。しかし、本調査の結果を踏まえると、コロナ感染症のパンデミックを経験した学生へのケアに加え、学部生・大学院生の生活および学習環境の一層の充実・改善に向けて、新たな対策を講じる必要があると考えています。

本学は、2021年に指定国立大学法人として認定され、世界最高水準の研究・教育拠点の実現に向けて邁進しております。本調査の結果を多くの教職員の皆様にご活用いただき、教職員と学生、そして地域が一体となったキャンパスの実現や、学生一人ひとりが充実した学生生活を実感できるよう、ご指導・ご支援を賜りますことを心より願っております。

最後になりましたが、本調査にご協力いただき、多くの調査項目に回答し貴重な情報を提供してくださった学生の皆様、ならびに調査の実施にご尽力いただいた関係各位に、心より厚く御礼申し上げます。

2025年3月

九州大学理事・副学長
園 田 佳 巨

調査の概要

1. 調査の目的

本学学生の生活環境・学習環境など学生生活の実態を把握することにより、今後の学生支援の充実及び改善に役立てるため実施したものである。

2. 調査の組織

2023年6月、九州大学学生支援委員会に「2023学生生活実態調査実施調査ワーキンググループ」を設置し、調査を担当した。

3. 調査の時期・対象

2023年10月1日現在、学部と大学院に在籍する学生を対象とした。（休学者及び社会人学生は除く）

4. 調査の方法

「九州大学アンケートシステム」により、WEB アンケート調査を実施した。

5. 回収状況

対象学生 17,470 名（学部生 11,437 名、大学院生 6,033 名）のうち、2,147 名（学部生 1,252 名、大学院生 895 名）から有効回答数を得て、回収率は 12.3%（学部生 10.9%、大学院生 14.8%）であった。

学部名	回答数	割合
共創学部	35	2.8%
文学部	101	8.1%
教育学部	28	2.2%
法学部	97	7.7%
経済学部	77	6.2%
理学部	184	14.7%
医学部	100	8.0%
医学部保健学科	61	4.9%
歯学部	61	4.9%
薬学部	44	3.5%
工学部	334	26.7%
芸術工学部	59	4.7%
農学部	71	5.7%
合計	1,252	100%

学府名	回答数	割合
人文科学府	13	1.5%
地球社会統合科学府	18	2.0%
人間環境学府	51	5.7%
法学府	11	1.2%
法務学府	10	1.1%
経済学府	17	1.9%
理学府	61	6.8%
数理学府	36	4.0%
システム生命科学府	33	3.7%
医学系学府	66	7.4%
医学系学府保健学専攻	4	0.4%
歯学府	16	1.8%
薬学府	21	2.3%
工学府	218	24.4%
芸術工学府	31	3.5%
システム情報科学府	83	9.3%
総合理工学府	86	9.6%
生物資源環境科学府	71	7.9%
統合新領域学府	34	3.8%
マシ・フォア・イノベーション連係学府	15	1.7%
合計	895	100%

6. 集計方法

本書書では調査結果を小数点第2位で四捨五入しているため、合計の数字が100.0%にならない場合がある。

7. その他

文中の「前回調査」とは、2019年度学生生活実態調査を指す。

2023年度学生生活実態調査 調査設問

A. 基本事項について

設 問		選択肢	回答欄
A01	性別（自己申告で記入してください）	1. 男 2. 女 3. 無回答	
A02	学生区分	1. 学部生 2. 大学院生	
A03	【学部生にお尋ねします】 所属学部	1. 共創学部 2. 文学部 3. 教育学部 4. 法学部 5. 経済学部 6. 理学部 7. 医学部 8. 医学部保健学科 9. 歯学部 10. 薬学部 11. 工学部 12. 芸術工学部 13. 農学部 14. 21世紀プログラム	
A04	【大学院生にお尋ねします】 所属学府	1. 人文科学府 2. 地球社会統合科学府 3. 人間環境学府 4. 法学府 5. 法務学府 6. 経済学府 7. 理学府 8. 数理学府 9. システム生命科学府 10. 医学系学府 11. 医学系学府保健学専攻 12. 歯学府 13. 薬学府 14. 工学府 15. 芸術工学府 16. システム情報科学府 17. 統合理工学府 18. 生物資源環境科学府 19. 統合新領域学府 20. マス・フォア・イノベーション関係 学府	
A05	【大学院生にお尋ねします】 在籍課程	1. 修士課程（五年一貫制博士課程1-2年生含む） 2. 博士課程（五年一貫制博士課程3-5年生含む） 3. 専門職学位課程	
A06	入学（進学）年度	1. 令和5年（2023年） 2. 令和4年（2022年） 3. 令和3年（2021年） 4. 令和2年（2020年） 5. 令和1年（2019年） 6. 平成30年（2018年） 7. 平成29年（2017年） 8. 平成28年（2016年）以前	
A07	学年	1. 1年 2. 2年 3. 3年 4. 4年 5. 5年 6. 6年	
A08	あなたは留学生ですか。	1. はい 2. いいえ	
A09	主に通っているキャンパスはどこですか。	1. 伊都キャンパス 2. 大橋キャンパス 3. 馬出キャンパス 4. 筑紫キャンパス 5. その他	
A10	出身はどこですか。	1. 福岡市内 2. 福岡県内（福岡市を除く） 3. 九州地方（福岡県以外） 4. 中国・四国地方 5. 近畿地方 6. 東海・北陸地方 7. 関東地方 8. 国内のその他の地区（1～7以外） 9. 海外	

B. 住居について

設 問		選択肢	回答欄
B01	あなたの現住所について、該当する項目を選択してください。	1. 福岡市東区 2. 福岡市博多区 3. 福岡市中央区 4. 福岡市南区 5. 福岡市城南区 6. 福岡市早良区 7. 福岡市西区東部（筑肥線姪浜～下山門） 8. 福岡市西区今宿駅周辺 9. 福岡市西区九大学研都市駅周辺 10. 福岡市西区周船寺駅周辺 11. 福岡市西区横浜 12. 福岡市西区泉・富士見・田尻 13. 福岡市西区元浜・九大新町 14. ドミトリー・協奏館 15. 福岡市西区その他 16. 糸島市泊 17. 糸島市波多江駅周辺 18. 糸島市筑前前原駅周辺 19. 糸島市その他 20. 宗像市 21. 福津市 22. 古賀市 23. 新宮町 24. 久山町 25. 篠栗町 26. 粕屋町 27. 須恵町 28. 志免町 29. 宇美町 30. 太宰府市 31. 春日市 32. 大野城市 33. 筑紫野市 34. 那珂川市 35. その他	
B02	あなたの住居形態はどれですか。	1. 自宅（実家） 2. 学生寄宿舍、その他寮 3. ルームシェア 4. 一人暮らし	
B03	【問B02で「2」～「4」と答えた方にお尋ねします】 住居（部屋）を選ぶ際考慮した条件はどれですか。（優先度の高い順に3つまで）	1. 家賃 2. 部屋の設備 3. 通学の便 4. 部屋の広さ 5. 築年数 6. 環境 7. セキュリティー 8. 親戚、知人の家 9. その他()	① () ② () ③ ()
B04	【問B02で「2」～「4」と答えた方にお尋ねします】 1ヶ月の家賃はいくらですか。	1. 3.5万円以内 2. 4万円以内 3. 4.5万円以内 4. 5万円以内 5. 5.5万円以内 6. 5.5万円を超える	
B05	【九州大学の学生寄宿舍に入っていない方のみ回答してください】 学生寄宿舍に入りたいと思いますか。	1. 入りたい 2. 入りたくない 3. 入る必要がない	
B06	【問B05で「1」と答えた方にお尋ねします】 入りたい理由はどれですか。	1. 経済的理由 2. 通学に便利 3. 授業、研究で遅くなるため 4. 友人がほしいため 5. 国際交流 6. その他()	
B07	【問B05で「2」と答えた方にお尋ねします】 入りたくない理由はどれですか。	1. 部屋がせまい 2. 相部屋の場合がある 3. 食事が無い 4. 集団生活が煩わしい 5. 交通、生活面で不便 6. 家賃が高い 7. 外国人との共同生活 8. その他()	

C. 通学・事故等について

設 問		選択肢						回答欄	
C01	自宅から大学までの通学方法（すべての交通手段を順に）を選択してください。	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. 地下鉄 4. 原付、バイク 5. JR鹿児島本線 6. JR筑肥線 7. 西鉄貝塚線 8. 西鉄大牟田線 9. 西鉄バス 10. 昭和バス 11. 自動車 12. その他()						① () ② () ③ () ④ () ⑤ ()	
C02	通学時間は片道どのくらいですか。	1. 15分以内 2. 30分以内 3. 45分以内 4. 1時間以内 5. 1時間30分以内 6. 2時間以内 7. 2時間を超える							
C03	【問C01で「2」「4」「11」と答えた方にお尋ねします】 利用している自転車、原付、バイク、自動車は任意保険に入っていますか。	1. 入っている 2. 入っていない 3. わからない				自転車	原付	バイク	自動車
C04	学期中、キャンパス間の移動は週何回程度ですか（片道を1回として計算）、また交通手段は何ですか。該当欄に数字を記入してください。		徒歩	自転車	地下鉄	電車	バス	原付・バイク	自動車
		伊都・病院間							
		伊都・大橋間							
		伊都・筑紫間							
		病院・大橋間							
		病院・筑紫間							
		大橋・筑紫間							
C05	キャンパス間移動の主な理由は何ですか。	1. 授業のため 2. サークル活動のため 3. その他							
C06	学内およびキャンパス間の移動時に交通事故を起こしたことがありますか。（自損、被害者を含む）	1. はい 2. いいえ 3. 事故には至らなかったが危ないことがあった							
C07	【問C06で「1」または「3」と答えた方にお尋ねします】 その事故はどのようなときに起こりましたか（起きそうになりましたか）。	1. 歩行中 2. 自転車運転中 3. 自動二輪車運転中 4. 原付バイク運転中 5. 自動車運転中 6. その他()							
C08	本学学生のキャンパス内外における交通マナーについてどう思いますか。	1. よい 2. 普通 3. 悪い 4. その他()							
C09	【問C08で「2」または「3」と答えた方にお尋ねします】 どのような点でマナーが良くないと感じますか。								

D. 食事について

設 問		選択肢	回答欄
D01	朝食は食べていますか。(最近1か月の状況について記入してください。)	1. 毎日食べている 2. だいたい食べている 3. 1か月の半分は食べている 4. ときどき食べている 5. ほとんど食べていない	
D02	【問D01で「4」または「5」と答えた方にお尋ねします】 その主な理由はどれですか。	1. 時間がない 2. 食欲がない 3. 経済的理由のため 4. 美容、減量のため 5. その他()	
D03	食事は主にどのように食べていますか。(朝、昼、夜それぞれ回答)	1. 自宅(実家) 2. 自炊 3. 学生寄宿舍、その他寮(食堂) 4. 学内(食堂) 5. お弁当 6. 学外の飲食店 7. 食べていない	朝 () 昼 () 夜 ()
D04	学内の食堂を利用していますか。(朝、昼、夜それぞれ回答)	1. いつも利用する 2. 時々利用する 3. 全く利用しない	朝 () 昼 () 夜 ()
D05	学内の食堂への要望はありますか。(複数回答可)	1. このままでよい 2. 値段を安く 3. 値段を高くしてもよいから質をよく 4. 値段を高くしても良いから量を増やす 5. 混雑解消 6. メニューを増やす 7. 雰囲気をよく 8. 衛生的に 9. 栄養バランス 10. 営業時間の延長 11. その他()	() () () () ()
D06	食材(お弁当含む)を購入する場合どこで購入しますか。(複数回答可)	1. 生協 2. 学内のコンビニ 3. 学外のコンビニ 4. スーパー 5. 専門店(弁当屋等) 6. 宅配 7. その他()	

E. 健康管理について

設 問		選択肢	回答欄
E01	ここ最近、体の調子はどうですか。 (風邪、けが、虫歯などの一時的な問題を除く) (複数回答可)	1. 問題ない 2. 疲れる、根気がない 3. 寝付きが悪い、眠りが浅い、よく眠れない 4. 頭痛、めまい、吐き気がする 5. 胃腸の調子が悪い 6. 咳や痰が出る 7. よく熱が出る 8. いらいらする 9. その他()	() () () ()
E02	【九州大学に入学、進学後、ケガをした方にお尋ねします】 どういう時にケガをしましたか。 (複数回答可)	1. 正課中 2. 課外(サークル等)中 3. 通学中 4. アルバイト中 5. その他(レジャー、帰省中など)	() () () ()
E03	【同様にケガをしたり体調不良の方にお尋ねします】 主な原因は何だと考えられますか。 (複数回答可)	1. スポーツ 2. アルバイト 3. 心労・過労 4. 健康への過信 5. 不摂生 6. 過度の勉強 7. 偶然の事故 8. 思い当たらない 9. その他()	() () () ()
E04	身体面、心理面でなんらかの悩みが生じたらどのような方法で解消しますか。(複数回答可)	1. キャンパスライフ・健康支援センターに行く 2. 教員に相談する 3. 先輩、友人等に相談する 4. 家族に相談する 5. 自分一人で解消するよう努力する 6. 解消方法がわからない 7. 誰にも相談しない 8. 医療機関に行く 9. その他()	() () () ()
E05	あなたは喫煙しますか。	1. 喫煙の習慣がある 2. とときどき喫煙する 3. 過去に喫煙の習慣があったが現在やめている 4. 喫煙しない	
E06	【問E05で「1」または「2」と答えた方にお尋ねします】 キャンパス内における全面禁煙を受けて、禁煙に対する意識にどの程度変化がありましたか。	1. かなり変化した(高まった) 2. まあ変化した 3. 少し変化した 4. 変わらない	
E07	この1ヶ月、次のことがどの程度あてはまりますか		
	①将来の就職や就職活動への不安がある	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない	
	②イライラする	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない	
	③気分が落ち込んでいる	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない	
	④集中力が途切れやすい	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない	
E08	⑤孤独感や孤立感を感じる	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない	
	健康維持・体力向上につながるような体操や運動はしていますか	1. ほぼ毎日(週に6-7日)している 2. 週に4-5日はしている 3. 週に2-3日はしている 4. 週に1日はしている 5. 全くしていない	
E09	(これまでの)新型コロナウイルス感染症の影響による様々な制限により、あなたの生活にどのように影響を受けましたか。		
	①学業(成績不振、オンライン授業対応など)	1. とても悪い影響があった 2. 悪い影響があった 3. どちらともいえない 4. 良い影響があった 5. とても良い影響があった	
	②自身のキャリア形成や就職・進学	1. とても悪い影響があった 2. 悪い影響があった 3. どちらともいえない 4. 良い影響があった 5. とても良い影響があった	
	③家族関係や友人との関係	1. とても悪い影響があった 2. 悪い影響があった 3. どちらともいえない 4. 良い影響があった 5. とても良い影響があった	
	④自身のメンタルヘルスや健康状態	1. とても悪い影響があった 2. 悪い影響があった 3. どちらともいえない 4. 良い影響があった 5. とても良い影響があった	
	⑤アルバイト収入や家族の収入	1. とても悪い影響があった 2. 悪い影響があった 3. どちらともいえない 4. 良い影響があった 5. とても良い影響があった	
E09	⑥課外活動などの余暇時間の過ごし方	1. とても悪い影響があった 2. 悪い影響があった 3. どちらともいえない 4. 良い影響があった 5. とても良い影響があった	

F. 悩みについて

設 問	選 択 肢	回 答 欄
F01	現在悩んでいることがありますか。	1. 悩みがある 2. 悩みはない
F02	【問F01で「1」と答えた方にお尋ねします】 どのようなことで悩んでいますか。 (複数回答可)	1. 勉学上のこと 2. 将来の進路のこと 3. 親族・家族のこと 4. 友人関係のこと 5. 恋愛関係のこと 6. 健康上のこと 7. 経済的なこと 8. 自分の性格のこと 9. 友人関係以外の人 間関係 10. 社会のこと 11. その他() () () () ()
F03	【問F01で「1」と答えた方にお尋ねします】 悩みは誰に相談しますか。 (複数回答可)	1. 大学入学前からの友人 2. クラス、ゼミ、研究室の仲間 3. 課外(サークル)活動の仲間 4. 他大学の仲間 5. 家族 6. 誰にも相談しない 7. その他() () () () ()
F04	本学にある相談窓口のうち、知っているものをすべて挙げてください。	1. キャンパスライフ・健康支援センター学生相談室 2. キャンパスライフ・健康支援センター健康相談室 3. キャンパスライフ・健康支援センターインクルージョン支援推進室 4. キャンパスライフ・健康支援センターコーディネート室 5. ハラスメント相談室 6. 何でも相談窓口 7. 就職相談室 () () () () () () ()
F05	①ハラスメントを受けたと感じたことがありますか。	1. はい 2. いいえ
	②「はい」と答えた方は何のハラスメントですか。(複数回答可)	1. セクシャル・ハラスメント 2. アカデミック・ハラスメント 3. パワー・ハラスメント 4. アルコール・ハラスメント 5. その他() () () () ()
	③それはどういう状況ですか。具体的に記入してください。	
F06	①周囲の人がハラスメントを受けているのを見たり聞いたりしたことはありますか。	1. はい 2. いいえ
	②「はい」と答えた方は何のハラスメントですか。(複数回答可)	1. セクシャル・ハラスメント 2. アカデミック・ハラスメント 3. パワー・ハラスメント 4. アルコール・ハラスメント 5. その他() () () () ()
	③それはどういう状況ですか。具体的に記入してください。	

G. 学生生活・安全について

設 問		選択肢	回答欄
G01	睡眠時間はおよそ何時間ぐらいですか。	1. 4時間以下 2. 5時間以下 3. 6時間以下 4. 7時間以下 5. 8時間以下 6. 8時間を超える	
G02	学期中の平日の起床時間のリズムは守られていますか。	1. 守られている 2. まあまあ守られている 3. どちらとも言えない 4. あまり守られていない 5. 守られていない	
G03	授業以外で、キャンパスで一番長い場所はどこですか	1. 図書館 2. 研究室 3. 空き教室 4. 自習スペース 5. 食堂・カフェ 6. 課外活動施設 7. その他()	
G04	土日祝日に大学に行く日はありますか。ある人は理由を挙げてください。(複数回答可)	1. ない 2. 勉学・研究 3. 図書館での読書(学習以外の目的) 4. 課外(サークル)活動 5. 運動 6. ボランティア活動 7. アルバイト 8. 友人との交流 9. その他()	() () () ()
G05	現在どんなことに力を入れていますか。(複数回答可)	1. 勉学・研究 2. 課外(サークル)活動 3. アルバイト 4. 一般的な知識、教養の涵養 5. 友人との交流 6. 娯楽、レジャー、旅行 7. ボランティア活動 8. その他の社会的な活動 9. 特にない 10. その他()	() () () () ()
G06	全体として大学生活に満足していますか。	1. 満足している 2. まあまあ満足している 3. どちらとも言えない 4. やや不満である 5. 不満である	
G07	大学生活において満足している点や不満な点を具体的に書いて下さい。(自由記述)		
G08	1日のうち、勉学・研究以外の目的でインターネット(メール、SNSを含む)を使用する時間はどのくらいですか。	1. 1時間以下 2. 2時間以下 3. 3時間以下 4. 4時間以下 5. 5時間以下 6. 5時間を超える 7. 利用しない	
G09	友人についてお尋ねします。(複数回答可)	1. いろいろなことを話せる友人がいる 2. 楽しみや夢を教諭できる友人がいる 3. 試験勉強などで困った時、相談できる友人がいる 4. 悩みを相談できる友人がいる 5. 大学の中で誰とも話さずに帰ることが多い	
G10	今年度、同級生や友人とコミュニケーションが取れていたと感じますか。	1. 十分とれている(1週間に数回程度) 2. やや取れている(1週間に1回程度) 3. あまり取れていない(1ヶ月に1回程度) 4. 全然取れていない	
G11	SNSを利用していますか。	1. 利用している 2. 利用していない	
G12	【問G11で「1」と答えた方にお尋ねします】SNSの利用で危険な(嫌な)思いをしたことがありますか。(複数回答可)	1. 危険な思いをしたことはない 2. 誹謗、中傷された 3. 架空請求があった 4. 個人情報の流出 5. その他()	() () () ()
G13	入学後、大学の内外で身の危険を感じたことがありますか。	1. はい 2. いいえ	
G14	【問G13で「1」と答えた方にお尋ねします】どのような危険を感じましたか。(複数回答可)	1. 交通事故(未遂を含む) 2. 不審者との遭遇 3. 暴力・恐喝 4. 消費者トラブル(マルチ商法、不当請求など) 5. 宗教の勧誘 6. 危険ドラッグの誘い 7. ストーカー行為 8. 各種ハラスメント 9. 違法行為(ブラックバイトなど)への誘い 10. その他()	() () () ()
G15	学生に対する事務の窓口サービス(応対や学生への通知等)はどうですか。	1. よい 2. どちらとも言えない 3. よくない 4. 利用したことがない、わからない	
G16	【問G15で「1」～「3」と答えた方にお尋ねします】事務の窓口サービスについて最も改善すべき点は、どのようなところですか。	1. 窓口の応接態度 2. 窓口の開放時間 3. 事務処理の迅速化 4. その他(次の設問にご記入ください)	
G17	【問G16で「4」と答えた方にお尋ねします】事務の窓口サービスにどのようなことを希望しますか。(自由記述)		

H. 収入・支出について

[illegible]

I. アルバイトについて

	設 問	選択肢	回答欄
I01	現在、アルバイトをしていますか。	1. 長期のアルバイトをしている 2. 短期（1か月位）のアルバイトをしている 3. 長期と短期どちらのアルバイトもしている 4. していない	
I02	【問I01で「1」～「3」と答えた方にお尋ねします】 ①主な理由はどれですか。	1. 経済的に困難なため 2. 自由に使える小遣い確保のため 3. 家族からの自立のため 4. 社会経験のため 5. その他()	
	②職種はどれですか。 (複数回答可)	1. 家庭教師 2. 塾、予備校講師 3. 飲食店 4. 小売店（コンビニ、スーパー、服飾雑貨など） 5. 日雇い・短期アルバイト 6. その他()	() () ()
	③平均して、週に何日アルバイトをしていますか。	1. 1日 2. 2日 3. 3日 4. 4日 5. 5日 6. 6日 7. 毎日	
	④アルバイトをしている時間は1週間あたりおよそ何時間ですか。（移動時間等を除いた実労働時間）		() 時間
	⑤収入は何に使いますか。 (複数回答可)	1. 授業料 2. 勉強費 3. 衣食住費 4. 課外（サークル）活動費 5. 旅行費 6. 娯楽、レジャー費 7. 情報通信費（携帯、インターネットなど） 8. 家電などの購入費 9. 技術、資格などの取得費用 10. 預貯金 11. その他()	() () () () ()
	⑥学業などとの関係はどうですか。 (あてはまるものをすべて選んでください。)	1. 授業をある程度犠牲にしている 2. 予習、復習など自宅学習の時間を犠牲にしている 3. 睡眠時間を犠牲にしている 4. 教養、娯楽時間を犠牲にしている 5. 課外（サークル）活動を犠牲にしている 6. ほとんど支障はない 7. 学業に役立っている 8. その他()	() () () () () ()
	⑦アルバイトをしている場所はどこですか。（複数回答可） ※西区、糸島市は町名も記入してください。	1. 東区 2. 博多区 3. 中央区 4. 城南区 5. 南区 6. 早良区 7. 西区 () 8. 糸島市 () 9. その他()	() () () () ()
	⑧アルバイトについて感じていることを全て選んで下さい。（複数回答可）	1. アルバイトは充実している 2. アルバイトは大変である 3. アルバイトは続けたい 4. アルバイトはできればやりたくない 5. もっと時給が高いアルバイトがやりたい 6. 大学にアルバイトを紹介して欲しい 7. 良いバイトの探し方がわからない 8. その他()	() () () () () ()
【問I01で「4」と答えた方にお尋ねします】 アルバイトをしていない主な理由はどれですか。	1. 経済的に困っていないから 2. 学業に専念したいから 3. サークル活動で忙しいから 4. 良いアルバイトが見つからないから 5. アルバイトをしたことがあるが大変だったから 6. その他()		

Ｊ．課外活動（サークル、ボランティア）について

設 問		選択肢	回答欄
J01	現在、サークルに加入していますか。 (複数ある場合は、最も力を入れているものについて答えてください。)	1. 体育系サークル（公認）に加入 2. 体育系サークル（非公認）に加入 3. 文化系サークル（公認）に加入 4. 文化系サークル（非公認）に加入 5. 学外のサークルに加入 6. 加入していない 7. 加入していたが中途退部した	
J02	【問J01で「1」～「3」と答えた方にお尋ねします】 ①そのサークルに加入した主な理由はどれですか。（複数回答可）	1. 団体生活に興味がある 2. 活動内容が好き、または興味がある 3. 知識、教養を得るため 4. 免許等の資格を得るため 5. 健康増進のため 6. 友人を得るため 7. 就職のことを考えて 8. レクリエーションとして 9. 技術向上のため 10. 社会貢献のため 11. 先輩に勧められたため 12. その他()	() () () () ()
	②満足度はどうですか。	1. 満足している 2. まあまあ満足している 3. 普通 4. やや不満である 5. 不満である	
	③サークル活動の場所はどこですか。 キャンパスと施設名の両方を選択してください。（複数回答可）	【キャンパス】 1. 伊都 2. 病院 3. 大橋 4. 筑紫 5. その他() 【施設】 1. 課外活動施設 2. 教室 3. 体育館 4. 九州大学のその他屋内施設 5. 九州大学の屋外施設 6. 九州大学の施設以外 7. その他()	キャンパス 施設 () - () () - () () - ()
	④サークル活動をしている時間は1週間当たりおよそ何時間ですか。		() 時間
	⑤サークル活動と学業との関係はどうですか。	1. 学業をかなり犠牲にしている 2. 学業をすこし犠牲にしている 3. 学業に影響はない 4. 学業にプラスになっている	
J03	【問J01で「4」または「5」と答えた方にお尋ねします】 サークルに加入していない理由はどれですか。（複数回答可）	1. 学業の妨げとなる 2. 練習がきつい 3. 健康上の理由 4. 興味のあるサークルがない 5. 束縛されたくない 6. 対人関係が面倒 7. 経済的な負担が大きい 8. 時間がない 9. 特に理由はない 10. その他()	() () () () ()
J04	ボランティア活動をしたことがありますか。	1. ある 2. ないが機会があればやりたい 3. ない	
J05	【問J04で「1」と答えた方にお尋ねします】 ①ボランティア活動の主な内容は何ですか。	1. 被災地、被災者の救援活動 2. 清掃活動 3. スポーツや文化活動の支援 4. 高齢者、障害者の支援 5. 社会福祉施設等への訪問 6. 国際ボランティア 7. その他()	
	②どの程度ボランティア活動に従事していますか。	1. 週に3回以上 2. 週に1～2回程度 3. 月に1～2回程度 4. 年に数回程度	
	③ボランティア活動を経験した感想はどうですか。	1. 社会経験が得られ有意義である 2. 自分の勉強に役立った 3. 自身の興味を満たした 4. あまり興味が持てなかった 5. その他()	

K. 入学・授業等関係について

設 問		選択肢	回答欄
K01	【学部生にお尋ねします】 大学に入学した理由はどれですか。 (複数回答可)	1. 学問、研究をする 2. 専門知識、技術を身につける 3. 豊かな教養を身につける 4. 学歴、資格を得る 5. 課外(サークル)活動に力を入れる 6. 一流企業に就職する 7. 社会的活動の担い手となる 8. 学生生活を通して青春をエンジョイする 9. 良き友人を得る 10. 特に目的を持たず何となく 11. その他()	() () () () ()
K02	【学部生にお尋ねします】 九州大学を志望することを決定する時、どの情報に注目しましたか。 (複数回答可)	1. 大学の特色、歴史 2. 環境、設備 3. 学部、学科等の内容 4. 授業内容 5. 九州大学の在籍教員 6. 学費 7. 学生寄宿舍 8. 課外(サークル)活動 9. 就職状況 10. 留年率や進学率 11. 大学の入学難易度 12. 家族の意見 13. 高校の教員の意見 14. 友人の意見 15. その他()	() () () () () ()
K03	【学部生にお尋ねします】 九州大学に入学前に次のどの情報に接しましたか。(複数回答可)	1. 九州大学のHP 2. 九州大学のオープンキャンパス 3. 九州大学の説明会 4. 九州大学の教員の講演 5. 九州大学についての報道 6. 高校における九州大学の紹介 7. 塾・予備校などにおける九州大学の紹介 8. 大学案内(書籍など)における九州大学の紹介 9. 家族や友人の九州大学の紹介 10. 何も見ていない 11. その他	
K04	【学部生にお尋ねします】 九州大学を受験する際に、九州大学に入学することをどの程度希望していましたか。	1. 浪人しても九州大学に入学したいと思っていた 2. 九州大学がダメなら他大学でもよいと思っていた 3. 他大学がダメなら九州大学でよいと思っていた 4. 学部を問わず九州大学に入学したいと思っていた	
K05	【学部生にお尋ねします】 九州大学に入学した主な理由はどれですか。(複数回答可)	1. 大学、施設を見て魅力を感じた 2. HPやパンフレット等を見て魅力を感じた 3. 九州大学説明会に参加して魅力を感じた 4. 興味の持てる専攻分野があった 5. 受験学力相応であった 6. 家族や教師に勧められた 7. 経済的理由 8. 地元だった 9. 九州、福岡で暮らしたかった 10. 第1志望の大学に不合格だったから 11. その他()	() () () () ()
K06	【大学院生にお尋ねします】 出身大学はどこですか。	1. 九州大学内の関連学部(学府) 2. 九州大学内の他学部(学府) 3. 他の大学(大学院) 4. 社会人	
K07	【大学院生にお尋ねします】 九州大学の大学院に進学した理由はどれですか。(複数回答可)	1. 学問、研究を究める 2. 学位、資格を取得する 3. 現在の仕事におけるスキルアップを図る 4. 指導教員に勧められた 5. 就職に有利である 6. 希望する就職先がなかった 7. 就職する意思がなかった 8. 特に目的をもたず何となく 9. その他()	() () ()
K08	【大学院生にお尋ねします】 現所属以外の大学院を受験しましたか。	1. 九州大学内の他学府を受験した 2. 九州大学外の大学院を受験した 3. 「1」「2」のいずれにも該当する 4. 現所属以外の大学院は受験しなかった	
K09	【大学院生にお尋ねします】 大学院受験と並行して就職活動をしましたか。	1. 就職活動をして内定をもらった 2. 就職活動をしたが内定はなかった 3. しなかった	
K10	全般的に、授業内容の難易度についてどう思いますか。	1. 内容が難しい授業が多い 2. 内容が易しい授業が多い 3. 適切である 4. その他()	

K11	全般的に、授業の満足度はどの程度ですか。	1.満足している 2.まあまあ満足している 3.普通 4.やや不満である 5.不満である	
K12	【K11で「4」または「5」と答えた方にお尋ねします】 その理由はどれですか。(複数回答可)	1.授業内容が難しすぎる 2.授業内容が易しすぎる 3.授業に魅力がない 4.受講者が多すぎる 5.施設、設備が不十分である 6.その他()	() () ()
K13	【大学院生にお尋ねします】 ①現在の研究環境について満足度はどの程度ですか。	1.満足している 2.まあまあ満足している 3.普通 4.やや不満である 5.不満である	
	【問K13①で「4」または「5」と答えた方にお尋ねします】 ②もっとも大きな理由はどれですか。	1.講義・演習内容 2.研究指導 3.施設、設備 4.研究費用 5.研究時間 6.その他()	
K14	【大学院生にお尋ねします】 学会への参加及び論文投稿に必要な費用は誰が支払いますか。(複数回答可)	1.自分(生活費から) 2.自分(研究費から) 3.教員や研究室 4.その他()	
K15	【学部生にお尋ねします】 ①現在の大学・学部・学科等を変えたいと思いますか。	1.大学を変えたい 2.学部を変えたい 3.学科等を変えたい 4.研究室(指導、ゼミ教員)を変えたい 5.変えたいと思わない	
	【問K15①で「1」～「4」と答えた方にお尋ねします】 ②もっとも大きな理由はどれですか。	1.専攻分野が自分に合わない 2.教育課程が過密すぎる 3.教育課程に制約が多い 4.授業がおもしろくない 5.授業が難しすぎる 6.授業のレベルが低すぎる 7.教員と合わない 8.施設、設備が不十分である 9.就職を考えると不安である 10.キャンパスの立地が不便である 11.その他()	
K16	【大学院生にお尋ねします】 ①現在の所属等を変えたいと思いますか。	1.学外の大学院に変わりたい 2.学内の他学府に変わりたい 3.専攻、コースを変えたい 4.研究室(指導、ゼミ教員)を変えたい 5.変えたいと思わない	
	【問K16①で「1」～「4」と答えた方にお尋ねします】 ②もっとも大きな理由はどれですか。	1.専攻分野が自分に合わない 2.教育課程が過密すぎる 3.教育課程に制約が多い 4.授業がおもしろくない 5.授業が難しすぎる 6.授業のレベルが低すぎる 7.教員と合わない 8.施設、設備が不十分である 9.就職を考えると不安である 10.その他()	
K17	日頃教員と直接話をしていますか。	1.よくする 2.たまにする 3.あまりしない 4.全くしない	
K18	【問K17で「3」または「4」と答えた方にお尋ねします】 その理由はどれですか。	1.話したいが機会がない 2.何となく話しにくい 3.話す必要がない 4.話したくない 5.その他()	
K19	日頃教員ともっと直接話をしたいと思いますか。	1.はい 2.いいえ 3.どちらでもよい	
K20	教員に希望するものはどれですか。(複数回答可)	1.学問の厳しさを教えてほしい 2.研究者よりもよき教育者であってほしい 3.授業内容を改善してほしい 4.講義内容を充実させてほしい 5.わかりやすく教えてほしい 6.休講をできるだけなくしてほしい 7.学生との対話の場を持ってほしい 8.社会的実践との結びつきを教えてほしい 9.社会で活躍している人や専門に携わる現場との接点を教えてほしい 10.社会人として必要な礼儀やマナーを教えてほしい 11.その他()	() () () () () ()

K21	電子システム（シラバス、授業に関わる情報提供、学修支援システム（M2B）など）に対する満足度はどの程度ですか。	1. 満足している 2. まあまあ満足している 3. 普通 4. やや不満である 5. 不満である	
K22	【問K21で「4」または「5」と答えた方にお尋ねします】 その理由はどれですか。（複数回答可）	1. システムの使い方がわかりにくい 2. 通信環境が悪い 3. 情報量が多すぎる 4. 情報量が少なすぎる 5. 教員からのフィードバック等の双方向性に欠ける 6. その他（ ）	() () ()
K23	授業時間以外に1日にどの程度の時間を学習（授業内容の予習・復習等）に充てていますか。	1. 試験前以外にほとんどしない 2. 30分程度 3. 1時間程度 4. 2時間程度 5. 3時間程度 6. 4時間以上	
K24	授業時間以外の学習はどこで行っていますか。（複数回答可）	1. 図書館 2. 所属の研究室 3. 空き教室 4. 学内の食堂 5. 学内のその他の場所 6. 自宅や友人の家 7. 学外の飲食店 8. その他（ ）	() () () () ()
K25	教科書・参考書以外に1ヶ月で何冊程度本を読みますか。（漫画を除く）	1. ほとんど読まない 2. 5冊未満 3. 5～10冊 4. 11冊～15冊 5. 16冊以上	
K26	新聞を読みますか。（スポーツ新聞を除く）	1. 読まない 2. 時々目を通す 3. 時々まとめてしっかり読む 4. 毎日全体に目をとす 5. 毎日しっかりと読む	
K27	【問K26で「1」と答えた方にお尋ねします】 読まない理由は何ですか。（複数回答可）	1. 購読する経済的余裕がない 2. 読む時間がない 3. 新聞に載るような情報に興味がない 4. インターネットや携帯サイトの情報で十分である 5. 週刊誌などの情報で十分である 6. 読みたい新聞がない 7. 読む習慣がない 8. その他（ ）	() () ()
K28	大学のピア・サポート制度や学習相談を利用したことがありますか。	1. 1～2回利用したことがある 2. 3回以上利用したことがある 3. 利用したことがない 4. 制度があることを知らなかった	
K29	「合理的配慮」とは、障害のある学生が他の者と平等に教育を受ける権利を得ることができるように、必要かつ適当な変更・調整のことですが、このことについてどの程度知っていますか。	1. よく理解している 2. まあまあ理解している 3. 聞いたことはあるが、あまり理解していない 4. 聞いたこともない	

L. 図書館について

設 問		選択肢	回答欄
L01	図書館を利用する頻度はどのくらいですか。	1. ほぼ毎日 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に1～2日 5. 年に数回 6. ほとんど利用しない 7. 利用したことがない	
L02	【問L01で「1」～「5」と答えた方にお尋ねします】 利用目的はどれですか。（複数回答可）	1. 図書・雑誌の利用 2. 自習 3. グループ学習 4. コピー・印刷 5. 文献の取寄せ 6. 調べもの 7. 情報交換 8. 授業時間外の居場所 9. 学習支援（図書館TAや講習会等） 10. その他（ ）	() () ()
L03	図書館のどのスペースをよく使いますか。（複数回答可）	1. 閲覧席 2. 会話可の学習スペース 3. グループで借りることのできる個室 4. 個人で借りることのできる個室 5. メディア視聴席 6. 軽雑誌・新聞閲覧スペース 7. 飲食のできるスペース 8. その他（ ）	() () ()
L04	図書館の満足度はどうですか。	1. 満足している 2. まあまあ満足している 3. 普通 4. やや不満である 5. 不満である	
L05	図書館提供のオンラインで利用できる電子リソースを使ったことがありますか。使ったことのあるものをお答えください。（複数回答可）	1. 電子ジャーナル 2. 電子ブック 3. 文献情報データベース（Web of Science、Scopus 等） 4. 新聞記事データベース（朝日新聞クロスサーチ、ヨミダス歴史館 等） 5. 辞書・事典データベース（Japan Knowledge、大漢和辞典 等） 6. 貴重資料デジタルアーカイブ 7. その他（ ） 8. 使ったことがない	() () () ()
L06	図書館に改善してほしい事項はありますか。（複数回答可）	1. 図書・雑誌（紙媒体）の充実 2. 図書・雑誌（電子媒体）の充実 3. データベース等の充実 4. 静寂な閲覧席の拡充 5. 会話可の学習スペースの拡充 6. 情報機器（Wi-Fi・印刷環境等）の充実 7. 開館時間の延長（平日） 8. 開館時間の延長（土日） 9. カウンターの対応 10. 学習支援（図書館TAや講習会等） 11. その他（ ）	() () () () ()

M. 卒業後の進路について

設 問		選択肢	回答欄
M01	卒業後の進路希望はどれですか。	1. 就職（研究職を含む） 2. 九州大学大学院 3. 九州大学以外の大学院 4. 九州大学、九州大学以外の大学等への編入学、再入学 5. 起業 6. 海外留学 7. まだ考えていない 8. その他（ ）	
M02	将来の就職について重要視するものはどれですか。（複数回答可）	1. 能力が発揮できる 2. 就職先の将来性 3. 就職先の安定性 4. 就職先の社会的評価 5. 給与 6. 自由時間、休暇 7. 福利厚生 8. 勤務地の地理的条件 9. 家庭の事情 10. 能力、技術の取得 11. その他（ ）	() () () () ()
M03	最も希望する勤務地はどこですか。	1. 福岡市内 2. 福岡県内（福岡市を除く） 3. 九州地方（福岡県以外） 4. 中国・四国地方 5. 近畿地方 6. 東海・北陸地方 7. 関東地方 8. 国内のその他の地区（1～7以外） 9. 海外 10. どこでもよい	
M04	就職支援について大学へ求めるものはどれですか。（複数回答可）	1. 企業説明会の開催 2. 公務員等説明会の充実 3. 就職活動についてのガイダンスの充実 4. 就職情報室の充実 5. 就職相談の充実 6. 求人票の閲覧方法の改善 7. OB、OG等の就職先名簿の閲覧 8. 教員の助言、指導等 9. インターンシップの紹介 10. 起業セミナーの開催 11. 特にない 12. その他（ ）	() () () () ()
M05	将来、どのような職業に就きたいと思いますか。就きたい職業の順に3つまで記入してください。	1. 大学の教育研究職 2. 教育職（大学を除く） 3. 官公庁の研究職 4. 公務員（行政職、専門職） 5. 企業等の技術、研究職 6. 専門職（医師、弁護士、公認会計士等） 7. サードセクター（協同組合やNPO法人等） 8. 一般事務職 9. 一般営業職 10. 新たな会社を起業 11. 自営業を継承 12. まだ決めていない 13. その他（ ）	① () ② () ③ ()

N. 海外渡航・国際交流について

設 問		選択肢	回答欄
N01	九州大学に入学後、海外渡航をしたことがある方は回数を記入してください。		() 回
N02	【問N01で海外渡航をしたことがある方にお尋ねします】 海外渡航の目的はどれでしたか。(複数回答可)	1. 留学 2. 語学研修 3. 学会参加 4. 学術調査 5. 課外(サークル等)活動(遠征) 6. 社会活動 7. 観光 8. その他()	() () ()
N03	交換留学制度を知っていますか。	1. はい 2. いいえ	
N04	外国語の会話はどの程度できますか。	1. 専門用語を使った会話も日常会話もできる 2. 専門用語を使った会話はできるが日常会話はできない 3. 日常会話はできるが専門用語を使った会話はできない 4. なんとか日常会話ができる 5. あまりできない 6. できない	
N05	語学力を高めるために何をしていますか。(複数回答可)	1. 学内の(必修以外の)外国語授業を受講している 2. 学内の外国人教員、留学生と交流している 3. 学内の施設(図書館、言語文化研究院など)を利用して学習している 4. ラジオ、テレビ講座を受講している 5. 書籍やCD、インターネット上の教材などを購入して学習している 6. 外国(または外国語)の新聞、雑誌を読んでいる 7. 外国(または外国語)のラジオ、テレビ、インターネット番組を視聴している 8. 英会話等の教室、学校などに通っている 9. 特にしていない 10. その他()	() () () () () () ()
N06	留学や研究を目的とした日本国外への海外渡航をしたいですか。	1. 是非行きたい 2. 行きたい 3. 時間があれば行きたい 4. お金があれば行きたい 5. あまり行きたくない 6. 行きたくない 7. すでに行った(行く予定がある)	

Q. 自由記述

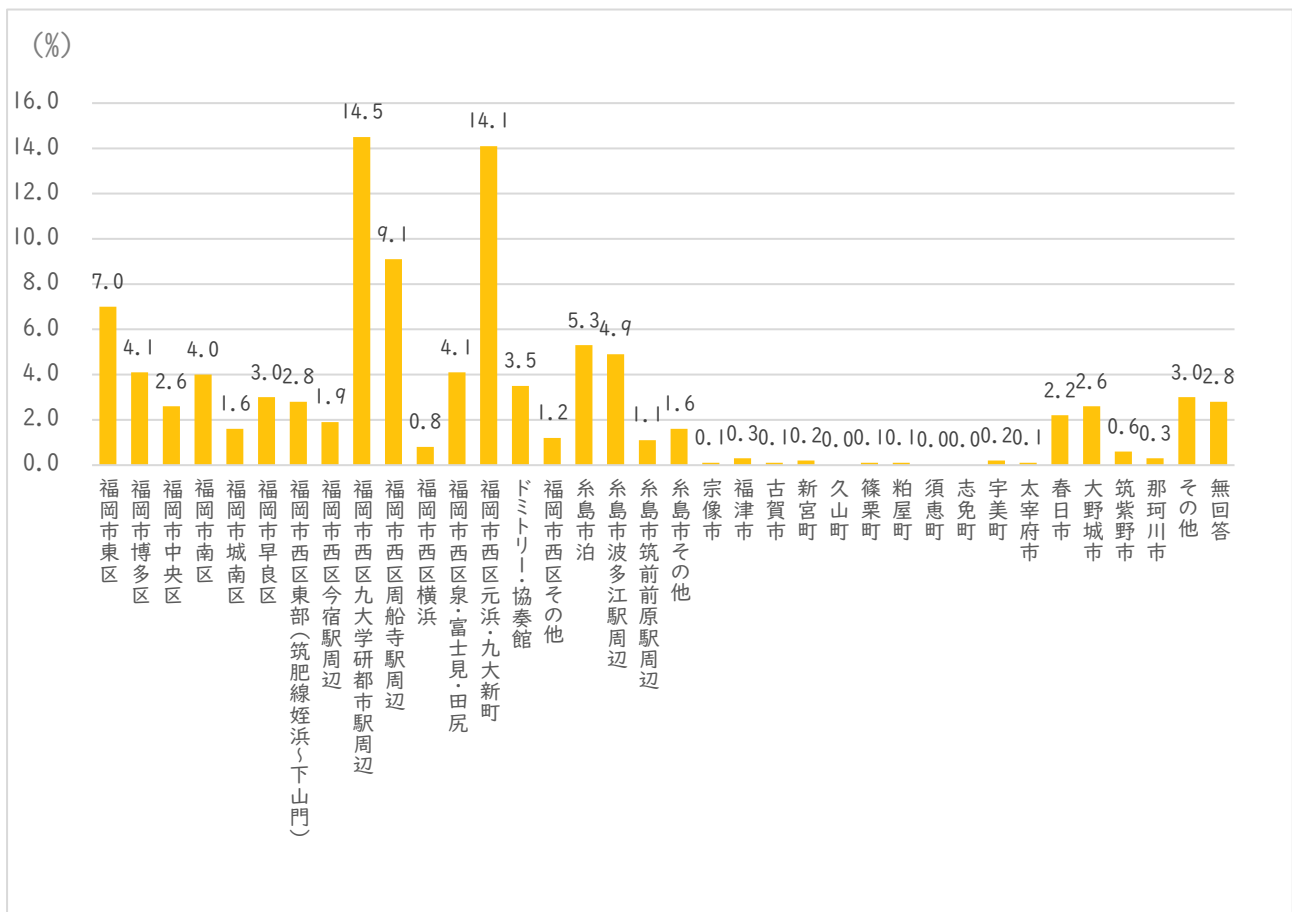
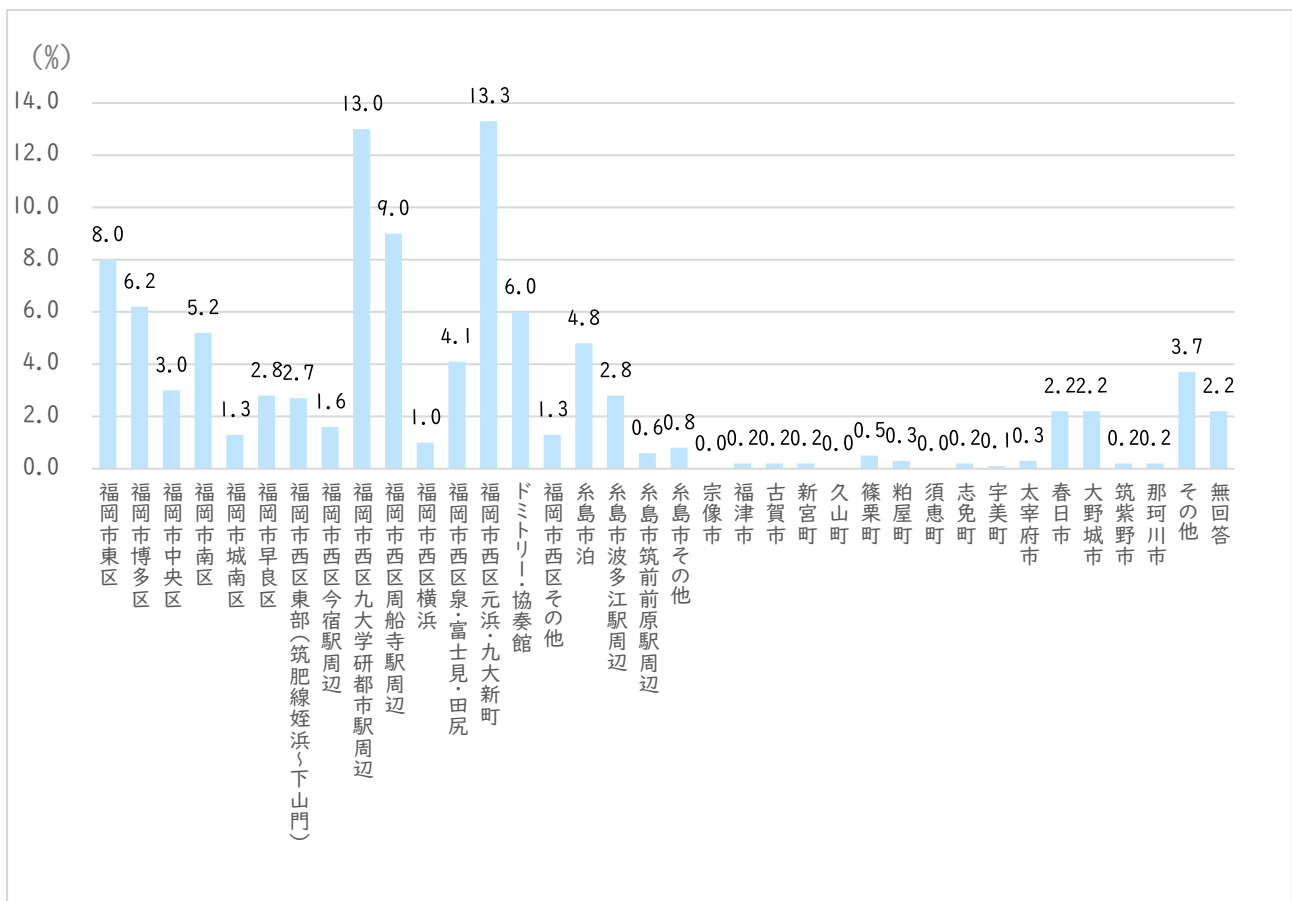
Q01	[本調査について]
Q02	[教育・研究体制について]
Q03	[学生支援・相談体制について]
Q04	[大学の経済支援等の諸制度やサポートについて]
Q05	[大学の施設・設備について]
Q06	[大学生活全般について]
Q07	[大学におけるダイバーシティ（人種・性別・障害等の多様性）への対応について]

第 1 章 住居について

(1) 居住地域

学生の居住地域については、大きな変化はありませんが、学部生・大学院生ともに福岡市西区、特に元浜・九大新町の増加が目立つ印象があります。

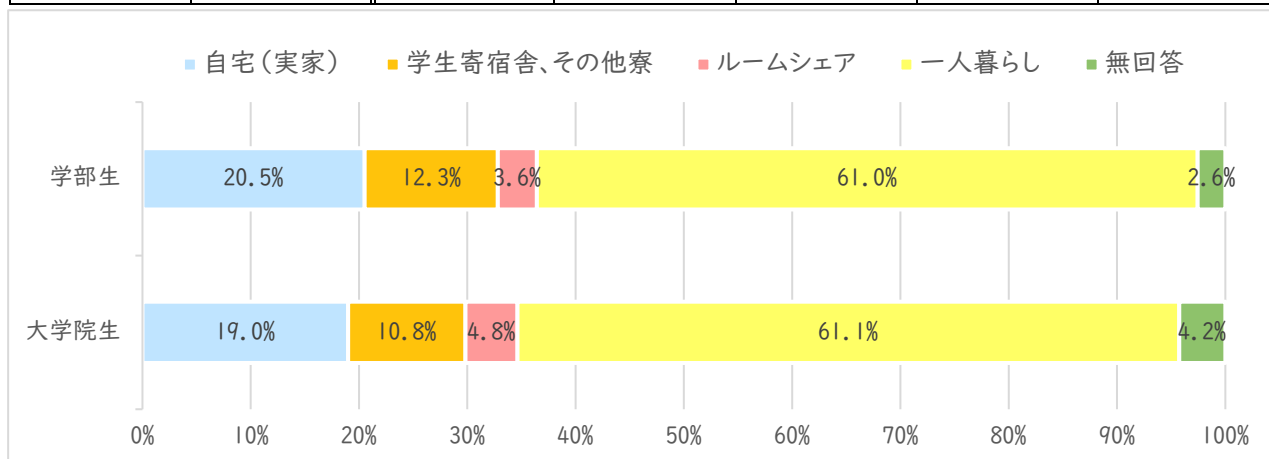
居住地域	学部生	大学院生	合計
福岡市東区	100	63	163
福岡市博多区	78	37	115
福岡市中央区	37	23	60
福岡市南区	65	36	101
福岡市城南区	16	14	30
福岡市早良区	35	27	62
福岡市西区東部(筑肥線姪浜～下山門)	34	25	59
福岡市西区今宿駅周辺	20	17	37
福岡市西区九大学研都市駅周辺	163	130	293
福岡市西区周船寺駅周辺	113	81	194
福岡市西区横浜	12	7	19
福岡市西区泉・富士見・田尻	51	37	88
福岡市西区元浜・九大新町	166	126	292
ドミトリー・協奏館	75	31	106
福岡市西区その他	16	11	27
糸島市泊	60	47	107
糸島市波多江駅周辺	35	44	79
糸島市筑前前原駅周辺	8	10	18
糸島市その他	10	14	24
宗像市	0	1	1
福津市	3	3	6
古賀市	2	1	3
新宮町	3	2	5
久山町	0	0	0
篠栗町	6	1	7
粕屋町	4	1	5
須恵町	0	0	0
志免町	2	0	2
宇美町	1	2	3
太宰府市	4	1	5
春日市	28	20	48
大野城市	27	23	50
筑紫野市	3	5	8
那珂川市	2	3	5
その他	46	27	73
無回答	27	25	52
	1,252	895	2,147



(2) 住居形態

前回調査より、一人暮らしの割合は低下しました(学部生 64.1%→61.0%、大学院生 68.7%→61.1%)。一方で、学生寄宿舍、その他寮の割合が増加しました(学部生 9.0%→12.3%、大学院生 5.5%→10.8%)。

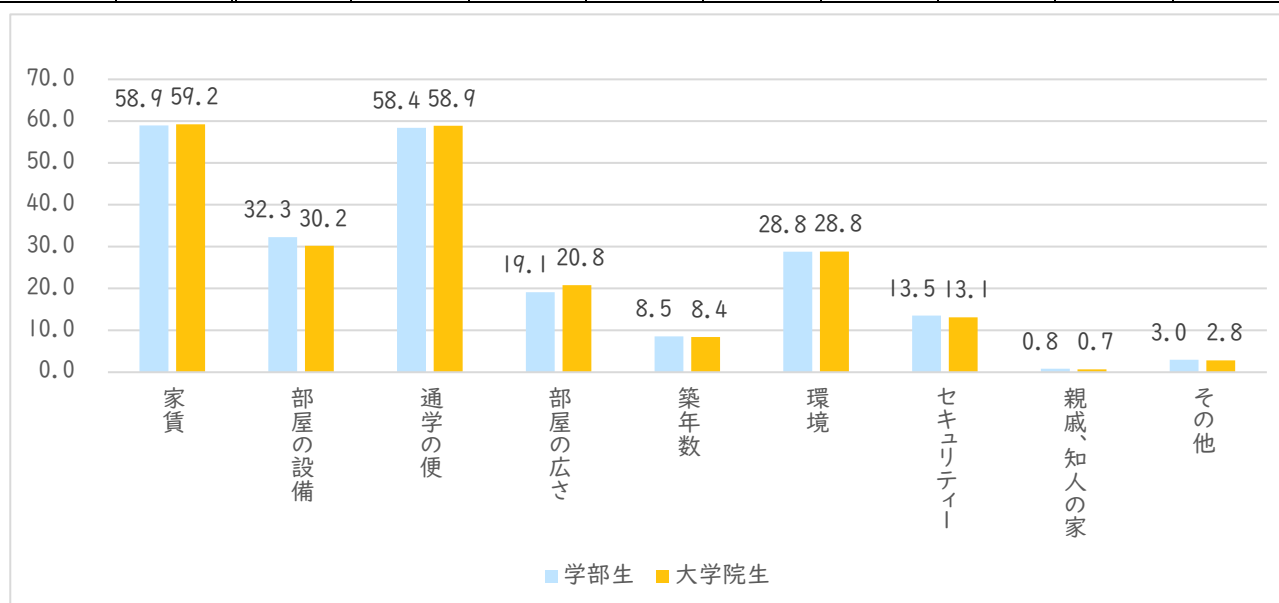
(人)	調査数	自宅(実家)	学生寄宿舍、 その他寮	ルームシェア	一人暮らし	無回答
学部生	1,252	257	154	45	764	32
大学院生	895	170	97	43	547	38



(3) 住居(部屋)を選ぶ際に考慮した条件【複数回答可】

前回調査と同様、「家賃」「通学の便」が上位にあがっています。また、「部屋の設備」や「環境」も選ぶ基準としてあがっています。

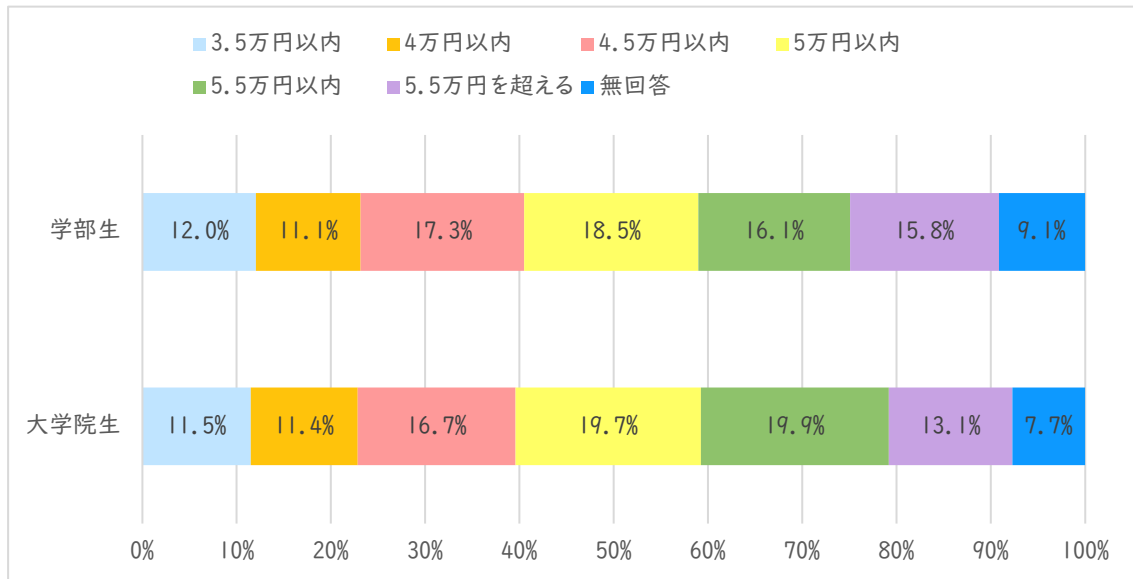
(人)	調査数	家賃	部屋の 設備	通学の 便	部屋の 広さ	築年数	環境	セキュリ ティー	親戚、 知人の 家	その他
学部生	1,252	738	404	731	239	107	360	169	10	37
大学院生	895	530	270	527	186	75	258	117	6	25



(4) 家賃

前回調査と同様、4～5 万円台を中心におおよそ均等に分布しているようです。

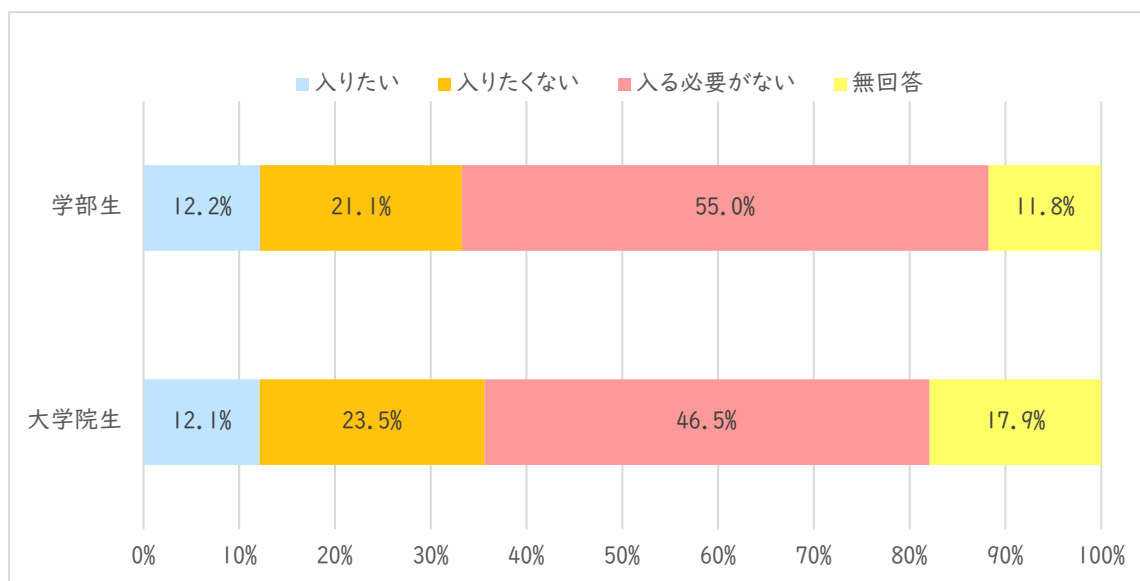
(人)	調査数	3.5 万円以内	4 万円以内	4.5 万円以内	5 万円以内	5.5 万円以内	5.5 万円を超える	無回答
学部生	963	116	107	167	178	155	152	88
大学院生	687	79	78	115	135	137	90	53



(5) 九大の学生寄宿舍に入りたいと思うか

現時点で学生寄宿舍に入居していない学生に尋ねたところ、前回調査より「入りたい」が学部生でやや増加し大学院生で低下しました（学部生 10.7%→12.2%、大学院生 16.0%→12.1%）。

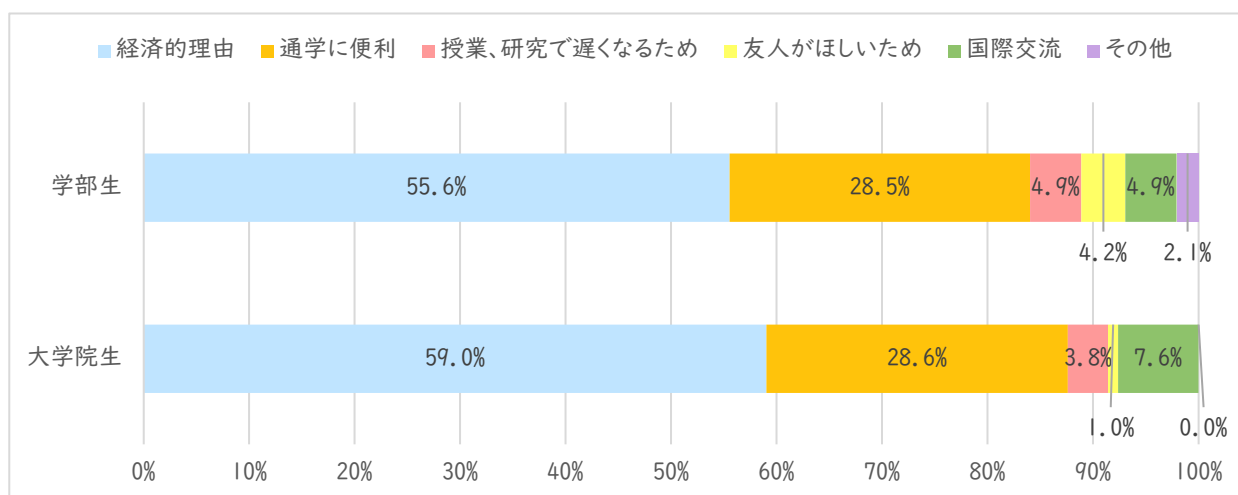
(人)	調査数	入りたい	入りたくない	入る必要がない	無回答
学部生	1,182	144	249	650	139
大学院生	865	105	203	402	155



(6) 九大の学生寄宿舍に入りたい理由

(5)で「入りたい」と答えた学生にその理由を尋ねたところ、前回と同様、「経済的理由」が半数以上と最も多く、「通学に便利」が続いています。

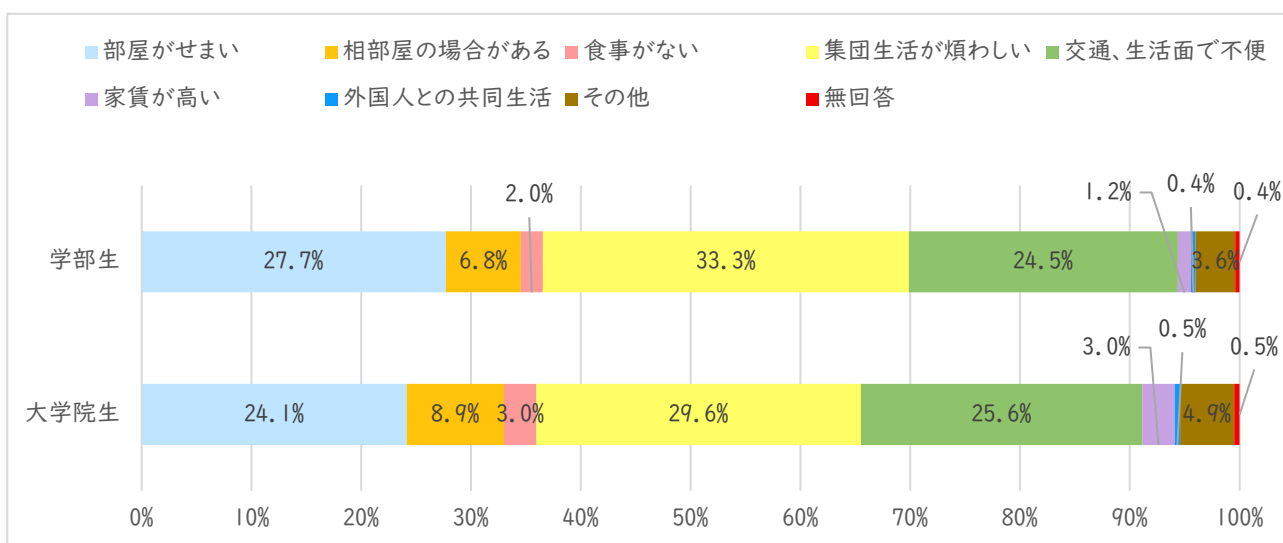
(人)	調査数	経済的理由	通学に便利	授業、研究で遅くなるため	友人がほしいため	国際交流	その他
学部生	144	80	41	7	6	7	3
大学院生	105	62	30	4	1	8	0



(7) 九大の学生寄宿舍に入りたいくない理由

(5)で「入りたいくない」と答えた学生にその理由を尋ねたところ、前回調査と大きく変化なく、「部屋がせまい」「集団生活が煩わしい」「交通・生活面で不便」が大半を占めていました。

(人)	調査数	部屋が せまい	相部屋 の場合 がある	食事が ない	集団生 活が煩 わしい	交通、生 活面で 不便	家賃が 高い	外国人 との共 同生活	その他	無回答
学部生	249	69	17	5	83	61	3	1	9	1
大学院生	203	49	18	6	60	52	6	1	10	1

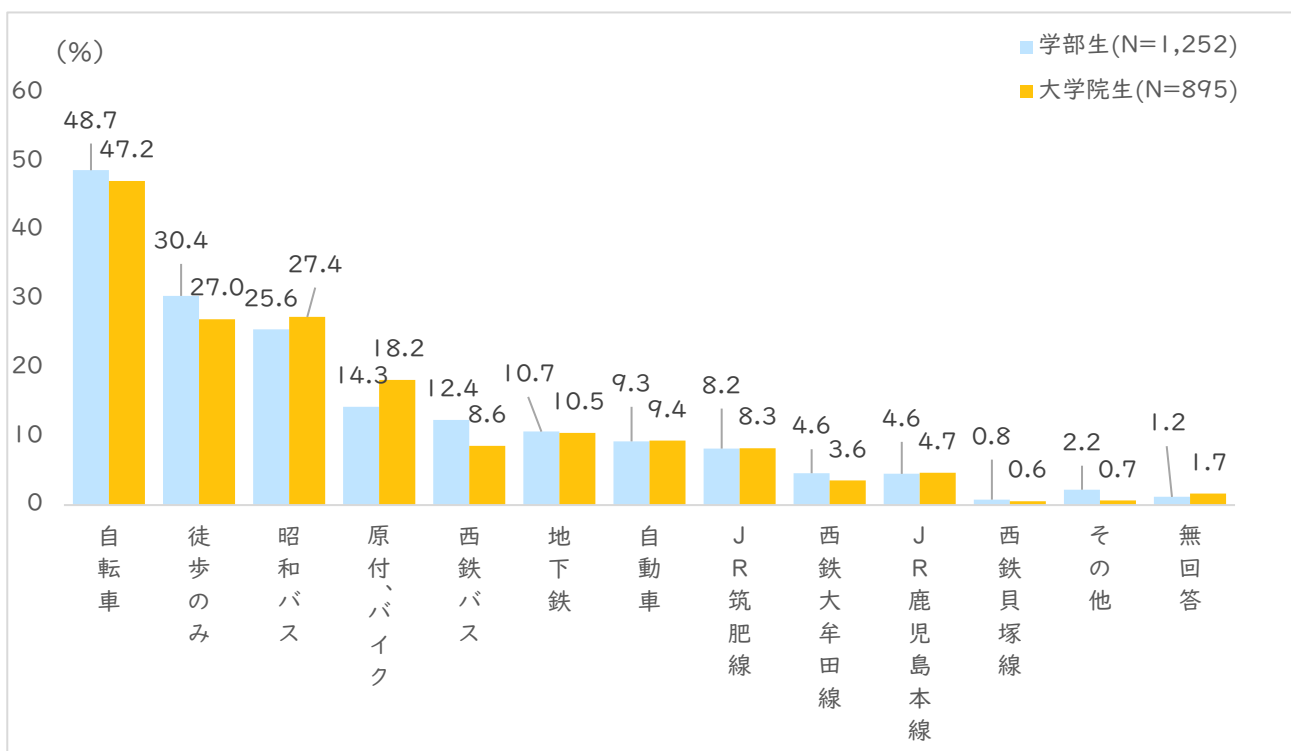


第2章 通学・事故等について

(1) 主な通学方法【複数回答可】

前回調査同様、学部生、大学院生ともに自転車が多く、ついで徒歩と昭和バスという結果となりました。また、前回調査と同様、原付、バイクについては大学院生の方が高いという特徴があります。

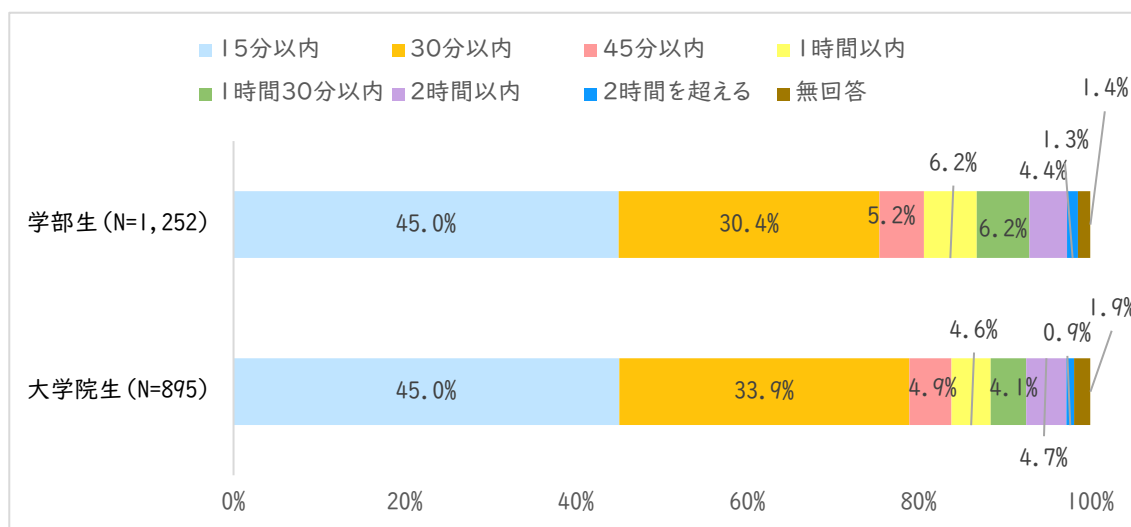
(人)	調査数	自転車	徒歩のみ	昭和バス	原付、バイク	西鉄バス	地下鉄	自動車	JR筑肥線	西鉄大牟田線	JR鹿児島本線	西鉄貝塚線	その他	無回答
学部生	1,252	610	381	320	179	155	134	116	103	58	57	10	28	15
大学院生	895	422	242	245	163	77	94	84	74	32	42	5	6	15



(2) 片道の通学時間

片道の通学時間は、前回調査と同様、「15分以内」が半数近くに達し、「30分以内」と合わせると70%以上に達します。学部生、大学院生ともに学生の多くはキャンパス近くに住んでいることがわかります。

(人)	調査数	15分以内	30分以内	45分以内	1時間以内	1時間30分以内	2時間以内	2時間を超える	無回答
学部生	1,252	563	381	65	77	77	55	16	18
大学院生	895	403	303	44	41	37	42	8	17

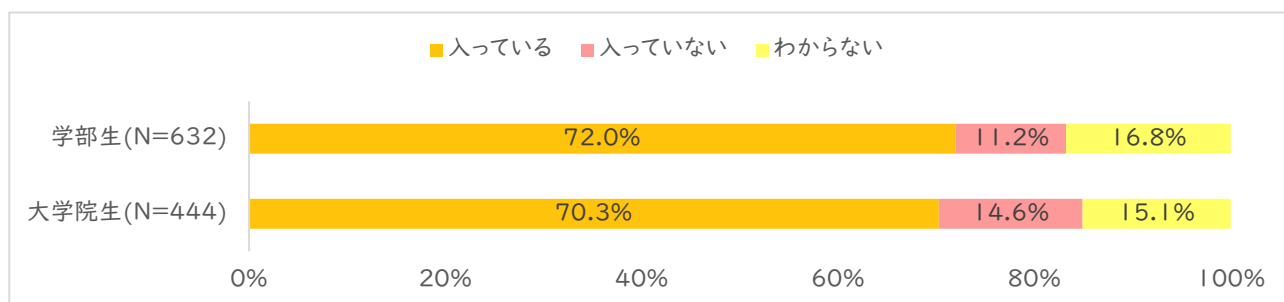


(3) 任意保険の有無【複数回答可】

前回調査と同様、自転車の任意保険の加入率は増加しています（学部生 59.3%→72.0%、大学院生 53.3%→70.3%）。保険について無関心な学生は低下傾向にありますが、さらなる意識の向上は求められます。また、原付・バイク・自動車の任意保険の加入率は全てにおいて低下しており、特にバイクの低下が目立ちます（学部生 82.7%→67.2%、大学院生 87.5%→67.3%）。こちらも意識の向上が求められます。

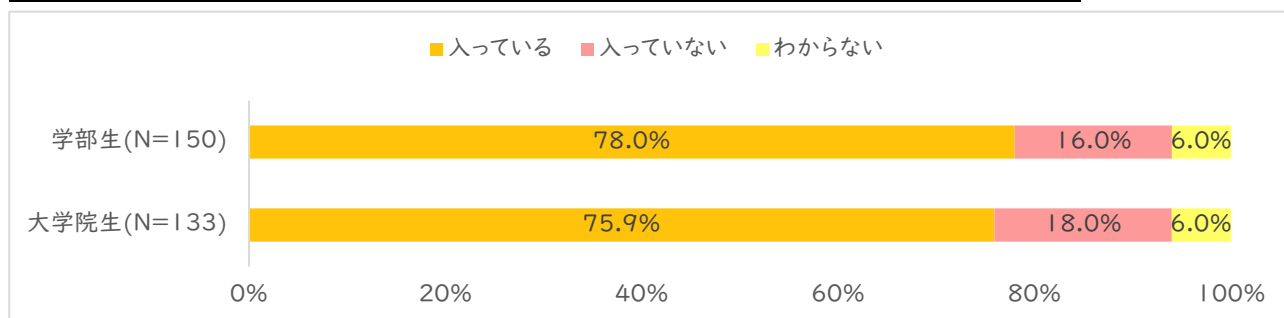
(3-1) 任意保険の有無（自転車）

(人)	調査数	入っている	入っていない	わからない
学部生	632	455	71	106
大学院生	444	312	65	67



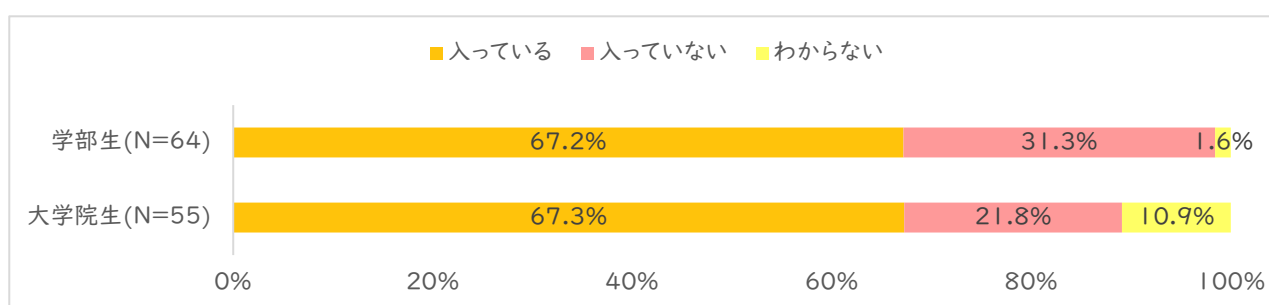
(3-2) 任意保険の有無(原付)

(人)	調査数	入っている	入っていない	わからない
学部生	150	117	24	9
大学院生	133	101	24	8



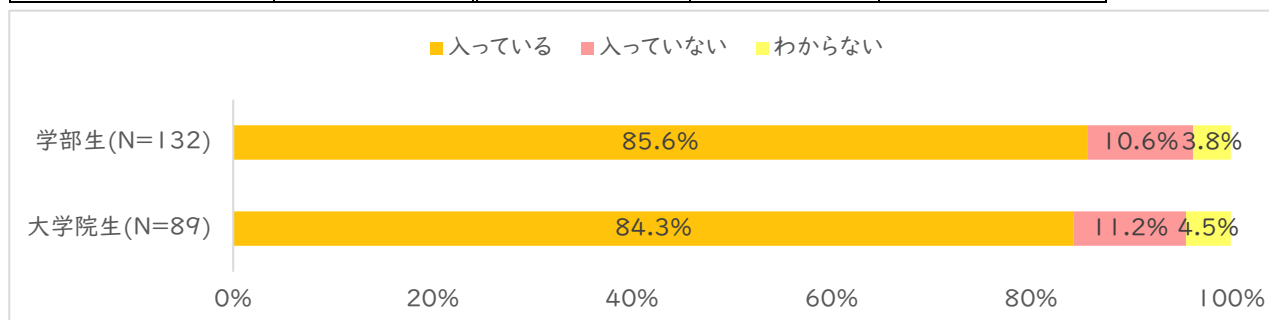
(3-3) 任意保険の有無(バイク)

(人)	調査数	入っている	入っていない	わからない
学部生	64	43	20	1
大学院生	55	37	12	6



(3-4) 任意保険の有無(自動車)

(人)	調査数	入っている	入っていない	わからない
学部生	132	113	14	5
大学院生	89	75	10	4

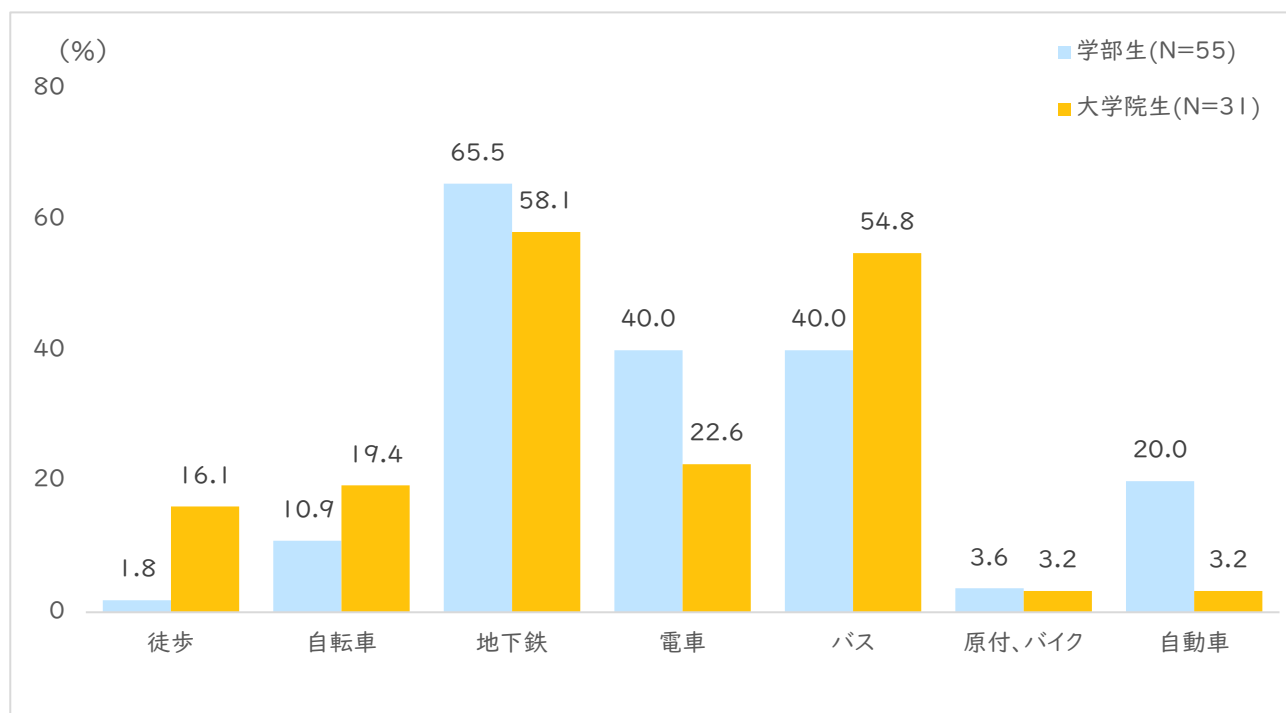


(4) キャンパス間移動の際の交通手段

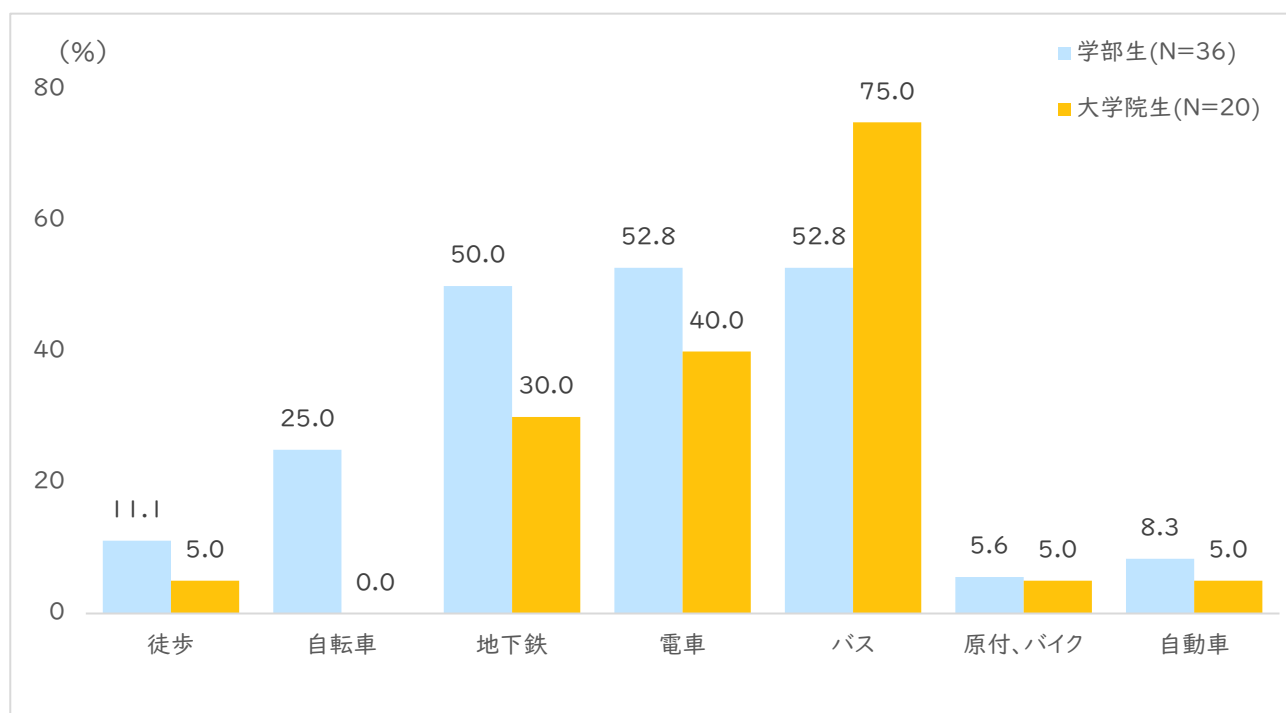
伊都キャンパスへの交通手段は地下鉄、バス、電車が多くなっています。伊都キャンパス以外のキャンパス間移動については、回答数が少ないため、傾向を把握するのは困難な状況です。

■交通手段【複数回答可】

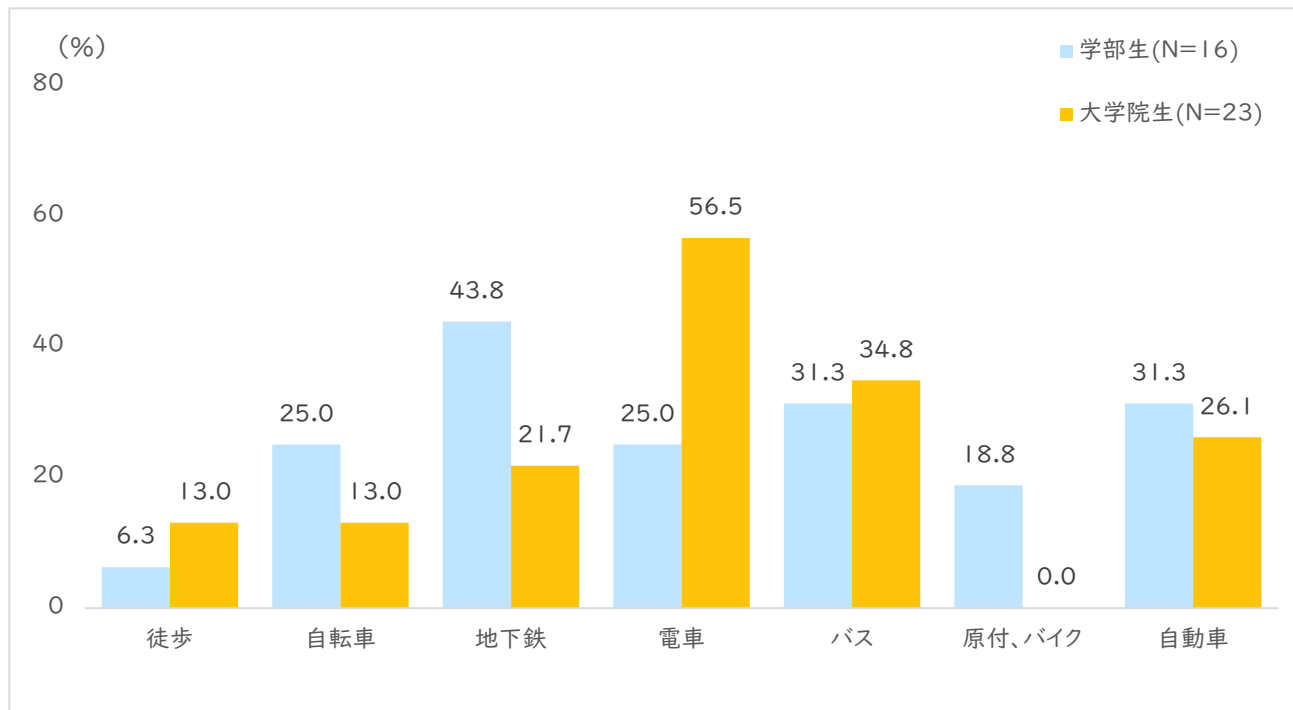
①伊都・病院間



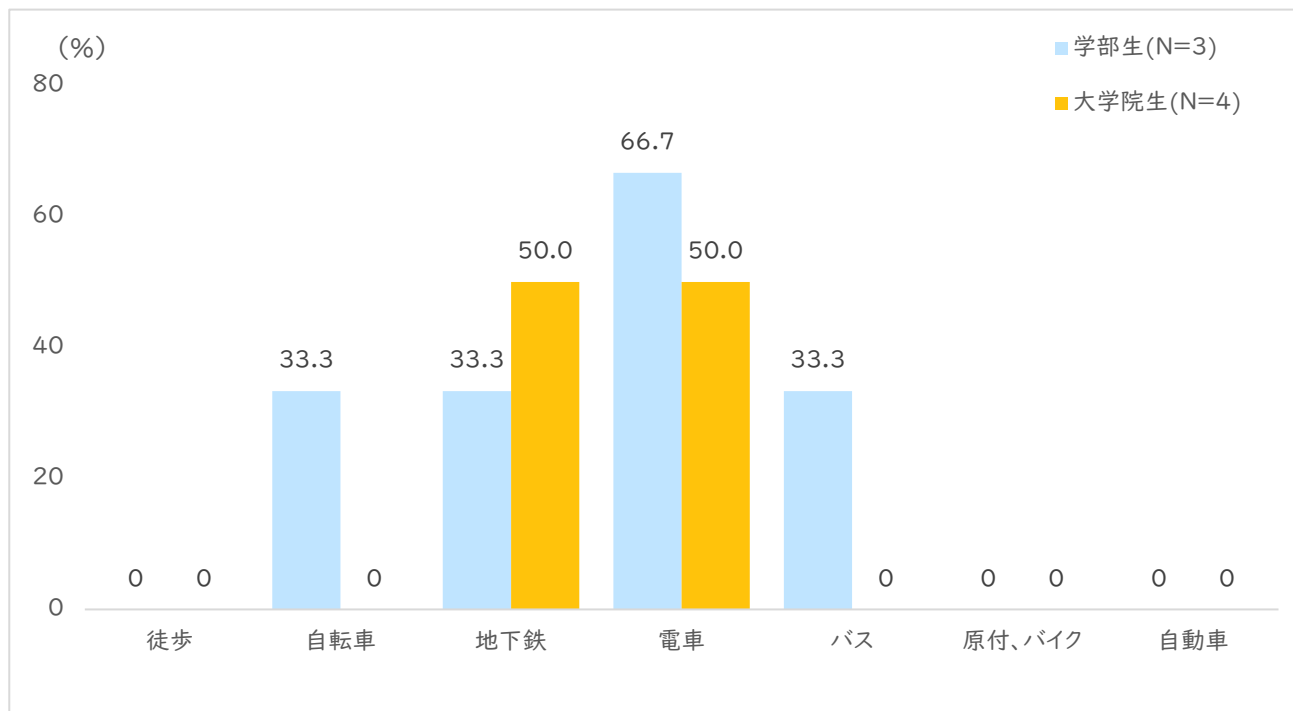
②伊都・大橋間



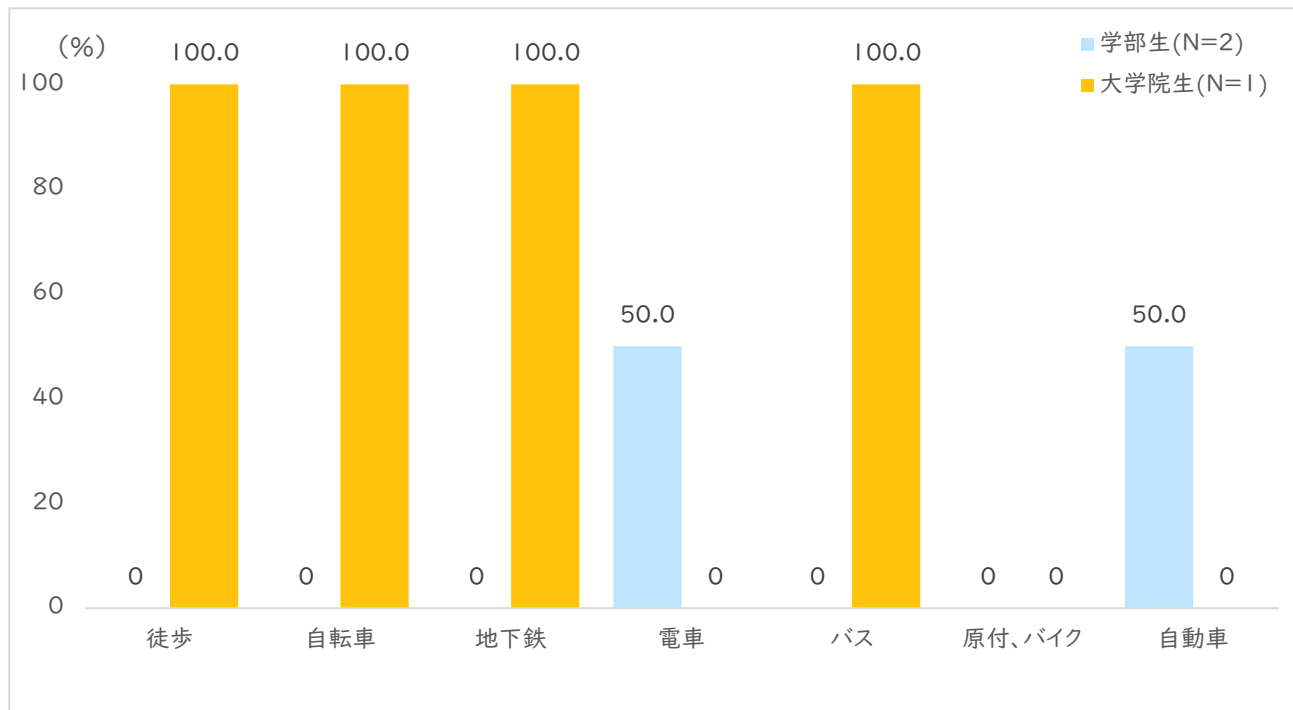
③伊都・筑紫間



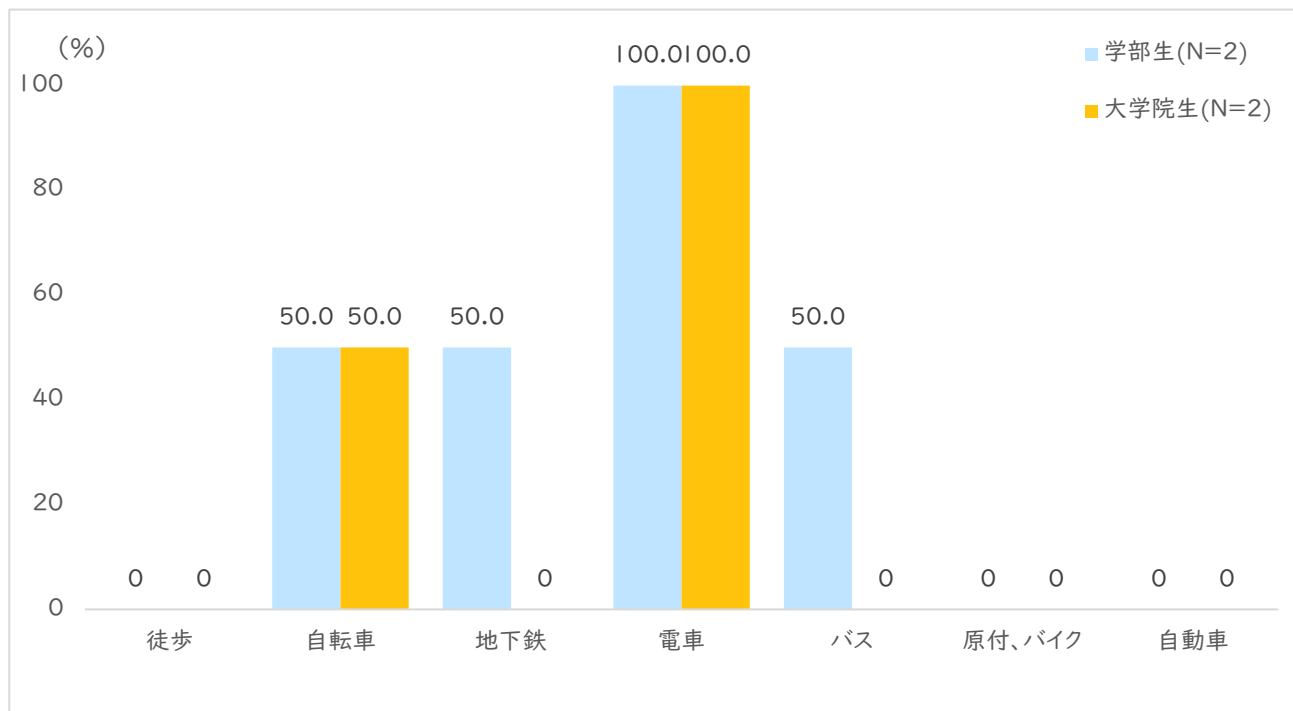
④病院・大橋間



⑤病院・筑紫間



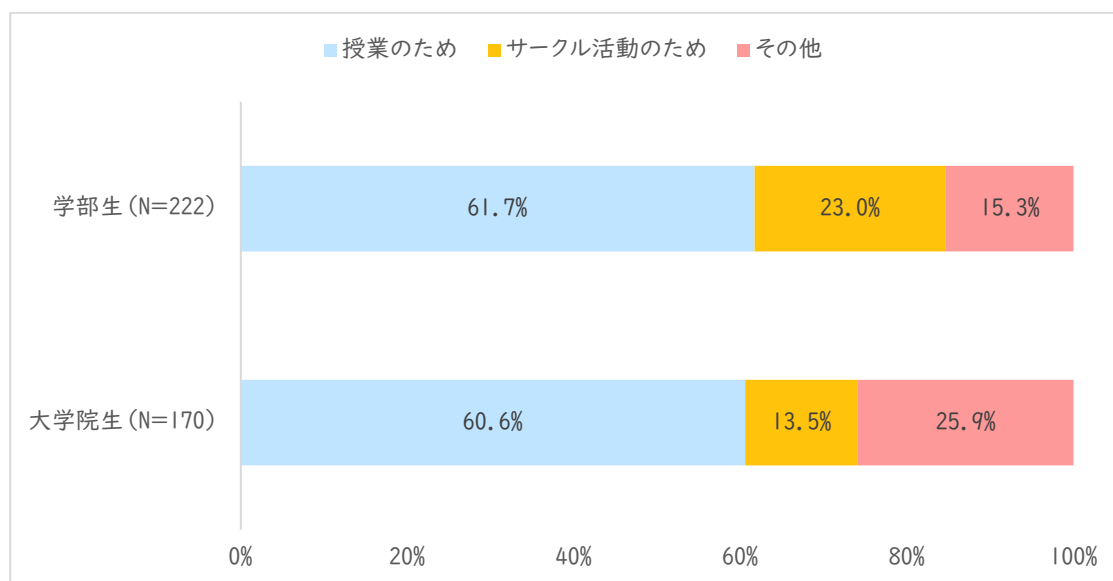
⑥大橋・筑紫間



(5) キャンパス間の主な移動理由

前回調査で多かった「その他」が大きく減少し、「授業のため」が大きく増加しています（学部生 22.5%→61.7%、大学院生 24.7%→60.6%）。

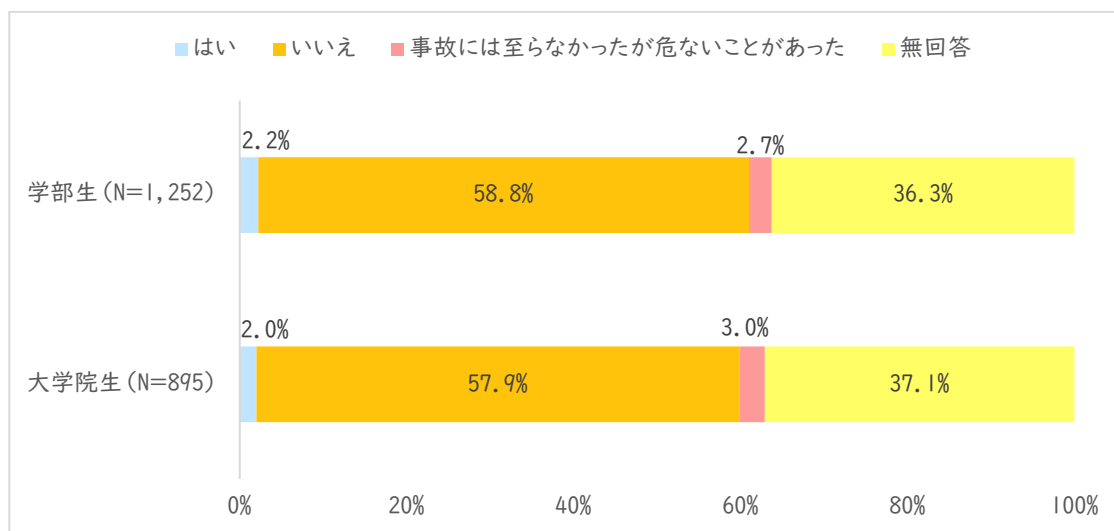
(人)	調査数	授業のため	サークル活動のため	その他
学部生	222	137	51	34
大学院生	170	103	23	44



(6)学内及びキャンパス間移動時に交通事故を起こした経験(自損・被害を含む)

交通事故の経験は、「はい」が約 2%、「いいえ」が 60%弱という結果となりました。

(人)	調査数	はい	いいえ	事故には至らなかったが危ないことがあった	無回答
学部生	1,252	28	736	34	454
大学院生	895	18	518	27	332

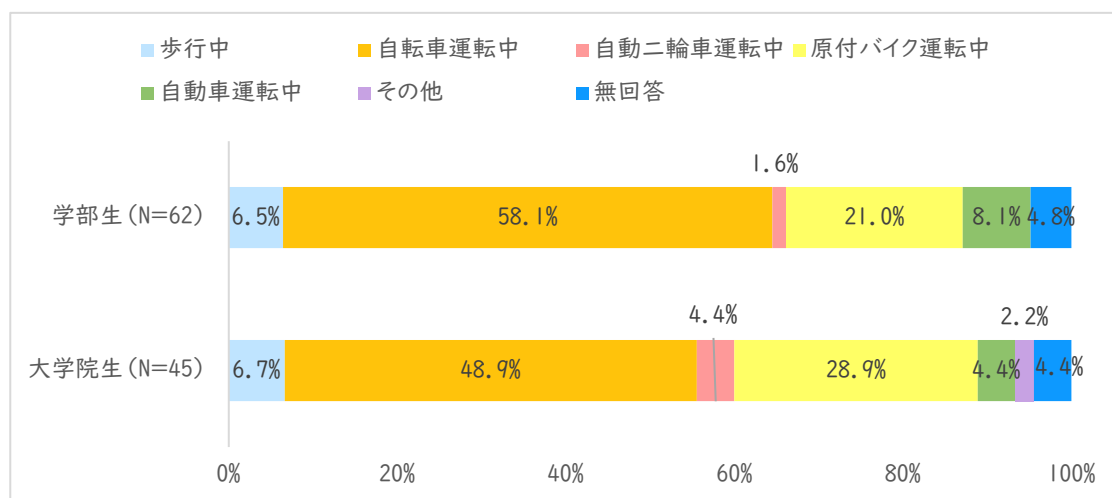


(7) 交通事故を起こした時の状況

「事故を起こしたことがある」「事故には至らなかったが危ないことがあった」と回答した方に事故時の状況を尋ねたところ、前回調査と同様、「自転車運転中」および「原付バイク運転中」が大半を占めました。

本章(1)の結果から、運転機会は自転車の方が多いため、事故の発生割合という点では「原付バイク運転中」が最も高いといえます。

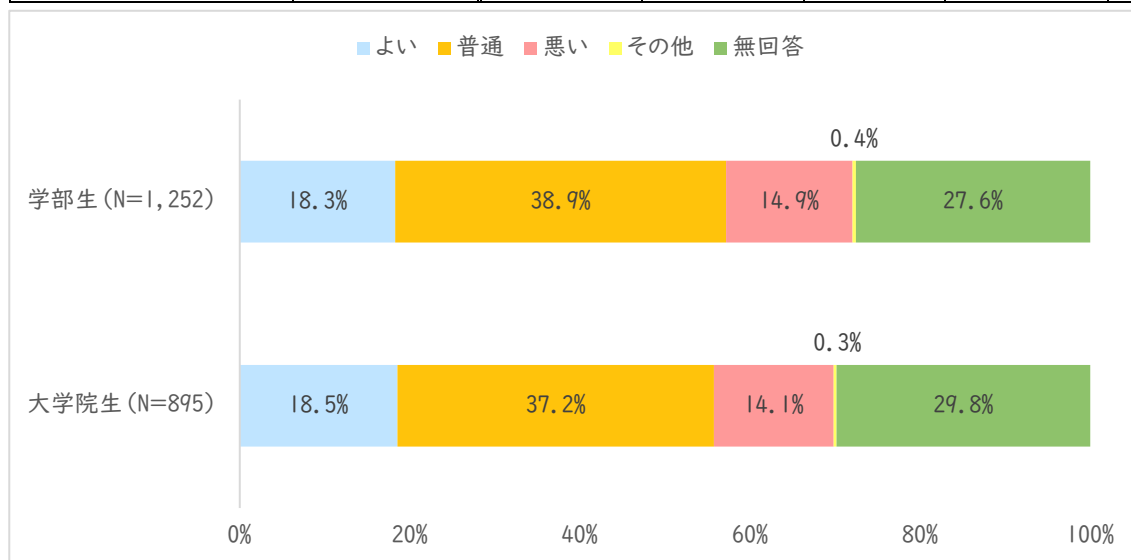
(人)	調査数	歩行中	自転車 運転中	自動二輪車 運転中	原付バイク 運転中	自動車 運転中	その他	無回答
学部生	62	4	36	1	13	5	0	3
大学院生	45	3	22	2	13	2	1	2



(8) 学生の交通マナー

前回調査に比べて「よい」が約 10%、「普通」が約 5%低下していますが、無回答も多いため解釈はやや困難です。

(人)	調査数	よい	普通	悪い	その他	無回答
学部生	1,252	229	487	186	5	345
大学院生	895	166	333	126	3	267



(9) 学生の交通マナーで良くない点

500 件以上の回答が寄せられました。

特に多い意見としては、「原付の運転マナー」と「自転車の運転マナー」に関するものでした。

【原付の運転マナー】

- ・スピードの出しすぎ ・二人乗り ・ノーヘル ・信号無視 ・ウインカーを出さない
- ・一時不停止 ・交差点等でのすり抜け ・無理な追い越し など

【自転車の運転マナー】

- ・スピードの出しすぎ(下り坂でスピードを緩めない) ・イヤホンをつけながらの運転 ・信号無視
- ・並列走行 ・歩道の走行 ・夜間の無灯火 ・駐輪場以外の場所への駐輪 など

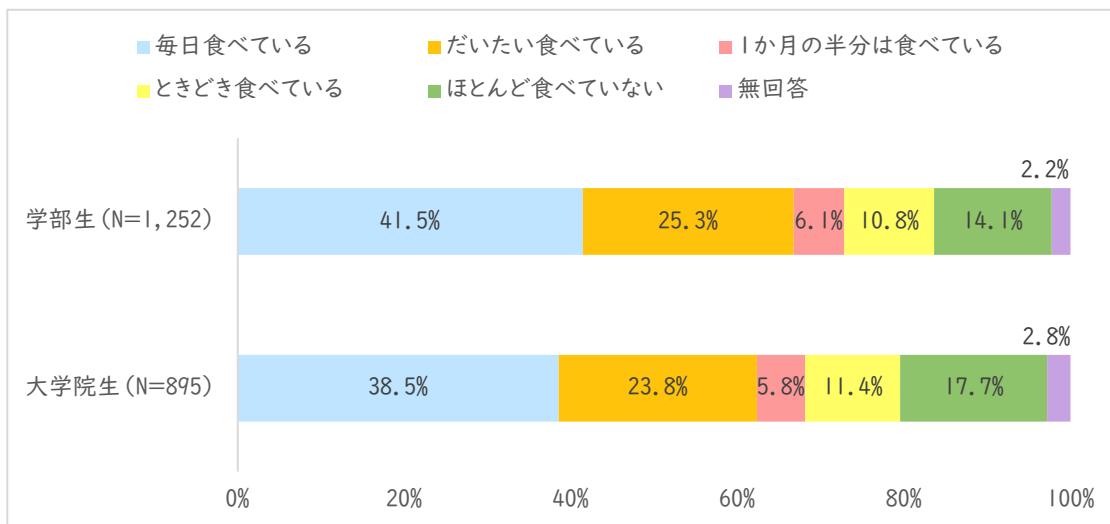
その他、歩行者の信号無視やバスの中で大声を出しているといった意見もありました。

第3章 食事について

(1) 朝食の有無

学部生では、朝食を「毎日食べている」「だいたい食べている」者の割合は 67%（前回 69%）、大学院生では 62%（前回 59%）で前回調査時とほぼ同じ傾向でした。

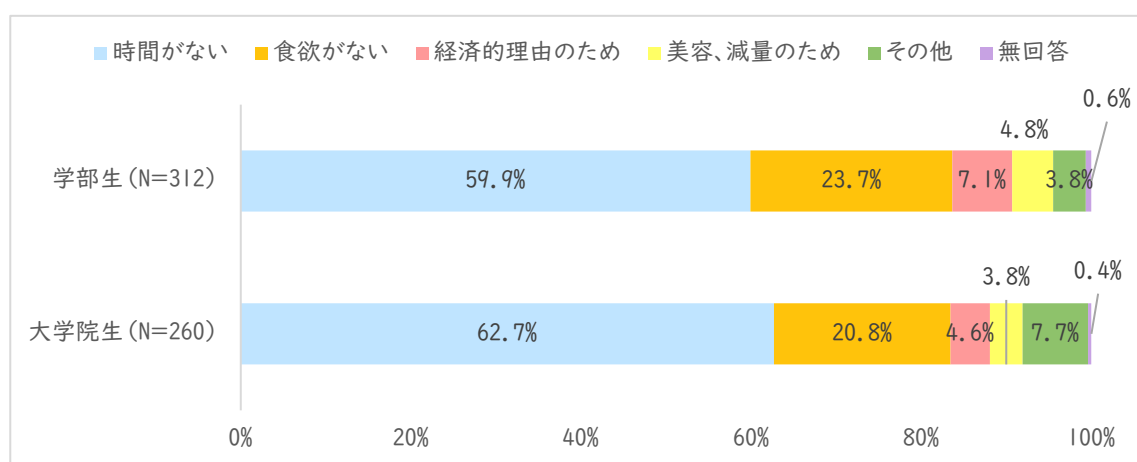
(人)	調査数	毎日 食べている	だいたい 食べている	1か月の 半分は 食べている	ときどき 食べている	ほとんど 食べて いない	無回答
学部生	1,252	519	317	76	135	177	28
大学院生	895	345	213	52	102	158	25



(2) 朝食を食べていない理由

朝食を食べていない理由も、前回調査時と同様、「時間がない」「食欲がない」の割合が 80%以上を占めています。

(人)	調査数	時間がない	食欲がない	経済的理由のため	美容、減量のため	その他	無回答
学部生	312	187	74	22	15	12	2
大学院生	260	163	54	12	10	20	1



(3) 食事の場所

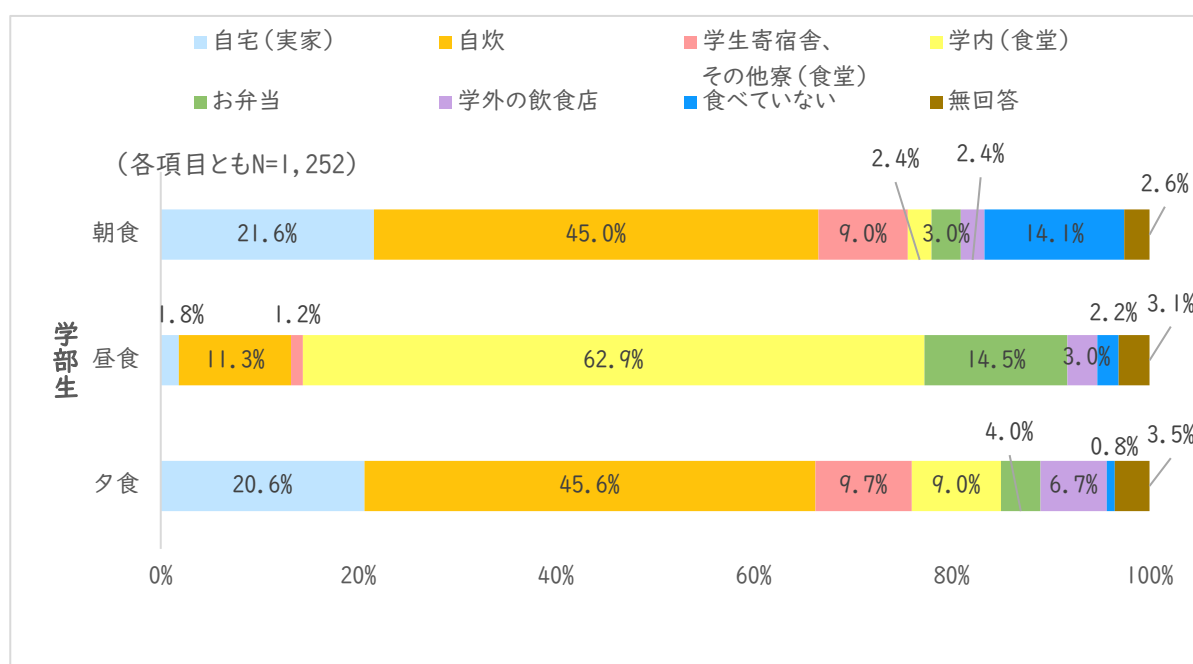
朝食は学部生・大学院生ともに自宅・寮が多数を占めています。昼食は、学部生、大学院生ともに 80%程度が学内で食事しています。夕食は、学部生では 76%、大学院生では 71%が、自宅・寮で食事をとっており、前回調査時では大学院生の外食が学部生に比較し多かった傾向がみられましたが、今回は、学部生・大学院生ともにほぼ同様の結果となりました。

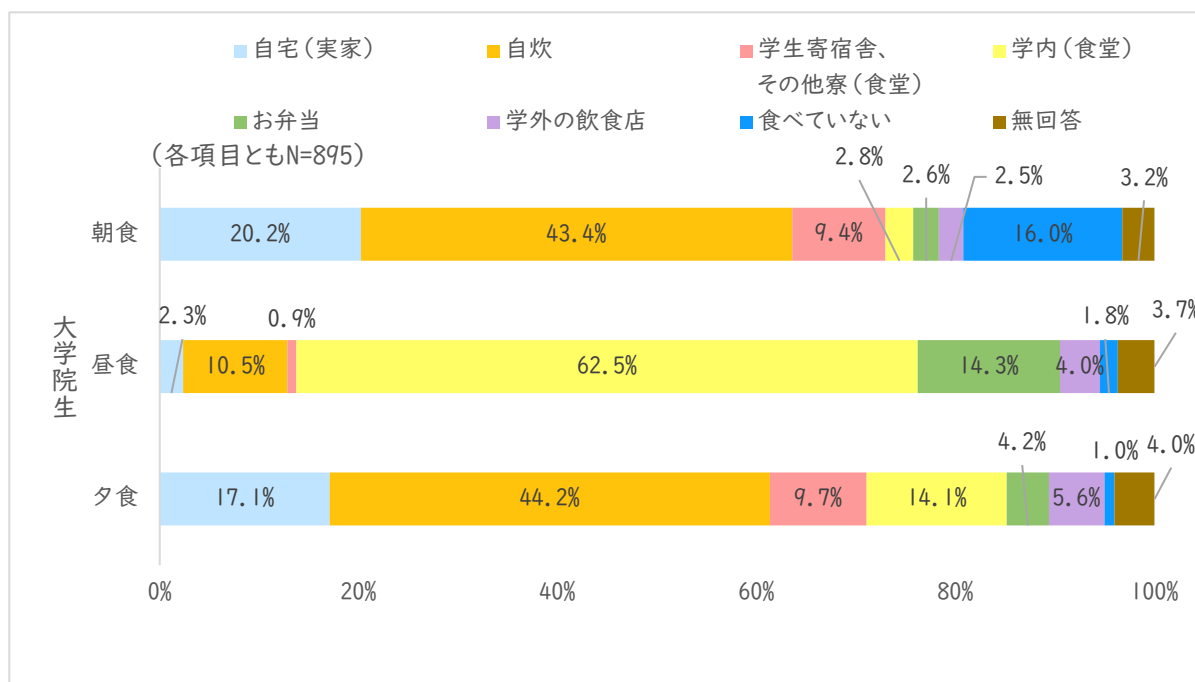
(学部生)

(人)	調査数	自宅(実家)	自炊	学生寄宿舎、 その他寮(食堂)	学内(食堂)	お弁当	学外の 飲食店	食べていない	無回答
朝食	1,252	270	563	113	30	37	30	177	32
昼食	1,252	23	142	15	787	181	38	27	39
夕食	1,252	258	571	122	113	50	84	10	44

(大学院生)

(人)	調査数	自宅(実家)	自炊	学生寄宿舎、 その他寮(食堂)	学内(食堂)	お弁当	学外の 飲食店	食べていない	無回答
朝食	895	181	388	84	25	23	22	143	29
昼食	895	21	94	8	559	128	36	16	33
夕食	895	153	396	87	126	38	50	9	36





(4) 学内の食堂の利用状況

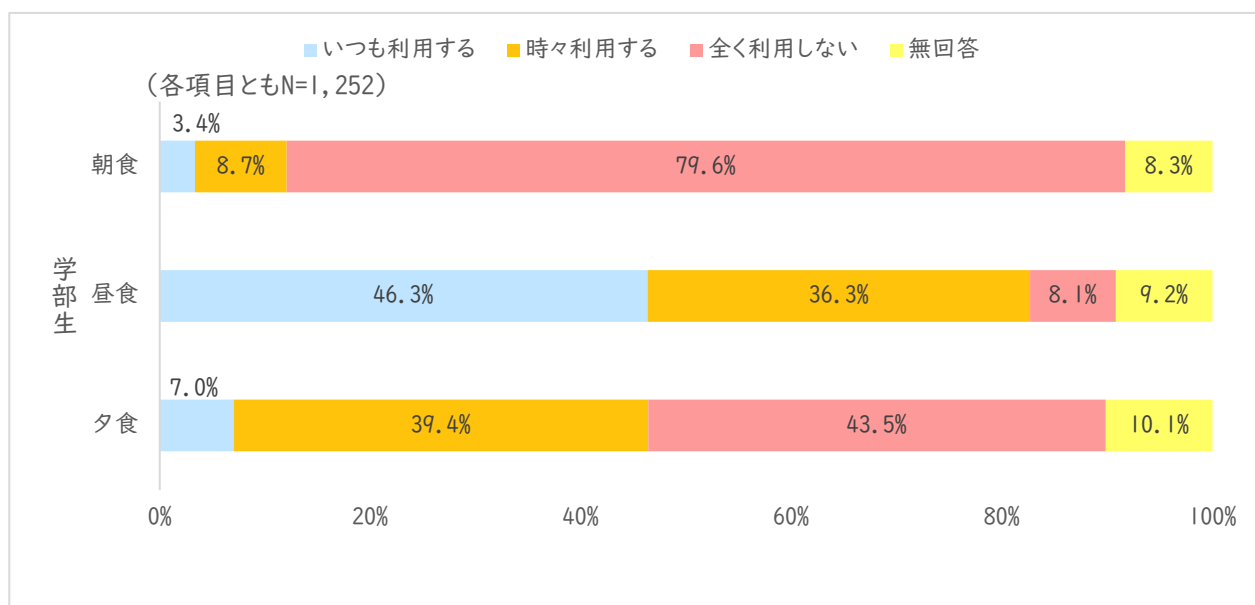
朝食での利用は学部生・大学院生ともに少ないです。昼食については学部生・大学院生ともに、学内食堂が大半を占めています。前回調査時に比べると、「いつも利用する」の割合が学部生では減少しているのに対して（学部 59.3%→46.3%）、大学院生では 増えています（37.7%→45.5%）。夕食での利用については前回調査とほぼ同じ結果でした。

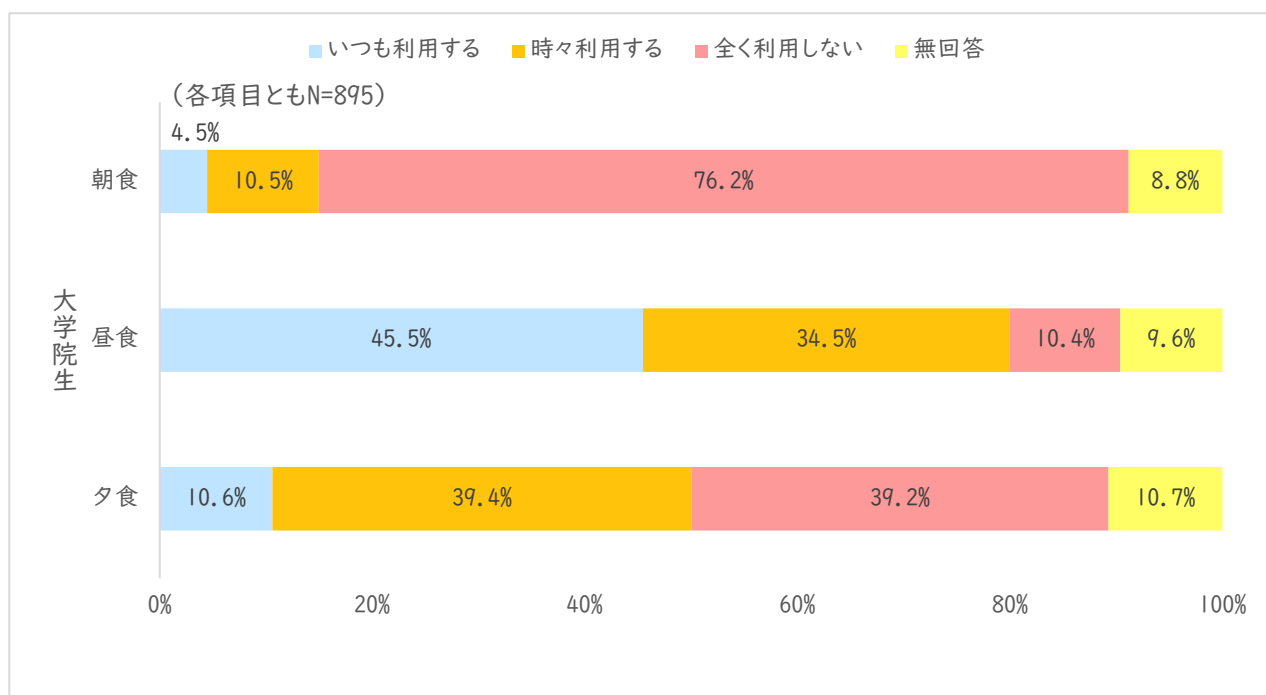
(学部生)

(人)	調査数	いつも 利用する	時々 利用する	全く 利用しない	無回答
朝食	1,252	42	109	997	104
昼食	1,252	580	455	102	115
夕食	1,252	88	493	544	127

(大学院生)

(人)	調査数	いつも 利用する	時々 利用する	全く 利用しない	無回答
朝食	895	40	94	682	79
昼食	895	407	309	93	86
夕食	895	95	353	351	96

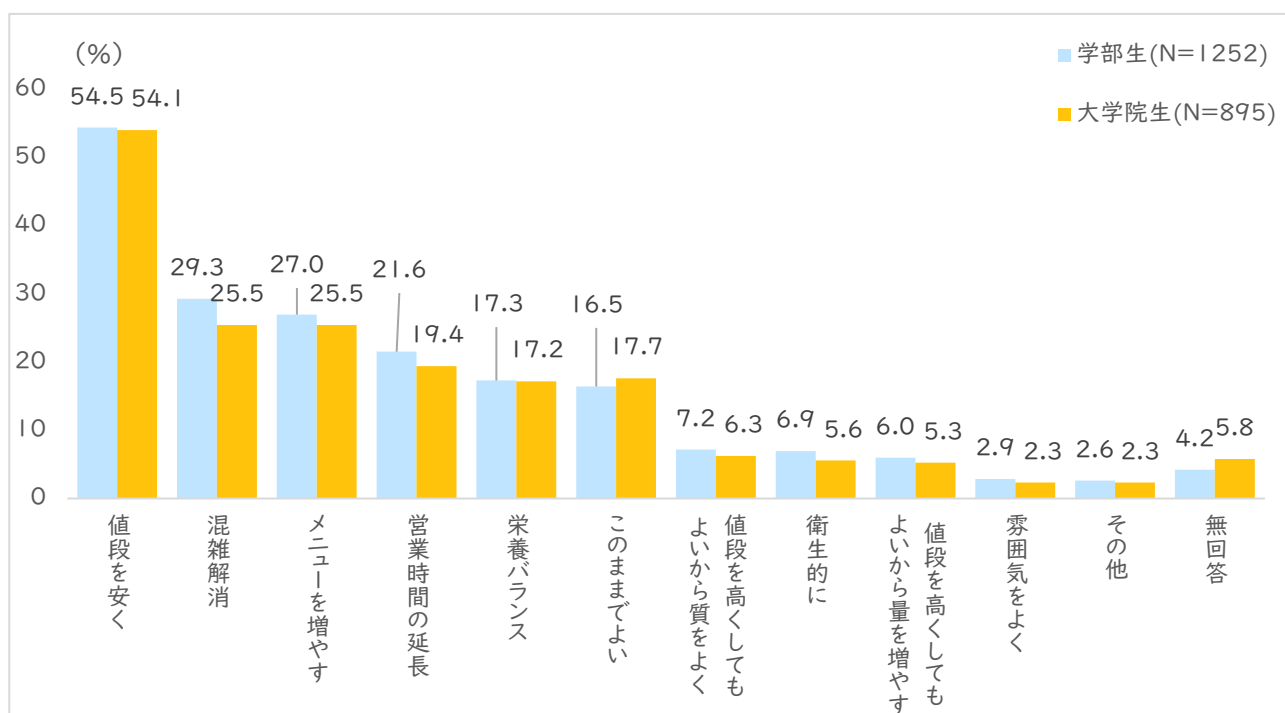




(5) 学内の食堂の改善すべき点【複数回答可】

上位になった項目は「値段を安く」「混雑解消」「メニューを増やす」で前回調査と同じですが、最も多かった「値段を安く」の割合は増加し(学部生 46.6%→54.5%、大学院生 41.1%→54.1%)、次に多かった「混雑解消」の割合は減少(学部生 45.6%→29.3%、大学院生 26.0%→25.5%)しています。

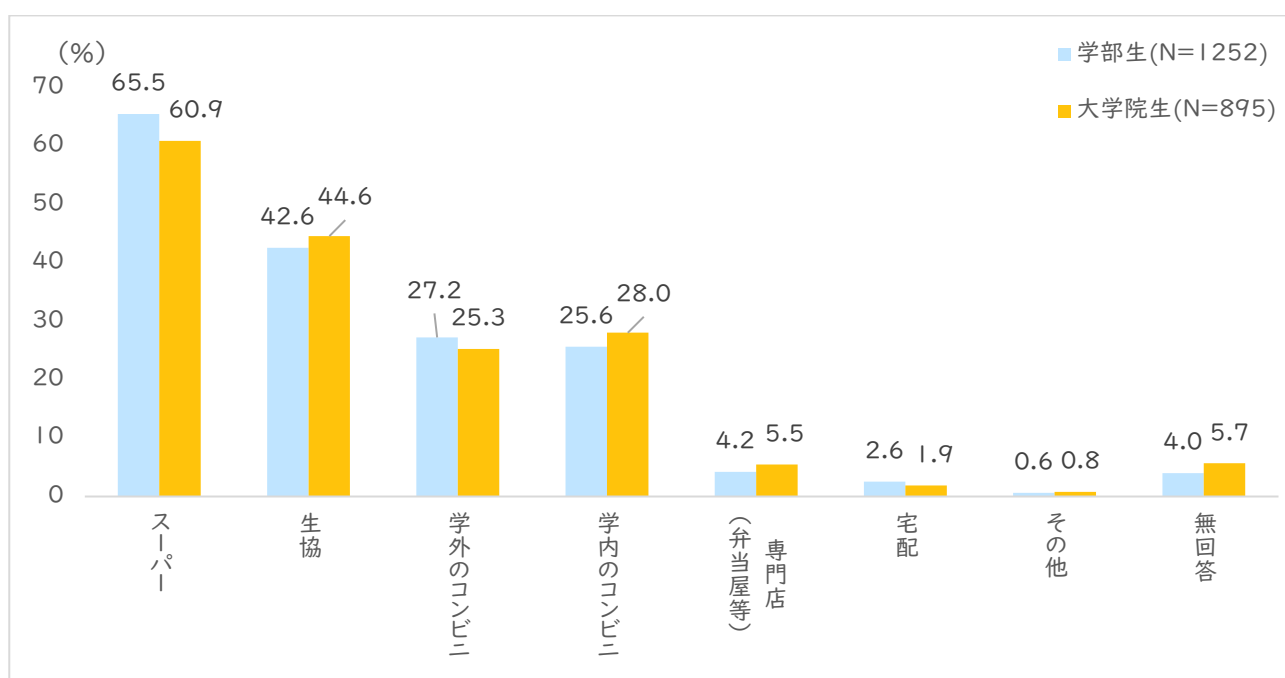
(人)	調査数	値段を安く	混雑解消	メニューを増やす	営業時間の延長	栄養バランス	このままでよい	値段を高くしても よいから質をよく	衛生的に	値段を高くしても よいから量を増やす	雰囲気をよく	その他	無回答
学部生	1,252	682	367	338	270	217	206	90	87	75	36	33	53
大学院生	895	484	228	228	174	154	158	56	50	47	21	21	52



(6) 食材購入場所【複数回答可】

今回初めて調査した項目であり、学部生・大学院生ともに、「スーパー」「生協」の順となりました。

(人)	調査数	スーパー	生協	学外のコンビニ	学内のコンビニ	(弁当屋等) 専門店	宅配	その他	無回答
学部生	1,252	820	533	341	321	53	32	8	50
大学院生	895	545	399	226	251	49	17	7	51

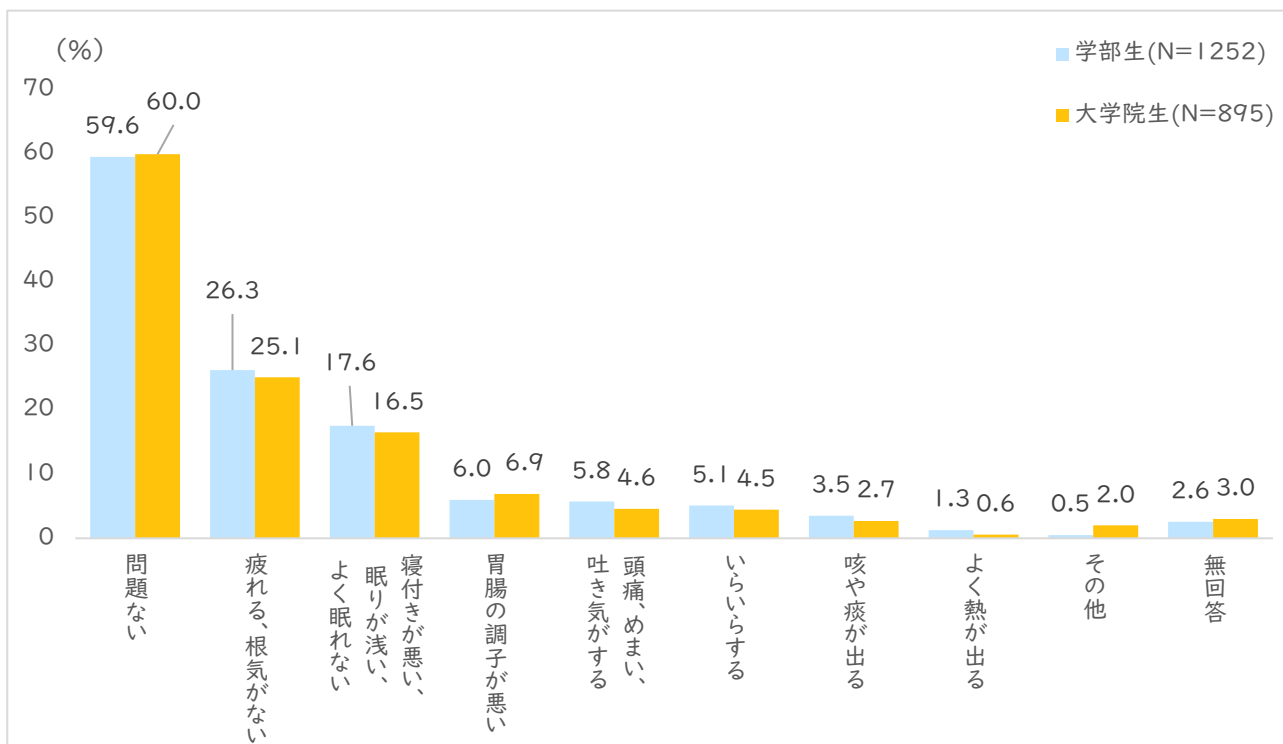


第4章 健康管理について

(1) 最近の体調【複数回答可】

今回の調査でも、前回調査同様約6割の学生が問題ないと答えていました。疲れる、睡眠、胃腸の調子、いらする、なども前回と同様の結果でした。

(人)	調査数	問題ない	疲れる、根気がない	眠りが浅い、よく眠れない、寝付きが悪い	胃腸の調子が悪い	頭痛、めまい、吐き気がする	いらいらする	咳や痰が出る	よく熱が出る	その他	無回答
学部生	1,252	746	329	220	75	72	64	44	16	6	32
大学院生	895	537	225	148	62	41	40	24	5	18	27

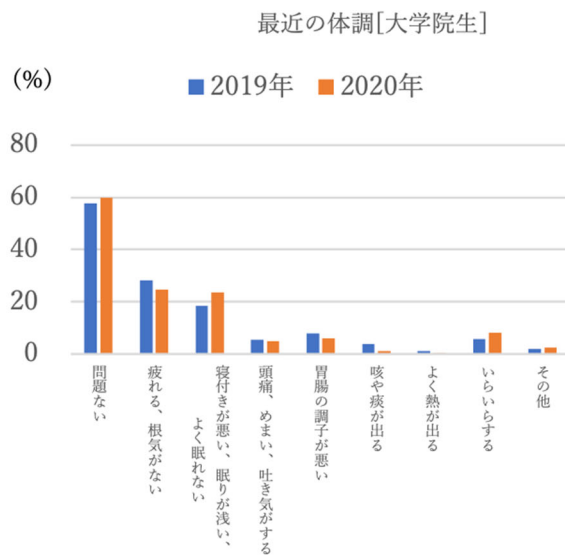
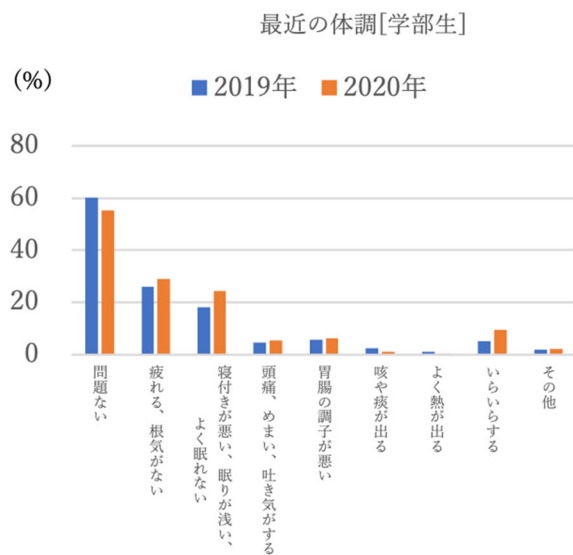


<参考:2019年度と2020年度調査＊の比較、新型コロナウイルス感染症の影響>

新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年度は睡眠が悪化したり、いらいらするなどの回答が増えています。

＊:令和2年春学期学生生活およびオンライン授業に関する学生アンケート結果報告書(学生生活パート)

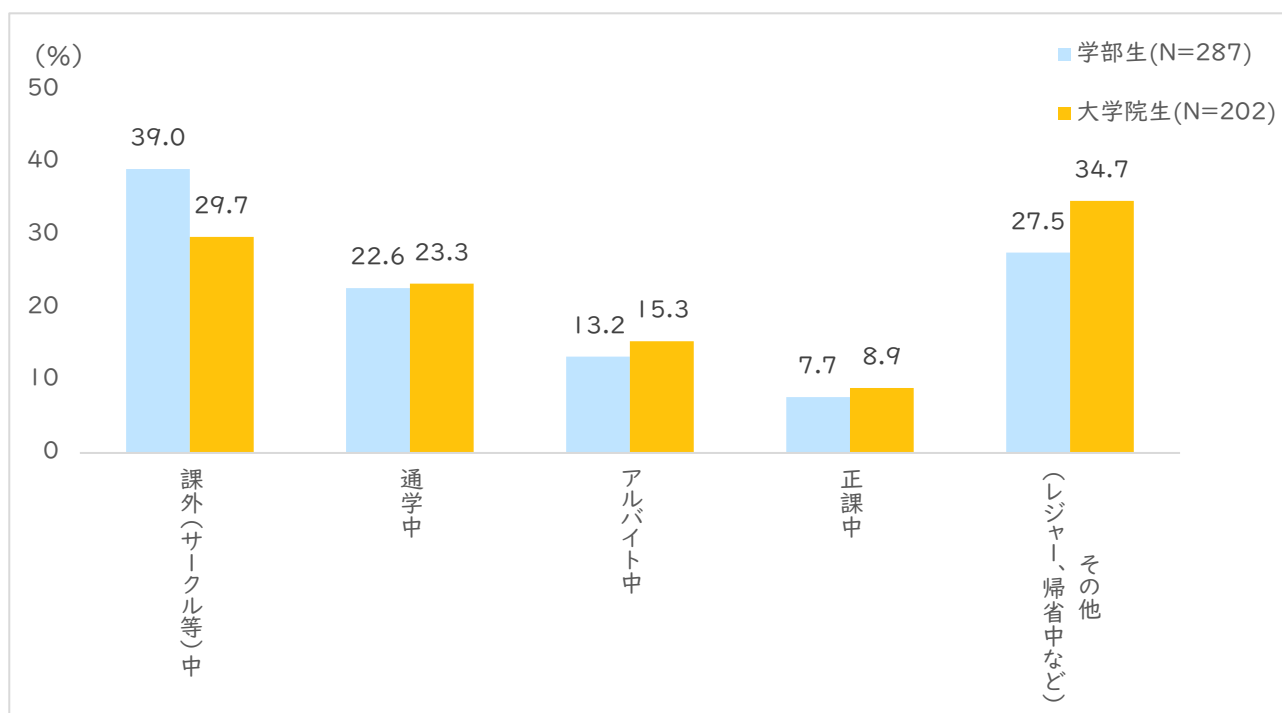
令和2年8月作成



(2) 入学後に怪我をしたときの状況【複数回答可】

入学後に怪我をした学生にその発生状況を尋ねたところ、前回調査同様、1位「課外(サークル等)中」、2位「通学中」という結果でした。その他と答えた回答も多く、様々な多様な場面での怪我が起きていることがわかります。前回に比べ、課外活動(学部生 52.5%→39.0%)、通学中(大学院生 34.3%→23.3%)が減少し、その他が増加しています(学部生 16.9%→27.5%)。

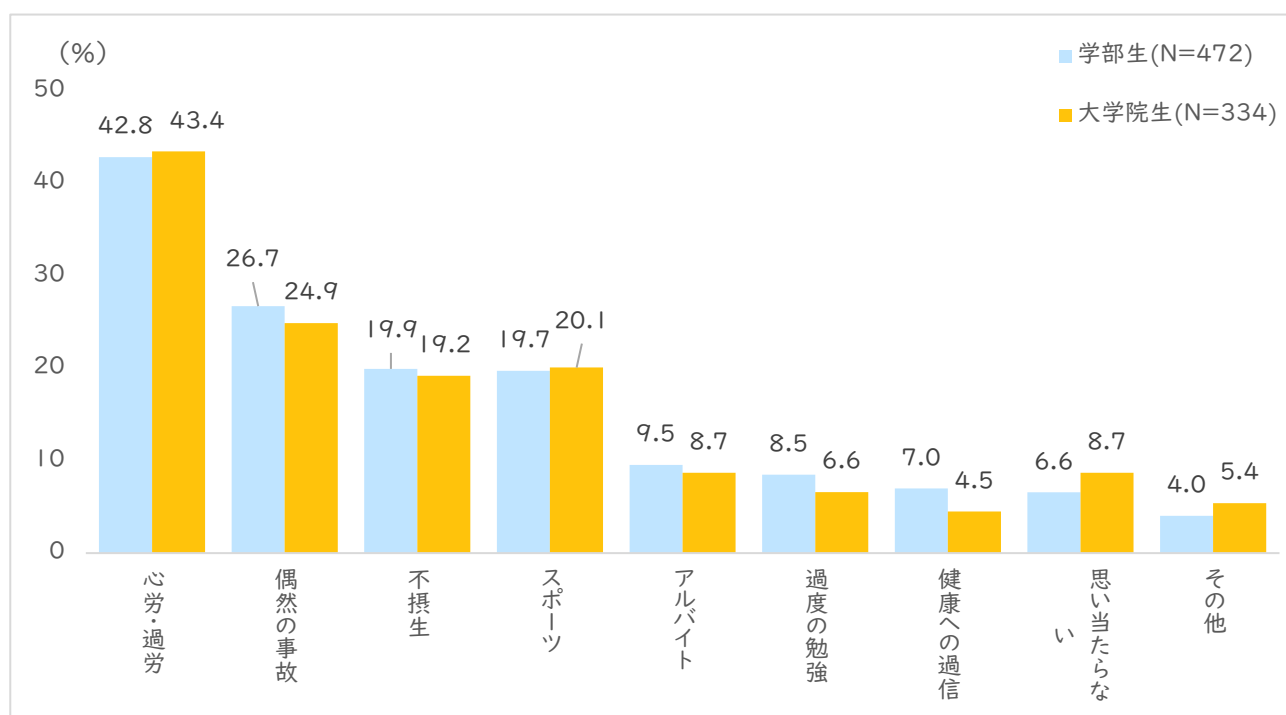
(人)	調査数	課外(サークル等)中	通学中	アルバイト中	正課中	(レジャー、帰省中など) その他
学部生	287	112	65	38	22	79
大学院生	202	60	47	31	18	70



(3) 怪我や体調不良の主な原因【複数回答可】

入学後に怪我や体調不良に至った学生に、考えられる主な原因を尋ねたところ、学部生・大学院生ともに「心労・過労」が１位という結果でした。学部生では、前年度に比べて、「スポーツ」（学部生 26.4%→19.7%）が減り、「心労・過労」（学部生 36.4%→42.8%）、「偶然の事故」（学部生 20.6%→26.7%）、「過度の勉強」（学部生 4.6%→8.5%）、「健康への過信」（学部生 5.3%→7.0%）が増加していました。

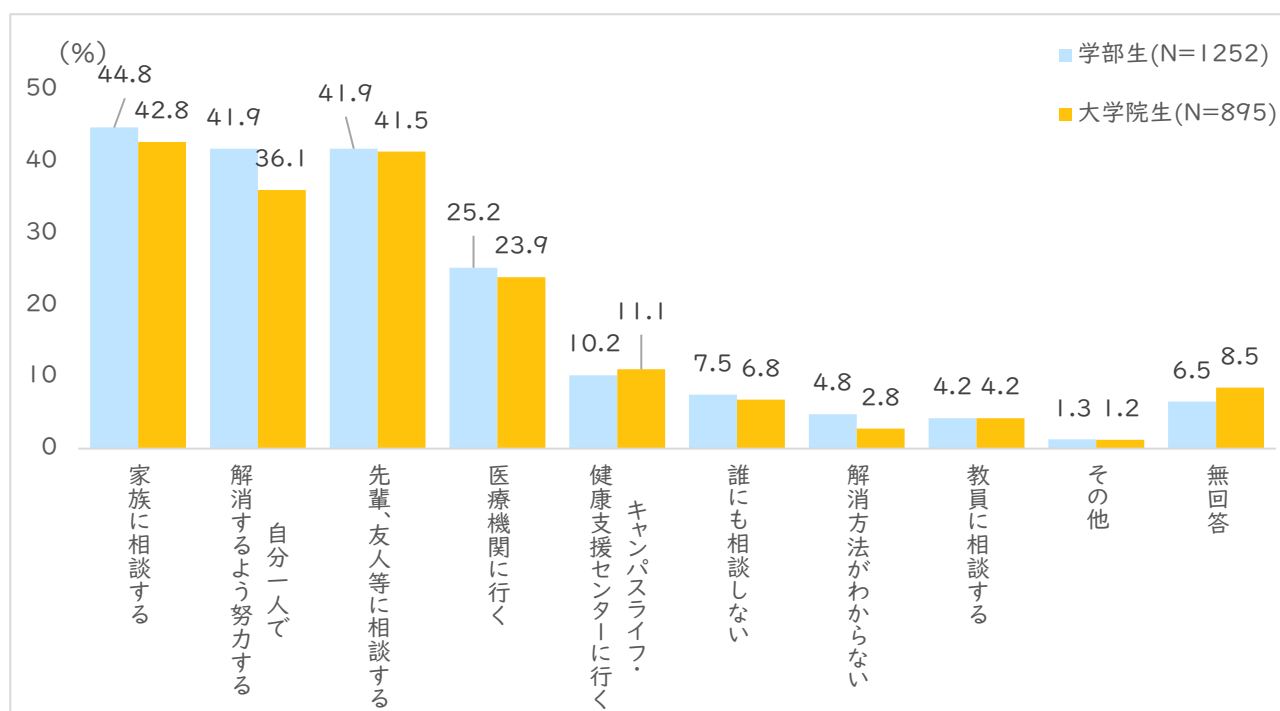
(人)	調査数	心労・過労	偶然の事故	不摂生	スポーツ	アルバイト	過度の勉強	健康への過信	思い当たらない	その他
学部生	472	202	126	94	93	45	40	33	31	19
大学院生	334	145	83	64	67	29	22	15	29	18



(4) 身体面、心理面での悩みの解消方法【複数回答可】

前は「先輩、友人等に相談する」(学部生 50.1%)、「自分一人で解消するよう努力する」(学部生 46.2%)、「家族に相談する」(41.9%)の順でしたが、今回の調査では「家族に相談する」(学部生44.8%)、「自分一人で解消するよう努力する」(学部生41.9%)、「先輩、友人等に相談する」(学部生41.9%)の順となりました。先輩、友人への相談がやや減少しているようです。

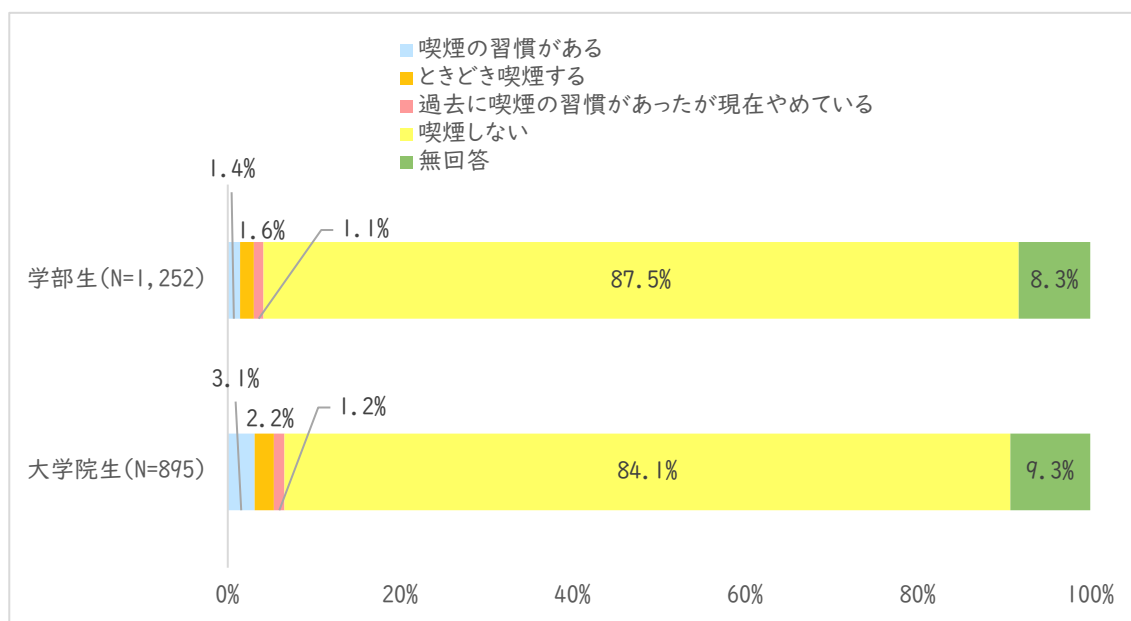
(人)	調査数	家族に相談する	自分一人で 解消するよう努力する	先輩、友人等に相談する	医療機関に行く	健康支援センターに行く キャンパスライフ・	誰にも相談しない	解消方法がわからない	教員に相談する	その他	無回答
学部生	1,252	561	524	524	316	128	94	60	53	16	82
大学院生	895	383	323	371	214	99	61	25	38	11	76



(5) 喫煙の有無

喫煙者は減少しています。社会の風潮や、キャンパス内の全面禁煙の効果の表れと考えられます。また、無回答の割合が増えています。

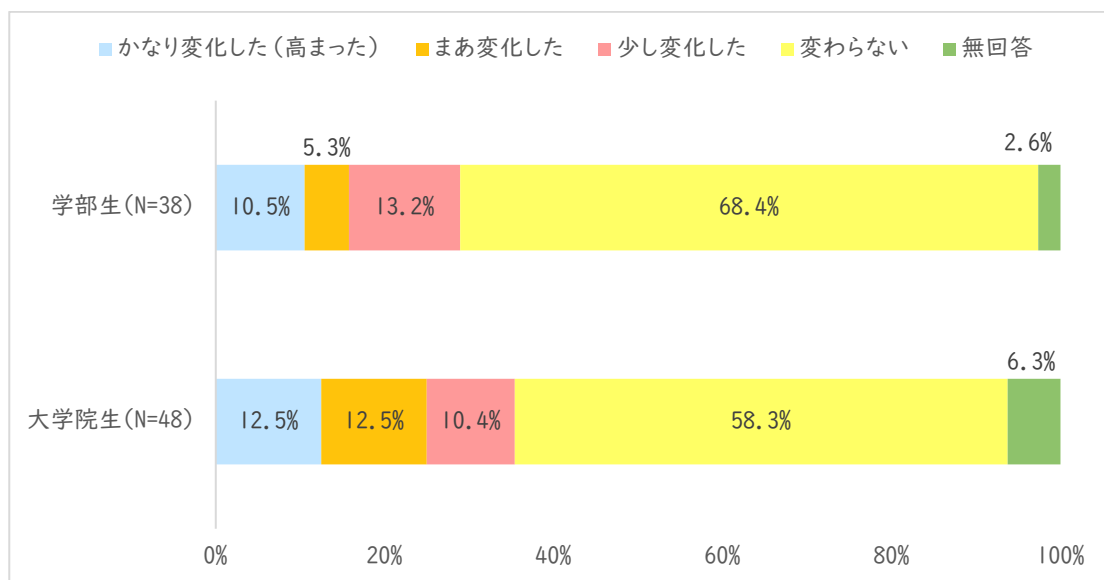
(人)	調査数	喫煙の習慣がある	ときどき喫煙する	過去に喫煙の習慣があったが現在やめている	喫煙しない	無回答
学部生	1,252	18	20	14	1,096	104
大学院生	895	28	20	11	753	83



(6) キャンパス内全面禁煙を受けて、禁煙に対する意識の変化

対象人数が少ないですが、「喫煙の習慣がある」「ときどき喫煙する」と回答した学生のうち、意識が変化した人が増えたようです。

(人)	調査数	かなり変化した (高まった)	まあ変化した	少し変化した	変わらない	無回答
学部生	38	4	2	5	26	1
大学院生	48	6	6	5	28	3

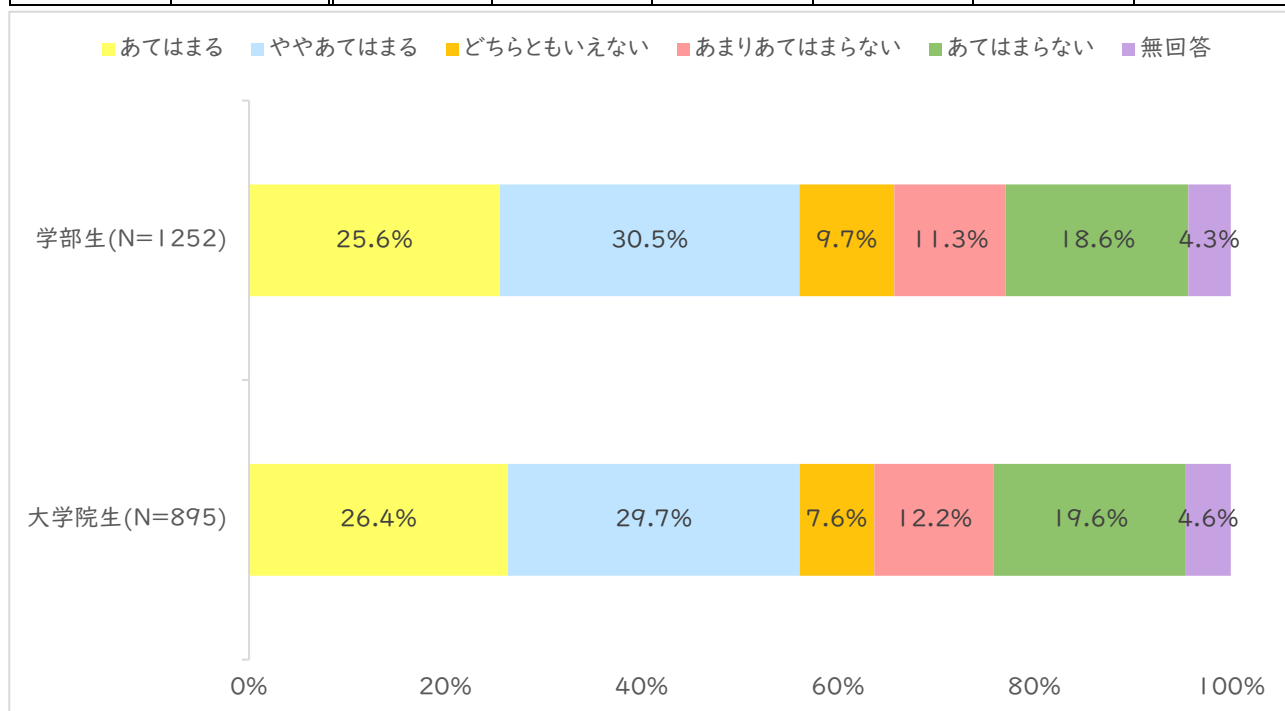


(7-1) から(9-6)までの項目は新型コロナウイルスの影響を調べるために今年度加えた項目になります。2020年度の調査*と比較をしています。

(7-1)この1か月①将来への不安

今回の調査では、学部生、大学院生の6割弱が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答しています。新型コロナウイルスの最中の2020年度の調査*では、学部生は6割弱の学生が、そして大学院生の7割弱の学生が「あてはまる」「ややあてはまる」としており、学部生は変化がなく、大学院生の将来の不安は減少しているようです。

(人)	調査数	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
学部生	1,252	320	382	121	142	233	54
大学院生	895	236	266	68	109	175	41



2020年度の調査*: 令和2年春学期学生生活およびオンライン授業に関する学生アンケート結果報告書(学生生活パート) 令和2年8月作成

方法

対象: 全学部学生・大学院生(留学生を含む)

アンケート実施期間: 2020年6月1日から6月9日

調査方法: Moodle を利用した Web アンケート

調査項目: 全38項目(属性を含む)

回答者の属性

総回答数: 6,070 件 (回答率: 33.2%)

有効回答数: 5,888 名

属性: 学部生 4,328 名、大学院生 1,560 名、日本人 5,330 名、留学生 558 名

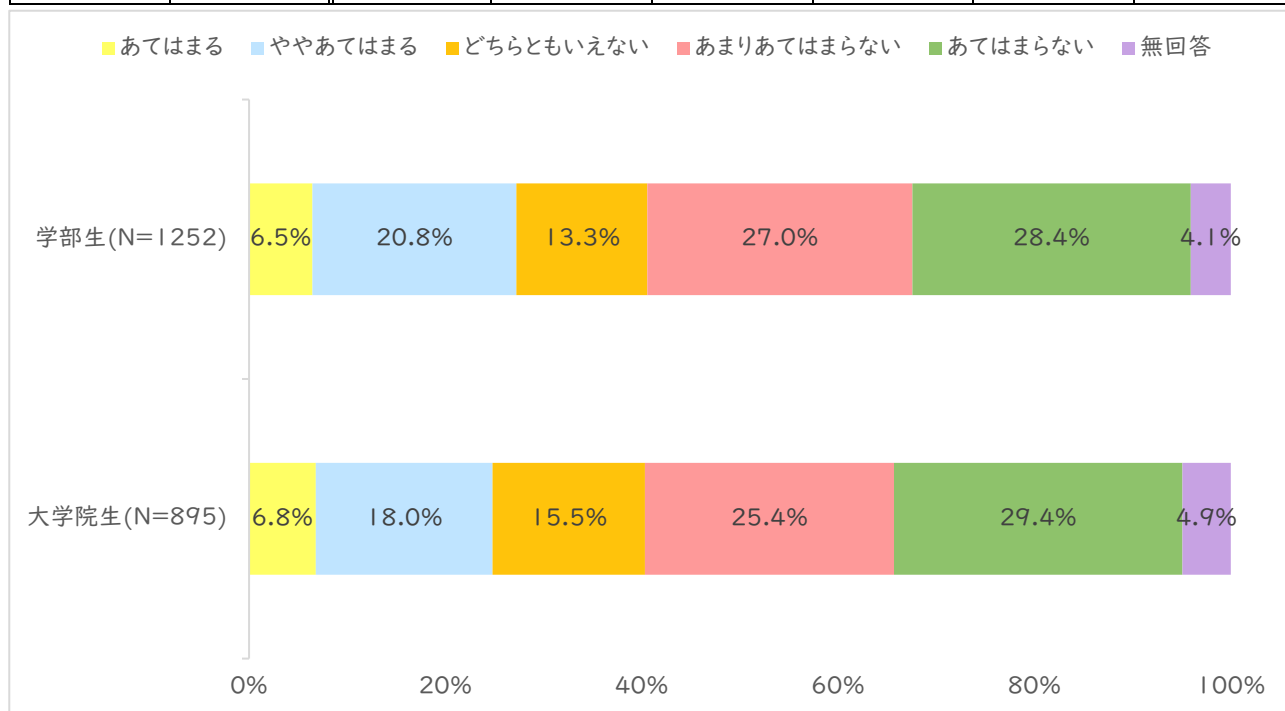
性別: 男性 3,809 名、女性 2,057 名、その他 22 名

所属キャンパス: 伊都 4,525 名、大橋 251 名、馬出 781 名、筑紫 245 名、その他 86 名

(7-2)この1か月②イライラする

今回の調査では約25%の学生が「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答していました。2020年の調査では、学部生、大学院生の3割強の学生が「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答しており、やや減少しているようです。

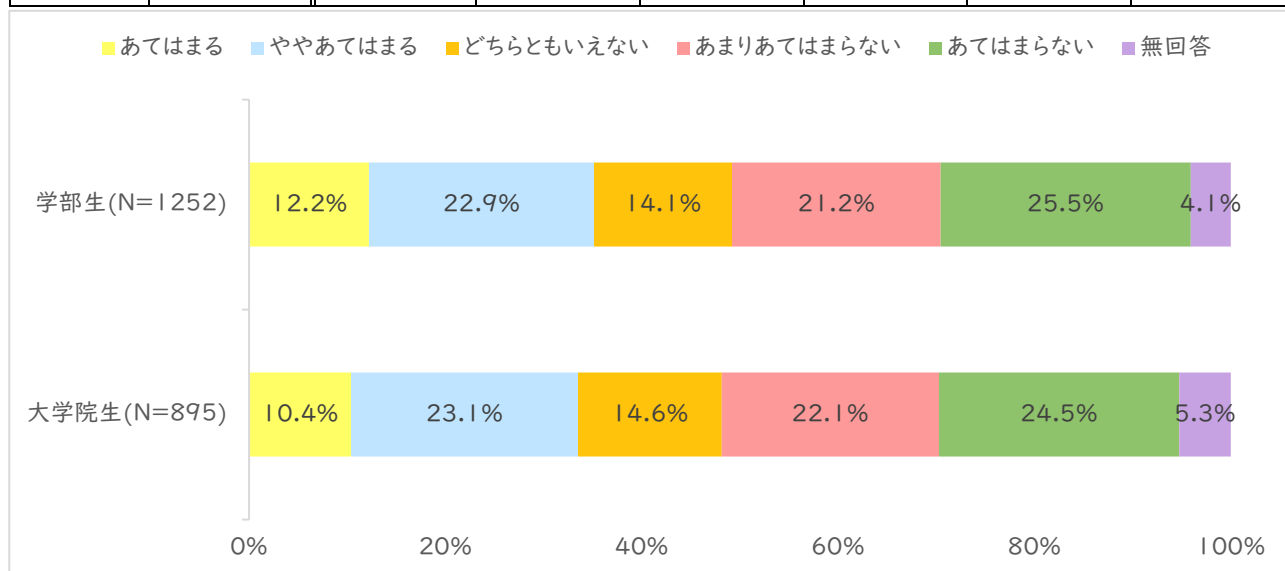
(人)	調査数	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
学部生	1,252	81	260	167	338	355	51
大学院生	895	61	161	139	227	263	44



(7-3) この1か月③気分の落ち込み

今回の調査では約35%の学生が「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答していました。2020年の調査では、約42%の学生が「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答しており、気分の落ち込みはやや減少しているようです。

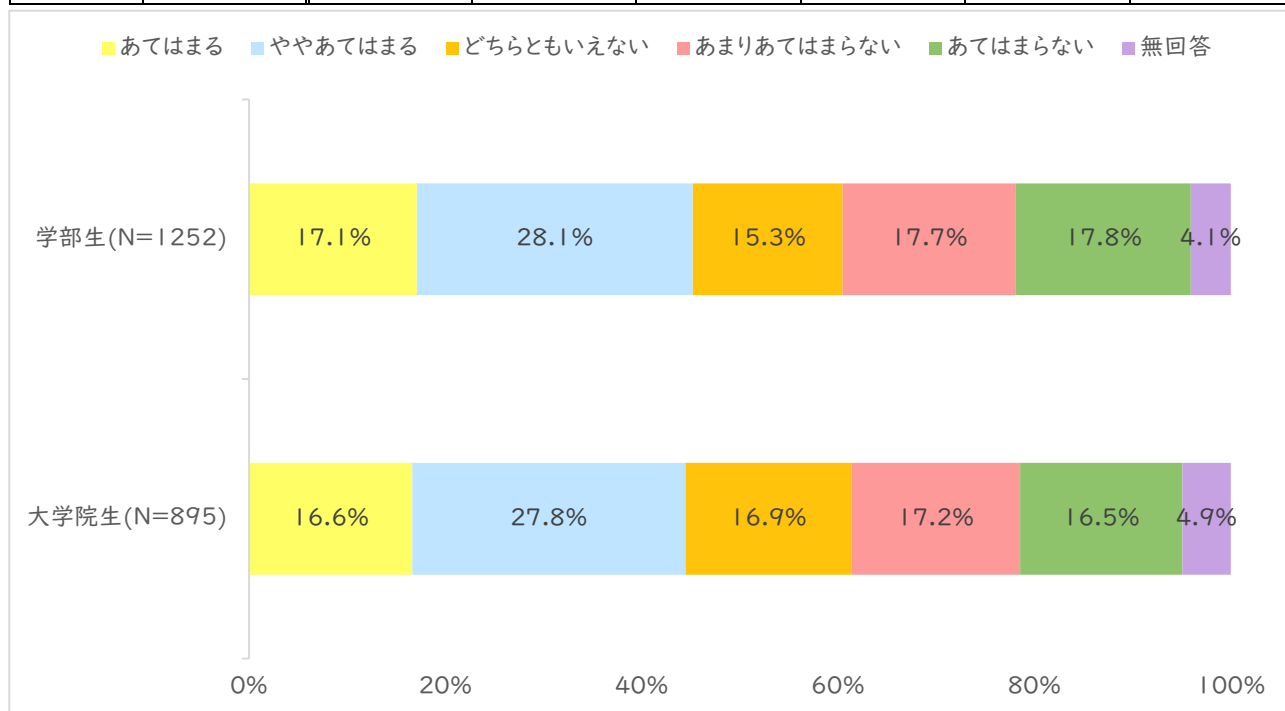
(人)	調査数	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
学部生	1,252	153	287	176	266	319	51
大学院生	895	93	207	131	198	219	47



(7-4)この1か月④集中力途切れ

今回の調査では学部生、大学院生ともに45%の学生が「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答していました。2020年の調査では、学部生では64.1%、大学院生では58.1%が「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答しており、集中力の途切れは減少しているようです。

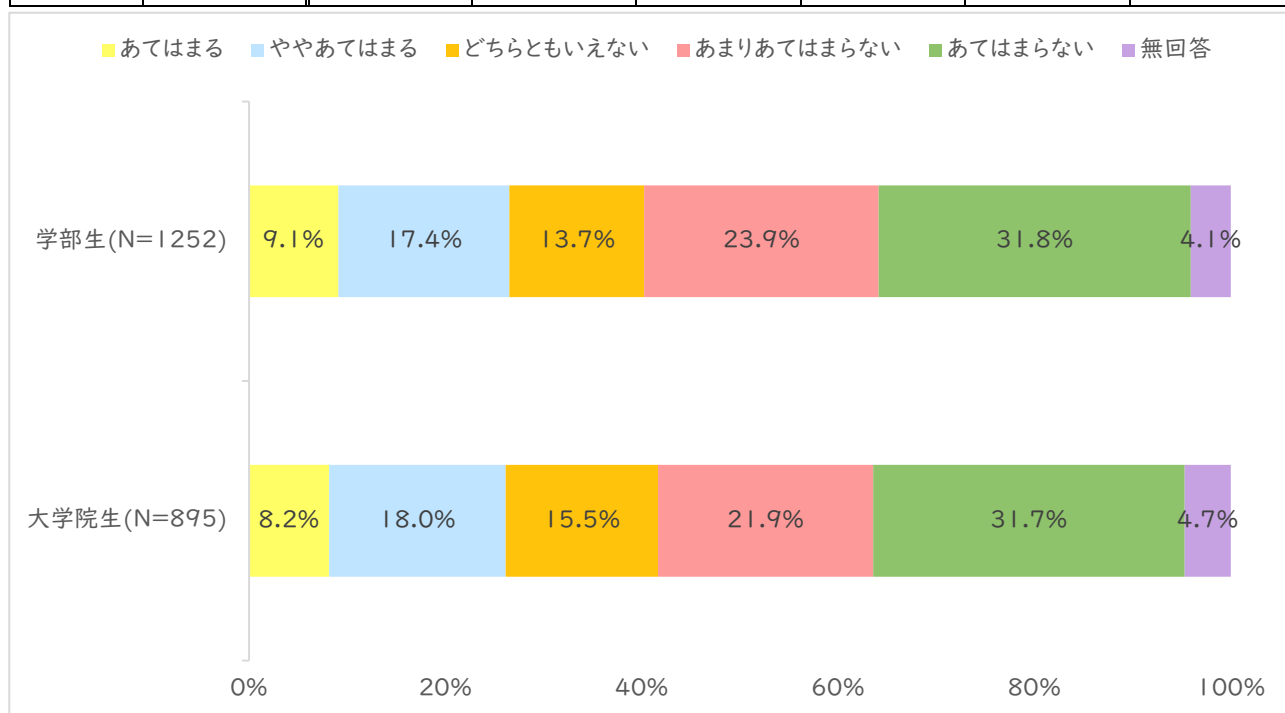
(人)	調査数	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
学部生	1,252	214	352	191	221	223	51
大学院生	895	149	249	151	154	148	44



(7-5)この1か月⑤孤独感、孤立感

今回の調査では学部生、大学院生ともに26%の学生が「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答していました。2020年の調査では、学部生では41.5%、大学院生では35.7% が「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答しており、孤独感、孤立感はかなり減少していました。

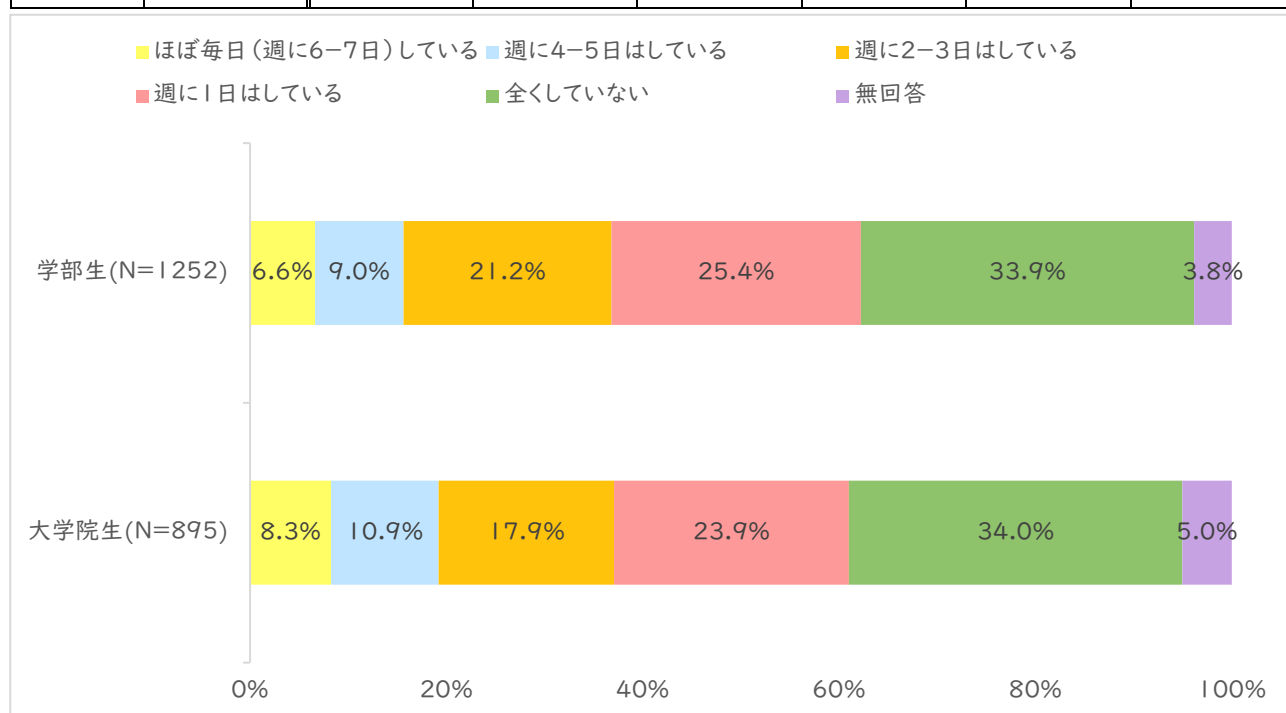
(人)	調査数	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
学部生	1,252	114	218	172	299	398	51
大学院生	895	73	161	139	196	284	42



(8) 健康維持・体力向上のための運動

全く運動をしていないという回答は学部生で33.9%、大学院生で34.0%でした。なお、2020年の調査*では、「健康維持・体力向上につながるような体操や運動はしていますか」という問いについて、「全く運動していない」との回答は約25%であったため、新型コロナウイルス感染症が終息しているにもかかわらず「全く運動していない」が増加しているようでした。

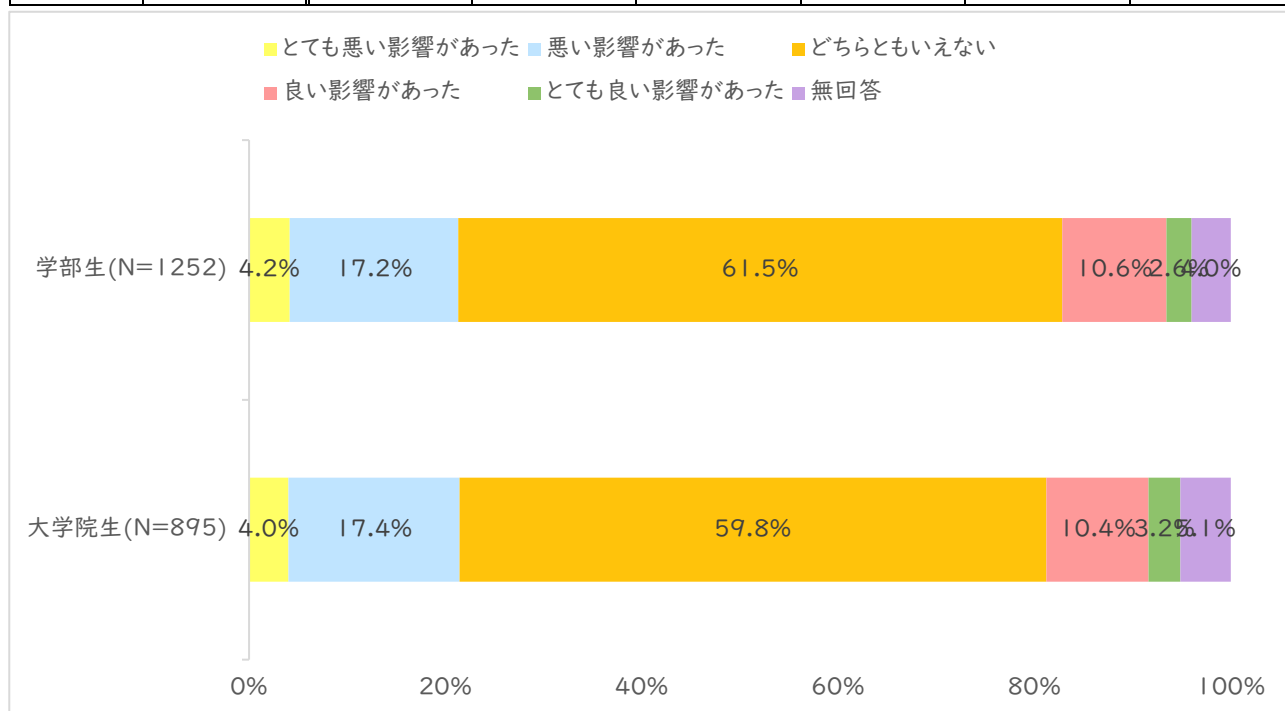
(人)	調査数	ほぼ毎日 (週に6-7 日)している	週に4-5日 はしている	週に2-3日 はしている	週に1日は している	全くしてい ない	無回答
学部生	1,252	83	113	265	318	425	48
大学院生	895	74	98	160	214	304	45



(9-1) コロナの影響①学業

この項目は前回にはない項目で、新型コロナウイルス感染症の影響について直接尋ねたものです。「学業」では学部生・大学院生ともに「とても悪い影響があった」「悪い影響があった」とした回答は学部生・大学院生共に合計21.4%、「よい影響があった」「とてもよい影響があった」とした回答は学部生で約13.2%、大学院生で13.6%でした。約6割の学生は「どちらともいえない」という回答でした。オンライン講義などが影響していると考えられます。

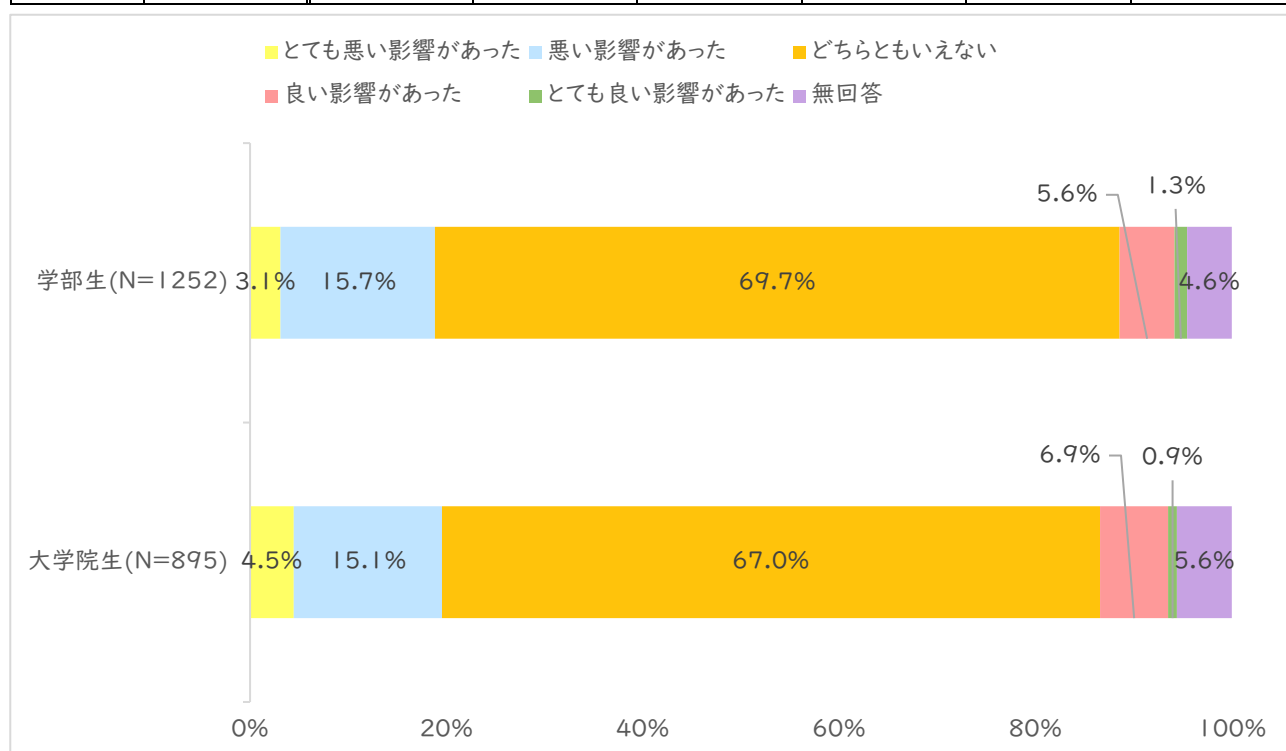
(人)	調査数	とても悪い影響があった	悪い影響があった	どちらともいえない	良い影響があった	とても良い影響があった	無回答
学部生	1,252	52	215	770	133	32	50
大学院生	895	36	156	535	93	29	46



(9-2) コロナの影響②就職、進学

この項目も前回にはない項目で、新型コロナウイルスの影響について尋ねたものです。「就職・進学」では「とても悪い影響があった」「悪い影響があった」とした回答は学部生18.8%、大学院生19.6%、「よい影響があった」「とてもよい影響があった」とした回答は学部生6.9%、7.8%でした。オンラインによる選考方法の影響などがあったのかもしれませんが。約6割～7割の学生は「どちらともいえない」という回答でした。

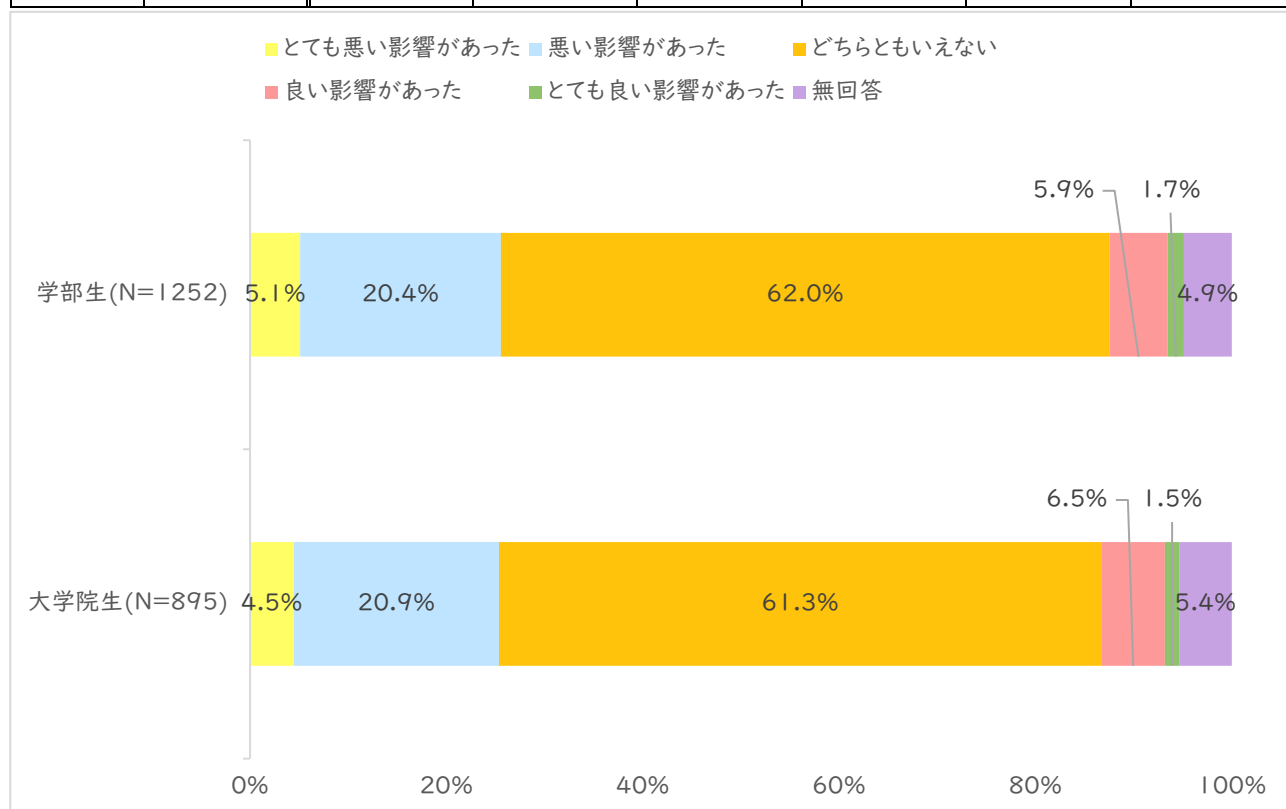
(人)	調査数	とても悪い影響があった	悪い影響があった	どちらともいえない	良い影響があった	とても良い影響があった	無回答
学部生	1,252	39	197	873	70	16	57
大学院生	895	40	135	600	62	8	50



(9-3) コロナの影響③家族、友人関係

この項目も前回にはない項目で、新型コロナウイルスの影響について尋ねたものです。「家族・友人関係」では学部生・大学院生ともに「とても悪い影響があった」「悪い影響があった」とした回答は学部生25.5%、大学院生25.4%、「よい影響があった」「とてもよい影響があった」とした回答は学部生7.6%、大学院生8.0%でした。約6割の学生は「どちらともいえない」という回答でした。「学業」「就職・進学」に比べて、悪い影響があったと答える比率がやや高くなっています。

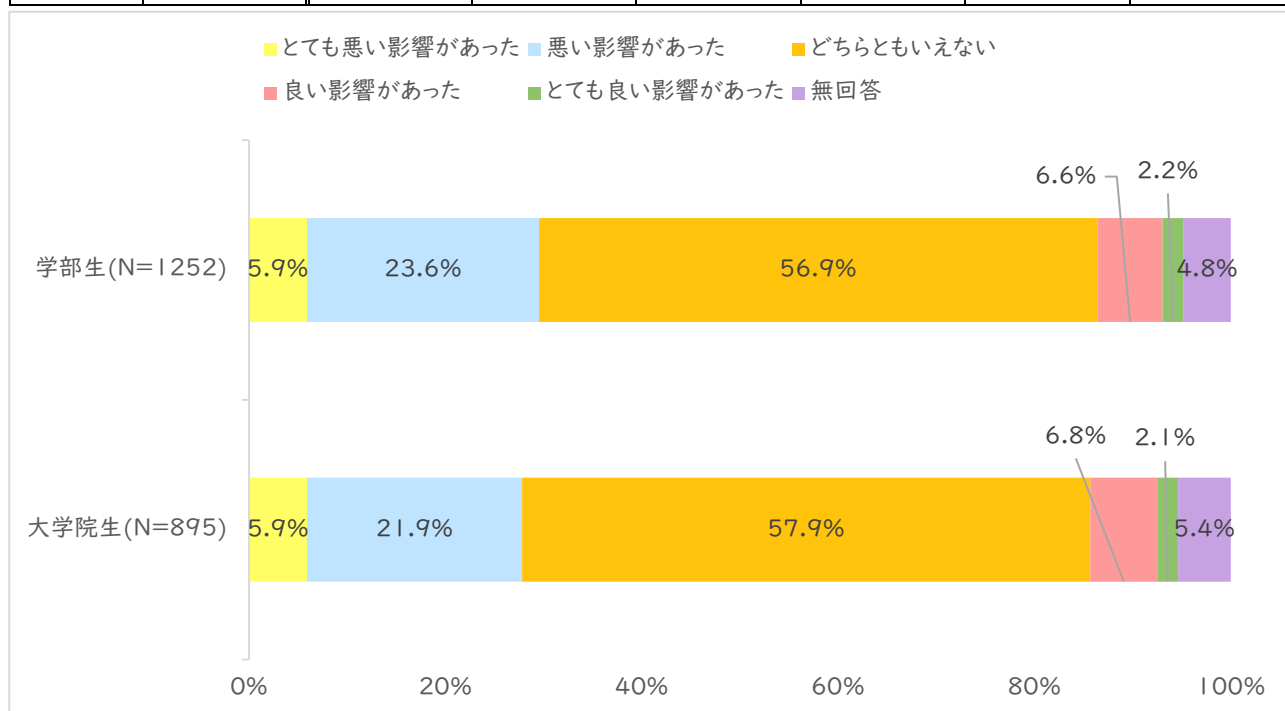
(人)	調査数	とても悪い影響があった	悪い影響があった	どちらともいえない	良い影響があった	とても良い影響があった	無回答
学部生	1,252	64	256	776	74	21	61
大学院生	895	40	187	549	58	13	48



(9-4) コロナの影響④メンタル、健康

この項目も前回にはない項目で、新型コロナウイルス感染症の影響について尋ねたものです。「メンタル・健康」では、「とても悪い影響があった」「悪い影響があった」とした回答は学部生 29.5%、大学院生は27.8%でした。「よい影響があった」「とてもよい影響があった」とした回答は学部生8.8%、大学院生8.9%でした。約6割の学生は「どちらともいえない」という回答でした。「メンタル・健康」も「家族・友人関係」と同様、「学業」「就職・進学」に比べて、悪い影響があったと答える比率が高くなっています。

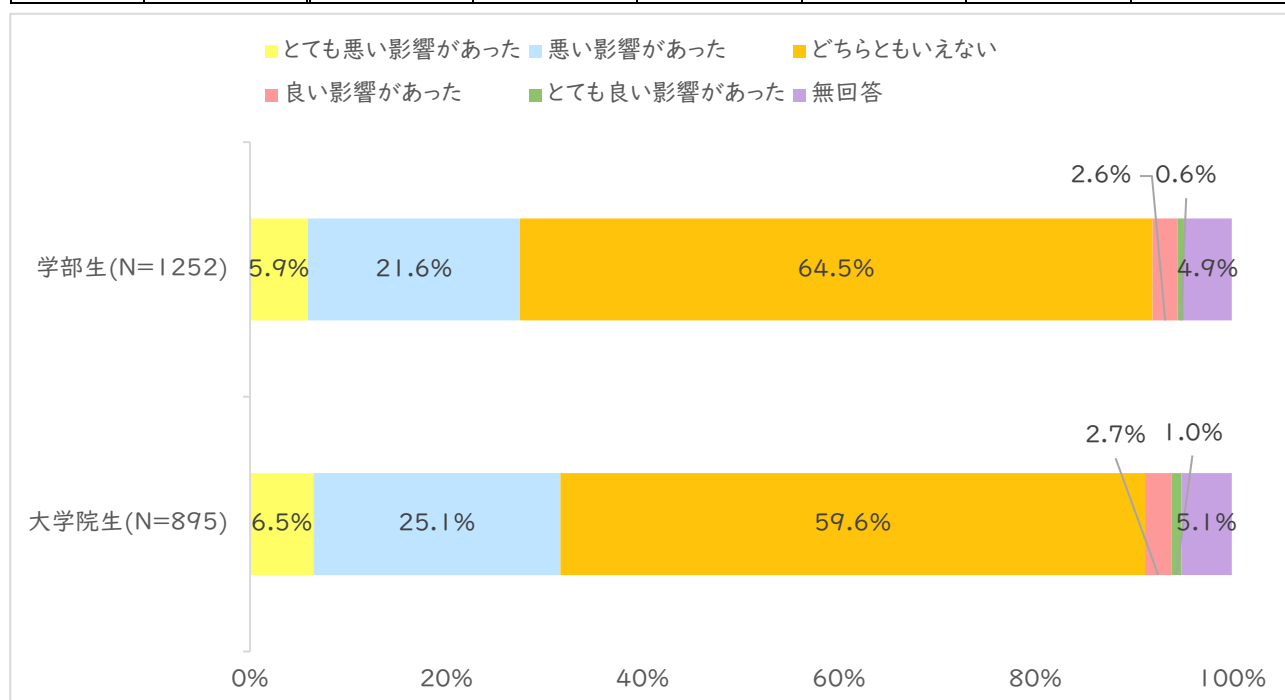
(人)	調査数	とても悪い影響があった	悪い影響があった	どちらともいえない	良い影響があった	とても良い影響があった	無回答
学部生	1,252	74	296	712	83	27	60
大学院生	895	53	196	518	61	19	48



(9-5) コロナの影響⑤収入

この項目も前回にはない項目で、新型コロナウイルスの影響について尋ねたものです。「収入」では学部生・大学院生ともに「とても悪い影響があった」「悪い影響があった」とした回答は学部生27.5%、大学院生31.6%でした。「よい影響があった」「とてもよい影響があった」とした回答は学部生3.2%、大学院生3.7%でした。約6割の学生は「どちらともいえない」という回答でした。「収入」に関しては悪い影響ばかりでよい影響はほぼなかったということがわかります。

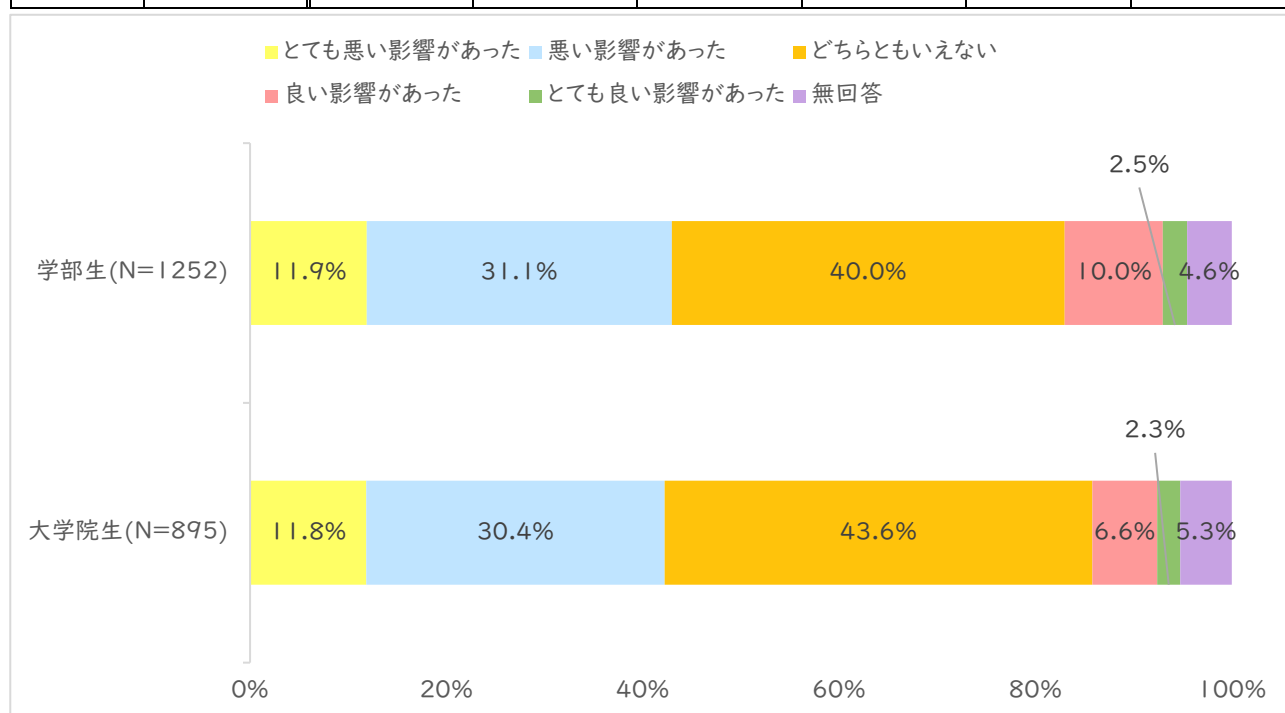
(人)	調査数	とても悪い影響があった	悪い影響があった	どちらともいえない	良い影響があった	とても良い影響があった	無回答
学部生	1,252	74	270	807	32	8	61
大学院生	895	58	225	533	24	9	46



(9-6) コロナの影響⑥余暇時間の過ごし方

この項目も前回にはない項目で、新型コロナウイルスの影響について尋ねたものです。「余暇時間の過ごし方」では学部生・大学院生ともに「とても悪い影響があった」「悪い影響があった」とした回答は学部生43.0%、大学院生42.2%でした。「よい影響があった」「とてもよい影響があった」とした回答は学部生 12.5%、大学院生 8.9%でした。約4割の学生は「どちらともいえない」という回答でした。新型コロナウイルスによる生活の制限が学生生活にかなり悪影響を及ぼしていると同時に、その中で新しい余暇の過ごし方を模索した学生もいたことが考えられます。

(人)	調査数	とても悪い影響があった	悪い影響があった	どちらともいえない	良い影響があった	とても良い影響があった	無回答
学部生	1,252	149	389	501	125	31	57
大学院生	895	106	272	390	59	21	47

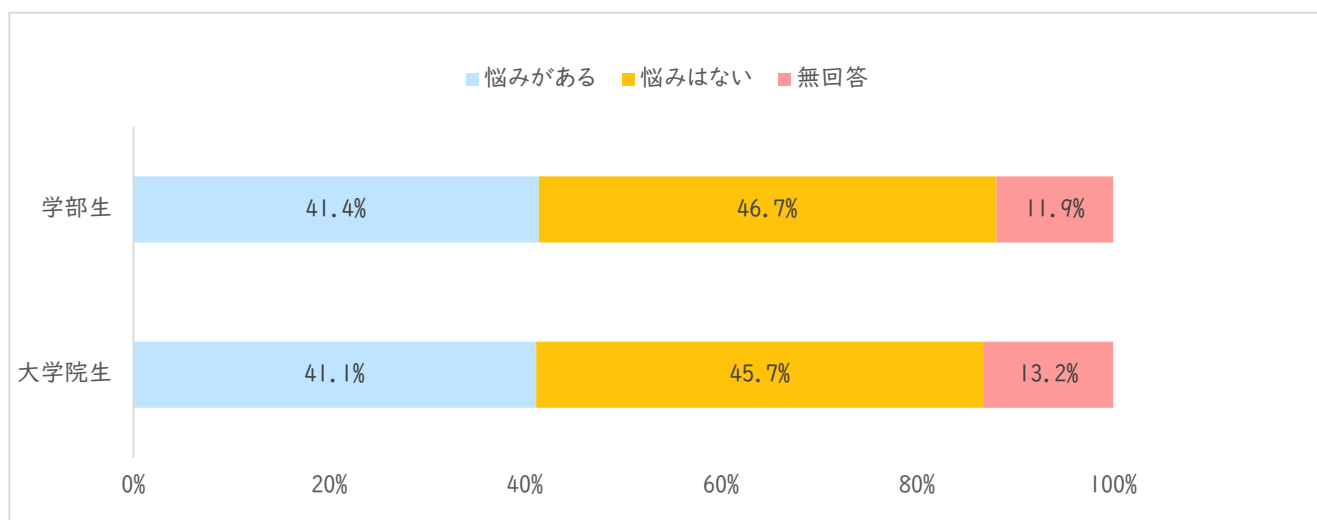


第5章 悩みについて

(1) 悩みの有無

今回は学部生の41.4%、大学院生の41.1%が悩みを抱えていました。前回(2019年)は学部生の41.5%、大学院生の49.3%が悩みを抱えており、2020年の調査*では、学部生の39.5%、大学院生の46.9%が悩みをかかえており、大学院生の悩みは減少しています。前々回(2015年)(学部生44%、大学院生52%)と比較すると、ここ10年では学部生はほぼ横ばい、大学院生の悩みは減少傾向にあると言えます。

(人)	調査数	悩みがある	悩みはない	無回答
学部生	1,252	518	585	149
大学院生	895	368	409	118

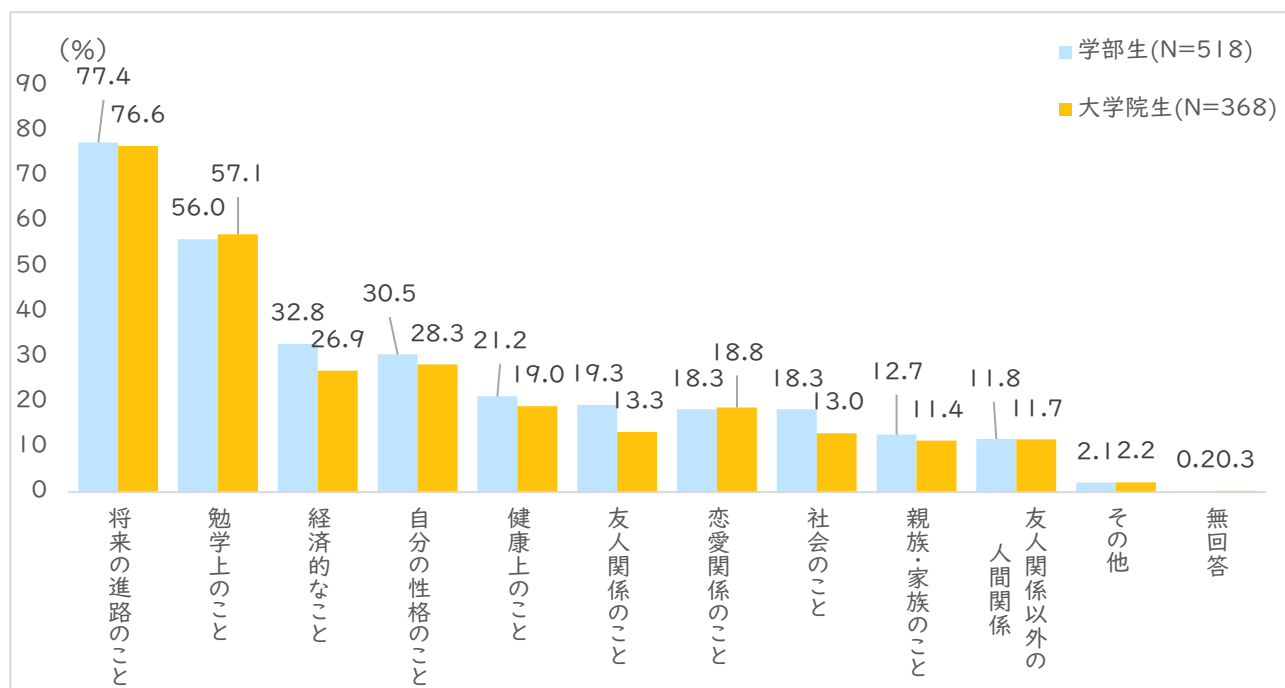


(2) 悩みの内容【複数回答可】

前回、前々回の調査と同様、「将来の進路のこと」「勉強上のこと」が上位を占めています。

前回調査から比較して、「将来の進路のこと」は学部生 68.4%→77.4%、大学院生 71.2%→76.6%と増加傾向にありました。「勉強上のこと」は学部生 49.3%→56.0%と増加傾向にありますが、大学院生は 57.7%→57.1%と変化はありませんでした。「経済的なこと」が学部生 25.3%→32.8%で増加していましたが、大学院生は 25.6%→26.9%と微増でした。大学院生では「自分の性格のこと」が 19.1%→28.3%、「友人関係のこと」7.5%→13.3%、「健康上のこと」13.4%→19.0%、「恋愛関係のこと」13.0%→18.8%と増加していました。

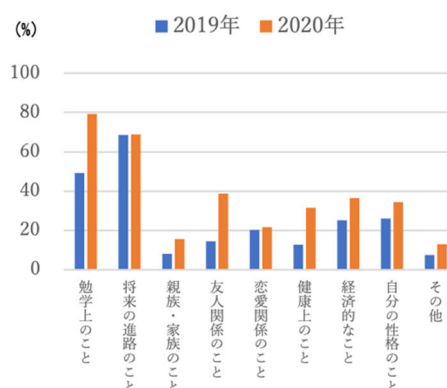
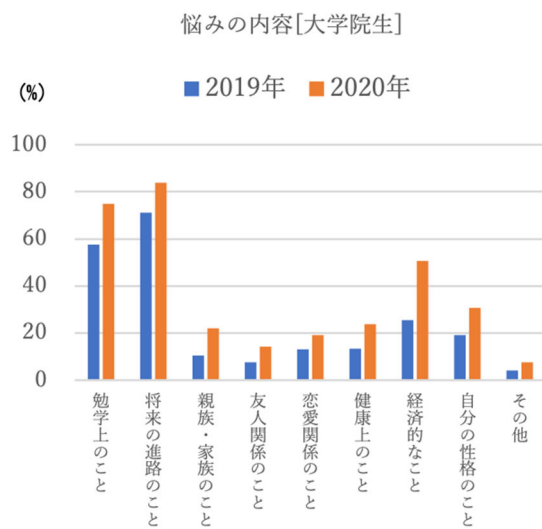
(人)	調査数	将来の進路のこと	勉強上のこと	経済的なこと	自分の性格のこと	健康上のこと	友人関係のこと	恋愛関係のこと	社会のこと	親族・家族のこと	友人関係以外の人間関係	その他	無回答
学部生	518	401	290	170	158	110	100	95	95	66	61	11	1
大学院生	368	282	210	99	104	70	49	69	48	42	43	8	1



<参考:2019年度と2020年度調査*の比較、新型コロナウイルス感染症の影響>

2020年から新型コロナウイルス感染症が流行しました。前回(2019年度)と2020年度調査*との比較では、学部生においていずれも2019年に比べて2020年で増加していました。特に増加ポイント大きいのは、「勉強上のこと(29.9%増)」「友人関係のこと(24.2%増)」「健康上のこと(18.7%増加)」でした。大学院生においてもいずれも2019年に比べて2020年で増加しており、特に増加ポイントが大きいのは、「経済的なこと(24.9%増)」「勉強上のこと(17.3%増)」でした。

*:令和2年春学期学生生活およびオンライン授業に関する学生アンケート結果報告書(学生生活パート)
令和2年8月作成



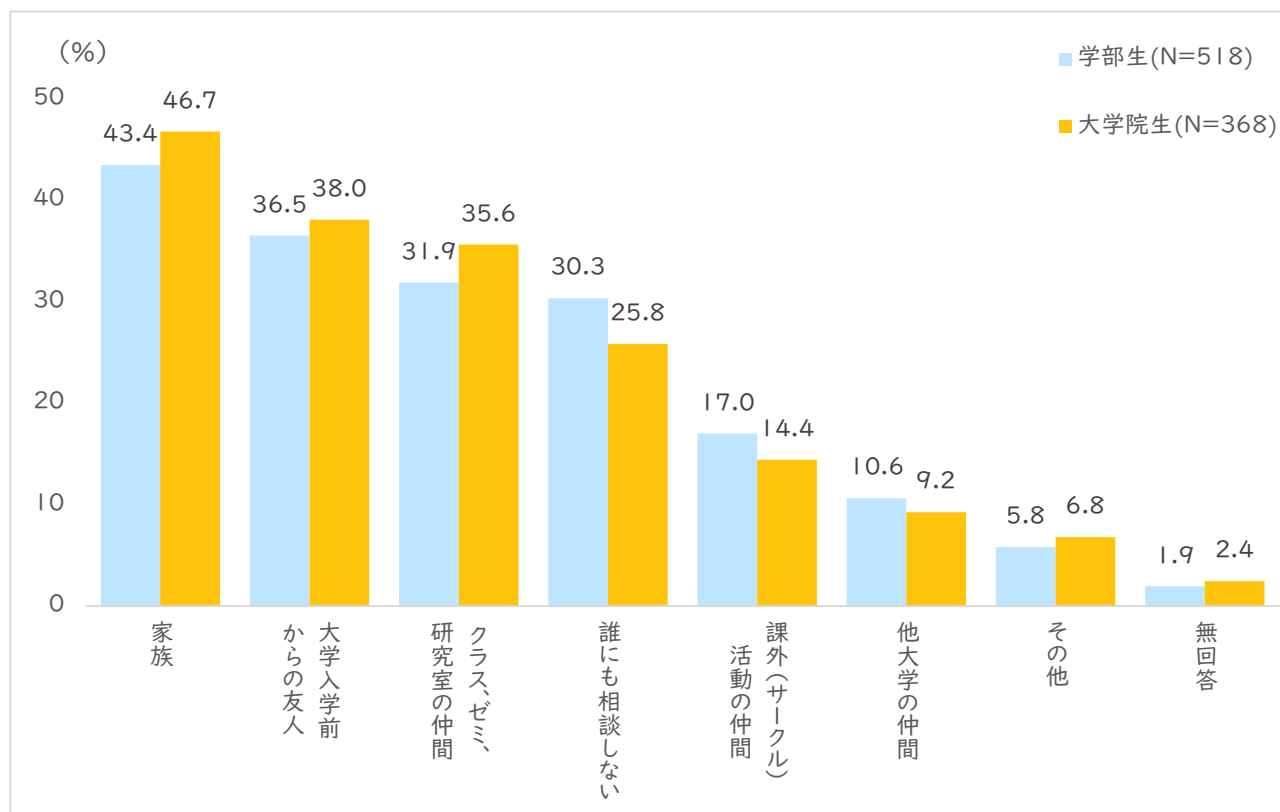
(3) 悩みの相談先【複数回答可】

前回は「クラス・ゼミ・研究室の仲間（学部生 37.4%、大学院生 48.4%）」、「家族（35.8%、36.9%）」、「大学入学前からの友人（学部生 29.3%、大学院生 27.7%）」の順でしたが、今回は、学部生では「家族（43.4%）」、「大学入学前からの友人（36.5%）」、「クラス・ゼミ・研究室の仲間（31.9%）」の順、大学院生も「家族（46.7%）」、「大学入学前からの友人（38.0%）」、「クラス・ゼミ・研究室の仲間（35.6%）」の順でした。家族へ相談する比率が高くなっており、大学院生ではクラス・ゼミ・研究室の仲間へ相談する比率がずいぶん減っていました。大学入学前からの友人への相談も増えていました。新型コロナウイルス感染症による大学生生活様式の変化の影響と考えられます。

また、課外活動の仲間への相談も減少しています（学部生前回 23.5%→今回 17.0%）。

「誰にも相談しない」の回答が年々増加し、学部生 前々回 18.7% → 前回 22.8% → 今回 30.3%、大学院生 14.1% → 18.0% → 25.8%）でした。大学をあげて援助要請行動などの啓発・教育や情報提供を行う必要があると思われます。

(人)	調査数	家族	大学入学前からの友人	クラス、ゼミ、研究室の仲間	誰にも相談しない	課外（サークル）活動の仲間	他大学の仲間	その他	無回答
学部生	518	225	189	165	157	88	55	30	10
大学院生	368	172	140	131	95	53	34	25	9

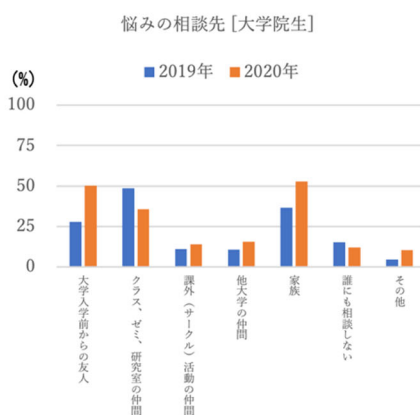
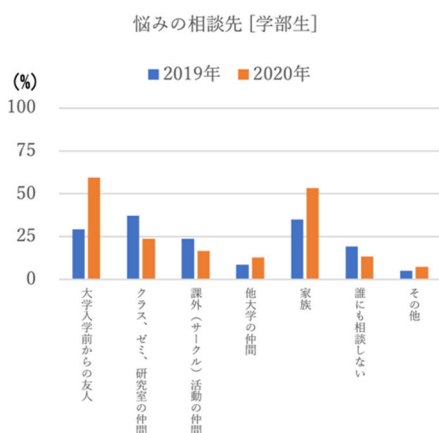


<参考:2019年度と2020年度調査*の比較、新型コロナウイルス感染症の影響>

前回(2019年)と2020年調査の比較では、学部生では、2019年においては「クラス、ゼミ、研究室の仲間(37.3%)」「家族(35.6%)」「大学入学前からの友人(28.4%)」の順で多かったですが、2020年においては、「大学入学前からの友人(59.4%)」「家族(53.2%)」「クラス、ゼミ、研究室の仲間(23.7%)」の順になりました。大学院生では、2019年において「クラス、ゼミ、研究室の仲間(48.5%)」「家族(36.7%)」「大学入学前からの友人(27.4%)」の順で多く、2020年においては、「家族(52.8%)」「大学入学前からの友人(50.2%)」「クラス、ゼミ、研究室の仲間(35.6%)」の順になっていました。「家族」「大学入学前からの友人」が大幅に増加し、「クラス、ゼミ、研究室の仲間」が減少していました。

*:令和2年春学期学生生活およびオンライン授業に関する学生アンケート結果報告書(学生生活パート)

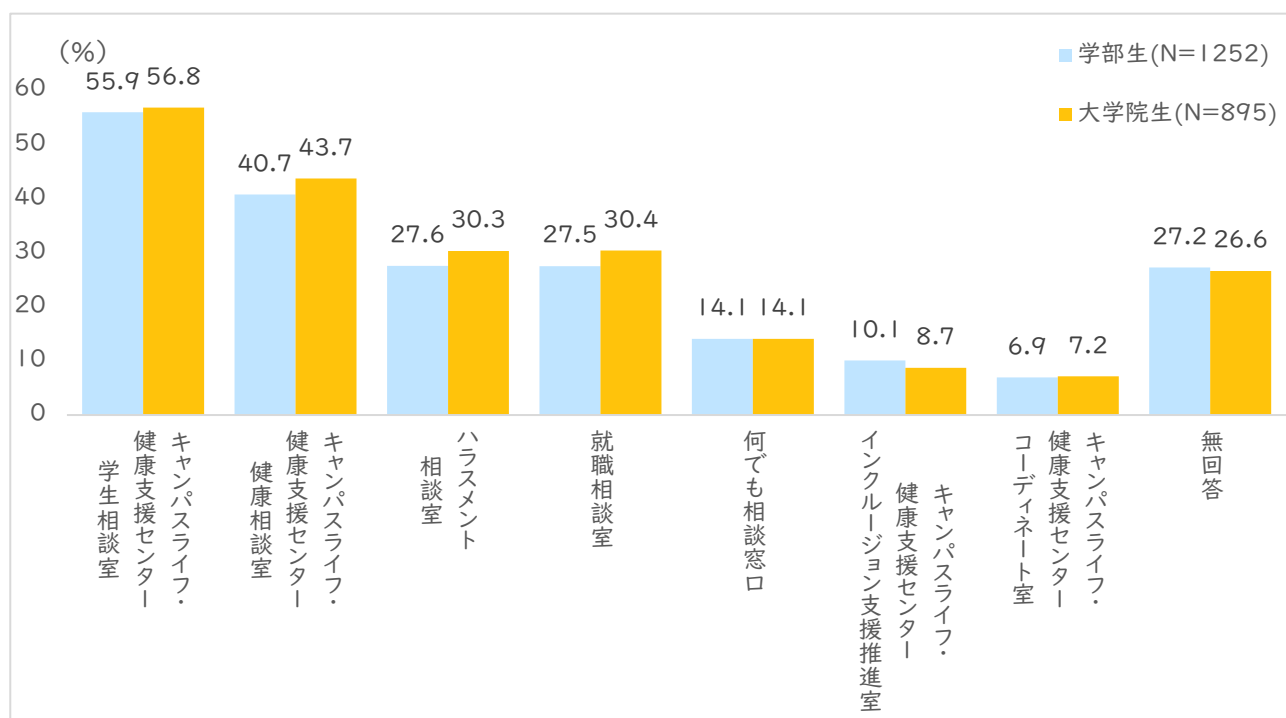
令和2年8月作成



(4)相談窓口の認知度【複数回答可】

前々回より前回までは各相談室関係の認知度が減少していましたが、今回は前回に比べ学部生では学生相談室(66%→58%→56%)、健康相談室(59%→53%→41%)同様の認知度となりました。またインクルージョン支援推進室(学部生 6%→10%)、就職相談室(学部生22%→28%)、なんでも相談窓口(11%→14%)と増加でした。ハラスメント相談室の認知度は前回からかなり増加しています(学部生11.7%→27.6%、大学院生 24.3%→30.3%)。

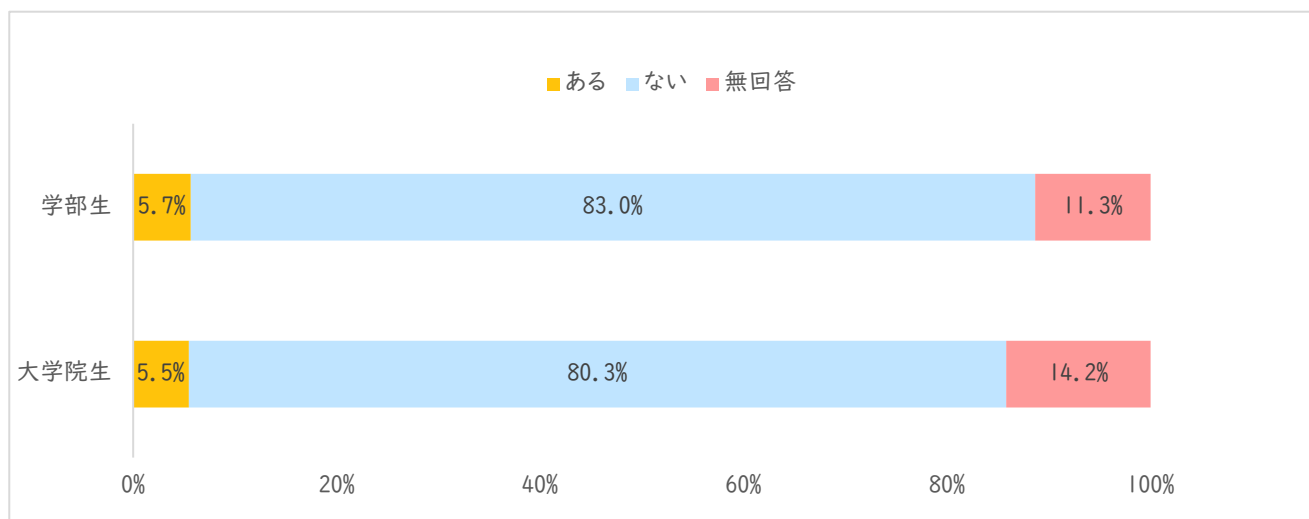
(人)	調査数	学生相談室 キャンパスライフ・健康支援センター	健康相談室 キャンパスライフ・健康支援センター	ハラスメント相談室	就職相談室	何でも相談窓口	インクルージョン支援推進室 キャンパスライフ・健康支援センター	キャンパスライフ・健康支援センター コーディネート室	無回答
学部生	1,252	700	510	345	344	176	126	87	341
大学院生	895	508	391	271	272	126	78	64	238



(5-1) ハラスメントを受けた経験

今回学部生の71名(5.7%)、大学院生の49名(5.5%)、計120名がハラスメントを受けた経験があると回答しました。例年に比べ、無回答の比率がかなり多くなっています(前回の10倍)。

(人)	調査数	ある	ない	無回答
学部生	1,252	71	1,039	142
大学院生	895	49	719	127



※なお、このデータは回答者が主観的にハラスメントを受けた経験があると認識していることを示している
ので、実際にハラスメントとして判定されているデータとは一致しません。

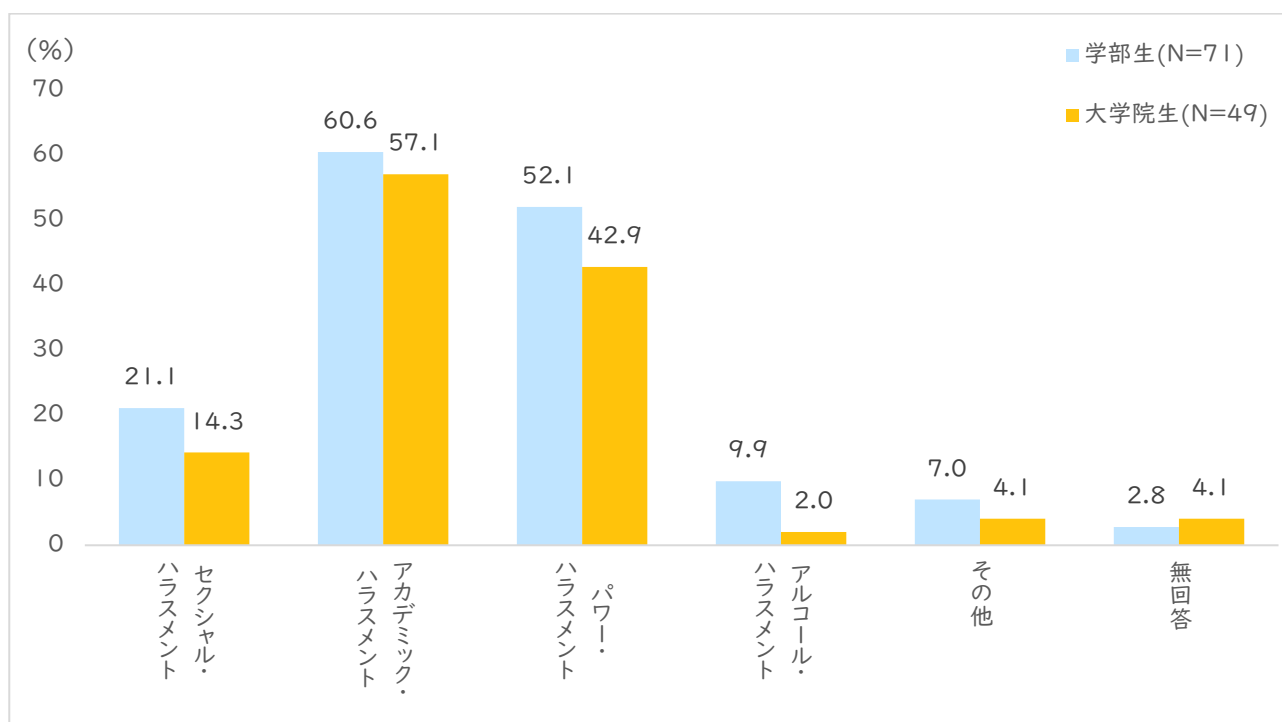
(5-2) 自分が受けたハラスメントの種類【複数回答可】＊(5-1)で「ある」と答えた学生のみ回答

今回も前回と同じで、学部生、大学院生ともにアカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメント、セクシャル・ハラスメントの順で多いという結果でした。

前回調査に比べ、学部生においてアカデミック・ハラスメントを受けたとする回答の割合は 29.9%→60.6%、パワー・ハラスメントを受けたとする回答の割合は35.4%→52.1%と激増しています。一方セクシャル・ハラスメントを受けたとする回答の割合は38.6%→21.1%と減少しています。

前々回、前回調査と比較して、アルコール・ハラスメントの被害経験が大きく減少しています(学部生 26.7%→15.0%→9.9%、大学院生13.7%→9.3%→2.0%)。これらの結果は、啓発教育や新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化を受けているのかもしれません。

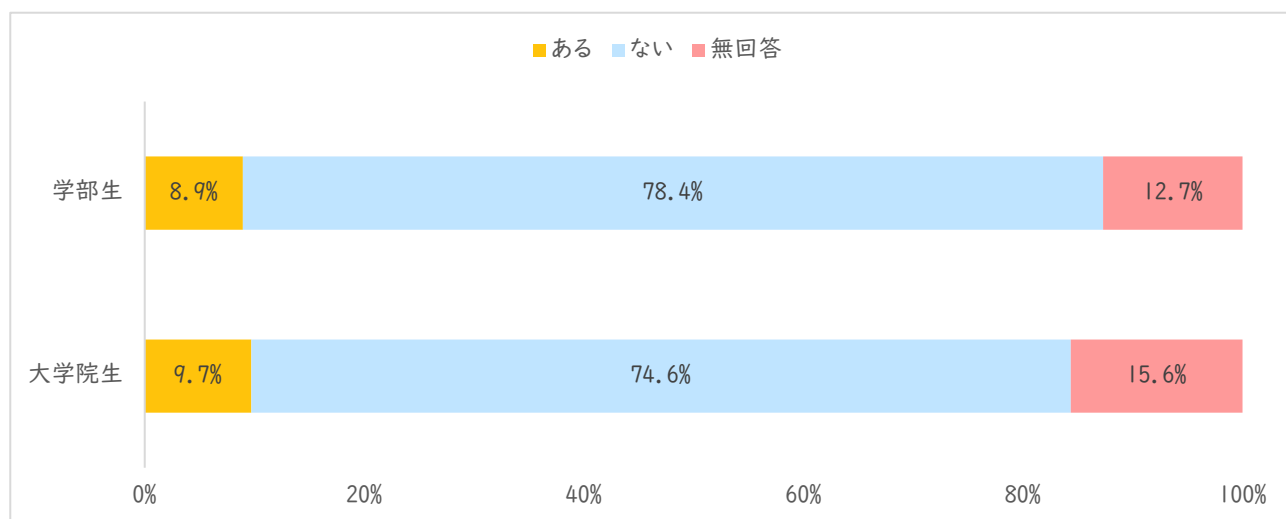
(人)	調査数	セクシャル・ハラスメント	アカデミック・ハラスメント	パワー・ハラスメント	アルコール・ハラスメント	その他	無回答
学部生	71	15	43	37	7	5	2
大学院生	49	7	28	21	1	2	2



(6-1) 他人がハラスメントを受けているのを見た経験

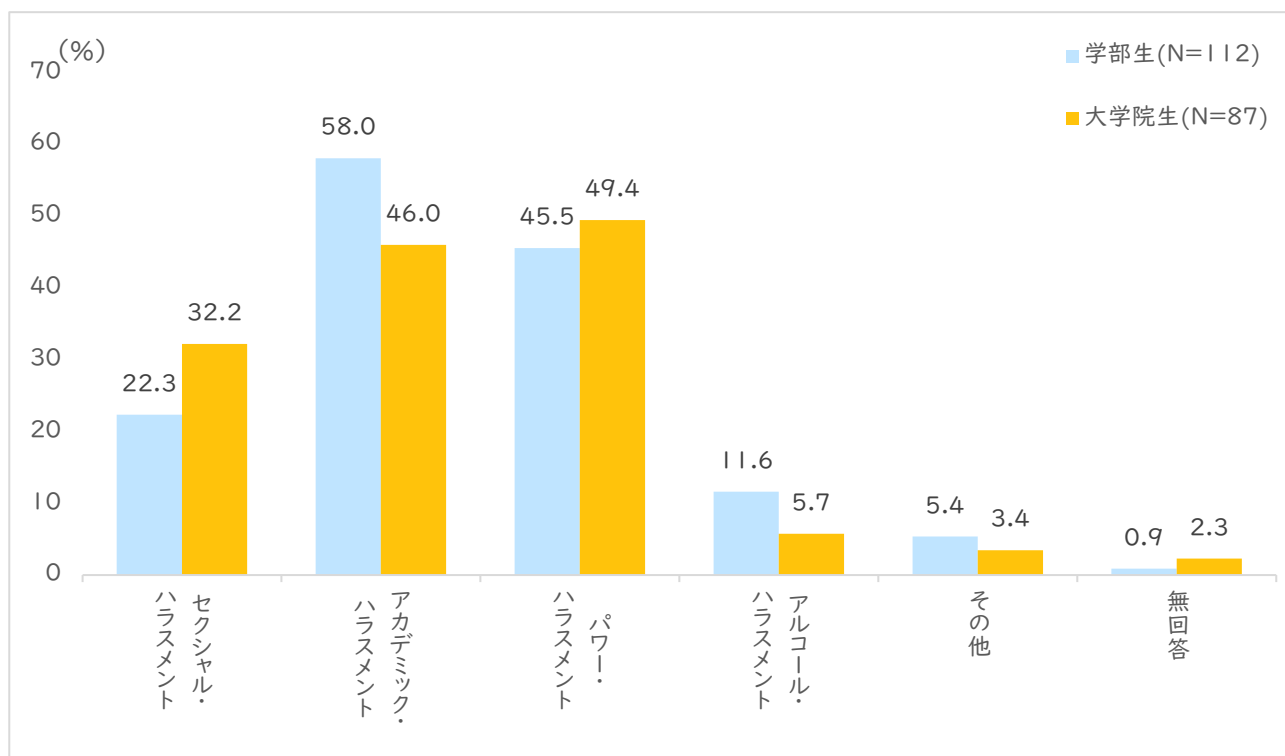
「身の回りで見聞きしたハラスメント」は実際に受けたとされるものよりも少し割合が高くなりました。前回と比べて大学院生16.1%→9.7%と減少していました。内訳は、前問の「自分が受けたハラスメント」と概ね似た傾向を示していました。

(人)	調査数	ある	ない	無回答
学部生	1,252	112	981	159
大学院生	895	87	668	140



(6-2) 他人が受けていたハラスメントの種類【複数回答可】 * (6-1) で「ある」と答えた学生のみ回答

(人)	調査数	セクシャル・ ハラスメント	アカデミック・ ハラスメント	パワー・ ハラスメント	アルコール・ ハラスメント	その他	無回答
学部生	112	25	65	51	13	6	1
大学院生	87	28	40	43	5	3	2



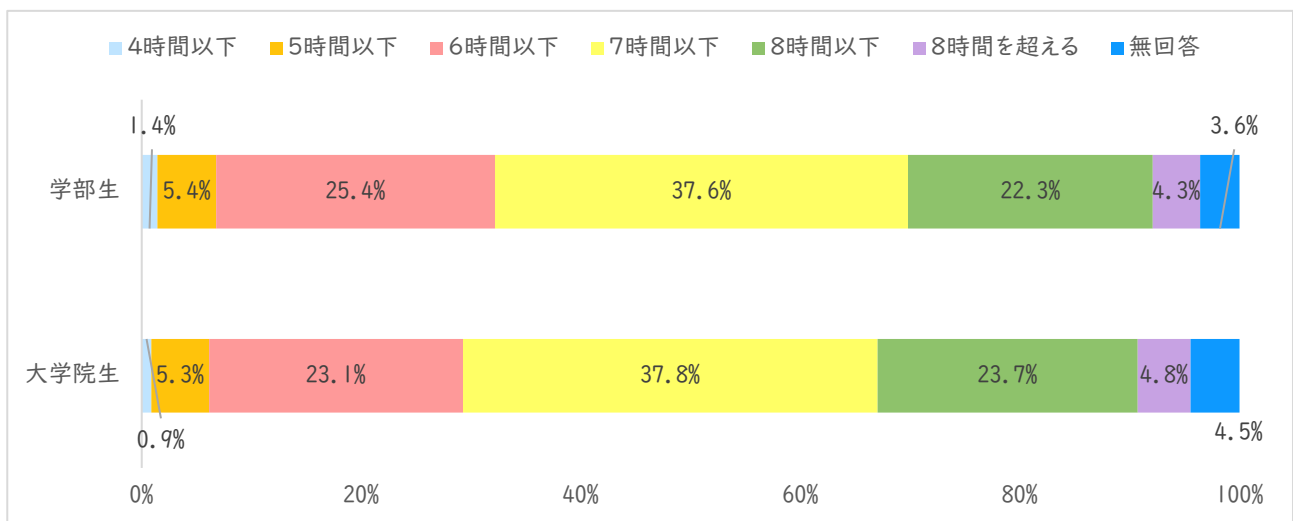
第6章 生活について

(1) 睡眠時間

睡眠時間は学部生・大学院生ともに「7時間以下」が最も多く、4割近くを占めていました。

前回調査時は大学院生の方が睡眠時間が長いという結果でしたが、今回は学部生・大学院生ともに睡眠時間は同じ傾向にあるようです。

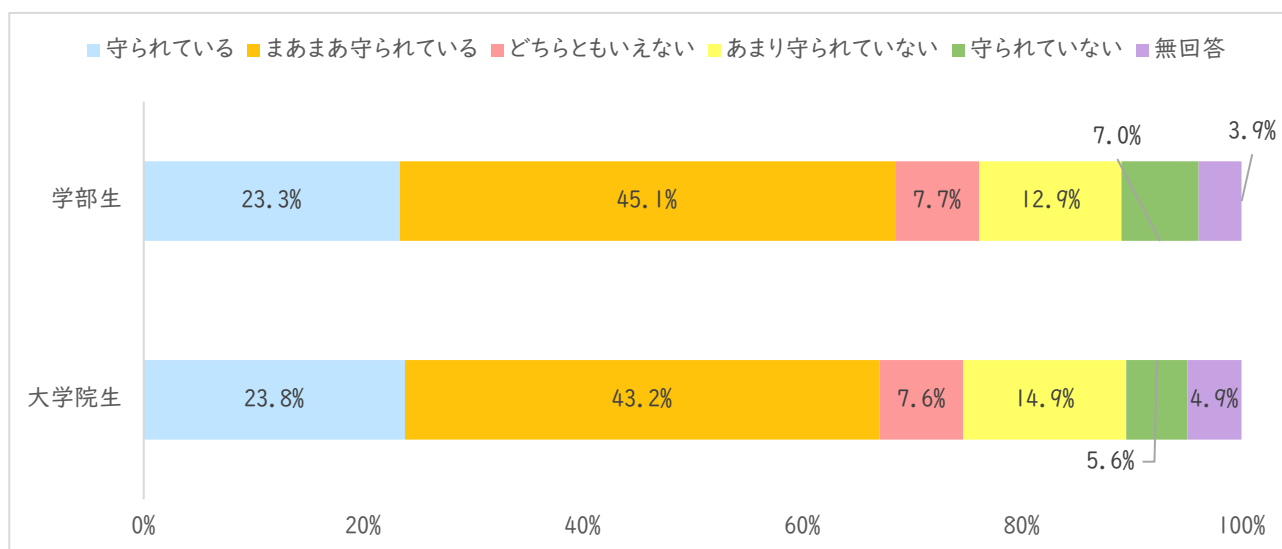
(人)	調査数	4時間以下	5時間以下	6時間以下	7時間以下	8時間以下	8時間を超える	無回答
学部生	1,252	18	67	318	471	279	54	45
大学院生	895	8	47	207	338	212	43	40



(2) 平日の起床時間のリズム

平日の起床時間のリズムは、学部生・大学院生ともに 7割近くの学生が「守られている」「まあまあ守られている」と回答しました。

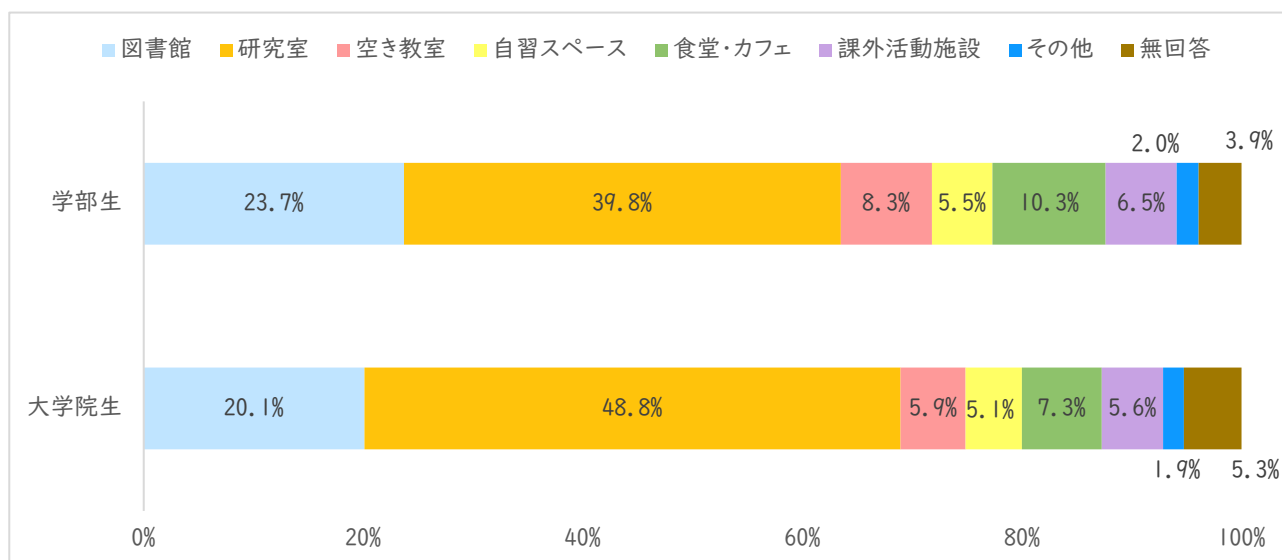
(人)	調査数	守られている	まあまあ守られている	どちらとも 言えない	あまり 守られて いない	守られて いない	無回答
学部生	1,252	292	565	96	162	88	49
大学院生	895	213	387	68	133	50	44



(3) 授業以外のキャンパスの居場所

学部生・大学院生ともに、「研究室」「図書館」の順に多く、共通した傾向がみられました。

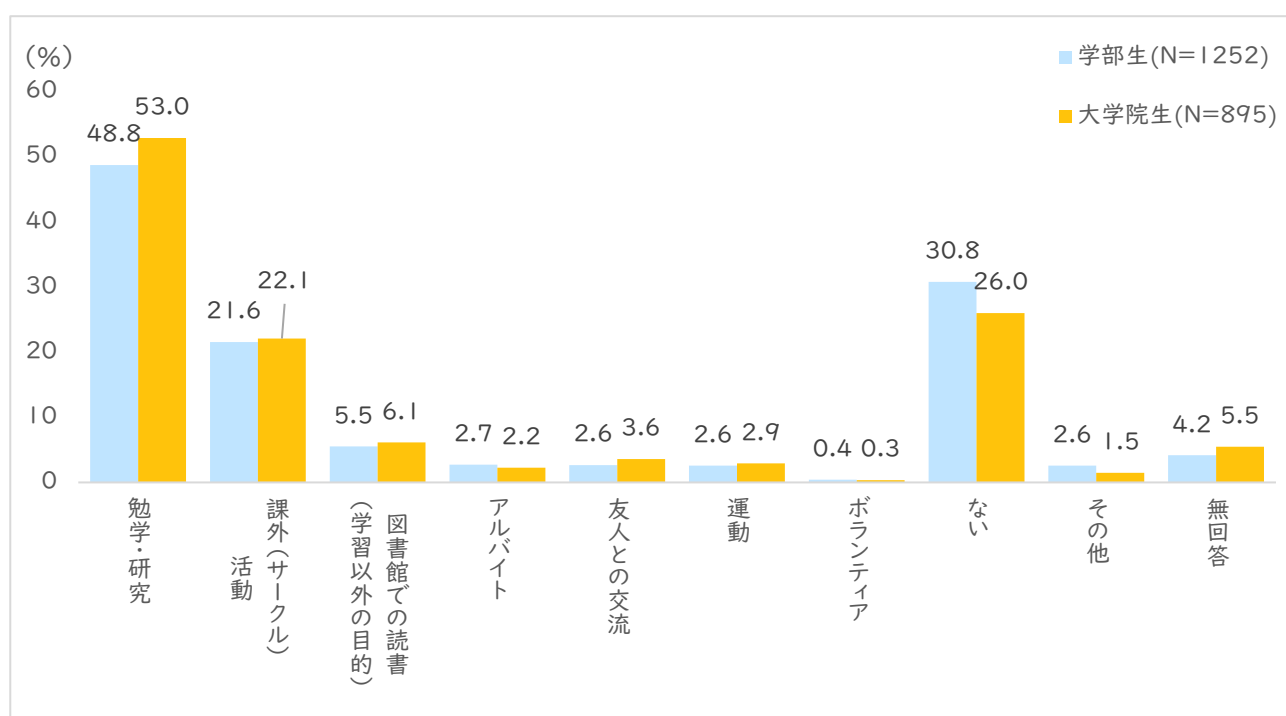
(人)	調査数	図書館	研究室	空き教室	自習スペース	食堂・カフェ	課外活動施設	その他	無回答
学部生	1,252	297	498	104	69	129	81	25	49
大学院生	895	180	437	53	46	65	50	17	47



(4) 土日祝日に学校に行く理由【複数回答可】

学部生・大学院生ともに「勉学・研究」「課外活動」の順に多く、同じ傾向がみられました。前回調査時には、学部生の理由では、「勉学・研究」と「課外活動」は同程度でしたが、今回は「勉学・研究」が「課外活動」に比べて2倍以上多い結果となりました。大学院生では、前回調査時では79.9%が「勉学・研究」でしたが、今回は53.0%とかなり減少しました。

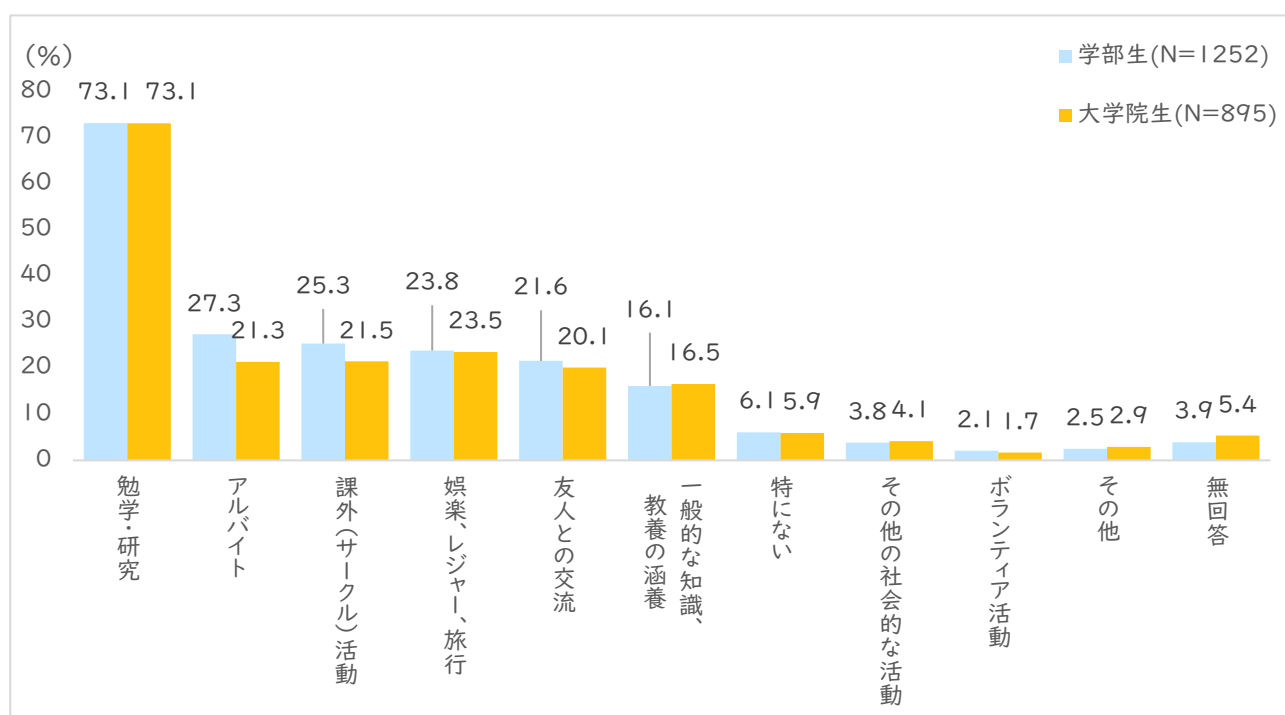
(人)	調査数	勉学・研究	課外(サークル)活動	図書館での読書 (学習以外の目的)	アルバイト	友人との交流	運動	ボランティア	ない	その他	無回答
学部生	1,252	611	270	69	34	33	32	5	386	32	52
大学院生	895	474	198	55	20	32	26	3	233	13	49



(5) 現在、力を入れていること【複数回答可】

学部生・大学院生ともに「勉強・研究」が最も多く、「アルバイト」「課外(サークル)活動」「娯楽、レジャー、旅行」「友人との交流」は同程度でした。割合について前回調査時と比較すると、「勉強・研究」は、学部生では増加し、大学院生では減少しています(学部生61.1%→73.1%、大学院生88.5%→73.1%)。

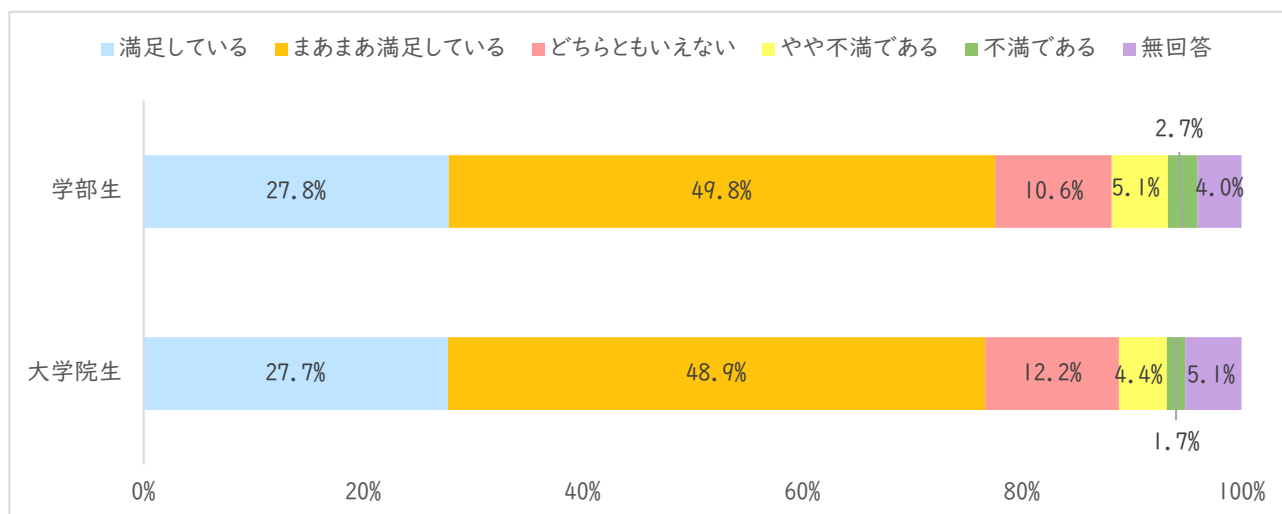
(人)	調査数	勉強・研究	アルバイト	課外(サークル)活動	娯楽、レジャー、旅行	友人との交流	一般的知識、 教養の涵養	特にな	その他の社会的な活動	ボランティア活動	その他	無回答
学部生	1,252	915	342	317	298	270	202	76	48	26	31	49
大学院生	895	654	191	192	210	180	148	53	37	15	26	48



(6) 大学生活の満足度

学部生、大学院生ともに 75%以上の学生が「満足している」「まあまあ満足している」と回答しており、大学生活におおむね満足している状況がうかがえます。

(人)	調査数	満足している	まあまあ満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答
学部生	1,252	348	623	133	64	34	50
大学院生	895	248	438	109	39	15	46



(7) 大学生活の不満点

500 件超の回答があり、伊都キャンパスの立地や周囲に商業施設・娯楽施設が少ない点、交通費の高さについての不満が多く見られました。

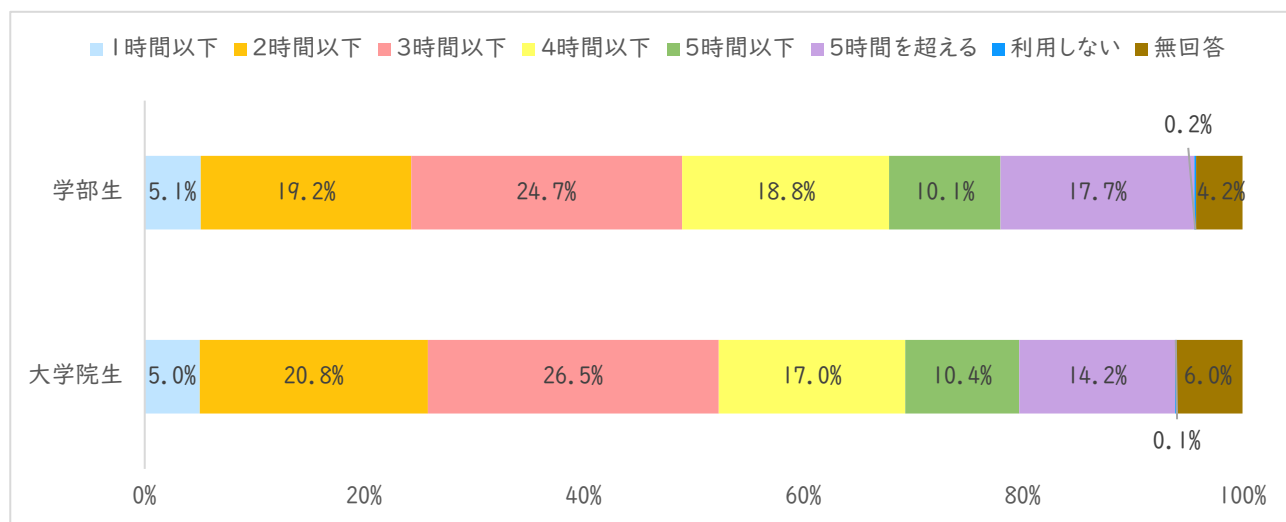
その他、授業・研究が多忙である、友人関係を築くことが難しいといった意見があり、また特に今回の調査特有のものとして、コロナ禍の影響によるもの（あまり友人ができなかった、コロナでない時期に大学生活を送りたかった等）が多く寄せられました。

※大学生活の不満点については、「第 14 章 自由記述」のページにも記載されています。

(8) 1日のうち、勉学・研究以外の目的でインターネットを使用する時間

1日のインターネットの使用時間は学部生・大学院生ともに「3時間以下」「2時間以下」「4時間以下」の順に多いという結果で、前回調査と同じ傾向でした。一方、「5時間を超える」割合は、学部生・大学院生ともに、増加していました（学部生7.9%→17.7%、大学院生7.1%→14.2%）。

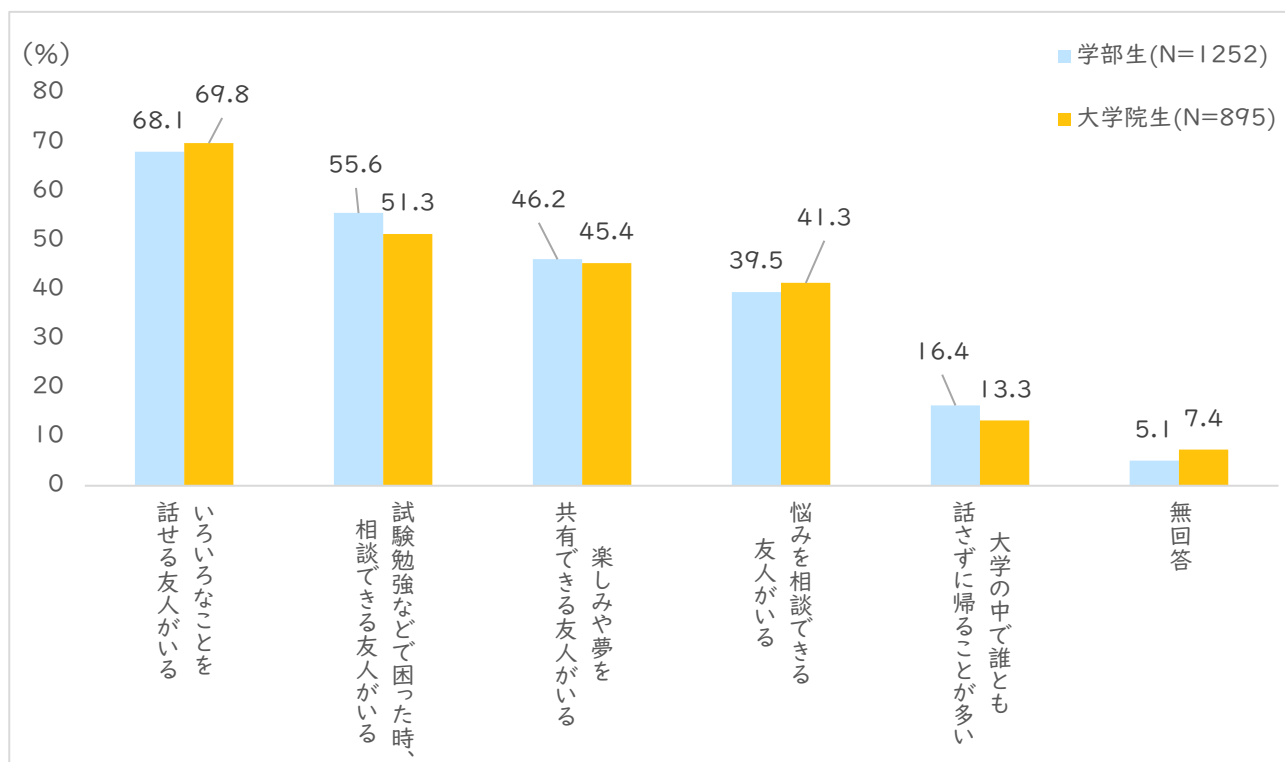
(人)	調査数	1時間以下	2時間以下	3時間以下	4時間以下	5時間以下	5時間を超える	利用しない	無回答
学部生	1,252	64	240	309	236	127	221	2	53
大学院生	895	45	186	237	152	93	127	1	54



(9) 友人について【複数回答可】

学部生・大学院生ともに「いろいろなことを話せる友人がいる」「試験勉強などで困った時、相談できる友人がいる」「楽しみや夢を共有できる友人がいる」の順に多いという結果でした。(前回調査時の項目にはありませんでした)

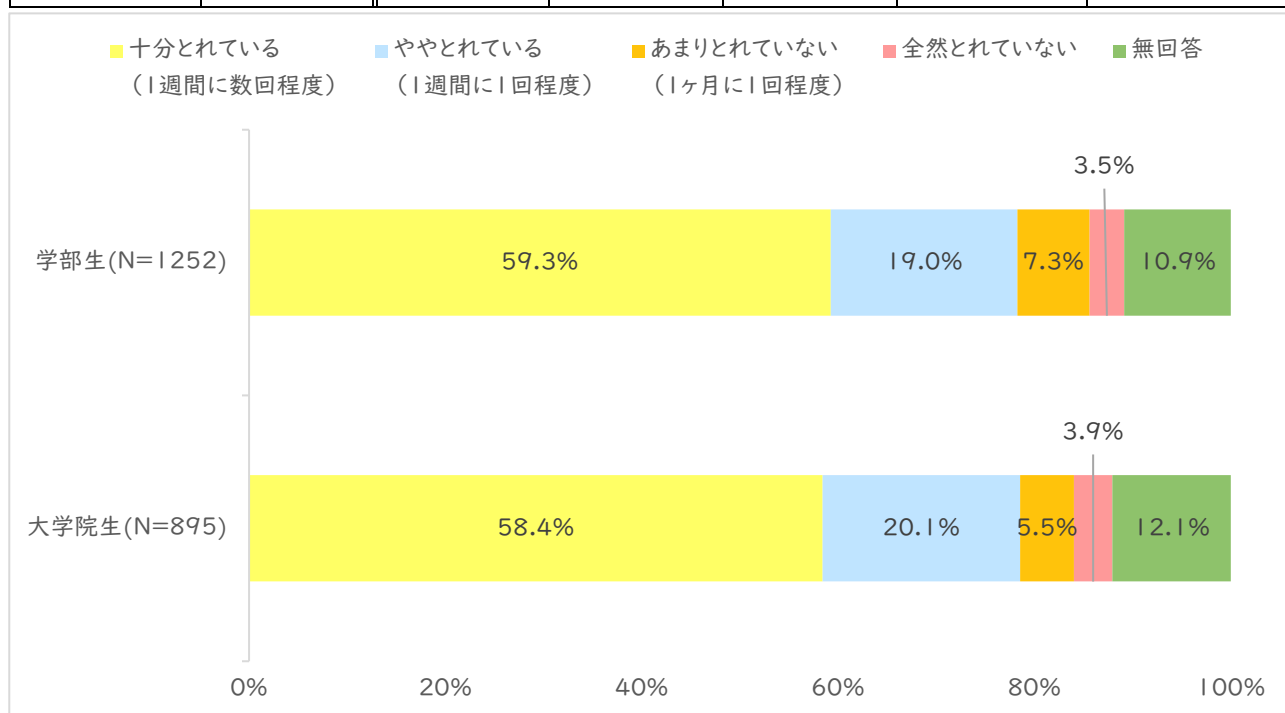
(人)	調査数	いろいろなことを話せる友人がいる	試験勉強などで困った時、相談できる友人がいる	楽しみや夢を共有できる友人がいる	悩みを相談できる友人がいる	大学の中で誰とも話さずに帰ることが多い	無回答
学部生	1,252	852	696	578	494	205	64
大学院生	895	625	459	406	370	119	66



(10) 同級生とのコミュニケーション

学部生・大学院生ともに、「十分とれている」「ややとれている」が8割近いという結果でした。(前回調査時の項目にはありませんでした)

(人)	調査数	十分とれている (1週間に数回程度)	ややとれている (1週間に1回程度)	あまりとれていない (1ヶ月に1回程度)	全然とれていない	無回答
学部生	1,252	742	238	92	44	136
大学院生	895	523	180	49	35	108

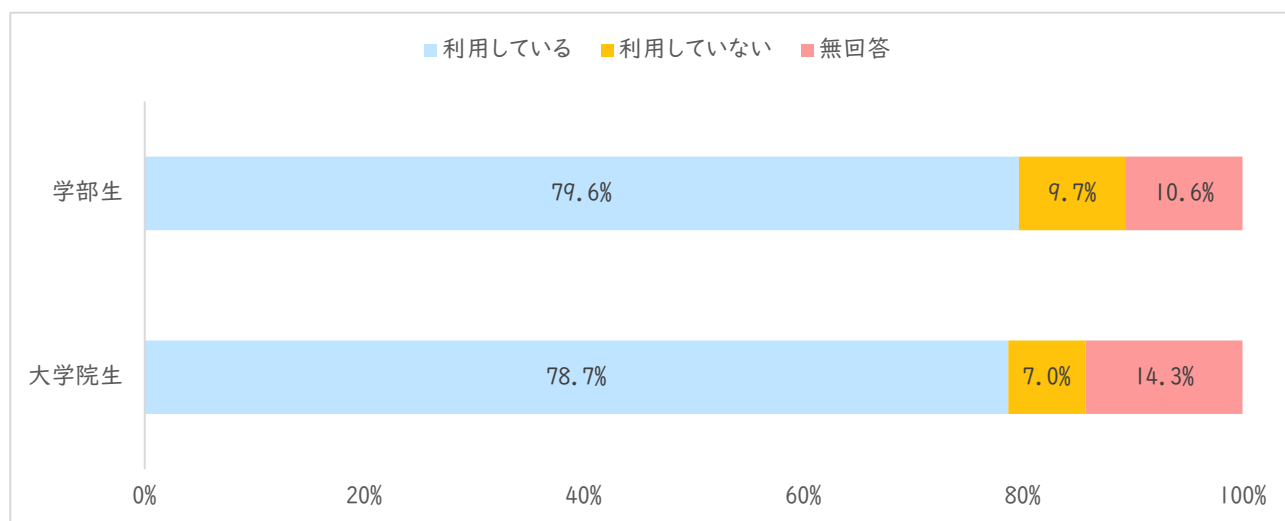


(11) SNS の利用状況

前回調査時では学部生の方が大学院生に比べて多い結果でしたが、今回は、学部生で 79.6%、大学院生で78.7%となり、同程度の結果がみられました。

学部生における割合をみると、前回よりも減少しています(92.7%→79.6%)。

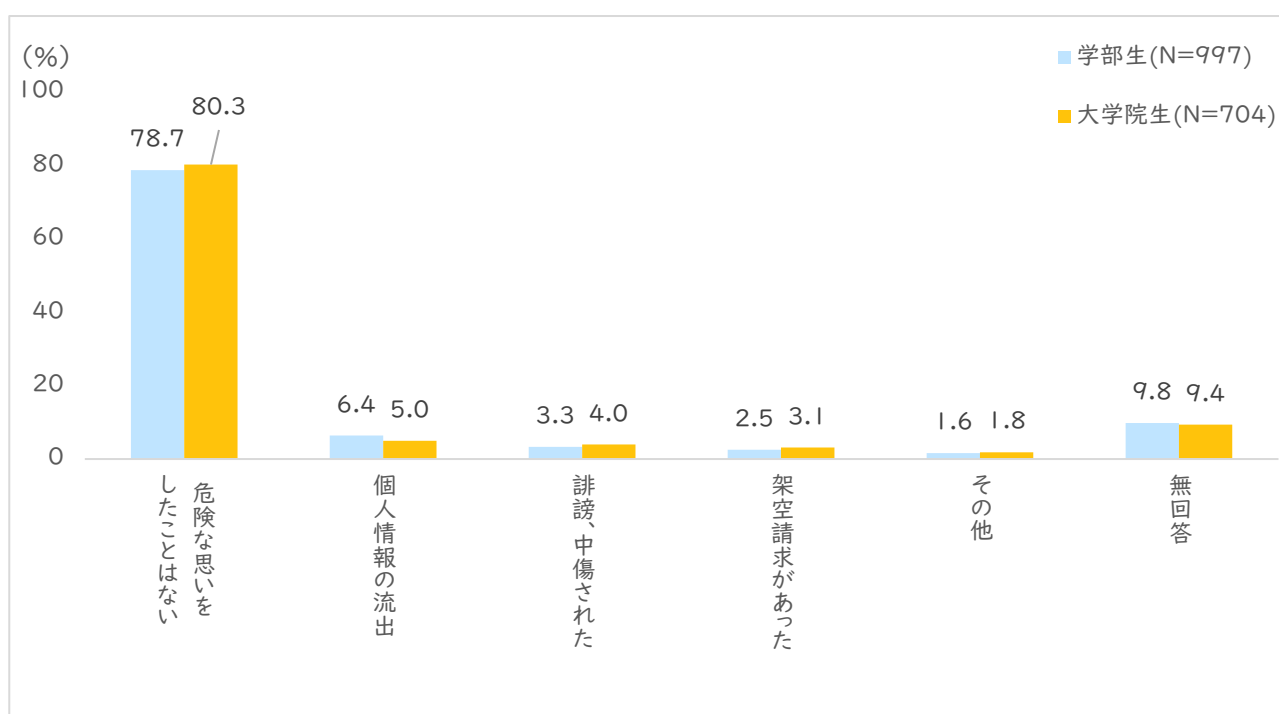
(人)	調査数	利用している	利用していない	無回答
学部生	1,252	997	122	133
大学院生	895	704	63	128



(12) SNSの利用で危険な(嫌な)思いをした経験【複数回答可】

SNSを利用して「危険な思いをしたことはない」割合は、学部生・大学院生ともに8割近くとなっていますが、前回調査時と比較すると学部生では割合が減少し、大学院生では割合が増加しています(学生79.5%→75.3%、大学院生78.8%→85.6%)。

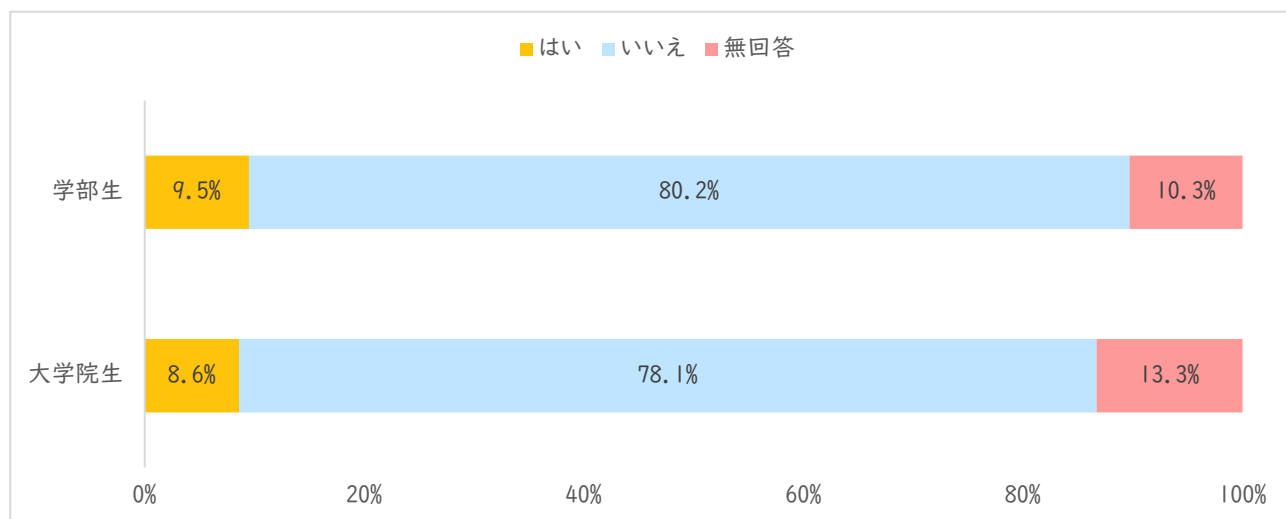
(人)	調査数	危険な思いをしたことはない	個人情報の流出	誹謗、中傷された	架空請求があった	その他	無回答
学部生	997	785	64	33	25	16	98
大学院生	704	565	35	28	22	13	66



(13) 身の危険を感じた経験

身の危険を感じたことがあると回答した学生は9%程度で、前回の約13%に比べて減少しています(前回は前々回6%→前回13%→今回学部生 9.5%・大学院生8.6%)。

(人)	調査数	はい	いいえ	無回答
学部生	1,252	119	1,004	129
大学院生	895	77	699	119

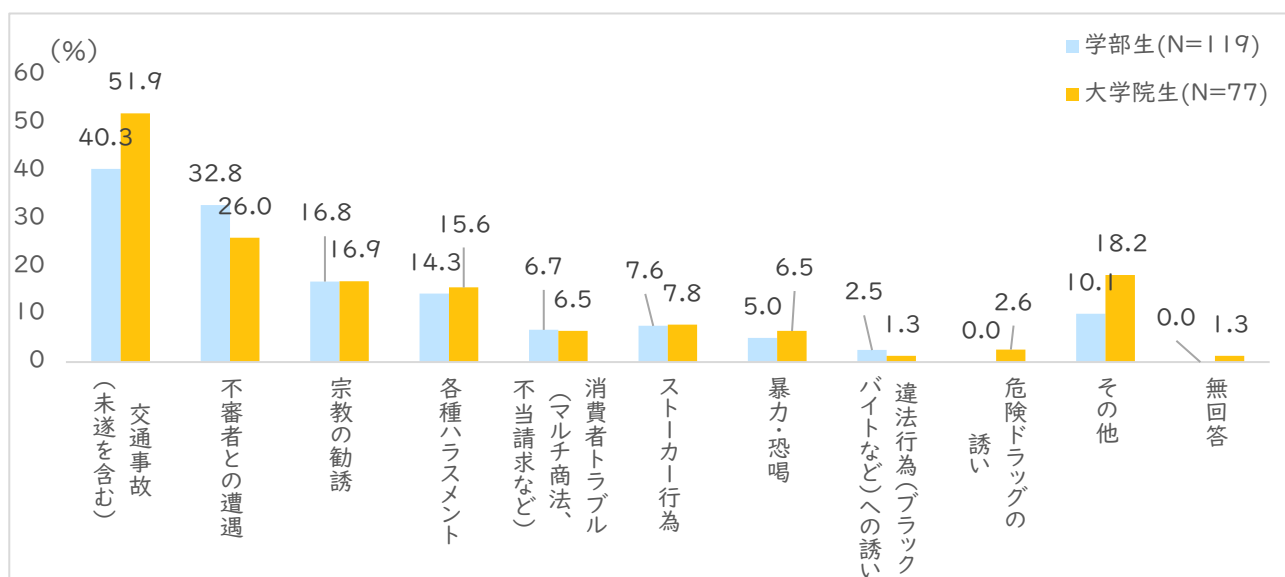


(14) 身の危険を感じた内容【複数回答可】

学部生・大学院生ともに、「交通事故（未遂を含む）」「不審者との遭遇」「宗教の勧誘」「各種ハラスメント」の順で多いという結果でした。

「その他」には野生動物（イノシシ等）との遭遇や隣人トラブル等が見られました。

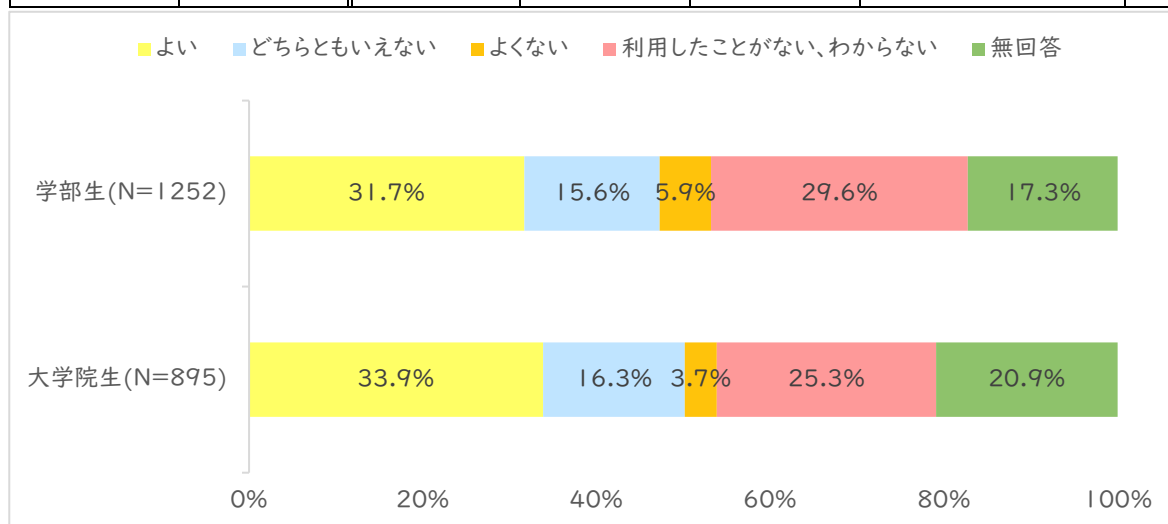
(人)	調査数	交通事故（未遂を含む）	不審者との遭遇	宗教の勧誘	各種ハラスメント	（マルチ商法、不当請求など）消費者トラブル	ストーカー行為	暴力・恐喝	違法行為（ブラックバイトなど）への誘い	危険ドラッグの誘い	その他	無回答
学部生	119	48	39	20	17	8	9	6	3	0	12	0
大学院生	77	40	20	13	12	5	6	5	1	2	14	1



(15) 事務の窓口サービス

学部生・大学院生ともに「よい」が約3割でした。(前回調査時の項目にはありませんでした)

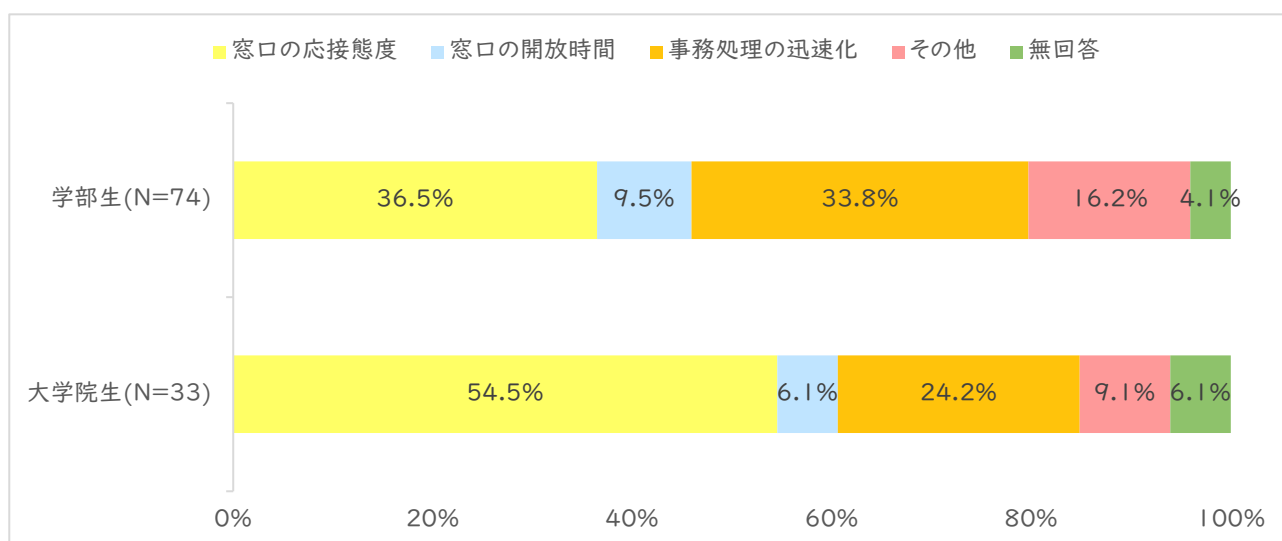
(人)	調査数	よい	どちらとも いえない	よくない	利用したことがない、 わからない	無回答
学部生	1,252	397	195	74	370	216
大学院生	895	303	146	33	226	187



(16) 事務の窓口サービス改善点

学部生・大学院生ともに「窓口の応接態度」「事務処理の迅速化」の割合が多くみられました。(前回調査時の項目にはありませんでした)

(人)	調査数	窓口の応接 態度	窓口の開放 時間	事務処理の 迅速化	その他	無回答
学部生	74	27	7	25	12	3
大学院生	33	18	2	8	3	2



第7章 収入・支出について

(1) 1か月の平均収入額(平均金額)

収入についての項目は、奨学金を貸与型と給付型との区別を設けたこと、家族などからの支援として大学納付金の項目を設けたことの二点の変更を行った。これは、給付型奨学金が増えていること、授業料などを家族の援助なしに支払っている学生がいることなどを踏まえて、より正確な実態を把握するために行った。

学部生については、アルバイト収入が2019年度調査に比べてやや減っている。これはコロナによりアルバイトが減った可能性もあるが、給付型奨学金を得られているためである可能性がある。このため、給付型奨学金を得られている学生の詳細についても調べる必要がある。

大学院生は、学部生に比べて合計収入が多くなっているものの、2019年度調査に比べ一か月あたり10万円程度合計収入が少ない(2019年度約毎月34万円)。とくに、奨学金の受給額やアルバイトも前回調査に比べて減っている。ただし、前回の支出合計(剰余金も含み2019年度約20万円と、毎月10万円以上の差があり大学納付金だけでは説明できない)と今回の合計収入は近い数字であるので、今回の調査がより実態を表している可能性や、今回の回収率が少ないために偏った調査になっている可能性がある。

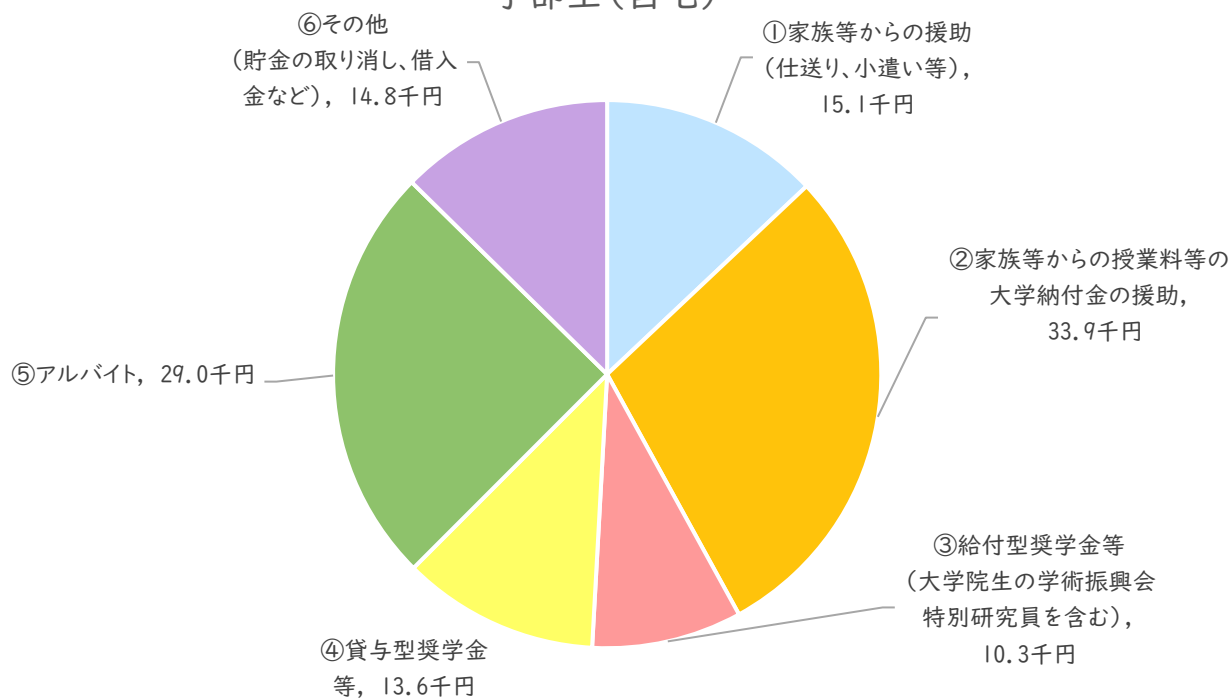
〈自宅〉

(千円)	①家族等からの援助 (仕送り、小遣い等)	②家族等からの授業料等の 大学納付金の援助	③給付型奨学金等 (大学院生の学術振興会 特別研究員を含む)	④貸与型奨学金等	⑤アルバイト	⑥その他 (貯金の取り消し、借入金など)	合計
学部生	15.1	33.9	10.3	13.6	29.0	14.8	116.8
大学院生	9.7	23.3	31.7	12.4	47.4	44.4	169.0

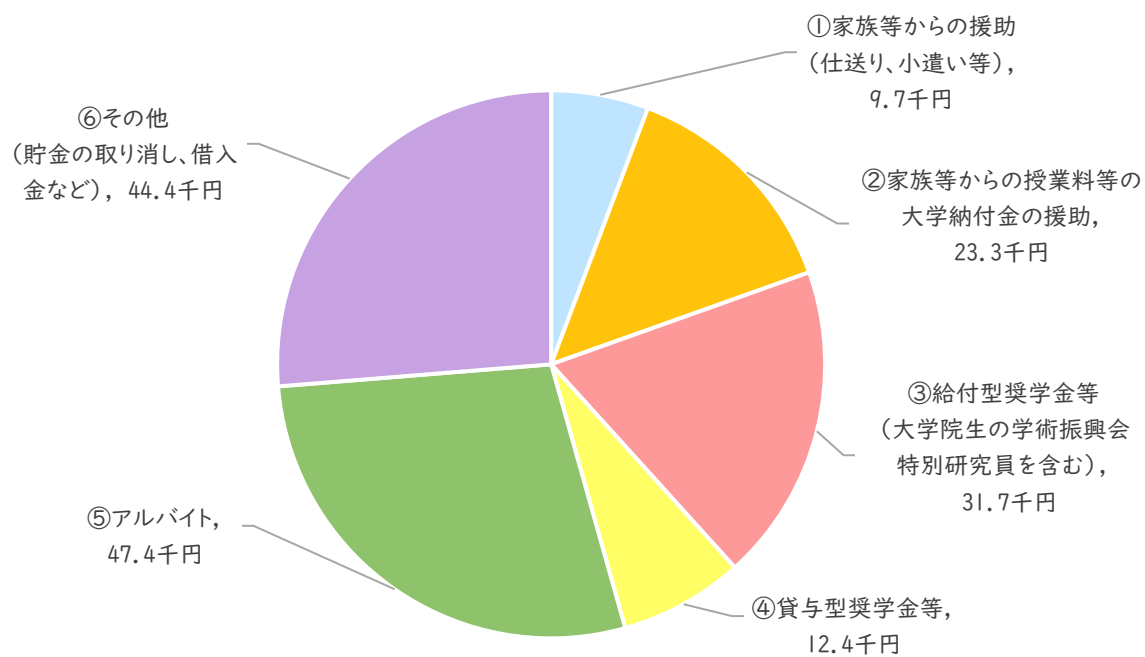
〈自宅外〉

(千円)	①家族等からの援助 (仕送り、小遣い等)	②家族等からの授業料等の 大学納付金の援助	③給付型奨学金等 (大学院生の学術振興会 特別研究員を含む)	④貸与型奨学金等	⑤アルバイト	⑥その他 (貯金の取り消し、借入金など)	合計
学部生	57.0	46.2	28.0	17.6	39.1	17.6	205.5
大学院生	46.2	41.3	43.4	22.9	76.0	7.6	237.3

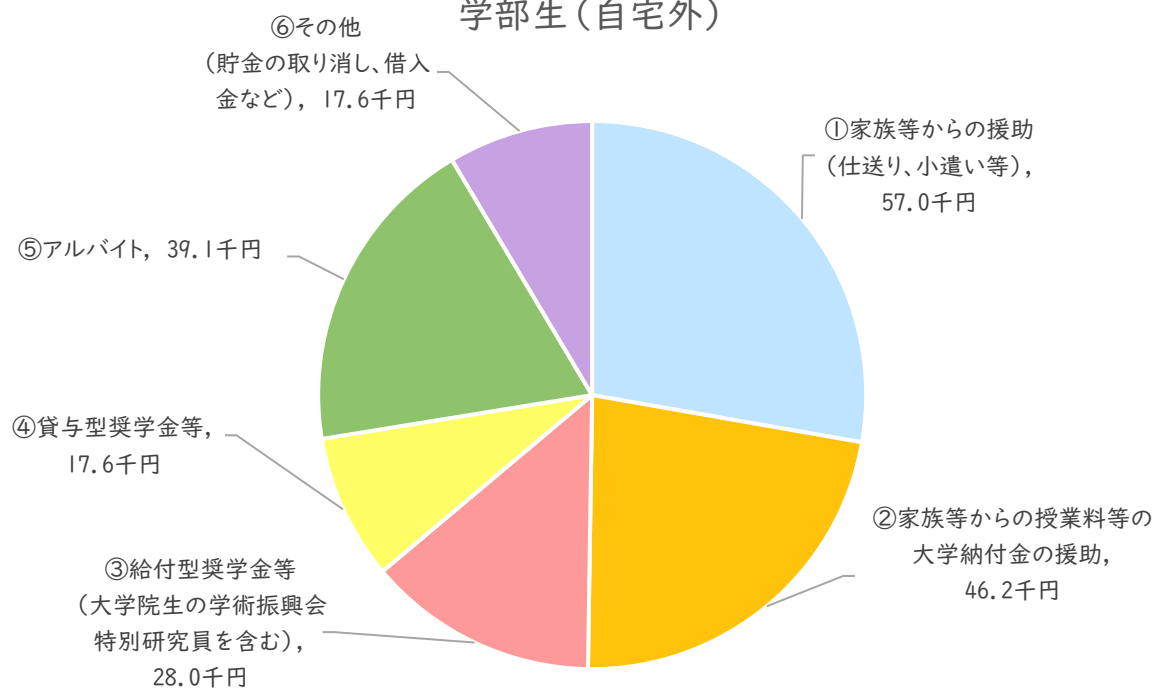
学部生（自宅）



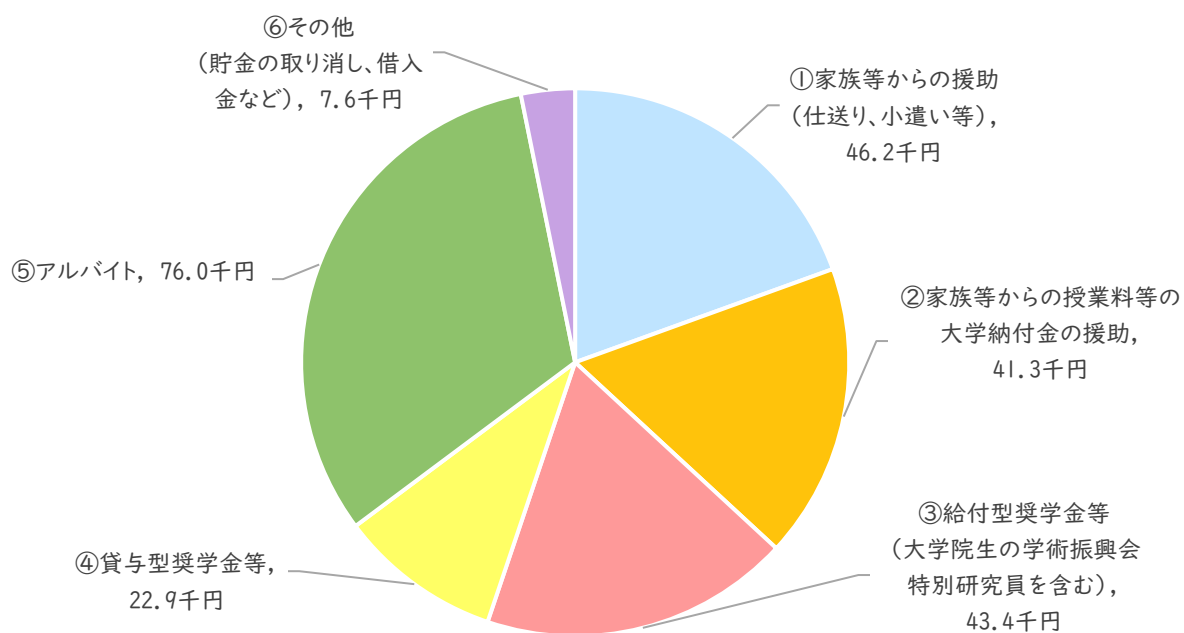
大学院生（自宅）



学部生（自宅外）



大学院生（自宅外）



(2) 1 か月の平均支出額(構成比)

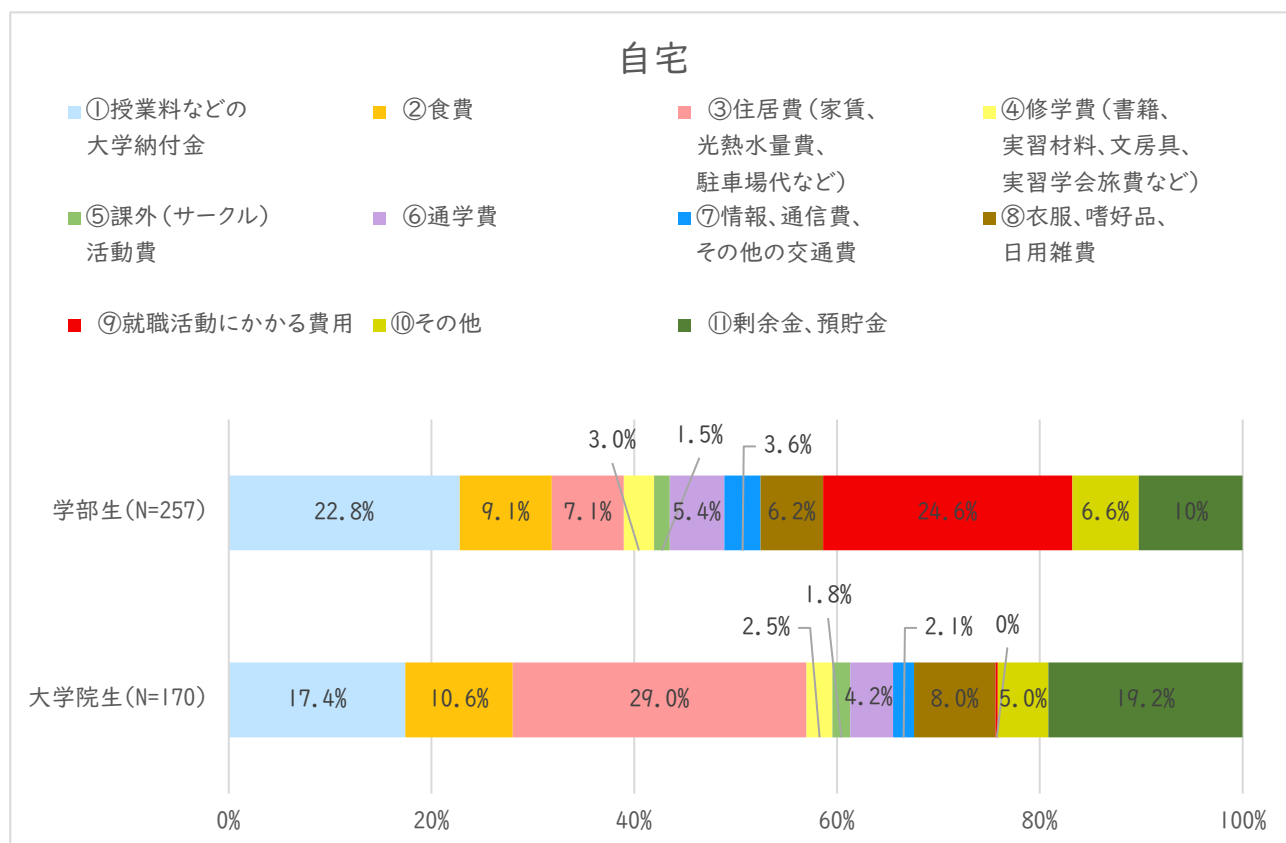
今回の調査では、大学納付金の項目と就職活動にかかる費用の項目を新たに加えた。これは、大学納付金を家族からの援助なしに支払っている学生がいること、就職活動に費用がかかることを反映させて、より正確な実態の把握が可能になると考えたからである。

学部生では、2019年度の調査と比較して、食費がやや減っている(2019年度は、全体で2.4万円)が、全体としての傾向はあまり変わらない。自宅生と自宅外生を比較すると、就職活動にかけている費用に大きな差があるように見える。これは、好ましいことではないので、今後詳しい解析を進める必要があるかもしれない。

大学院生では、2019年度の調査と比較して、食費がやや減っている(2019年度は、全体で3.4万円)が、全体としての傾向はあまり変わらない。自宅生で住居費がかかっているのは、独立して生計を営んでいる学生がいるためではないかと考える。

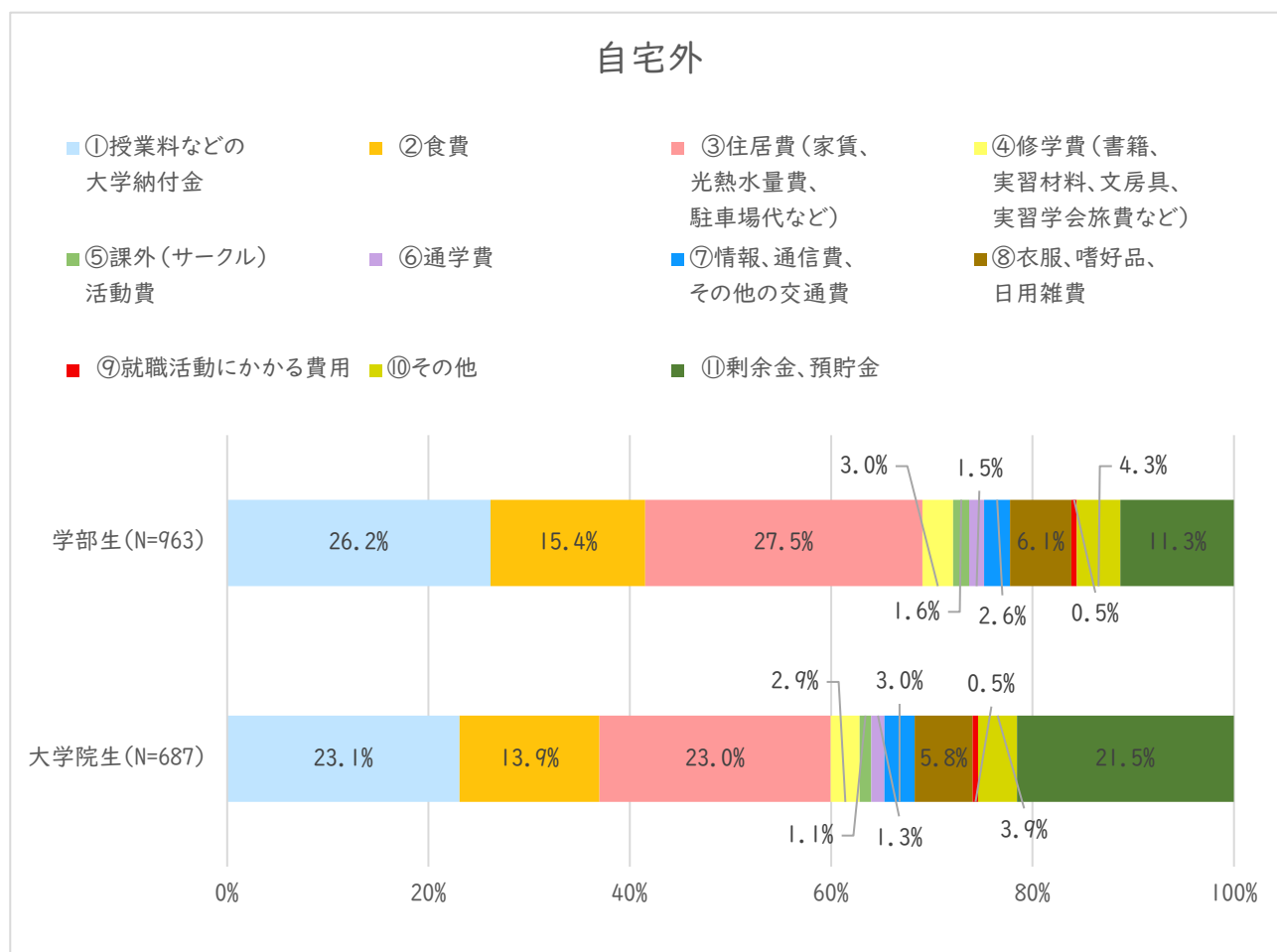
〈自宅〉

(千円)	①授業料などの 大学納付金	②食費	③住居費(家賃、 光熱水量費、駐車場代など)	④修学費(書籍、 実習材料、文房具、 実習学会旅費など)	⑤課外(サークル) 活動費	⑥通学費	⑦情報、通信費、その他の交通費	⑧衣服、嗜好品、日用雑費	⑨就職活動にかかる費用	⑩その他	⑪剰余金、預貯金	合計
学部生 (N=257)	35.8	14.2	11.2	4.7	2.4	8.5	5.6	9.7	38.6	10.3	16.1	157.1
大学院生 (N=170)	30.1	18.3	50.1	4.4	3.0	7.3	3.6	13.9	0.4	8.6	33.1	172.8



〈自宅外〉

(千円)	①授業料などの 大学納付金	②食費	③住居費(家賃、光熱水量費、 駐車場代など)	④修学費(書籍、 実習材料、文房具、 実習学会旅費など)	⑤課外(サークル) 活動費	⑥通学費	⑦情報、通信費、その他の交通費	⑧衣服、嗜好品、 日用雑費	⑨就職活動にかかる費用	⑩その他	⑪剰余金、預貯金	合計
学部生 (N=963)	42.6	25.0	44.8	5.0	2.6	2.4	4.2	9.9	0.9	7.1	18.4	162.8
大学院生 (N=687)	48.7	29.3	48.4	6.1	2.4	2.8	6.4	12.1	1.1	8.2	45.4	210.9



(3) 家族等からの送金と修学の関係

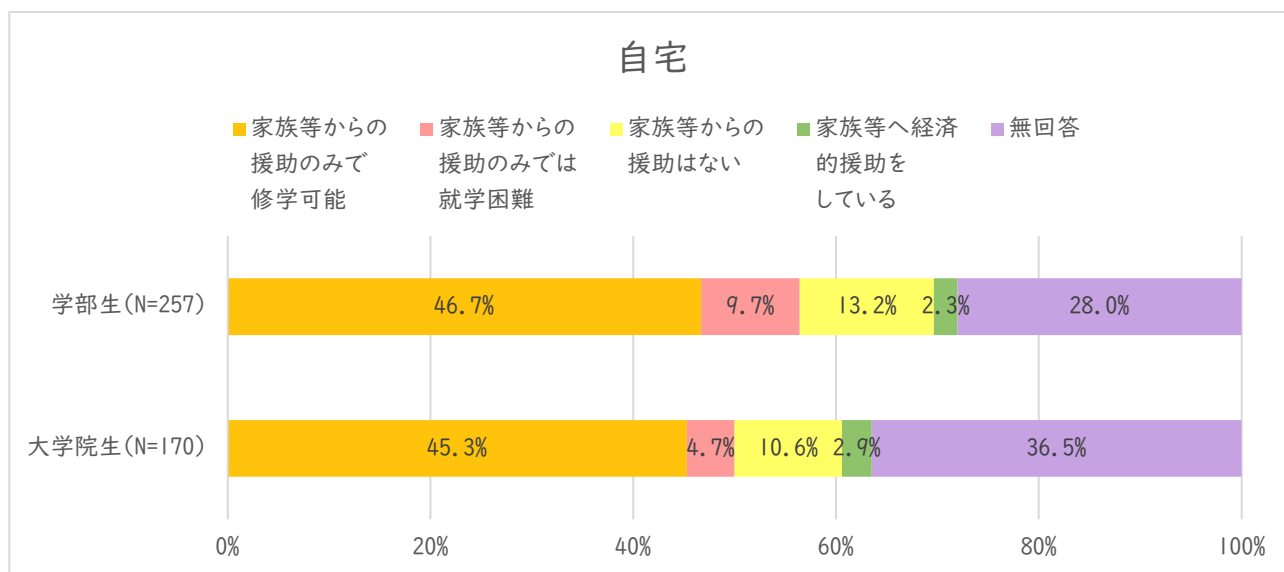
この家族などからの援助と修学との関係には、自宅生と自宅外生との差は、学部生でも大学院生でもあまり見られないことがわかった。収入などの関係から、自宅外生はより大きい額の仕送りを受けていると考えられる。一方で、総数としては少ないが、家族などへの経済的援助をしている割合がやや増えている。個別の事情は分からないが、家族などへ経済的援助が勉学に及ぼす影響などを今後注視する必要があるかもしれない。

学部生では、2019年度の調査と比較すると家族などからの援助のみで就学可能な方の割合が10%以上減っている。総支出額はそれほど変わっていないので、就学可能なほどの援助ができない家族などが増えた可能性がある。

大学院生では、2019年度の調査と比較して、大きな変化はない。

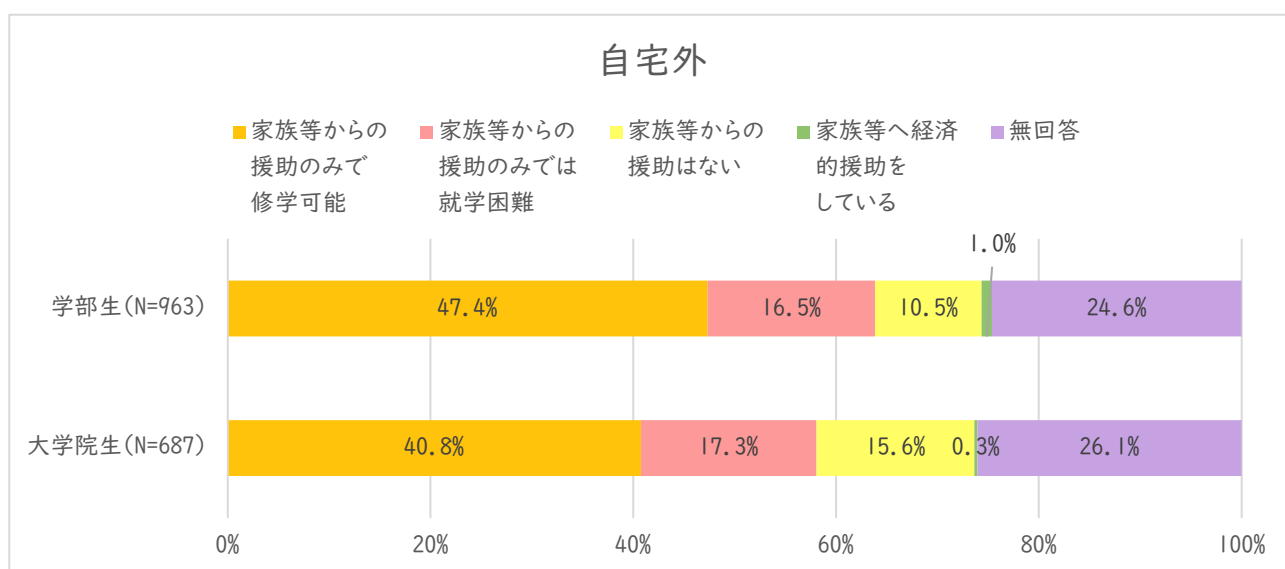
〈自宅〉

(人)	調査数	家族等からの援助のみで修学可能	家族等からの援助のみでは就学困難	家族等からの援助はない	家族等へ経済的援助をしている	無回答
学部生	257	120	25	34	6	72
大学院生	170	77	8	18	5	62



〈自宅外〉

(人)	調査数	家族等からの 援助のみで 修学可能	家族等からの 援助のみでは 就学困難	家族等からの 援助はない	家族等へ経済 的援助を している	無回答
学部生	963	456	159	101	10	237
大学院生	687	280	119	107	2	179



第 8 章 アルバイトについて

(1) アルバイトの状況

前回の調査と比較して、無回答が多いので、正確な実態を把握できているか多少疑問がのこるが、自宅外の学部生のみアルバイトをしている学生の割合は減っている。とくに、学部生で住居費がいらないと思われる自宅生の方が、アルバイトをしている割合が高く、自宅外生でアルバイトをしたいのにできない学生がいる可能性がある（合計アルバイトをしている割合）自宅生約 65%、自宅外生約 50%）。この理由としては、大学近辺（伊都地区）でのアルバイト求人が少ないことなどが考えられるが、今後大学が適切なアルバイトを紹介するなどのサポートが必要になるかも知れない。

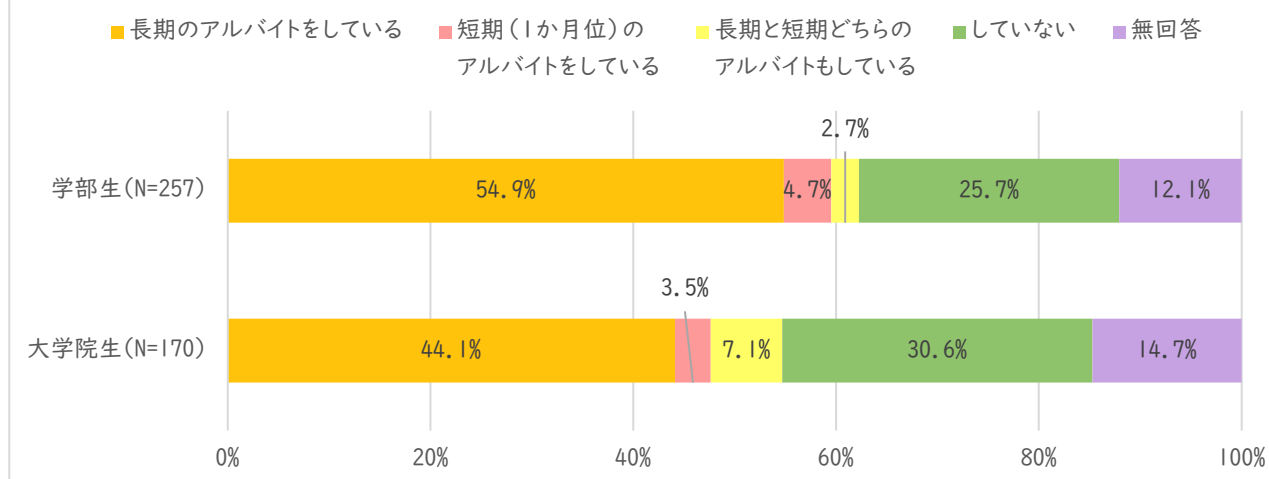
〈自宅〉

(人)	調査数	長期のアルバイトをしている	短期（1か月位）のアルバイトをしている	長期と短期どちらのアルバイトもしている	していない	無回答
学部生	257	141	12	7	66	31
大学院生	170	75	6	12	52	25

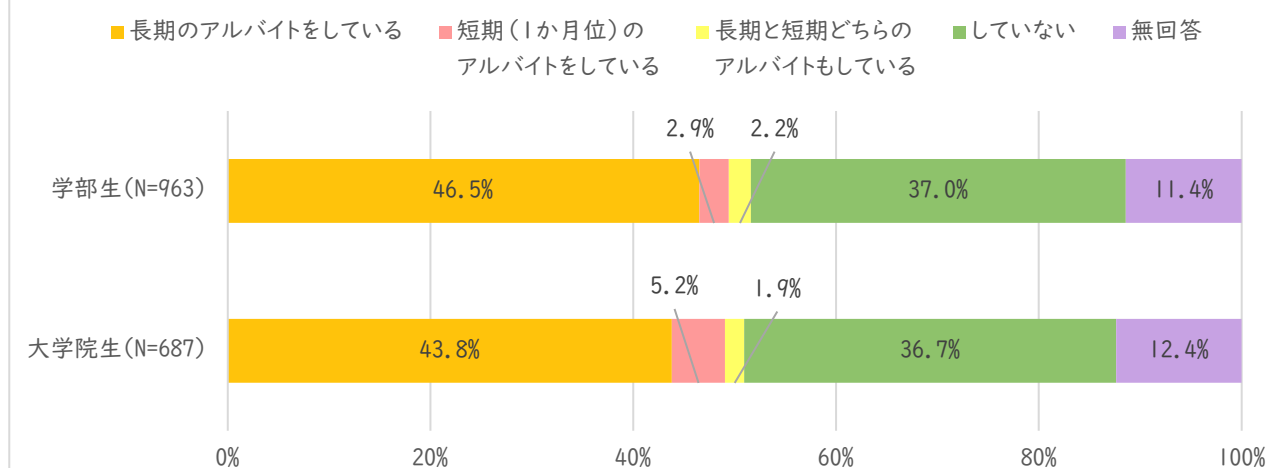
〈自宅外〉

(人)	調査数	長期のアルバイトをしている	短期（1か月位）のアルバイトをしている	長期と短期どちらのアルバイトもしている	していない	無回答
学部生	963	448	28	21	356	110
大学院生	687	301	36	13	252	85

自宅



自宅外



(2) アルバイトをしている理由

アルバイトをしている理由については、学部生と大学院生との比較、自宅生と自宅外生との比較であまりおおきな違いはない。

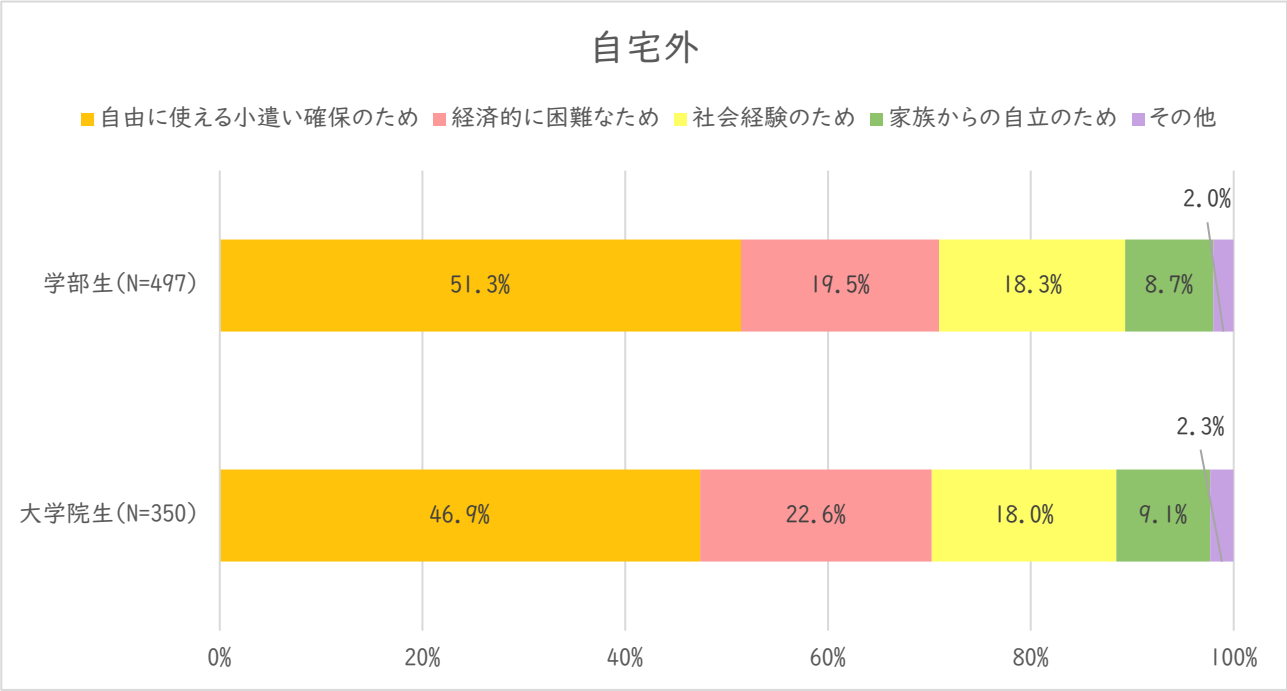
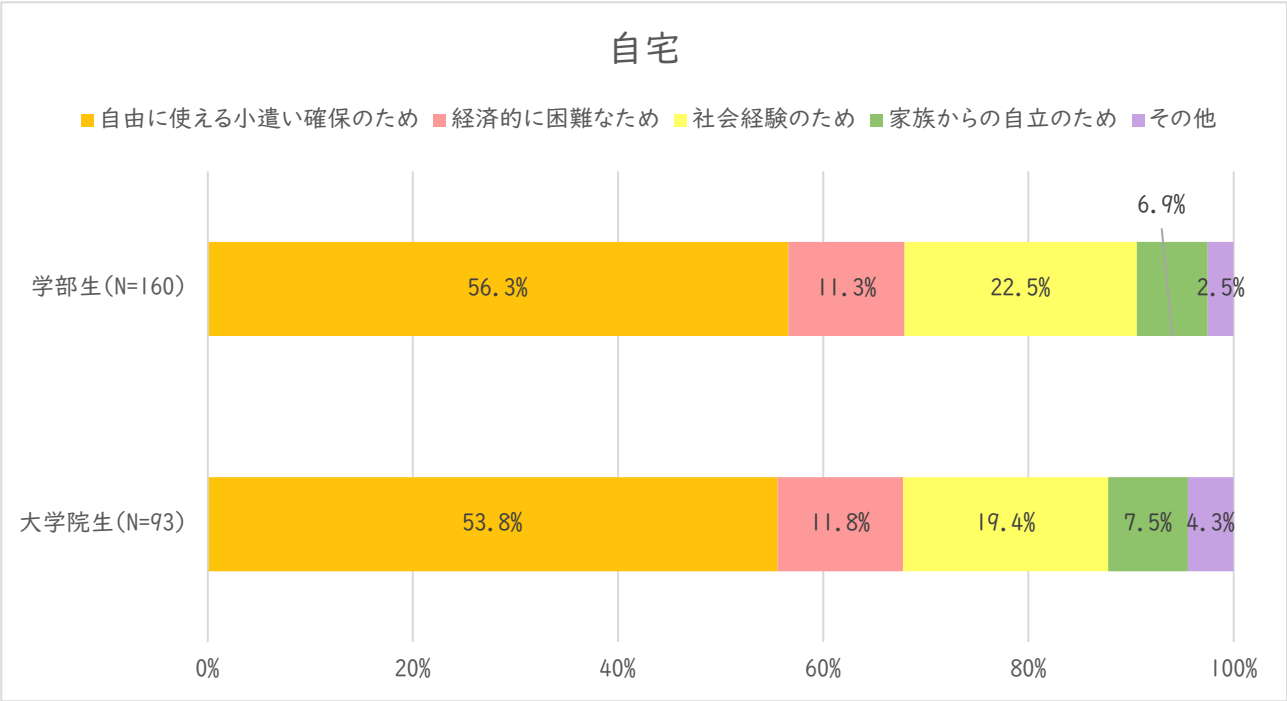
いずれの場合にも自由に使える小遣いの確保のためという理由でアルバイトをしているものが半数以上を占めている。大学院生では、経済的に困難なためという理由が2019年度(約35%)より減っているのは、大学などのサポートの効果が出ている可能性がある。また、経済的な理由以外(とくに自由に使える小遣いの確保のため)でのアルバイトが勉学に与える影響についても、今後注視する必要がある。

〈自宅〉

(人)	調査数	自由に使える小遣い確保のため	経済的に困難なため	社会経験のため	家族からの自立のため	その他	無回答
学部生	160	90	18	36	11	4	1
大学院生	93	50	11	18	7	4	3

〈自宅外〉

(人)	調査数	自由に使える小遣い確保のため	経済的に困難なため	社会経験のため	家族からの自立のため	その他	無回答
学部生	497	255	97	91	43	10	1
大学院生	350	164	79	63	32	8	4



(3) アルバイトの職種【複数回答可】

学部生では、飲食店でのアルバイトが2019年度調査（約 40%）に比べて減り、塾予備校講師は2019年度調査（約 35%）に比べて増加している。とくに、自宅生が自宅外生より塾予備校講師をしている学生の割合がかなり高い。これは、高校時代までの関係など地域のつながりがいないために、自宅外生は比較的時給が高いアルバイトに塾予備校講師のアルバイトをできていない可能性がある。これについては、大学で塾予備校講師のアルバイトを探す支援を行うことが望ましい。（行っている大学もある。）

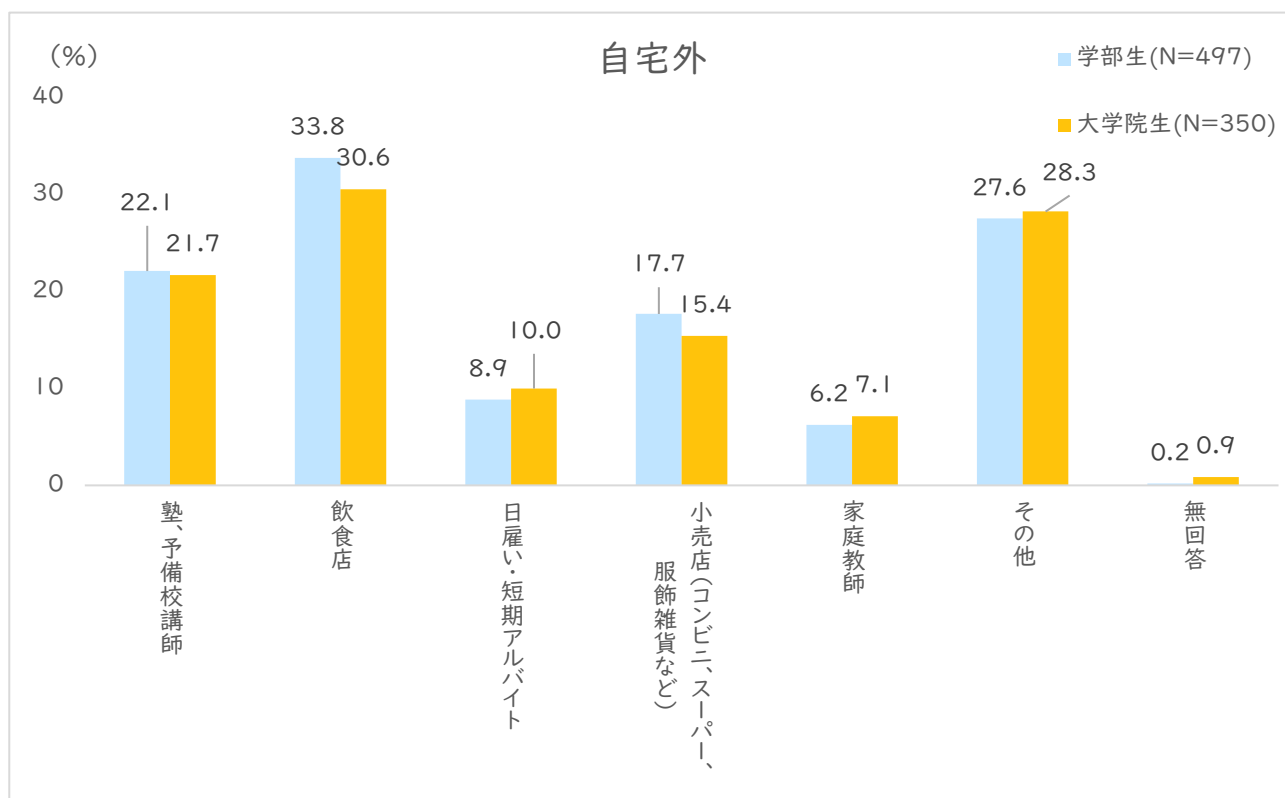
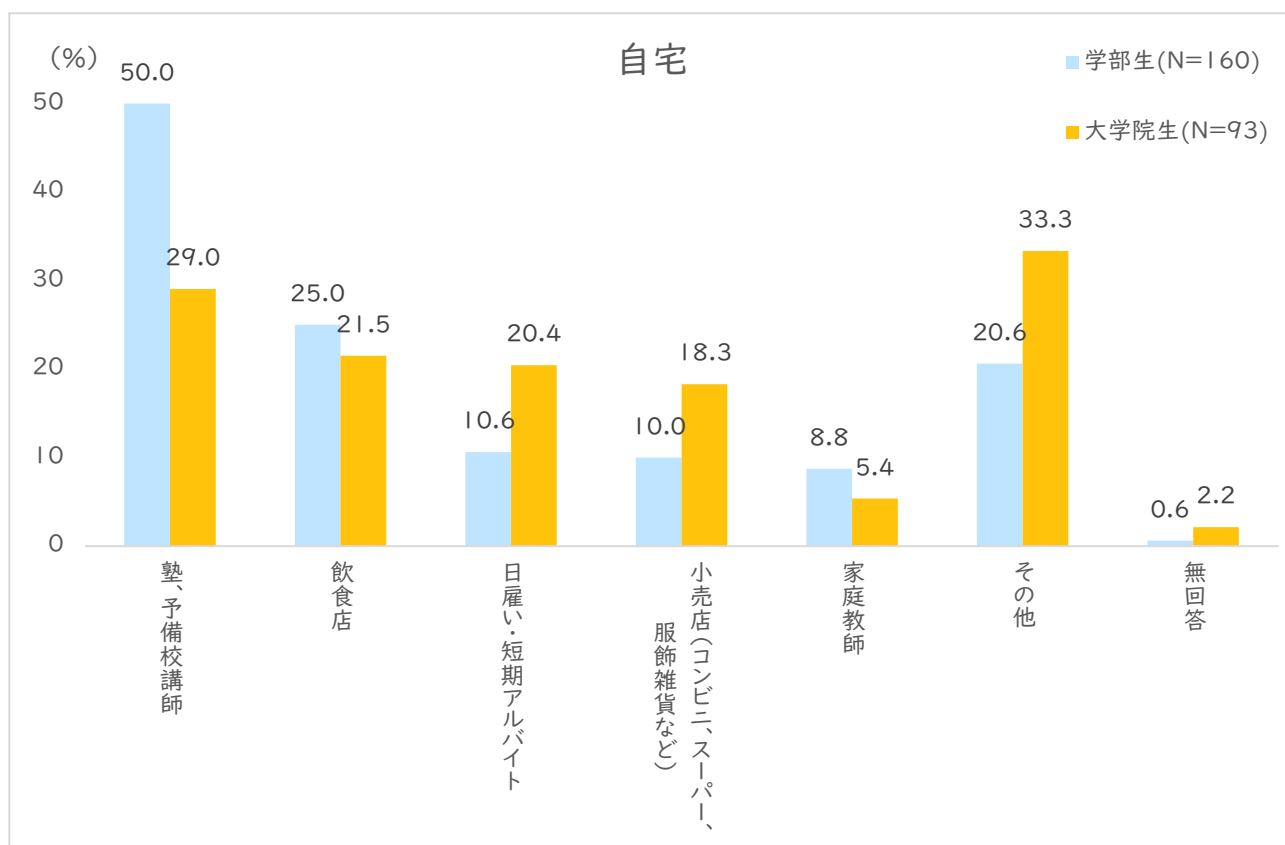
大学院生では、飲食店がやや多い傾向にあるが、これは2019年度の調査とあまり大きくは変わらない。

〈自宅〉

(人)	調査数	塾、予備校講師	飲食店	日雇い・短期アルバイト	小売店（コンビニ、スーパー、服飾雑貨など）	家庭教師	その他	無回答
学部生	160	80	40	17	16	14	33	1
大学院生	93	27	20	19	17	5	31	2

〈自宅外〉

(人)	調査数	塾、予備校講師	飲食店	日雇い・短期アルバイト	小売店（コンビニ、スーパー、服飾雑貨など）	家庭教師	その他	無回答
学部生	497	110	168	44	88	31	137	1
大学院生	350	76	107	35	54	25	99	3



(4) 1 週間の勤務日数

アルバイトしている日数については、学部生と大学院生との比較、自宅生と自宅外生との比較であまり大きな違いはないが、やや自宅外生の方が多い傾向にある。一方で、アルバイト収入では、大きく差がある。次項の時間数にも差がなく、時給が良いアルバイトをしているようでもないなので、このような結果が得られている理由はよくわからない。

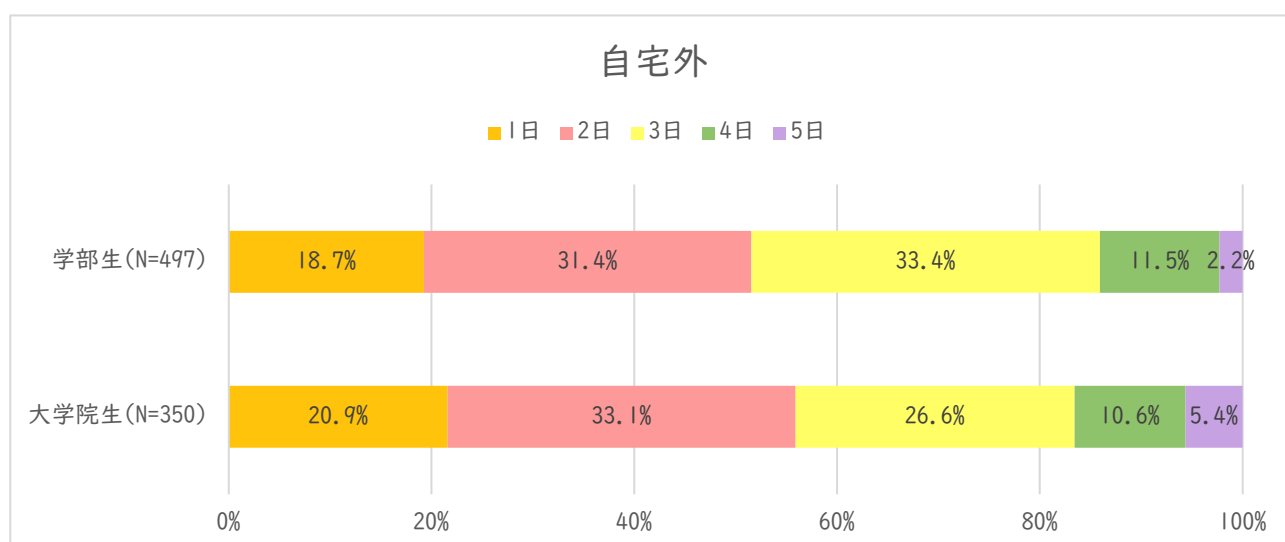
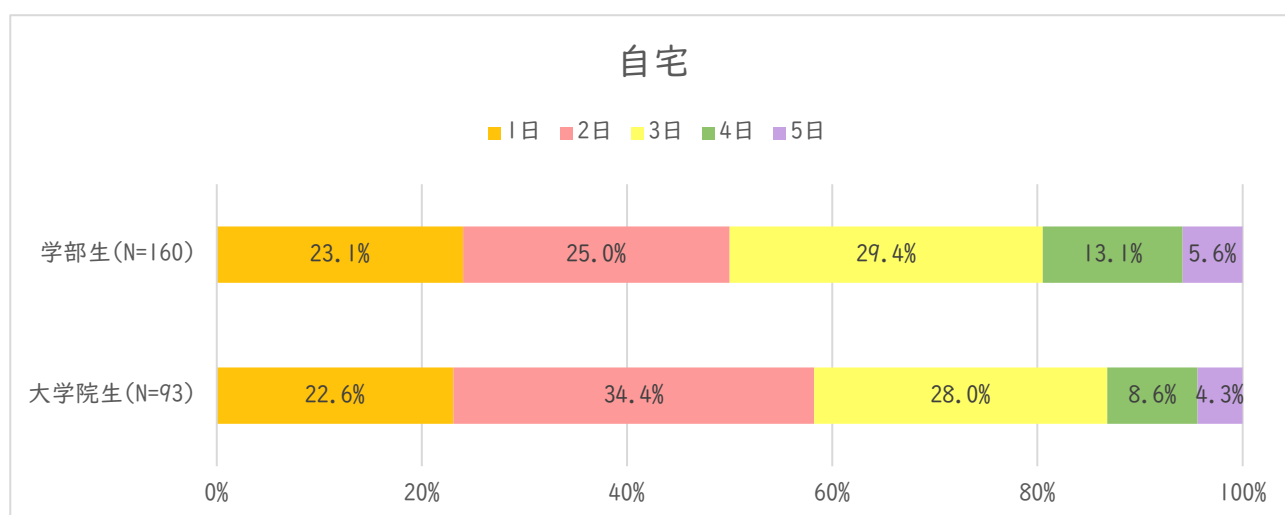
全体としての傾向は、前回調査とあまり大きくは変わっていない。

〈自宅〉

(人)	調査数	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無回答
学部生	160	37	40	47	21	9	2	1	3
大学院生	93	21	32	26	8	4	0	0	2

〈自宅外〉

(人)	調査数	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無回答
学部生	497	93	156	166	57	11	0	3	11
大学院生	350	73	116	93	37	19	3	0	9



(5) 1 週間のアルバイト時間

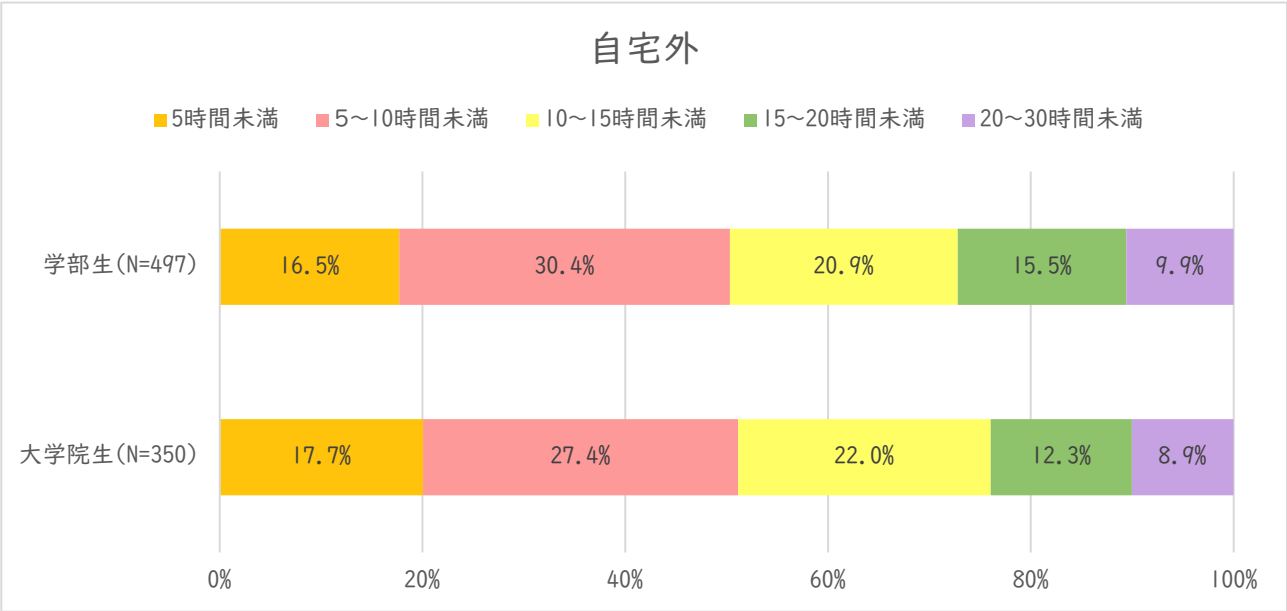
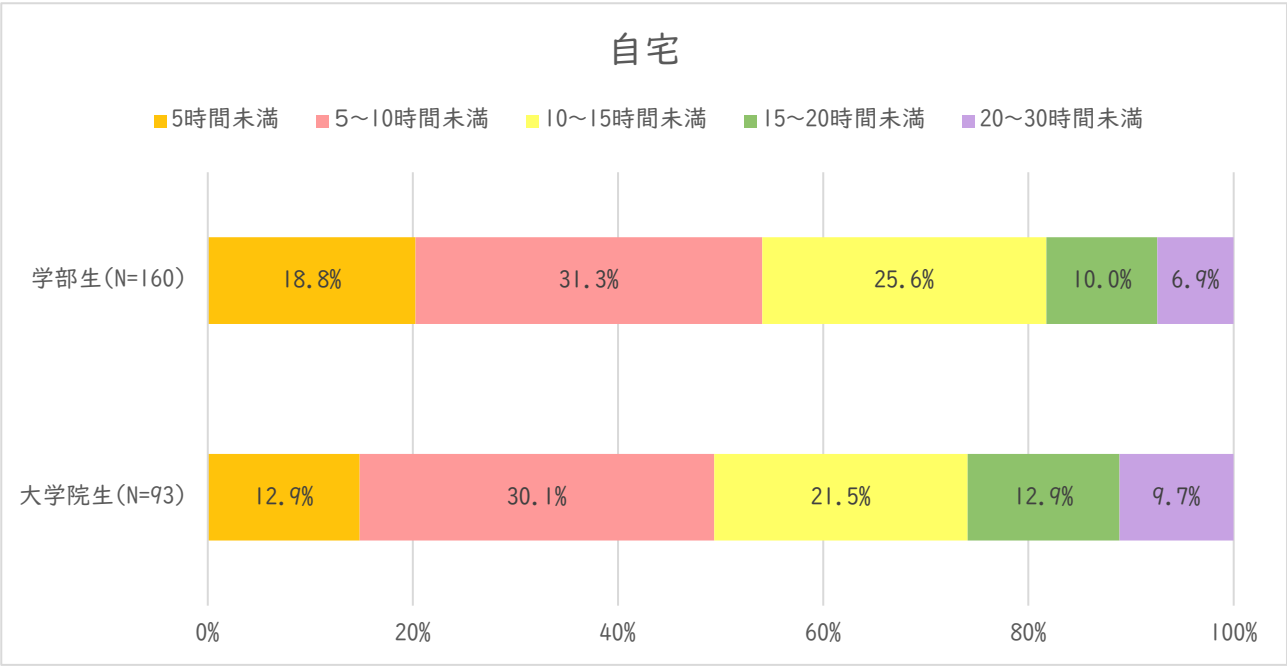
2019年度調査と比較すると、一週間のアルバイト時間は、それほど変わらないように見える。自宅と自宅外生や、学部生と大学院生とを比較してもあまり変わりがないように見える。

〈自宅〉

(人)	調査数	5時間未満	5～10時間未満	10～15時間未満	15～20時間未満	20～30時間未満	30～40時間未満	40時間以上	無回答
学部生	160	30	50	41	16	11	2	1	9
大学院生	93	12	28	20	12	9	3	0	9

〈自宅外〉

(人)	調査数	5時間未満	5～10時間未満	10～15時間未満	15～20時間未満	20～30時間未満	30～40時間未満	40時間以上	無回答
学部生	497	82	151	104	77	49	3	0	31
大学院生	350	62	96	77	43	31	5	4	32



(6) アルバイト収入の使い道【複数回答可】

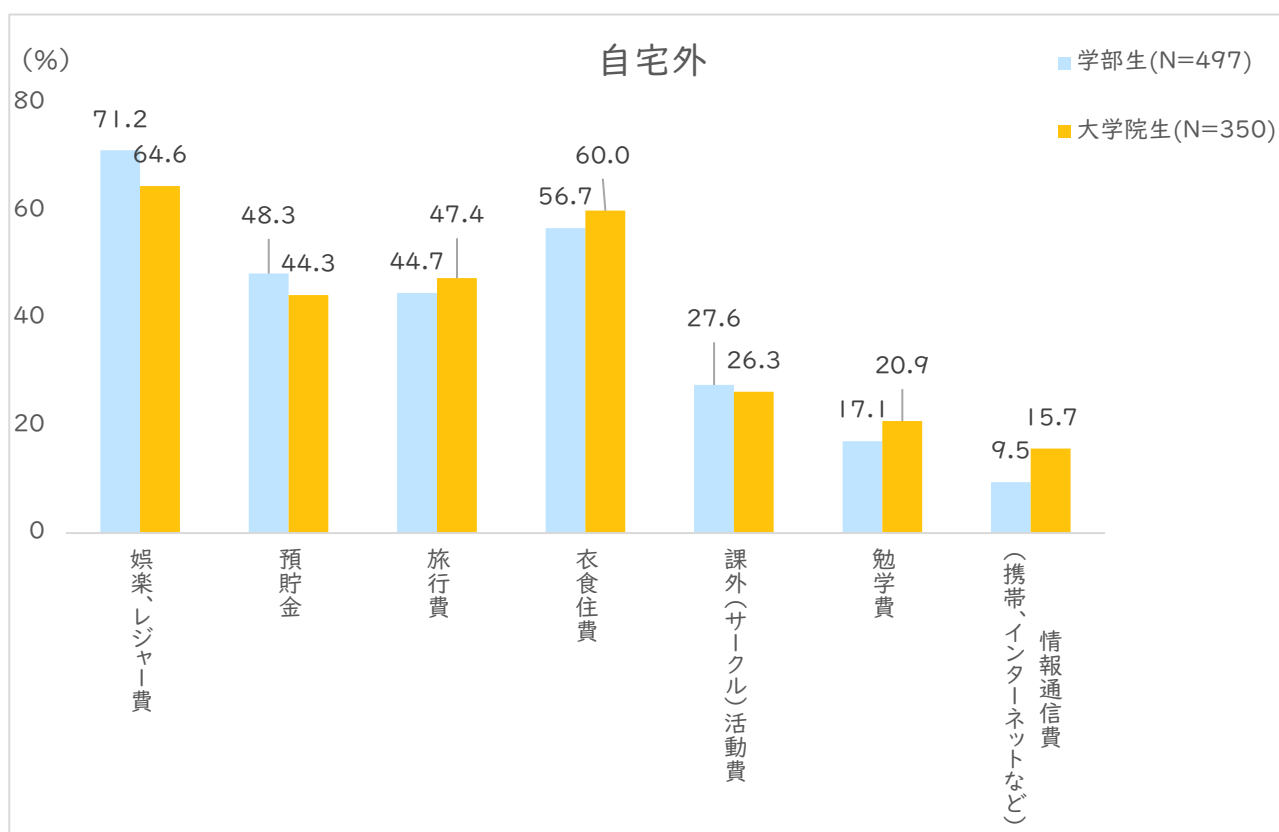
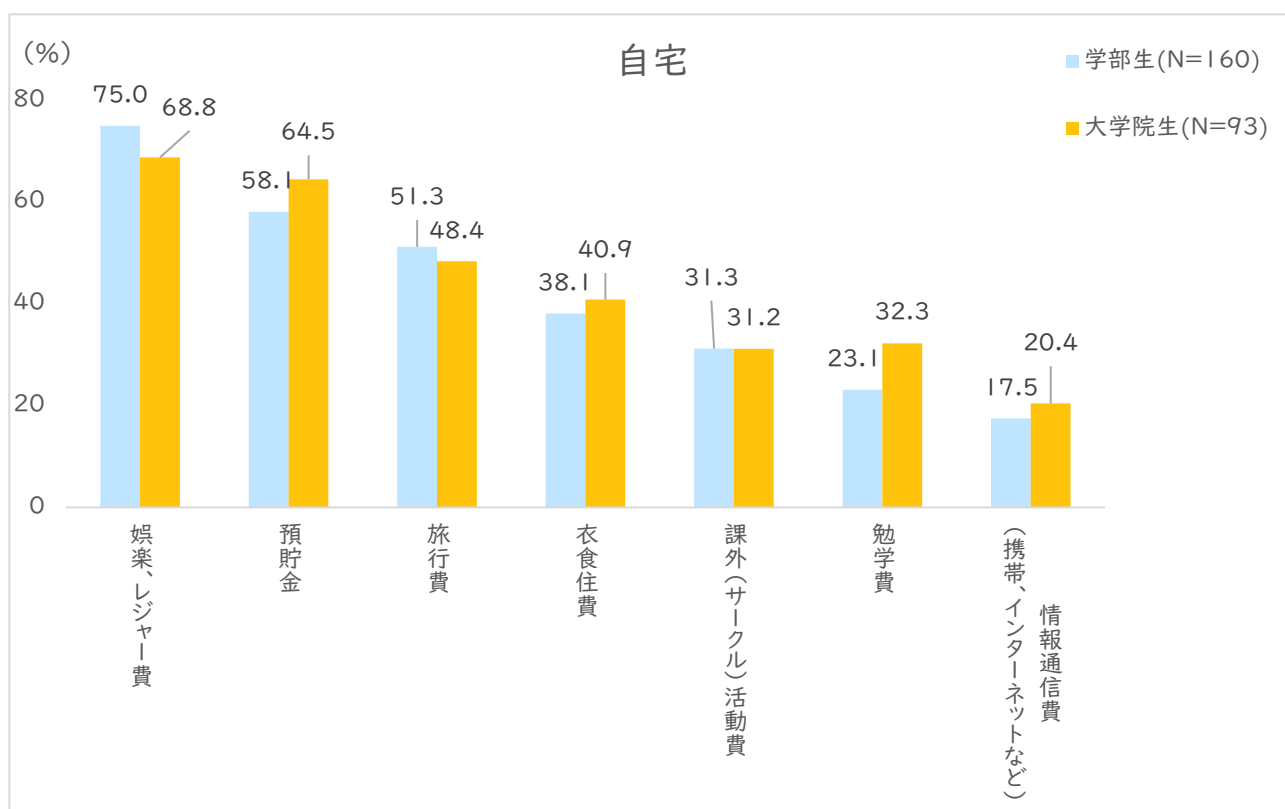
2019年度の調査と比較すると、預貯金にしている学生の割合が増えている(2019 年度学部生約 35%、大学院生約 25%)。それ以外も、概ね増えているが、大学院生の課外活動費(2019 年度約 10%)が約 3 倍になっている。いずれにしても勉学や衣食住など以外の「自由になるお小遣いを増やすため」に多くの学生がアルバイトをしているようにみえる。

〈自宅〉

(人)	調査数	娯楽、レジャー費	預貯金	旅行費	衣食住費	課外(サークル)活動費	勉学費	(携帯、インターネットなど) 情報通信費	技術、資格などの取得費用	家電などの購入費	授業料	その他	無回答
学部生	160	120	93	82	61	50	37	28	25	17	15	5	2
大学院生	93	64	60	45	38	29	30	19	12	8	12	1	2

〈自宅外〉

(人)	調査数	娯楽、レジャー費	預貯金	旅行費	衣食住費	課外(サークル)活動費	勉学費	(携帯、インターネットなど) 情報通信費	技術、資格などの取得費用	家電などの購入費	授業料	その他	無回答
学部生	497	354	240	222	282	137	85	47	60	64	22	5	5
大学院生	350	226	155	166	210	92	73	55	43	71	33	4	8



(7) アルバイトと学業の関係【複数回答可】

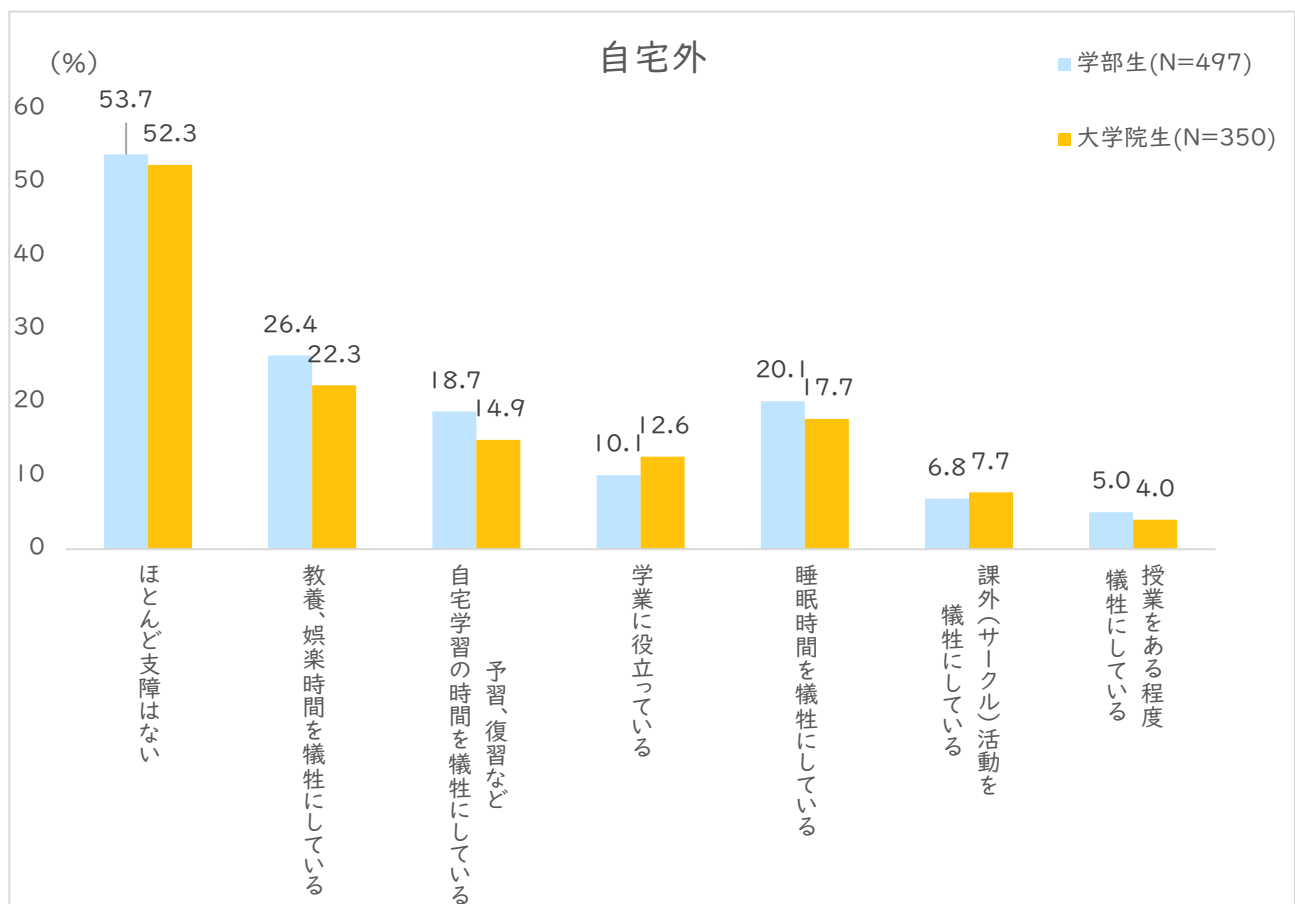
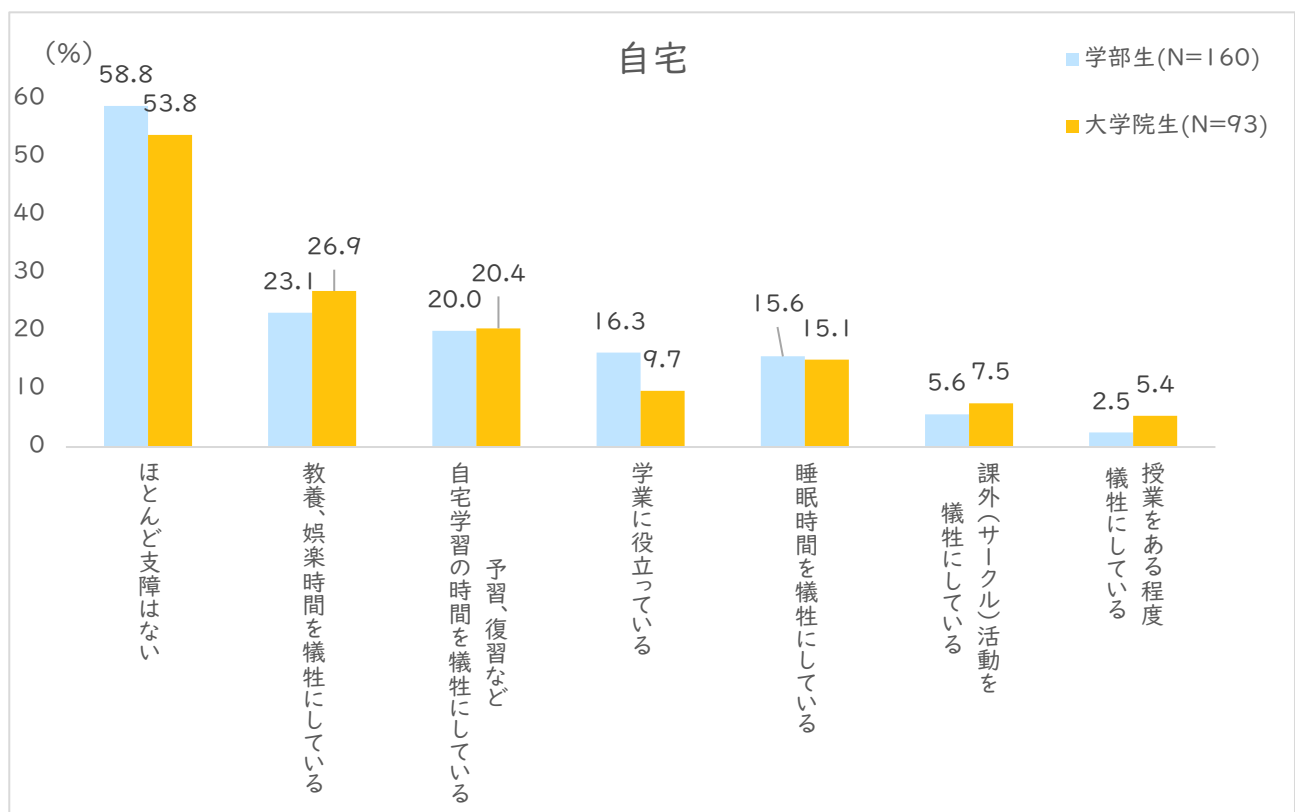
2019年度の調査と比べてもほぼ同じ結果である。心配なのは、延べ人数ではあるが、学業や睡眠時間を犠牲にしていると答えている学生が多いことである。「自由になるお小遣いを増やすため」にこれらを犠牲にしている学生がいる可能性も十分考えられ、今後さらなる分析が必要である。

〈自宅〉

(人)	調査数	ほとんど支障はない	教養、娯楽時間を犠牲にしている	自宅学習の時間を犠牲にしている 予習、復習など	学業に役立っている	睡眠時間を犠牲にしている	課外（サークル）活動を犠牲にしている	授業をある程度犠牲にしている	その他	無回答
学部生	160	94	37	32	26	25	9	4	0	3
大学院生	93	50	25	19	9	14	7	5	0	3

〈自宅外〉

(人)	調査数	ほとんど支障はない	教養、娯楽時間を犠牲にしている	自宅学習の時間を犠牲にしている 予習、復習など	学業に役立っている	睡眠時間を犠牲にしている	課外（サークル）活動を犠牲にしている	授業をある程度犠牲にしている	その他	無回答
学部生	497	267	131	93	50	100	34	25	0	7
大学院生	350	183	78	52	44	62	27	14	2	10



(8) アルバイトの勤務地【複数回答可】

アルバイトの勤務地は、自宅生と自宅外生で大きく異なっていることがわかる。

自宅外生の場合には、大学近辺に住まい、大学近辺でアルバイトをしていることが見て取れる。そのため、塾講師などよりも飲食店のアルバイトが多いと考えられる。

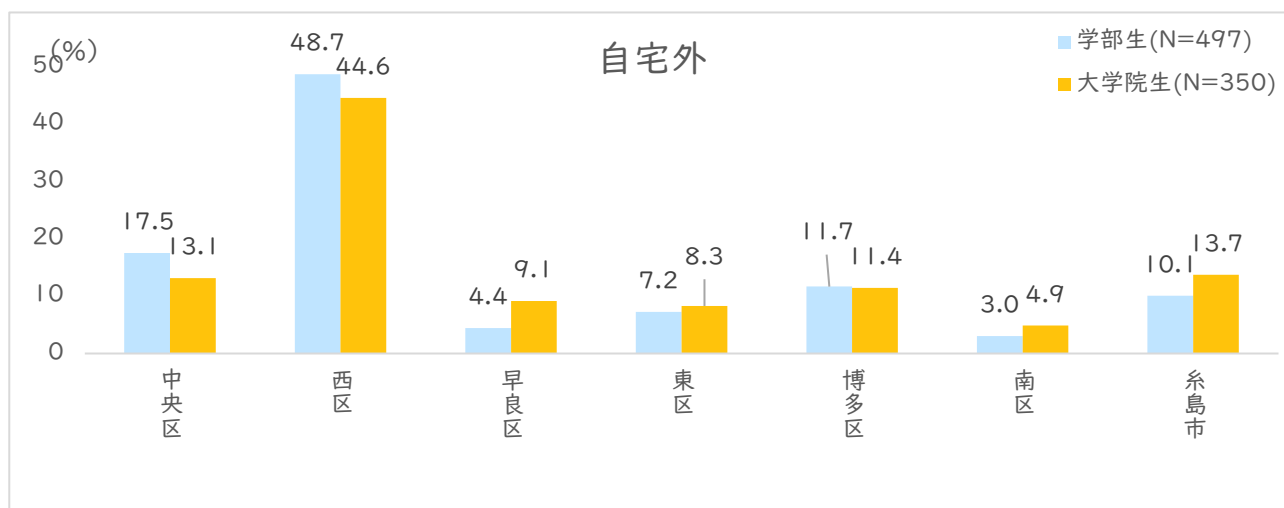
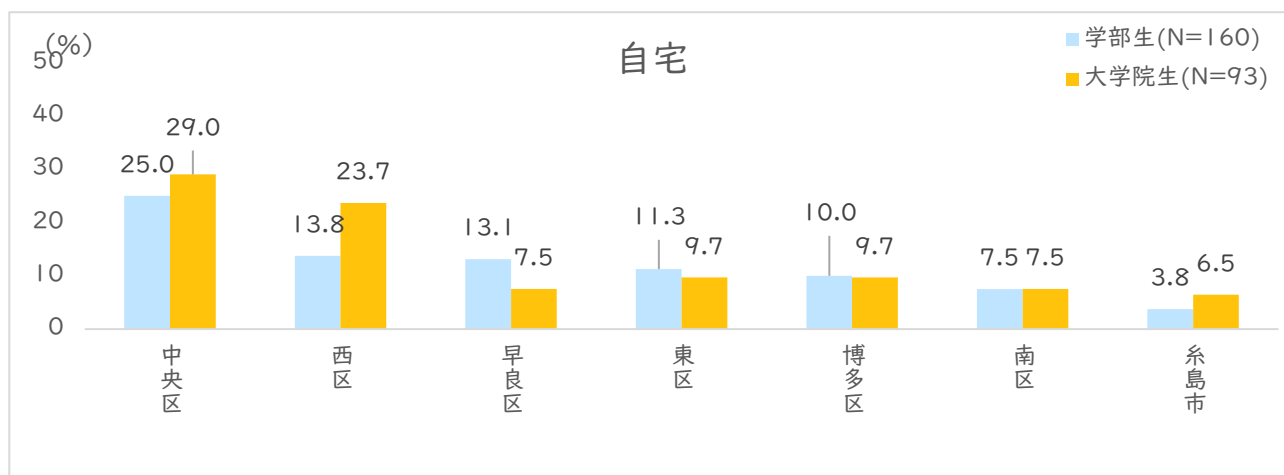
(大学近辺の飲食店では、九大生が来客に占める割合が高いと考えられるので、九大生が飲食にお金を使って、九大生にアルバイト代がはいるという構図ではないかと思う。)

〈自宅〉

(人)	調査数	中央区	西区	早良区	東区	博多区	南区	糸島市	城南区	無回答
学部生	160	40	22	21	18	16	12	6	5	39
大学院生	93	27	22	7	9	9	7	6	3	19

〈自宅外〉

(人)	調査数	中央区	西区	早良区	東区	博多区	南区	糸島市	城南区	無回答
学部生	497	87	242	22	36	58	15	50		42
大学院生	350	46	156	32	29	40	17	48	4	39



(9) アルバイトについて感じていること【複数回答可】

この設問は、今回から加えた項目である。

学部生については、自宅生でも自宅外生でもあまり大きな違いはないように見られる。

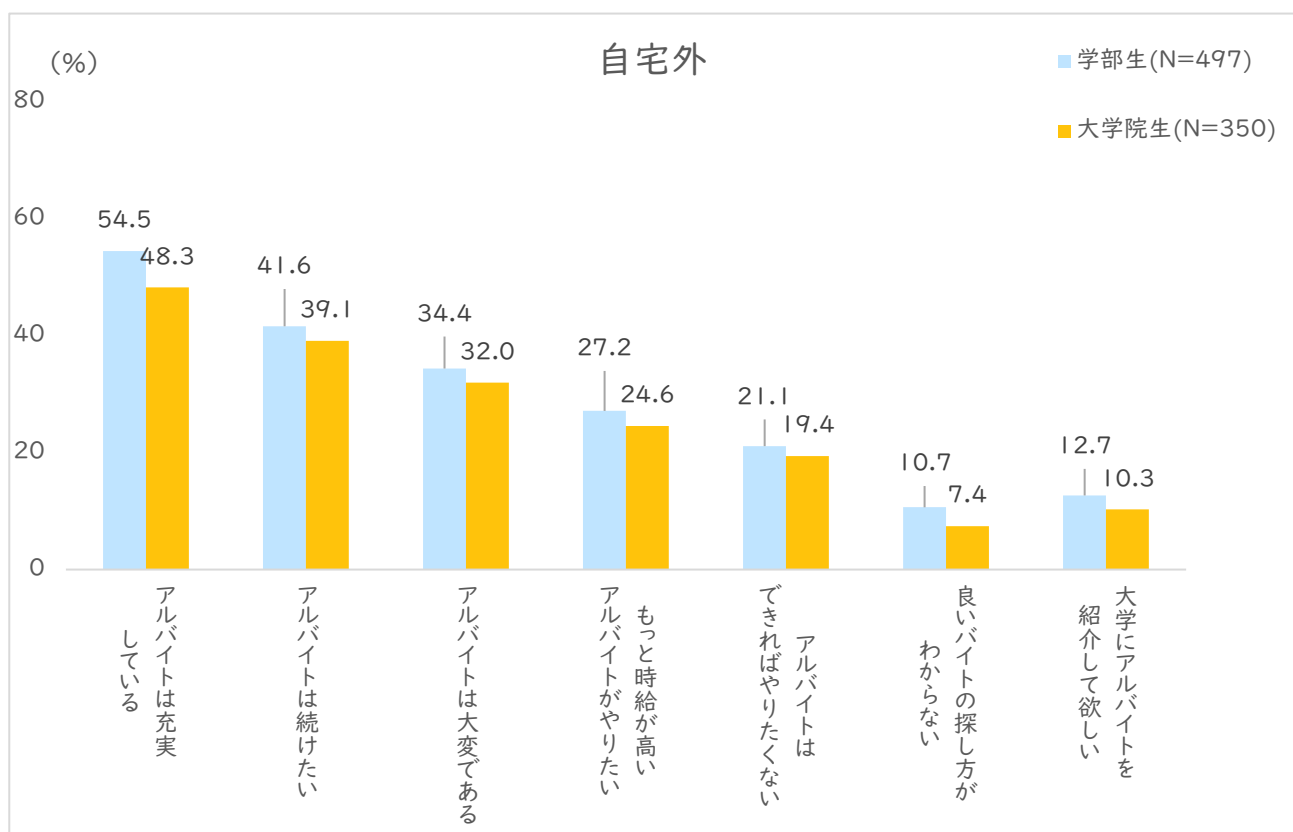
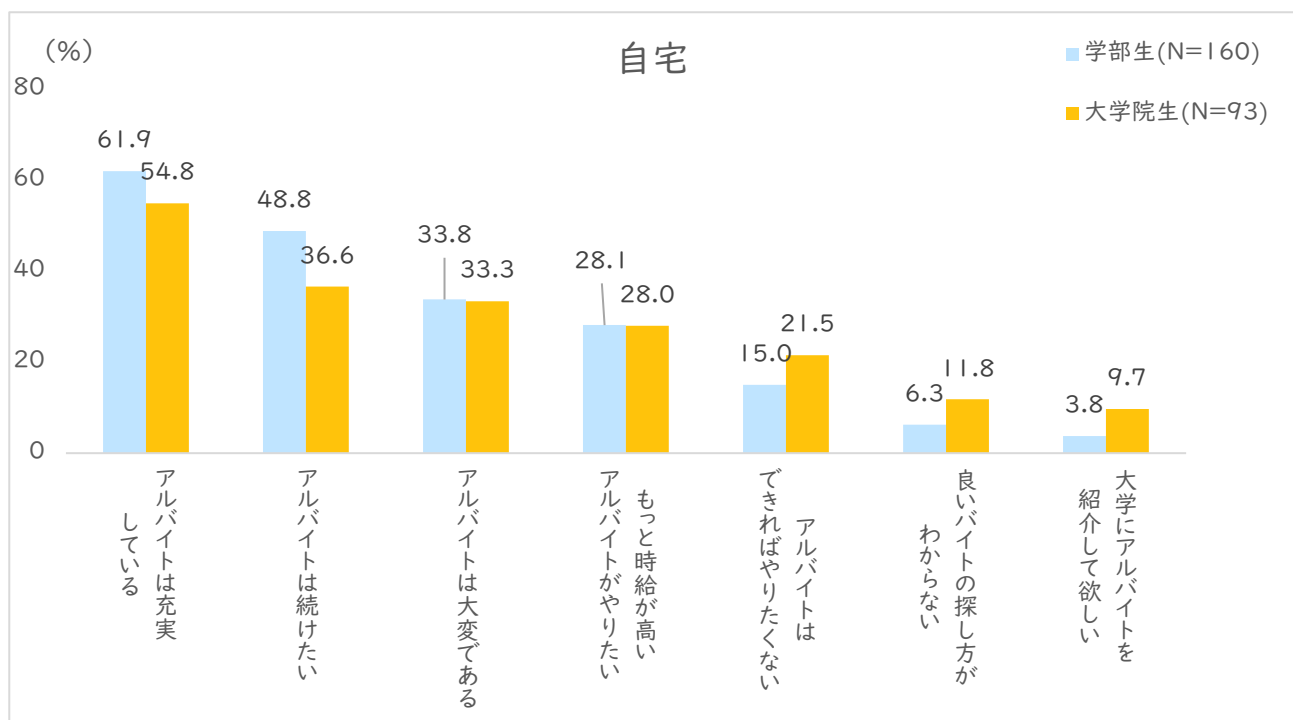
大学院生については、自宅外生ではアルバイトに負担を感じている割合が高くなっている。とくに、時給が高いアルバイトをしたい、できればやりたくないという回答をしている方は、勉強や研究との両立が難しくなっている可能性がある。

〈自宅〉

(人)	調査数	アルバイトは充実している	アルバイトは続けたい	アルバイトは大変である	もっと時給が高いアルバイトがやりたい	アルバイトはできればやりたくない	良いバイトの探し方がわからない	大学にアルバイトを紹介して欲しい	その他	無回答
学部生	160	99	78	54	45	24	10	6	0	3
大学院生	93	51	34	31	26	20	11	9	1	3

〈自宅外〉

(人)	調査数	アルバイトは充実している	アルバイトは続けたい	アルバイトは大変である	もっと時給が高いアルバイトがやりたい	アルバイトはできればやりたくない	良いバイトの探し方がわからない	大学にアルバイトを紹介して欲しい	その他	無回答
学部生	497	271	207	171	135	105	53	63	2	7
大学院生	350	169	137	112	86	68	26	36	2	13



(10) アルバイトをしていない理由

今回の調査から加えた項目である。

学業への影響を懸念して、アルバイトをしていない学生がいずれのカテゴリーでも多いが、自宅外生については経済的に困っていないという理由を選択した学生が少ない。反対に言うと、経済的に困ってはいるものの学業への影響を心配してアルバイトをしていない自宅外生が多くいることが想定される。

〈自宅〉

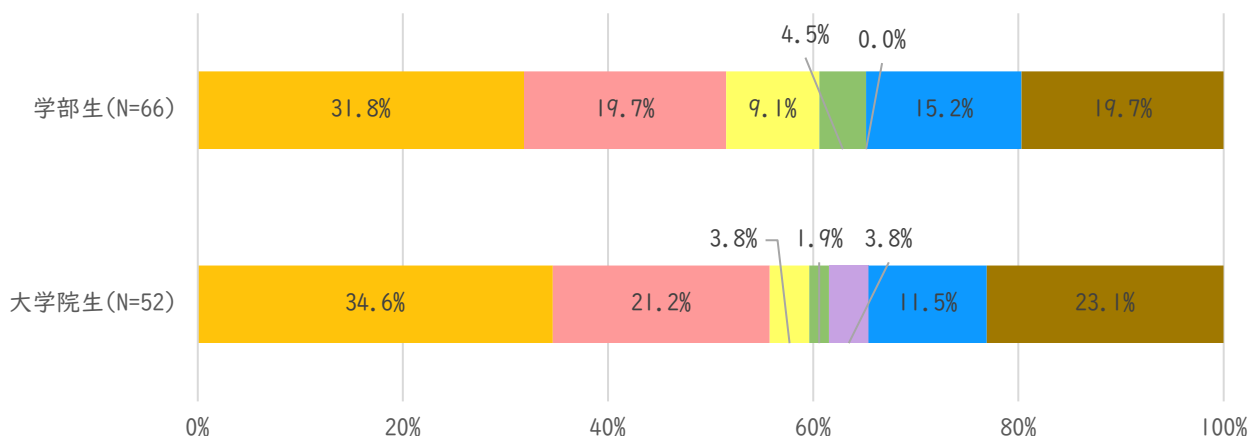
(人)	調査数	学業に専念したいから	経済的に困ってないから	良いアルバイトが見つからないから	アルバイトをしたことがあるが大変だったから	サークル活動で忙しいから	その他	無回答
学部生	66	21	13	6	3	0	10	13
大学院生	52	18	11	2	1	2	6	12

〈自宅外〉

(人)	調査数	学業に専念したいから	経済的に困ってないから	良いアルバイトが見つからないから	アルバイトをしたことがあるが大変だったから	サークル活動で忙しいから	その他	無回答
学部生	356	138	45	43	13	4	24	89
大学院生	252	89	30	24	8	1	20	80

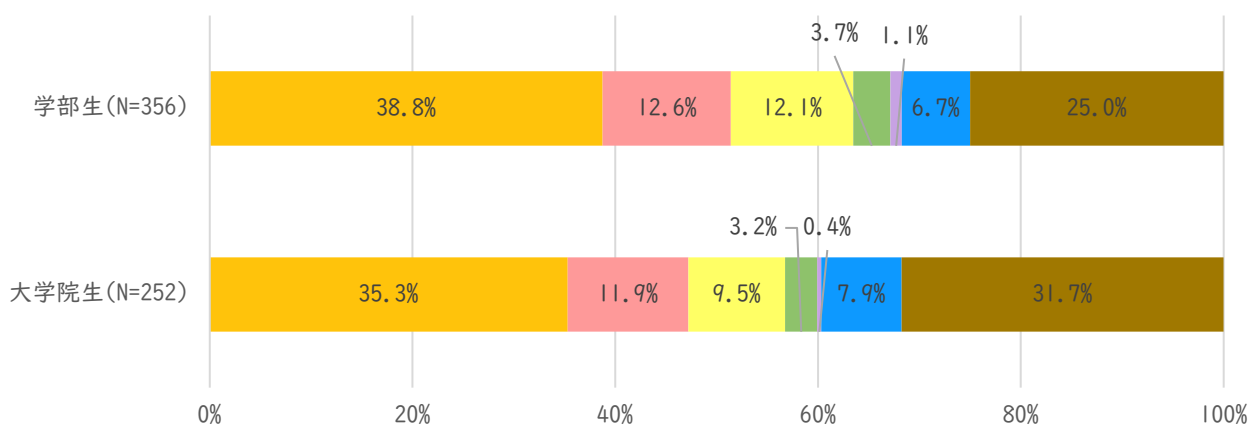
自宅

- 学業に専念したいから
- 経済的に困ってないから
- 良いアルバイトが見つからないから
- アルバイトをしたことがあるが大変だったから
- サークル活動で忙しいから
- その他
- 無回答



自宅外

- 学業に専念したいから
- 経済的に困ってないから
- 良いアルバイトが見つからないから
- アルバイトをしたことがあるが大変だったから
- サークル活動で忙しいから
- その他
- 無回答

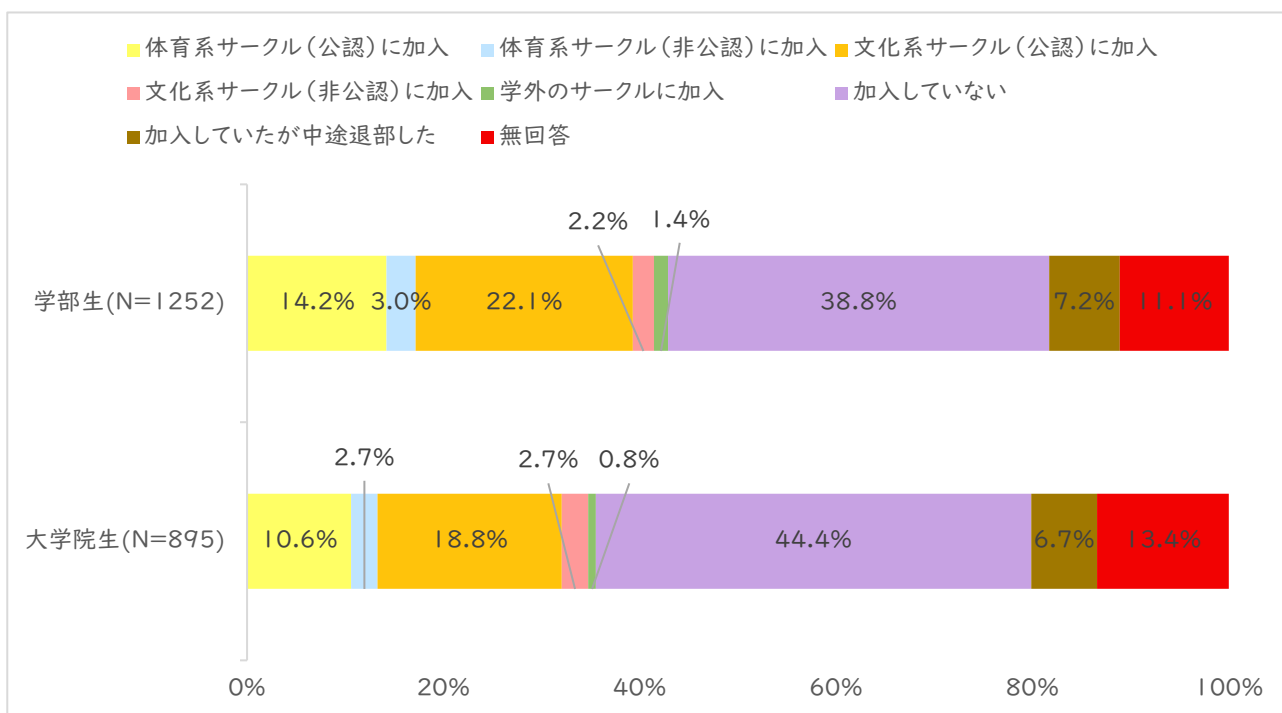


第9章 課外活動(サークル、ボランティア)について

(1) サークル(課外活動)への参加状況

サークルへの参加状況をみると、学部生は加入者が5割弱で、前回調査と比べると大幅に減少しています。大学院生でサークルに加入している学生は3割強で、前回調査に比べて若干増加しています。

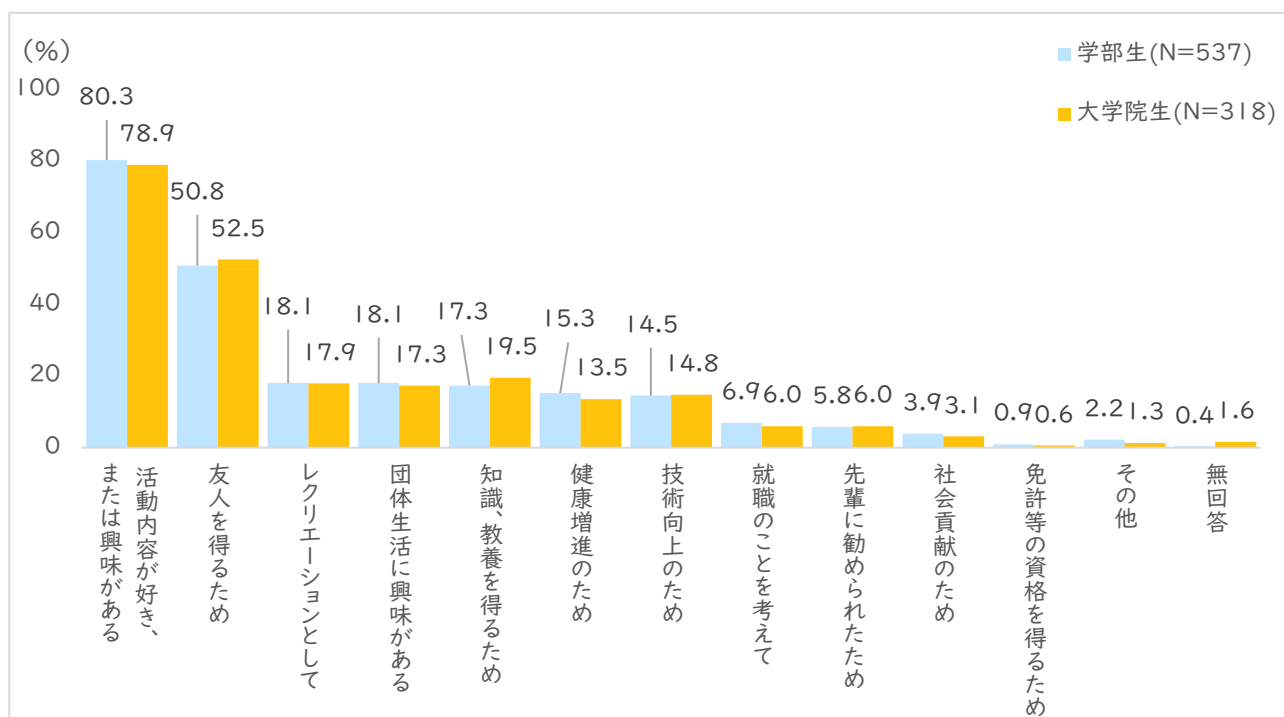
(人)	調査数	体育系サークル(公認)に加入	体育系サークル(非公認)に加入	文化系サークル(公認)に加入	文化系サークル(非公認)に加入	学外のサークルに加入	加入していない	加入していたが中途退部した	無回答
学部生	1,252	178	37	277	27	18	486	90	139
大学院生	895	95	24	168	24	7	397	60	120



(2) サークルに加入した主な理由【複数回答可】

サークルに加入した理由については、学部生、大学院生ともに、「活動内容が好き、または興味がある」が 8割前後で最も高く、次いで、「友人を得るため」が約5割でした。

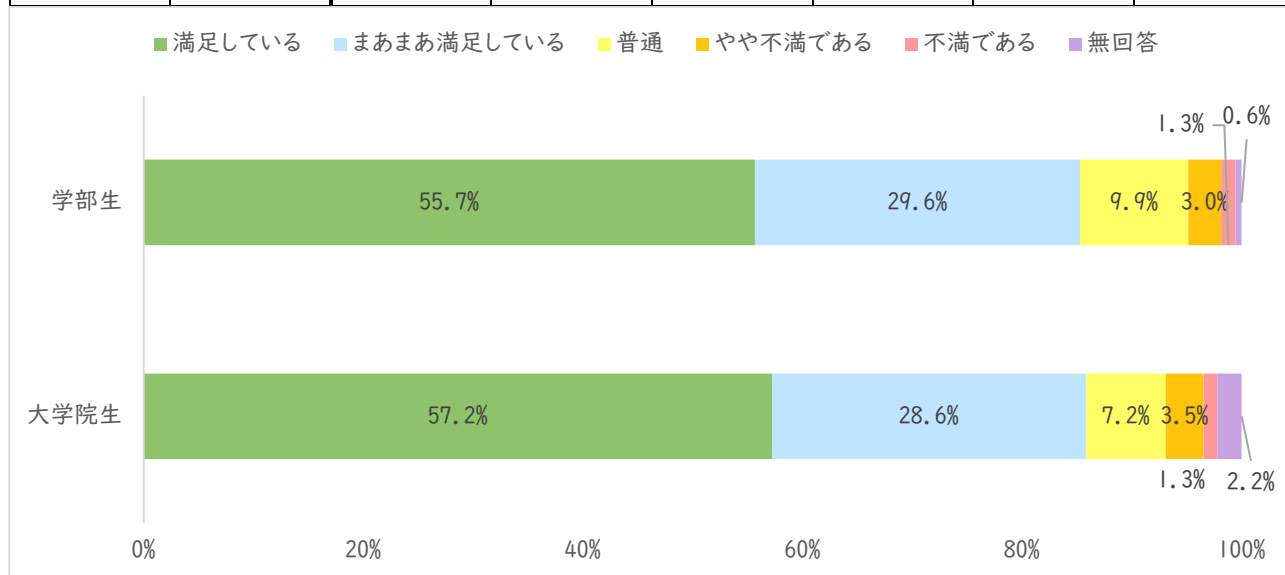
(人)	調査数	活動内容が好き、 または興味がある	友人を得るため	レクリエーションとして	団体生活に興味がある	知識、教養を得るため	健康増進のため	技術向上のため	就職のことを考えて	先輩に勧められたため	社会貢献のため	免許等の資格を得るため	その他	無回答
学部生	537	431	273	97	97	93	82	78	37	31	21	5	12	2
大学院生	318	251	167	57	55	62	43	47	19	19	10	2	4	5



(3)サークルの満足度

学部生も大学院生も、8割以上の学生がサークル活動に満足しています。

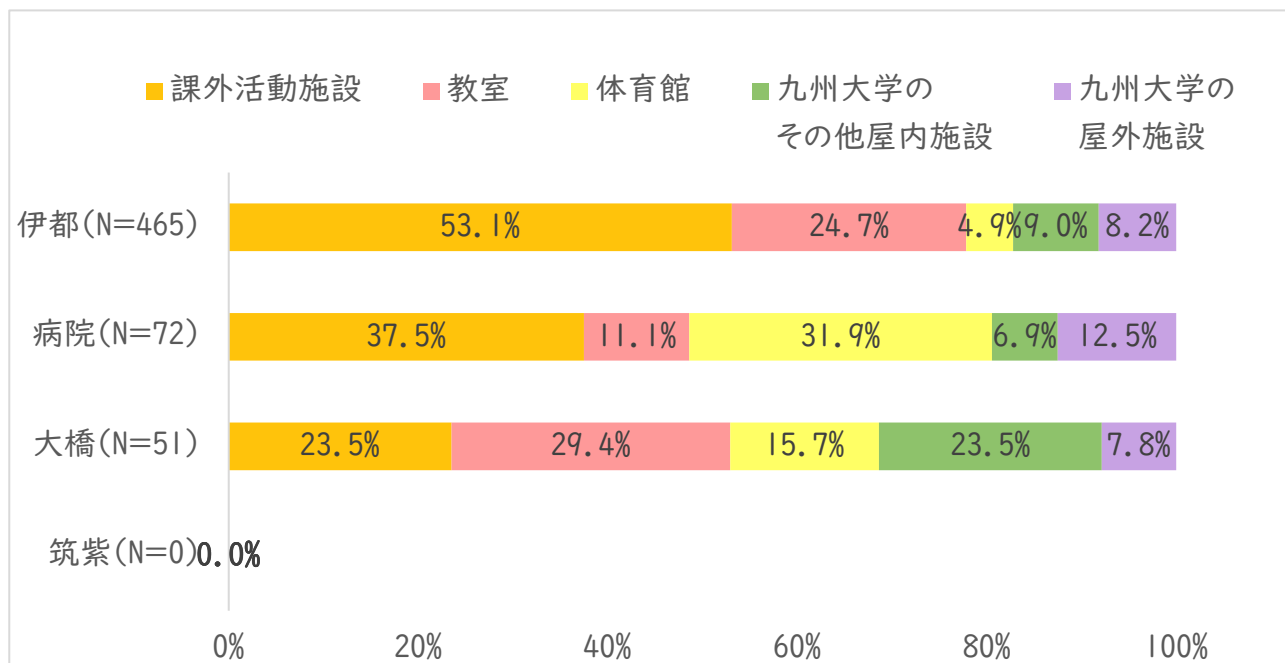
(人)	調査数	満足している	まあまあ満足している	普通	やや不満である	不満である	無回答
学部生	537	299	159	53	16	7	3
大学院生	318	182	91	23	11	4	7



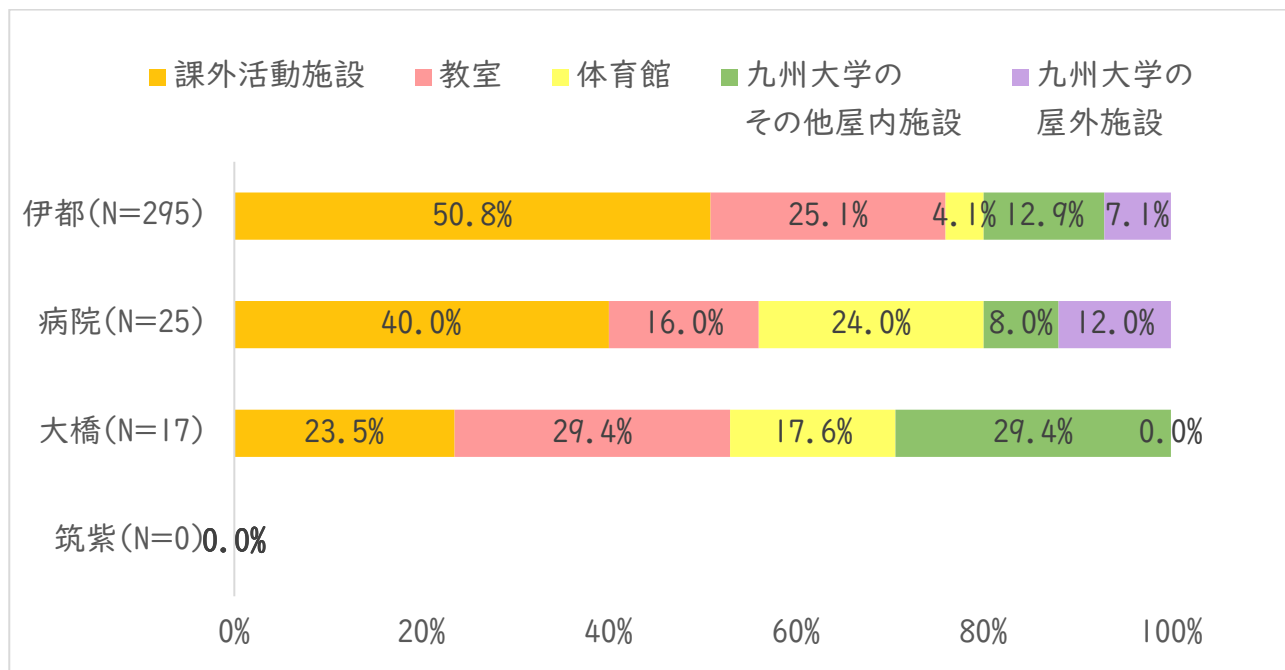
(4) サークル活動の場所【複数回答可】

サークル活動の場所は、伊都キャンパスと病院キャンパスは、課外活動施設での活動が最も多い割合となっています。病院キャンパスは、他のキャンパスと比べ、体育館での活動が多くなっています。また大橋キャンパスは教室を利用した活動が多いようです。

(学部生)



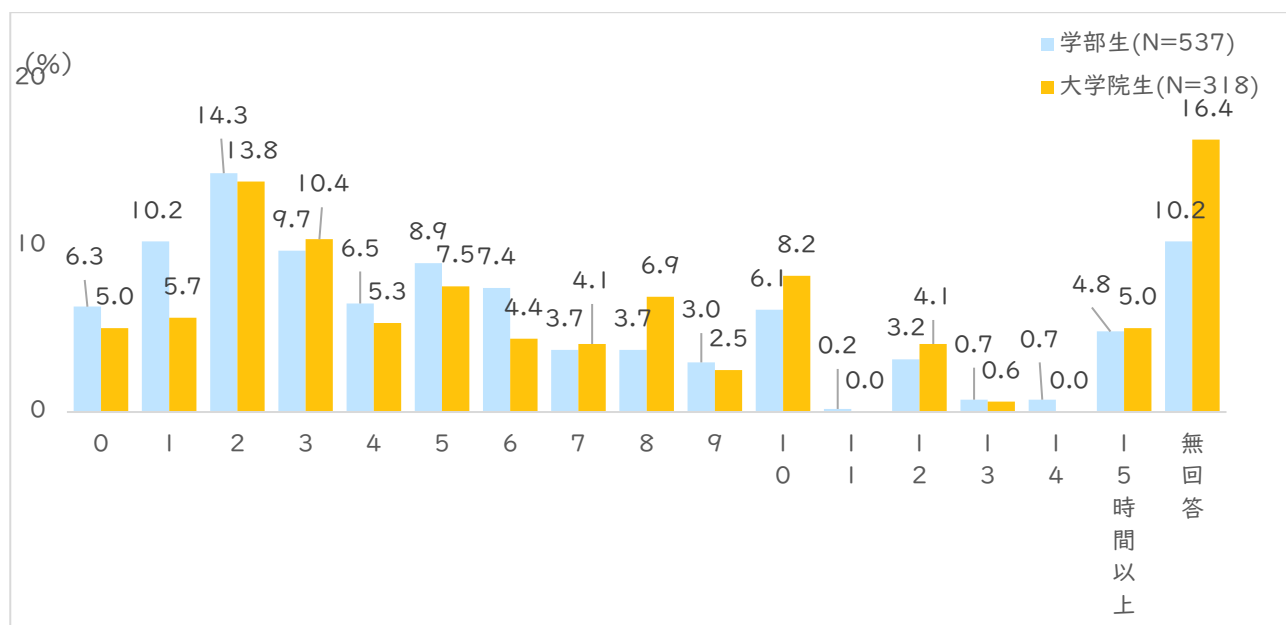
(大学院生)



(5) 1週間あたりのサークル活動時間

1週間あたりの活動時間は、学部生・大学院生ともに2時間が最も多いようです。週に 10 時間あるいは 15 時間以上の活動を行っているサークルも見られます。

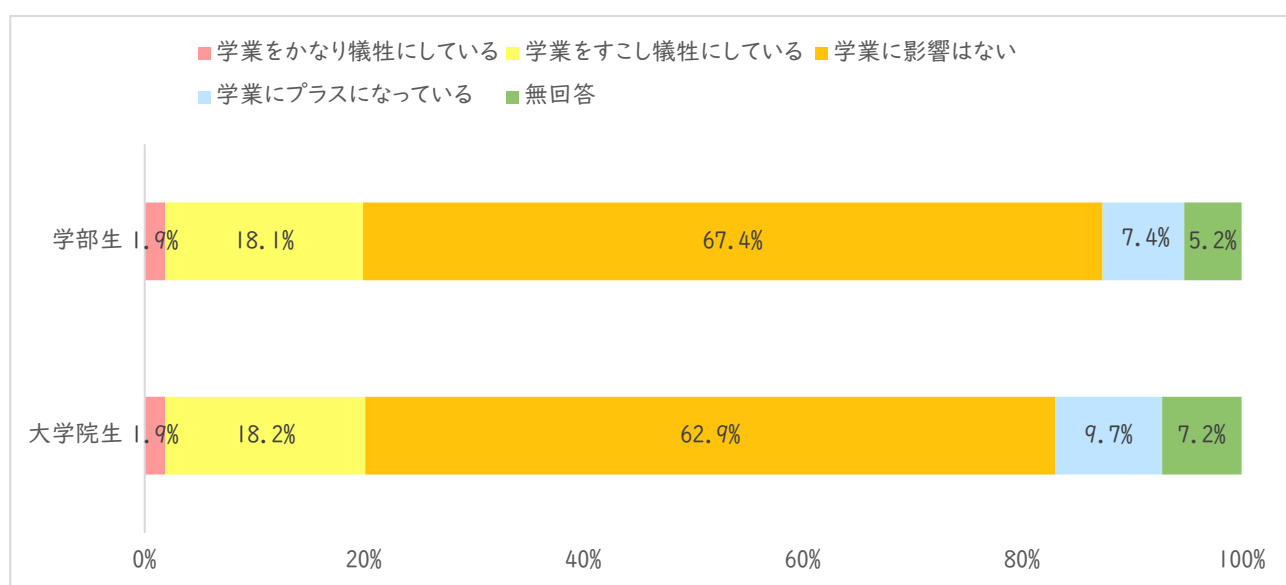
(人)	調査数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15時間以上	無回答
学部生	537	34	55	77	52	35	48	40	20	20	16	33	1	17	4	4	26	55
大学院生	318	16	18	44	33	17	24	14	13	22	8	26	0	13	2	0	16	52



(6) サークル活動と学業の関係

学業との関係をみると「学業に影響はない」が学部生で 67.4%、大学院生で 62.9%と最も高く、次いで「学業をすこし犠牲にしている」が学部生で 18.1%、大学院生で 18.2%、となっています。「学業にプラスになっている」が学部生で 7.4%、大学院生で 9.7%となっており、多くの学生が学業との両立が成り立っていると感じているようです。

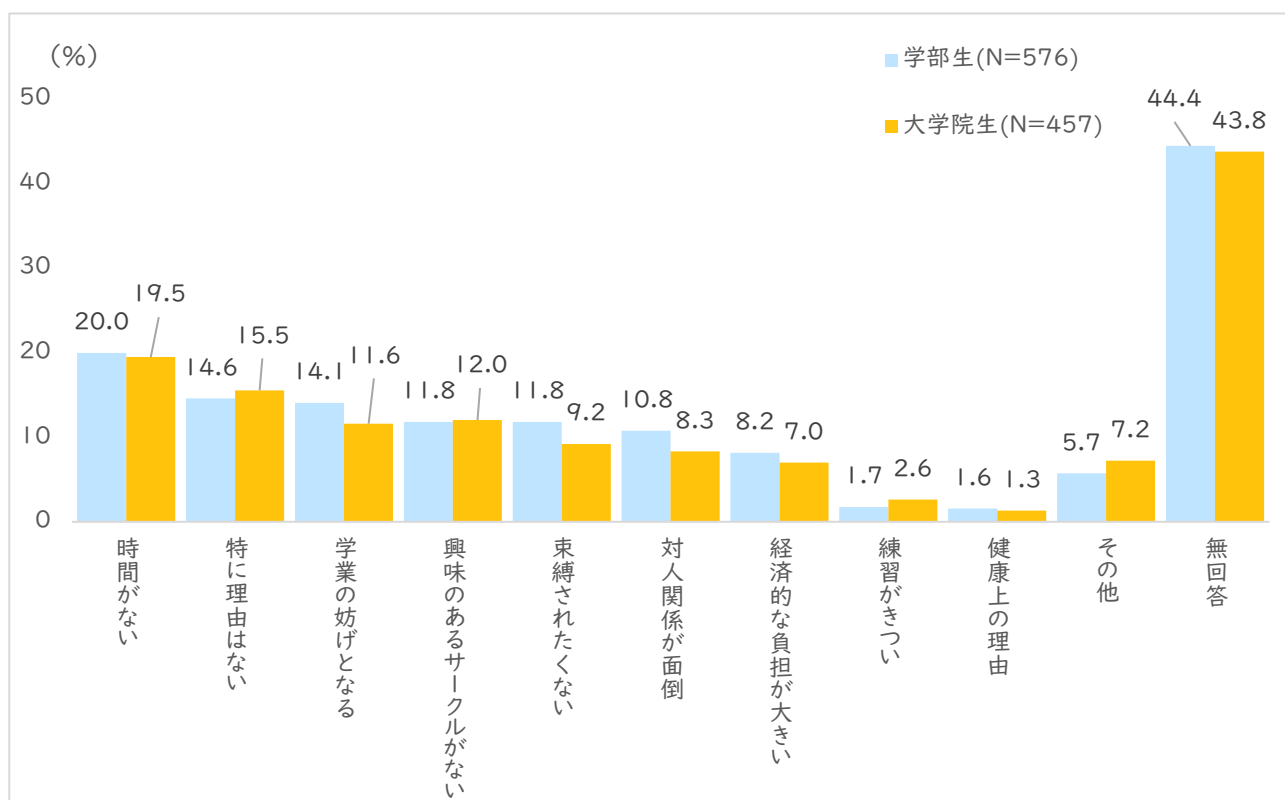
(人)	調査数	学業をかなり犠牲にしている	学業を少し犠牲にしている	学業に影響はない	学業にプラスになっている	無回答
学部生	537	10	97	362	40	28
大学院生	318	6	58	200	31	23



(7) サークルに加入していない理由【複数回答可】

サークルに加入していない理由としては、学部生・大学院生ともに「時間がない」「学業の妨げとなる」という理由が上位に挙がっており、勉学・研究を優先していることがうかがえます。

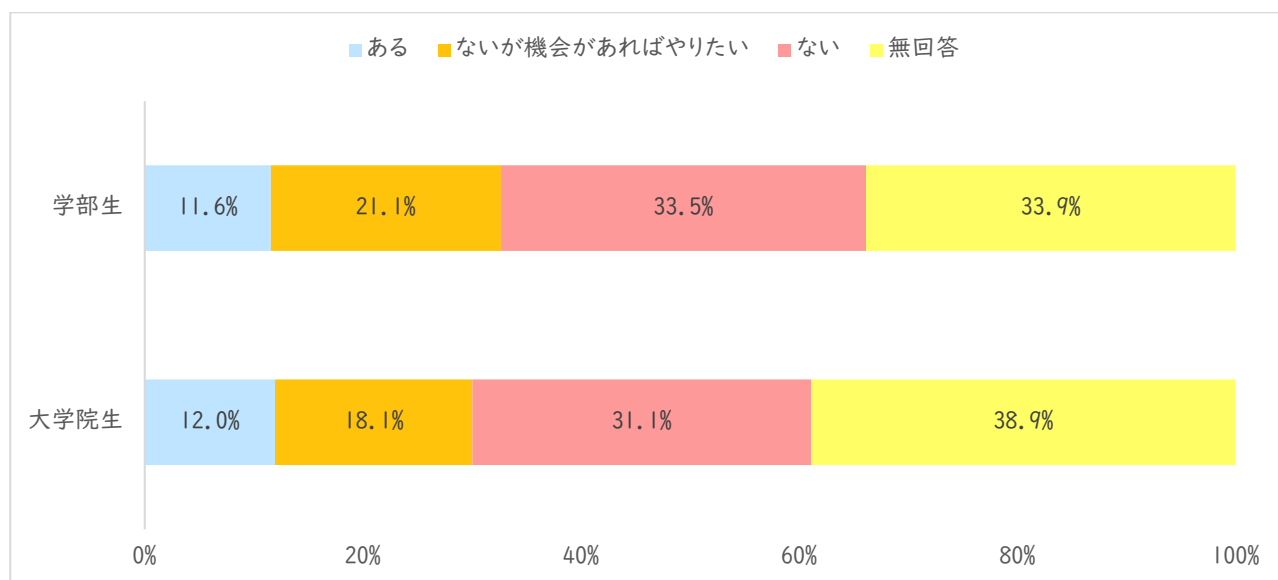
(人)	調査数	時間がない	特に理由はない	学業の妨げとなる	興味のあるサークルがない	束縛されたくない	対人関係が面倒	経済的な負担が大きい	練習がきつい	健康上の理由	その他	無回答
学部生	576	115	84	81	68	68	62	47	10	9	33	256
大学院生	457	89	71	53	55	42	38	32	12	6	33	200



(8) ボランティア活動の経験

ボランティア活動の経験は、学部生・大学院生ともに 50%前後の学生が「経験なし」と答えています。また、経験のない学生のうちの2割程度が「機会があればやりたい」と回答しています。

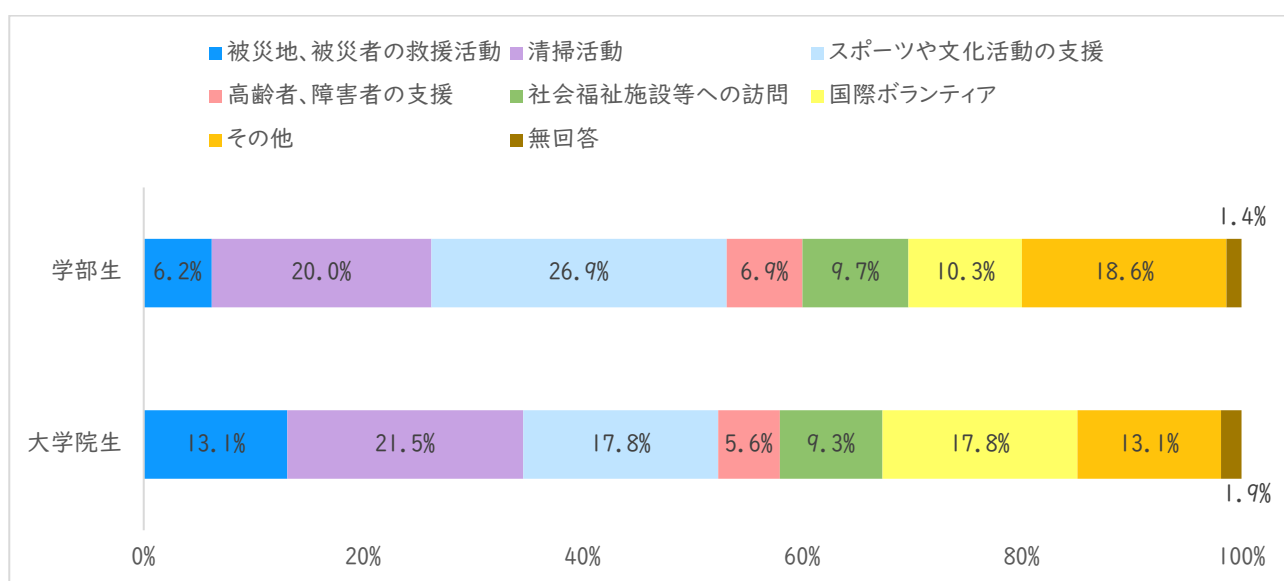
(人)	調査数	ある	ないが 機会があれば やりたい	ない	無回答
学部生	1,252	145	264	419	424
大学院生	895	107	162	278	348



(9) ボランティア活動の内容

ボランティア活動の内容では、学部生では「清掃活動」と「スポーツや文化活動の支援」が合わせて 50%弱を占めています。大学院生は、学部生と比べ「国際ボランティア」や被災地、被災者の救援活動」の割合が高くなっています。

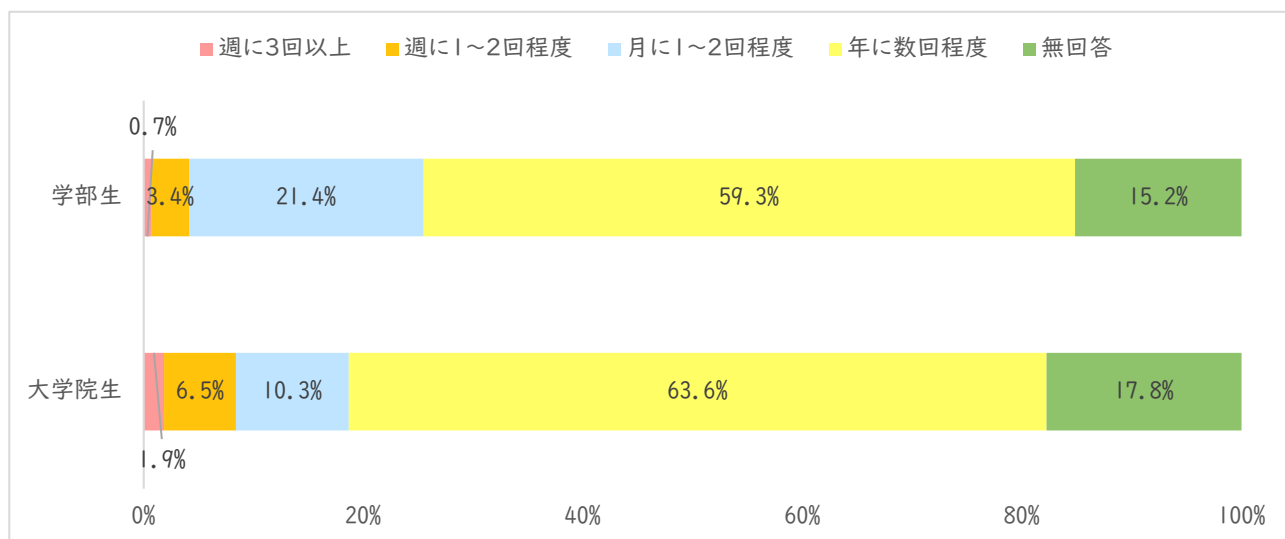
(人)	調査数	被災地、被災者の救援活動	清掃活動	スポーツや文化活動の支援	高齢者、障害者の支援	社会福祉施設等への訪問	国際ボランティア	その他	無回答
学部生	145	9	29	39	10	14	15	27	2
大学院生	107	14	23	19	6	10	19	14	2



(10) ボランティア活動の頻度

活動の頻度をみると、年に数回程度が多い結果となっていますが、前回調査と比べると特に学部生では月に1～2回程度が増加しています。

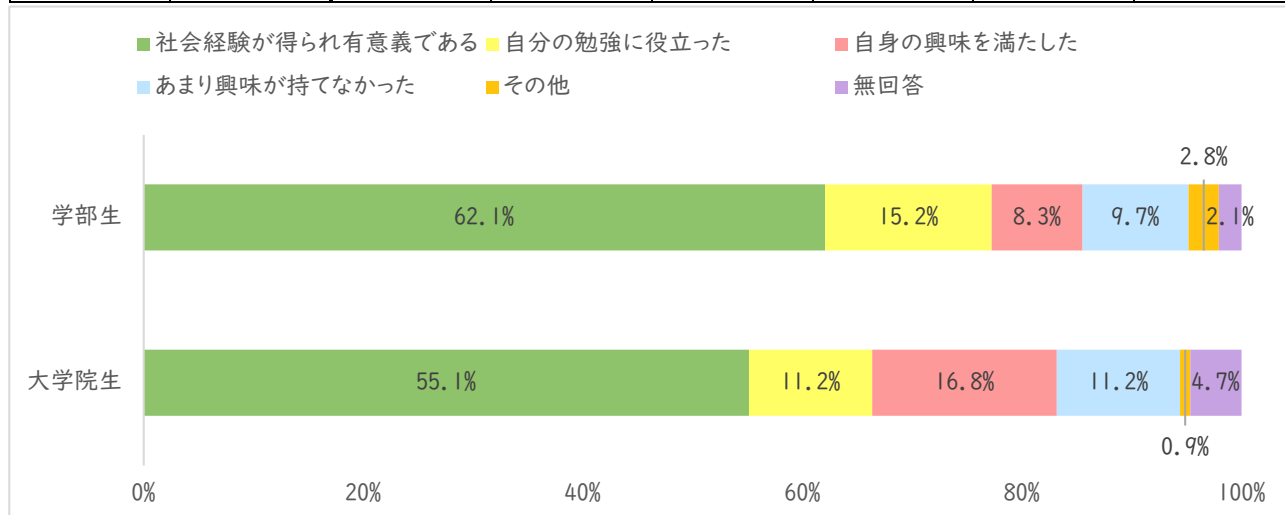
(人)	調査数	週に3回以上	週に1～2回程度	月に1～2回程度	年に数回程度	無回答
学部生	145	1	5	31	86	22
大学院生	107	2	7	11	68	19



(11) ボランティア活動の感想

ボランティア活動の感想をみると「社会経験が得られ有意義である」が6割前後に達し、次いで「自分の勉強に役だった」「自身の興味を満たした」が多く、おおむね、ボランティア活動を自分自身の経験として肯定的に捉えているようです。

(人)	調査数	社会経験が得られ有意義である	自分の勉強に役立った	自身の興味を満たした	あまり興味が持てなかった	その他	無回答
学部生	145	90	22	12	14	4	3
大学院生	107	59	12	18	12	1	5

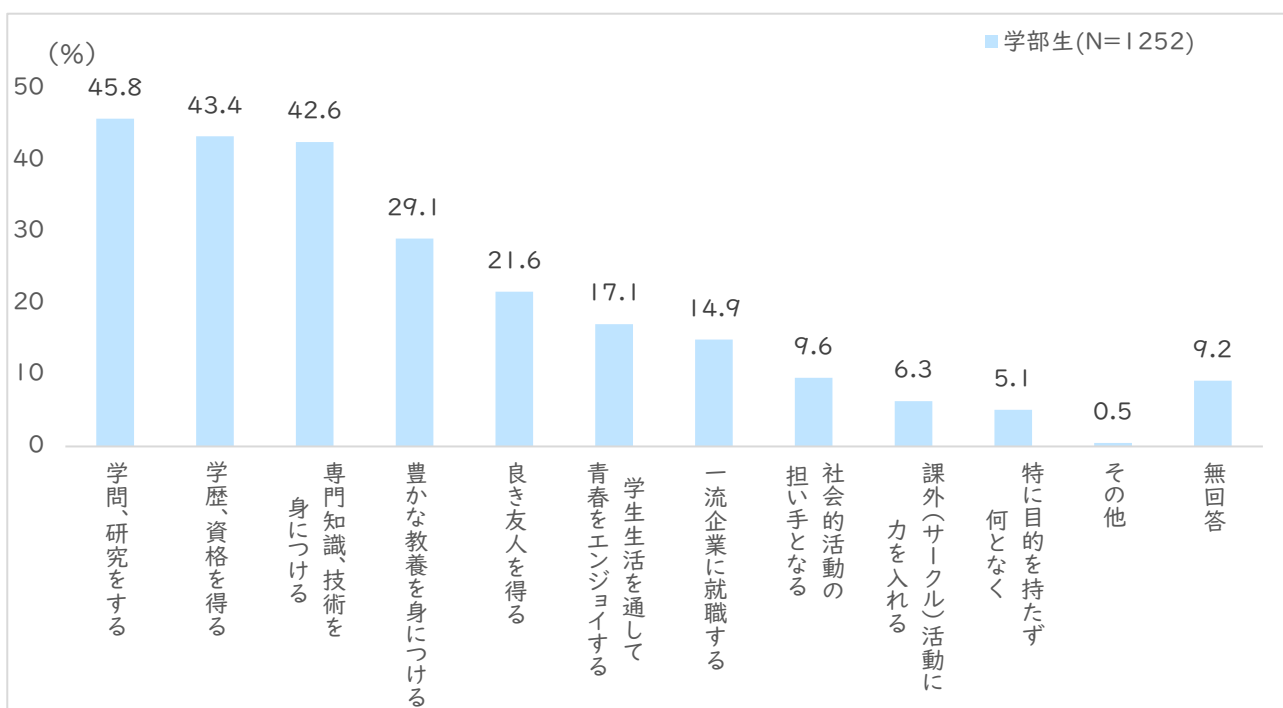


第 10 章 入学・授業等関係について

(1) 大学に入学した理由【複数回答可】

学部生は 45%前後が「学問、研究をする」、「学歴、資格を得る」、「専門知識、技術を身につける」ことを大学入学の理由として挙げています。全般的に、割合は減少しているものの、前回の調査結果と同様の傾向にありました。また、無回答の割合が上がったことが気になります(1.9%→9.2%)。

(人)	調査数	学問、研究をする	学歴、資格を得る	専門知識、技術を身につける	豊かな教養を身につける	良き友人を得る	学生生活を通して青春をエンジョイする	一流企業に就職する	社会的活動の担い手となる	課外(サークル)活動に力を入れる	特に目的を持たず何となく	その他	無回答
学部生	1,252	574	543	533	364	271	214	187	120	79	64	6	115



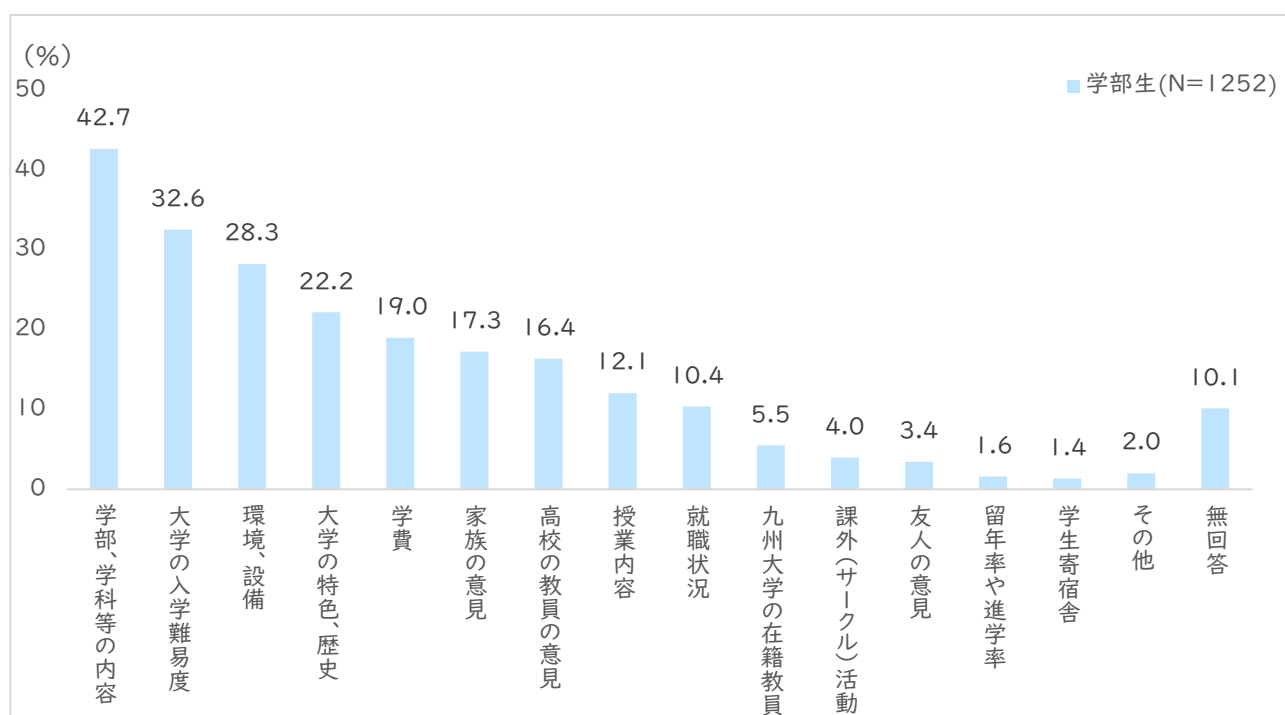
(2) 志望校決定時に注目した情報【複数回答可】

本学を志望校として決定する際に注目した情報として、「学部、学科等の内容」(42.7%)が最も大きな割合を占め、次いで「大学の入学難易度」(32.6%)、「環境、設備」(28.3%)となりました。「学部、学科等の内容」と「環境、設備」の割合が高かったことは、前回の調査結果と同様です。

一方、「大学の入学難易度」をはじめ、「家族の意見」(17.3%)、「高校の教員の意見」(16.4%)、「友人の意見」(3.4%)は前回の調査ではなかった選択肢ですが、この「大学の入学難易度」の割合が高かったこと、また家族や高校の教員といった他者の意見が志望校決定にある程度影響を及ぼしていることは注目すべき結果です。

また(1)と同じく、無回答の割合が上がっています(2.5%→10.1%)。

(人)	調査数	学部、学科等の内容	大学の入学難易度	環境、設備	大学の特色、歴史	学費	家族の意見	高校の教員の意見	授業内容	就職状況	九州大学の在籍教員	課外(サークル)活動	友人の意見	留年率や進学率	学生寄宿舍	その他	無回答
学部生	1,252	535	408	354	278	238	216	205	151	130	69	50	43	20	17	25	127

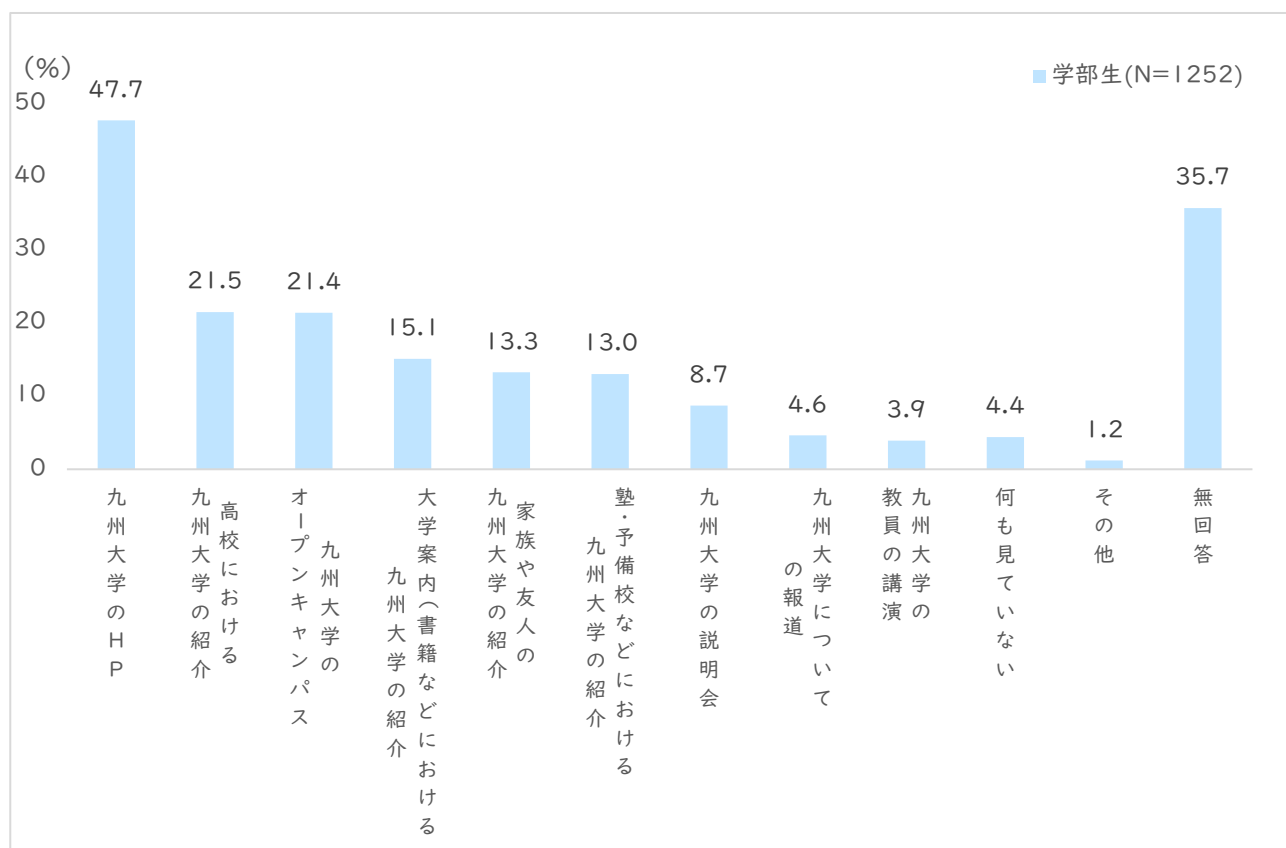


(3) 入学前の情報収集【複数回答可】

本設問は今回新たに加えたものです。入学前の情報収集源としては、「九州大学のHP」の割合が最も大きくなりました(47.7%)。次いで、「高校における九州大学の紹介」と「九州大学のオープンキャンパス」が同程度の割合でした(それぞれ、21.5%と21.4%)。

一方で、無回答の割合が35.7%と高く、看過できないものです。

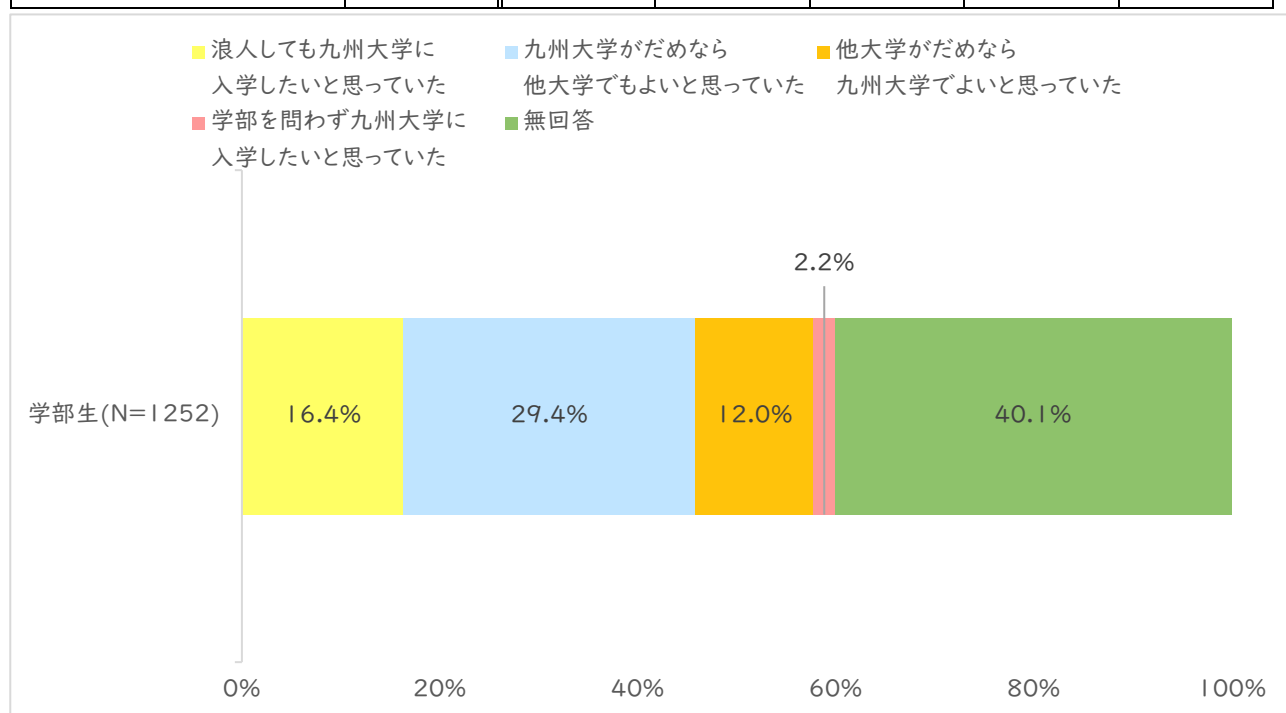
(人)	調査数	九州大学のHP	高校における九州大学の紹介	九州大学のオープンキャンパス	大学案内（書籍など）における九州大学の紹介	家族や友人の九州大学の紹介	塾・予備校などにおける九州大学の紹介	九州大学の説明会	九州大学についての報道	九州大学の教員の講演	何も見ていない	その他	無回答
学部生	1,252	597	269	268	189	166	163	109	58	49	55	15	447



(4) 入学希望の程度

本設問も今回新たに加えたものとなります。学部生で、「浪人してでも九州大学に入学したいと思っていた」や「学部を問わず九州大学に入学したいと思っていた」と、本学への入学を強く希望していたと思われる割合は合わせて 18.6%でした。一方、40%ほどが消極的な入学希望の程度であったとともに、無回答も同じ割合で大きいことが気になります。

(人)	調査数	浪人しても九州大学に入学したいと思っていた	九州大学がだめなら他大学でもよいと思っていた	九州大学がだめなら他大学がだめなら九州大学でよいと思っていた	学部を問わず九州大学に入学したいと思っていた	無回答
学部生	1,252	205	368	150	27	502

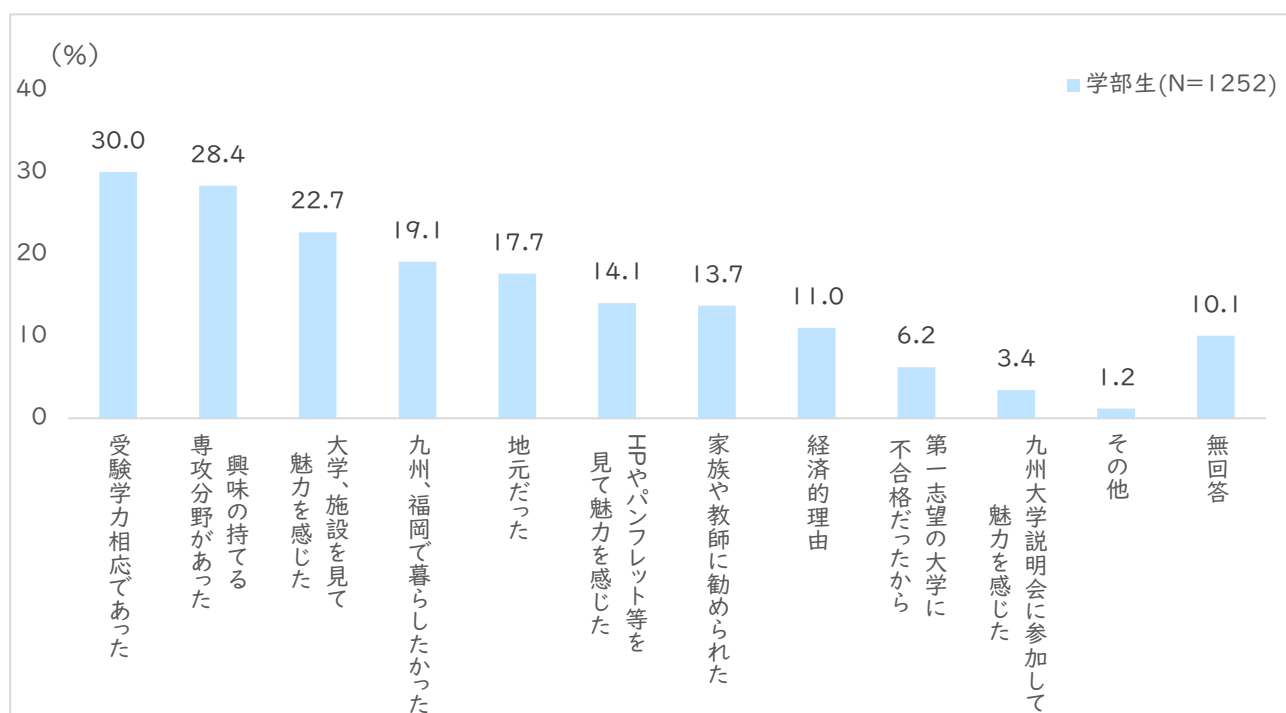


(5) 九大に入学した主な理由【複数回答可】

学部生の入学の動機については、「受験学力相応であった」の割合が最も高く、次いで「興味の持てる専攻分野があった」、「大学、施設を見て魅力を感じた」等々、前回の調査結果と同様の傾向にありました。一方、前回の調査より、「HP やパンフレット等を見て魅力を感じた」の割合が順位を上げています（8 位、11.5%→6 位 14.1%）。また、今回新たな選択肢として加えた「第一志望の大学に不合格だったから」の割合は 6.2%でした。

これまでの設問と同じく、無回答の割合が上がっています（5.7%→10.1%）。

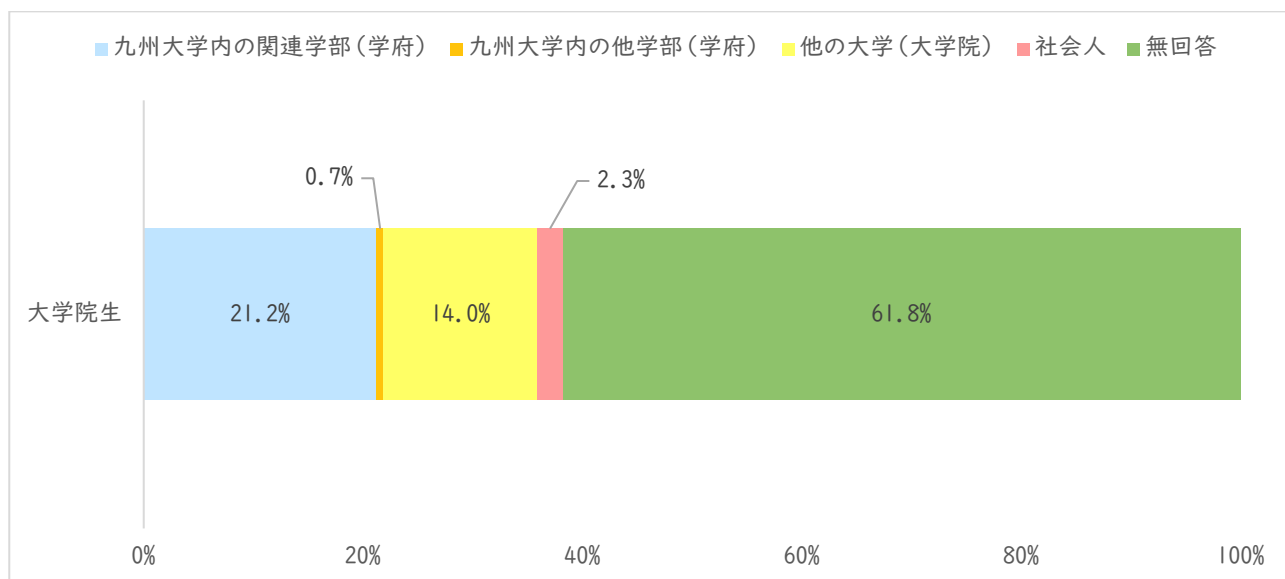
(人)	調査数	受験学力相応であった	興味の持てる専攻分野があった	大学、施設を見て魅力を感じた	九州、福岡で暮らしたかった	地元だった	HPやパンフレット等を見て魅力を感じた	家族や教師に勧められた	経済的理由	第一志望の大学に不合格だったから	九州大学説明会に参加して魅力を感じた	その他	無回答
学部生	1,252	376	355	284	239	221	176	172	138	78	43	15	126



(6) 大学院生の出身大学等

九州大学内の関連学部(学府)から本学大学院へ進学した学生の割合が最も大きく 21.2%、次いで他大学(大学院)から進学してきた学生の割合が 14.0%でした。しかしながら、無回答の割合が 61.8%と非常に高く、前回の調査結果と比較しての傾向を把握することは困難です。

(人)	調査数	九大内の関連学部(学府)	九大内の他学部(学府)	他の大学(大学院)	社会人	無回答
大学院生	895	190	6	125	21	553

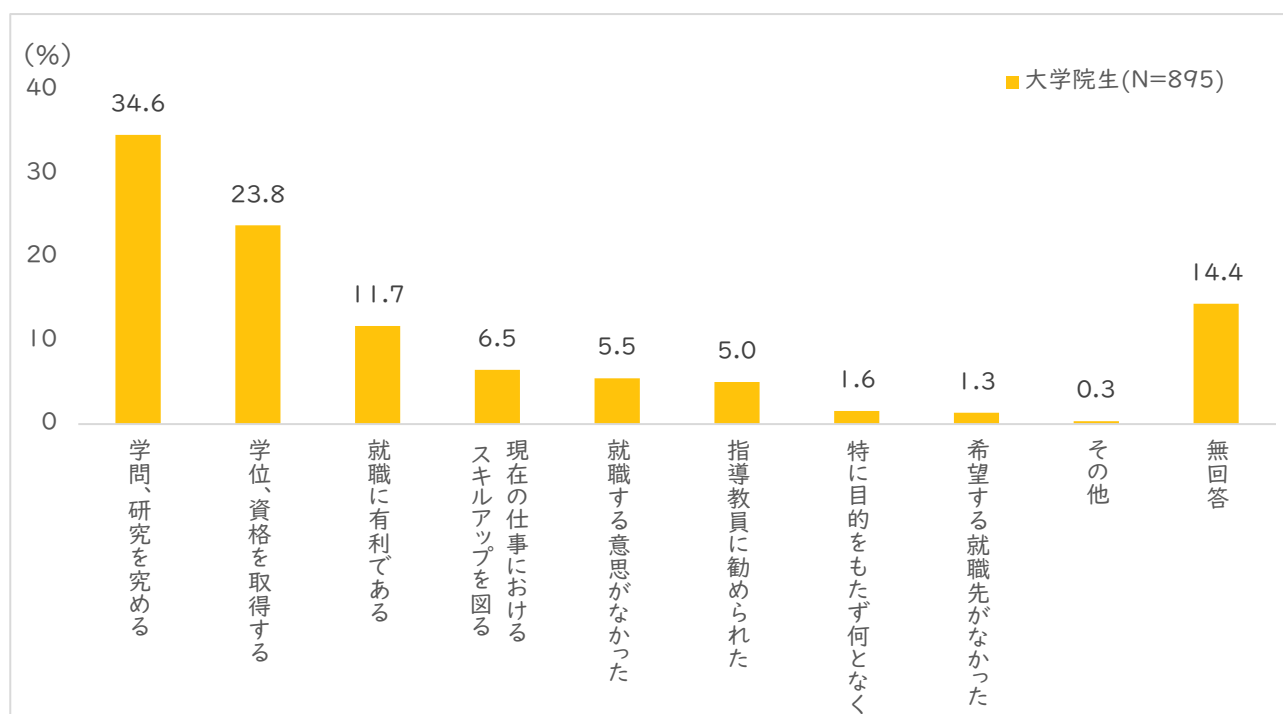


(7) 九大の大学院に進学した理由【複数回答可】

九大の大学院に進学した理由としては、「学問、研究を究める」の割合が最も高く、次いで「学位、資格を修得する」で、それ以降の順位も前回の調査と同じ結果となりました。一方、今回新たな選択肢として加えた「現在の仕事におけるスキルアップを図る」と「就職する意思がなかった」との回答がそれぞれ4位、5位に入りました。

しかしながら、やはり無回答の割合が上がっています(2.1%→14.4%)。

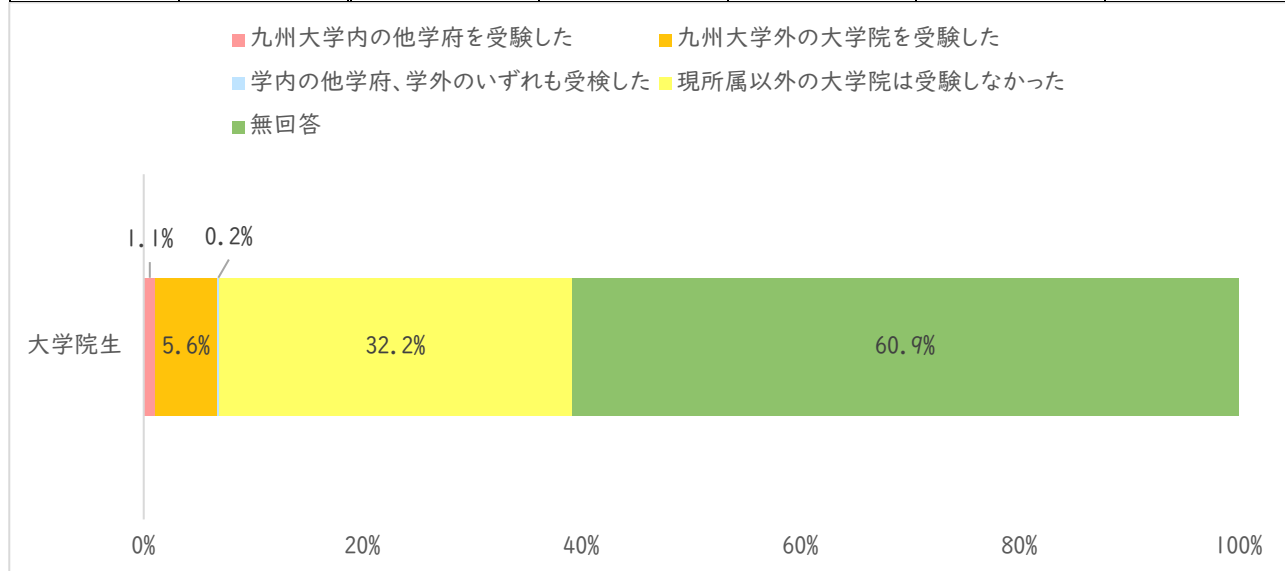
(人)	調査数	学問、研究を究める	学位、資格を取得する	就職に有利である	現在の仕事における スキルアップを図る	就職する意思がなかった	指導教員に勧められた	特に目的をもちず何となく	希望する就職先がなかった	その他	無回答
大学院生	895	310	213	105	58	49	45	14	12	3	129



(8) 現所属以外の大学院の受験の有無

大学院進学に際して、現所属の大学院のみを受験した学生の割合が 32.2%と最も大きな割合を占め、前回の調査結果と同様の傾向にありました。しかしながら、無回答の割合が 60.9%と大きいため、正確に判断することは困難です。

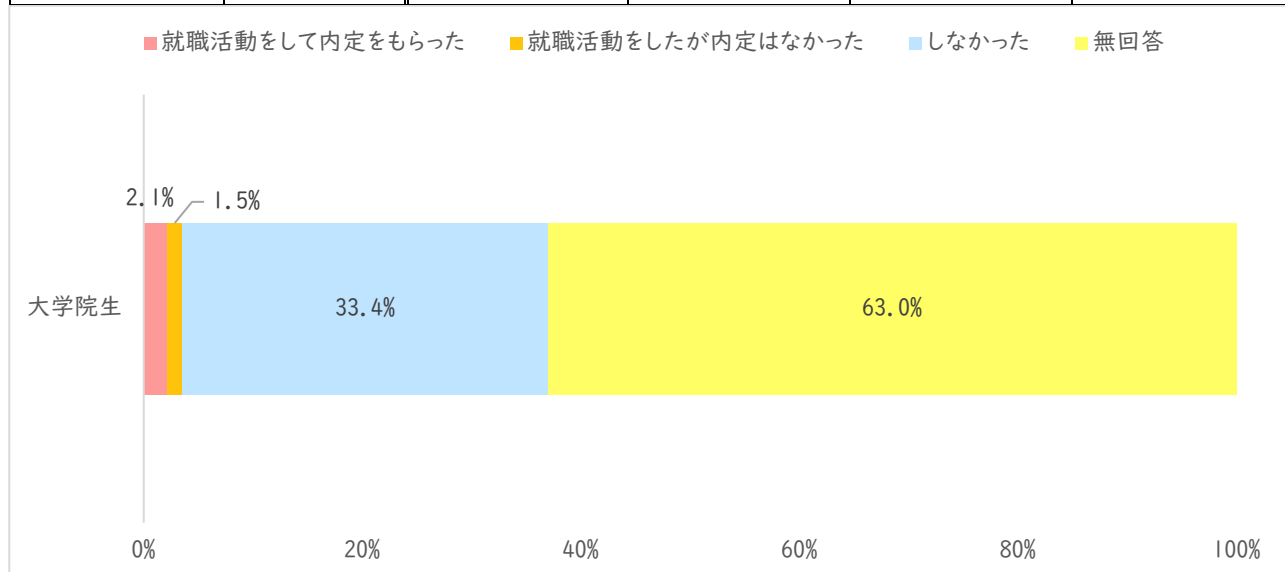
(人)	調査数	九大の他学府を受験した	九大以外の大学院を受験した	学内の他学府、学外のいずれも受験した	現所属以外の大学院は受験しなかった	無回答
大学院生	895	10	50	2	288	545



(9) 大学院受験と並行した就職活動の有無

大学院受験と並行して就職活動を行った学生の割合は 3.6%で、前回の調査結果(約 10%)より低くなりました。しかしながら、無回答の割合が 63%と大きいため、全体の傾向を正確に把握することは困難です。

(人)	調査数	就職活動をして、内定をもらった	就職活動をしたが、内定はなかった	しなかった	無回答
大学院生	895	19	13	299	564

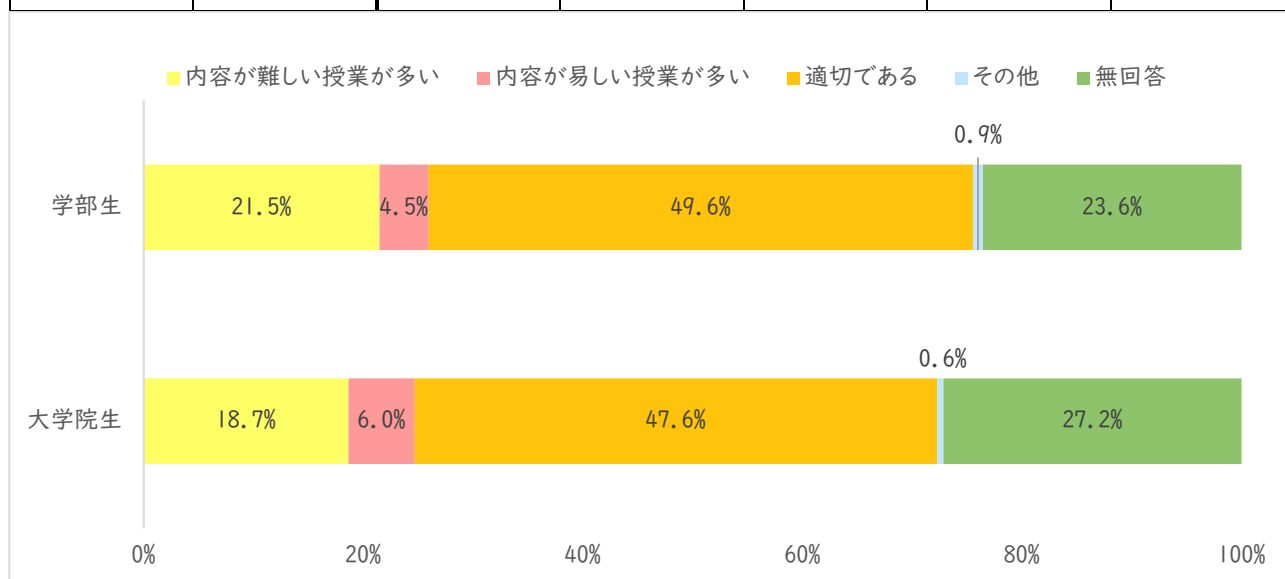


(10) 授業内容の難易度

学部生については 49.6%、大学院生については 47.6%が授業の内容は適切であると回答する一方、授業が難しいと回答した割合は、学部生、大学院生ともに 20%前後を占めています。

しかしながら、前回の調査結果と概ね同様の傾向にはあったもののやはり無回答の割合が高くなっており(学部生で 2.4%→23.6%、大学院生で 1.7%→27.2%)、正確に把握することは困難です。

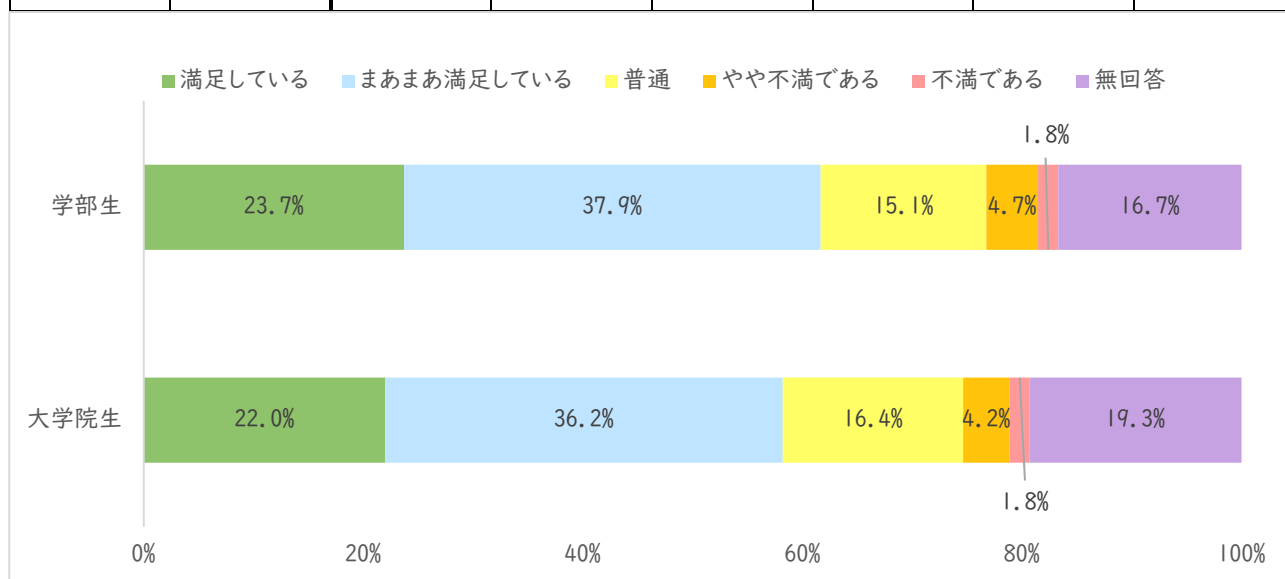
(人)	調査数	内容が難しい授業が多い	内容がやさしい授業が多い	適切である	その他	無回答
学部生	1,252	269	56	621	11	295
大学院生	895	167	54	426	5	243



(11)授業の満足度

学部生、大学院生ともに、約 60%が授業に「満足している」、「まあまあ満足している」と回答しています。一方、授業に「やや不満である」、「不満である」と回答した学部生、大学院生が 6%ほど見られました。前回の調査結果と比較して無回答の割合が高かったこと(学部生で2.2%→16.7%、大学院生で1.7%→19.3%)を差し引いても、これらの傾向に目立った変化は見られないと言えるでしょう。

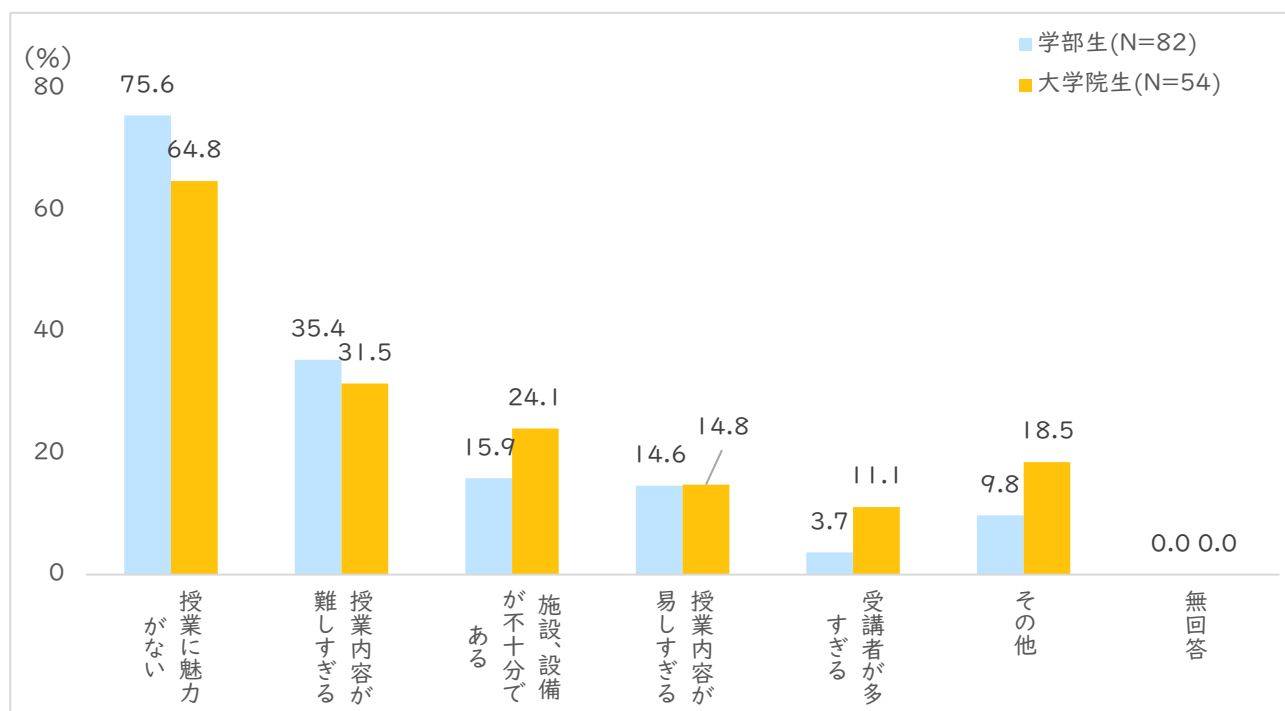
(人)	調査数	満足している	まあまあ満足している	普通	やや不満である	不満である	無回答
学部生	1,252	297	475	189	59	23	209
大学院生	895	197	324	147	38	16	173



(12)授業に不満な理由【複数回答可】

前問で授業に「不満である」、「やや不満である」と回答した学生にその理由を尋ねたところ、「授業に魅力がない」と回答した学生が、学部生、大学院生ともに大きな割合を占めており、前回の調査と同様の結果となりました。次いで、「授業内容が難しすぎる」と回答した学生の割合が大きい傾向も同様でしたが、興味深いことに、大学院生がそう回答した割合が前回の調査結果より高くなった(10.5%→31.5%)一方で、「授業内容が易しすぎる」と回答した大学院生の割合は減少しました(21.1%→14.8%)。また、「施設、設備が不十分である」との回答も、前回の調査より大きく増えました(学部生で7.7%→15.9%、大学院生で6.4%→24.1%)。

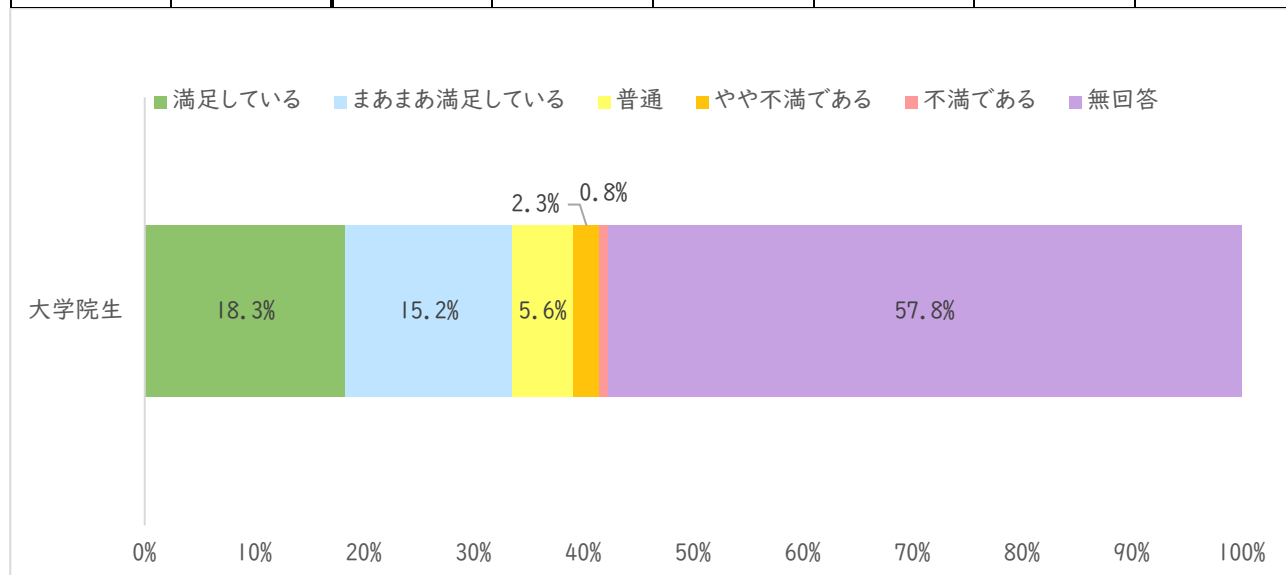
(人)	調査数	授業に魅力がない	授業内容が難しすぎる	施設、設備が不十分である	授業内容が易しすぎる	受講者が多すぎる	その他	無回答
学部生	82	62	29	13	12	3	8	0
大学院生	54	35	17	13	8	6	10	0



(13-1) 大学院生の研究環境の満足度

大学院生の研究環境の満足度は、「満足している」と「まあまあ満足している」で約33%でした。これらの回答は前回の調査でも高い割合を占めていたものの、無回答の割合が非常に高く、全体の傾向を正確に把握することは困難です。

(人)	調査数	満足している	まあまあ満足している	普通	やや不満である	不満である	無回答
大学院生	895	164	136	50	21	7	517

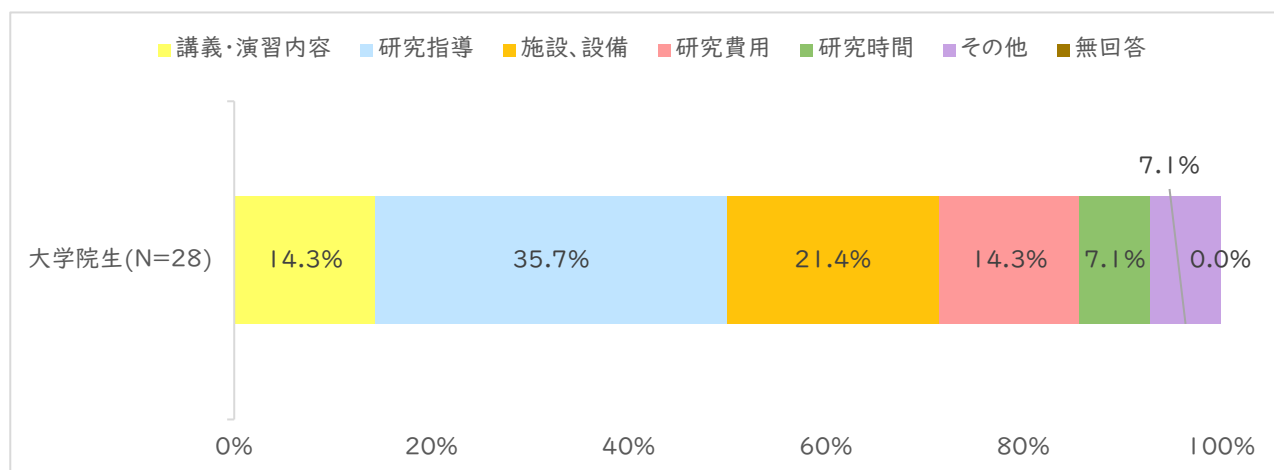


(13-2) 大学院生の研究環境に不満な理由

現在の研究環境に「不満である」、「やや不満である」と回答した大学院生にその理由を尋ねたところ、「研究指導」と「施設、設備」が主なもので、次いで、「講義・演習内容」、「研究費用」が挙げられました。

前回の調査結果と比較すると、「講義・演習内容」と回答した学生の割合が増加した(2.3%→14.3%)一方で、「研究時間」との回答が減少しました(15.4%→7.1%)。

(人)	調査数	講義・演習 内容	研究指導	施設、設備	研究費用	研究時間	その他	無回答
大学院生	28	4	10	6	4	2	2	0

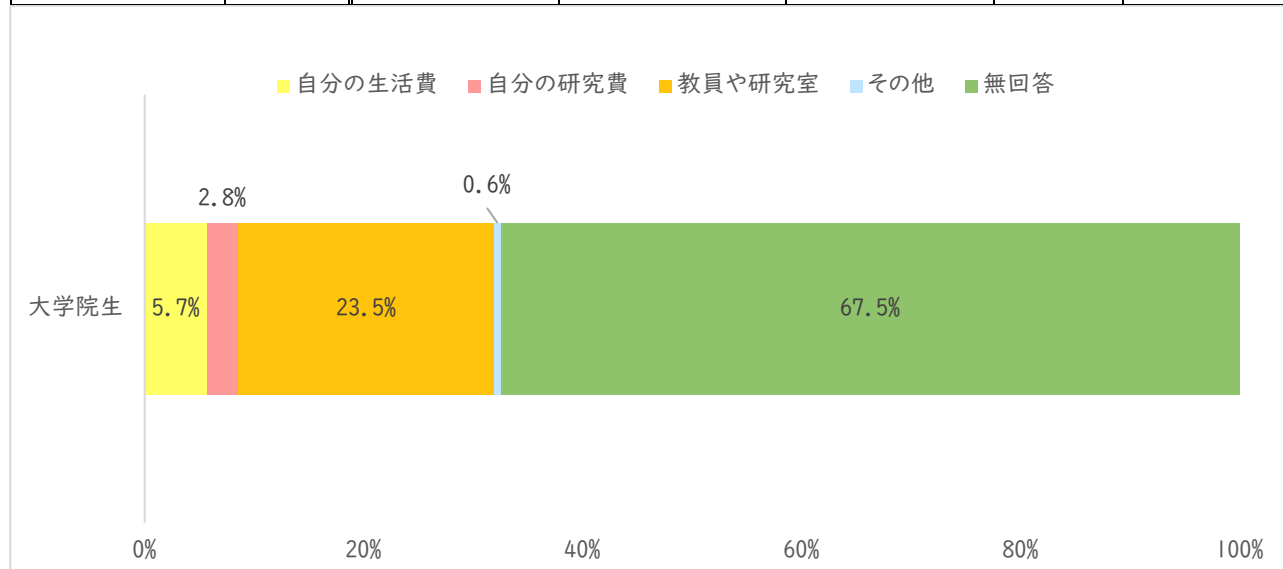


(14) 大学院生の学会参加等に必要な費用の捻出元

大学院生の学会参加等に必要な費用は、「教員や研究室」から捻出されている割合が最も大きく、前回の調査結果と同様でした。また、前回の調査で減少傾向にあった「自分の生活費」との回答がさらに減少しました。

しかしながら、無回答の割合が非常に高く、全体の傾向を正確に把握することは困難です。

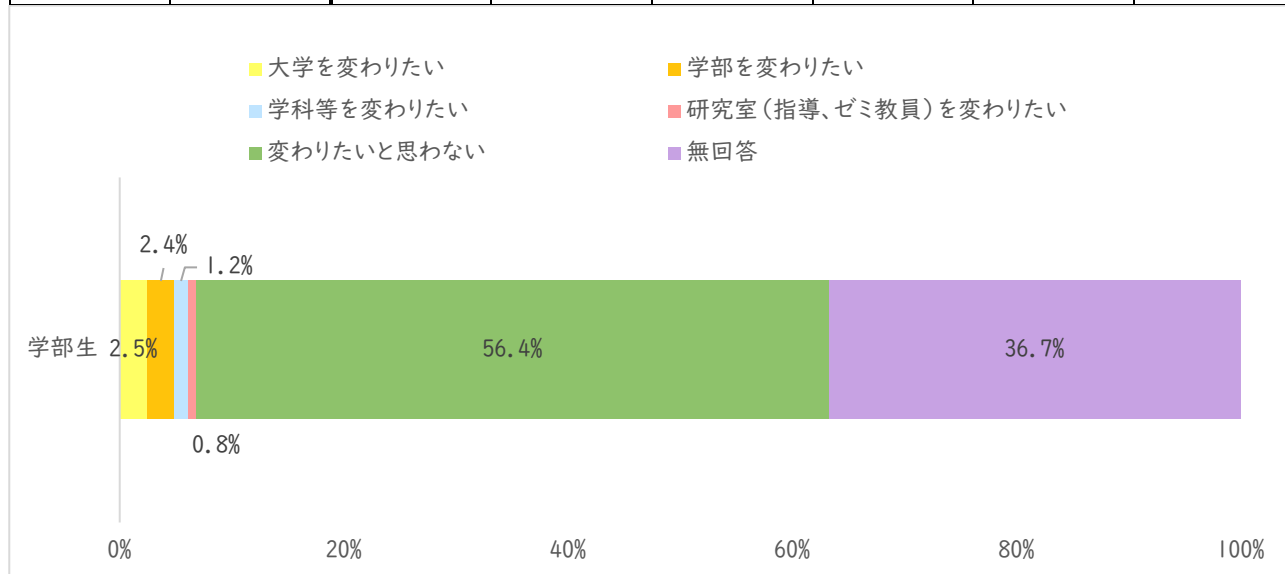
(人)	調査数	自分の生活費	自分の研究費	教員や研究室	その他	無回答
大学院生	895	51	25	210	5	604



(15-1) 学部・学科等の変更希望

学部生の転大学・転学部・転学科等・転研究室の希望状況については、いずれも前回の調査結果より減少していますが、依然として 7%ほどの学部生が何らかの不満を抱えているようです。また、無回答の割合が上がったことも看過できません(8.9%→36.7%)。

(人)	調査数	大学を 変わりたい	学部を 変わりたい	学科等を 変わりたい	研究室(指導、 ゼミ教員)を 変わりたい	変わりたいと 思わない	無回答
学部生	1,252	31	30	15	10	706	460

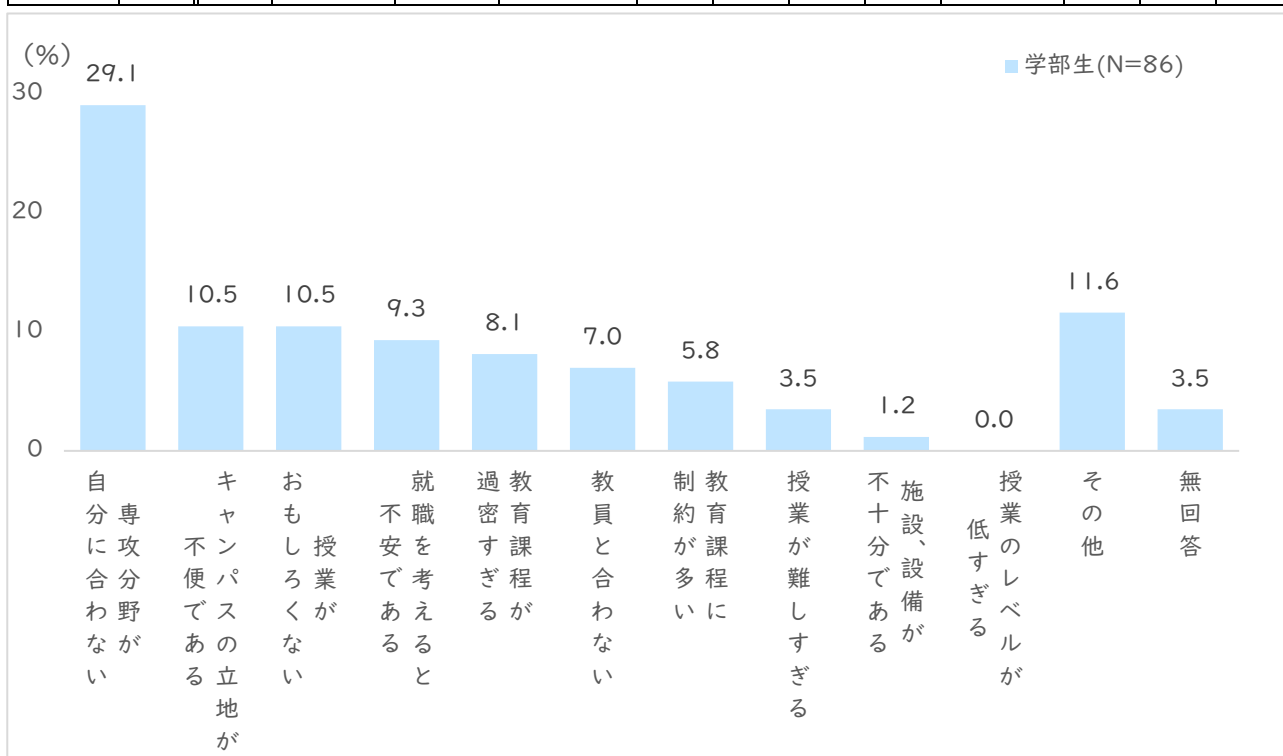


(15-2) 学部・学科等を変えたい理由

学部生が転大学・転学部・転学科等・転研究室を希望する理由として、「専攻分野が自分に合わない」が最も多く、それに次ぐ他の回答が10%～1%程度となり、前回の調査結果とほぼ同様の傾向にあります。

今回選択肢として新たに加えた「キャンパスの立地が不便である」を理由とした学生の割合は、「授業がおもしろくない」、「就職を考えると不安である」と同程度でした。一方、「授業のレベルが低すぎる」と回答した学生はいませんでした。

(人)	調査数	専攻分野が自分に合わない	キャンパスの立地が不便である	授業がおもしろくない	就職を考えると不安である	教育課程が過密すぎる	教員と合わない	教育課程に制約が多い	授業が難しすぎる	施設、設備が不十分である	授業のレベルが低すぎる	その他	無回答
学部生	86	25	9	9	8	7	6	5	3	1	0	10	3

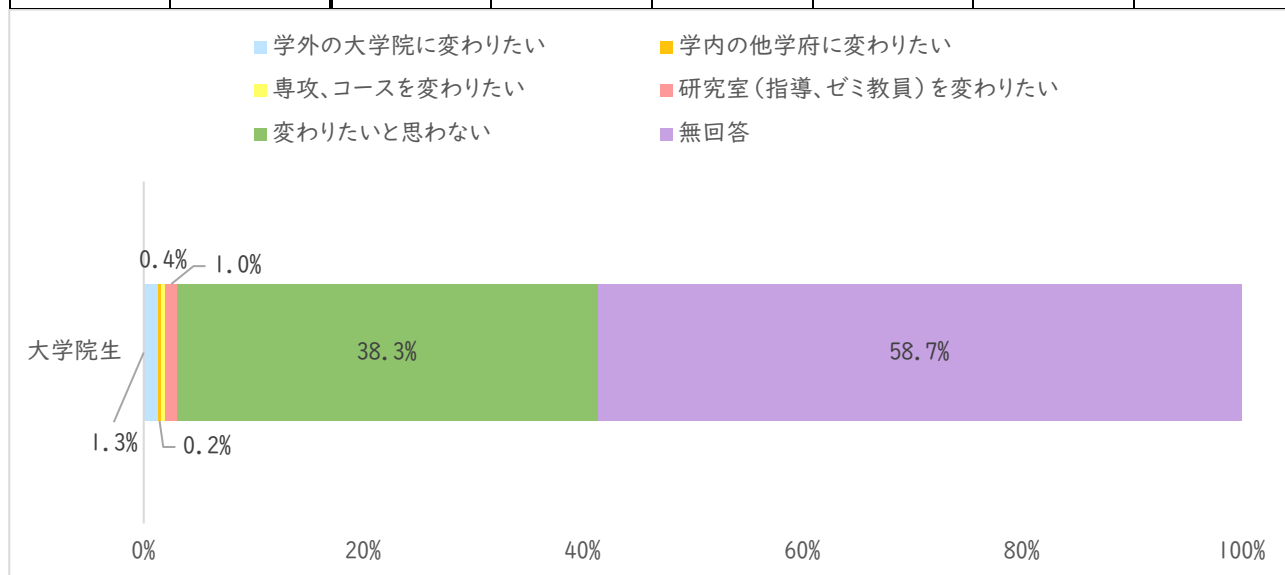


(16-1) 大学院生の現在の所属の変更希望

大学院生の約 40%は現所属にて継続して学問・研究を進めたいと考えているようです。一方、変更を希望している学生が 3%ほどおり、そのうちの約半数が学外の大学院へ変わりたいとしています。

しかしながら、無回答の割合が非常に高く、全体の傾向を正確に把握することは困難です。

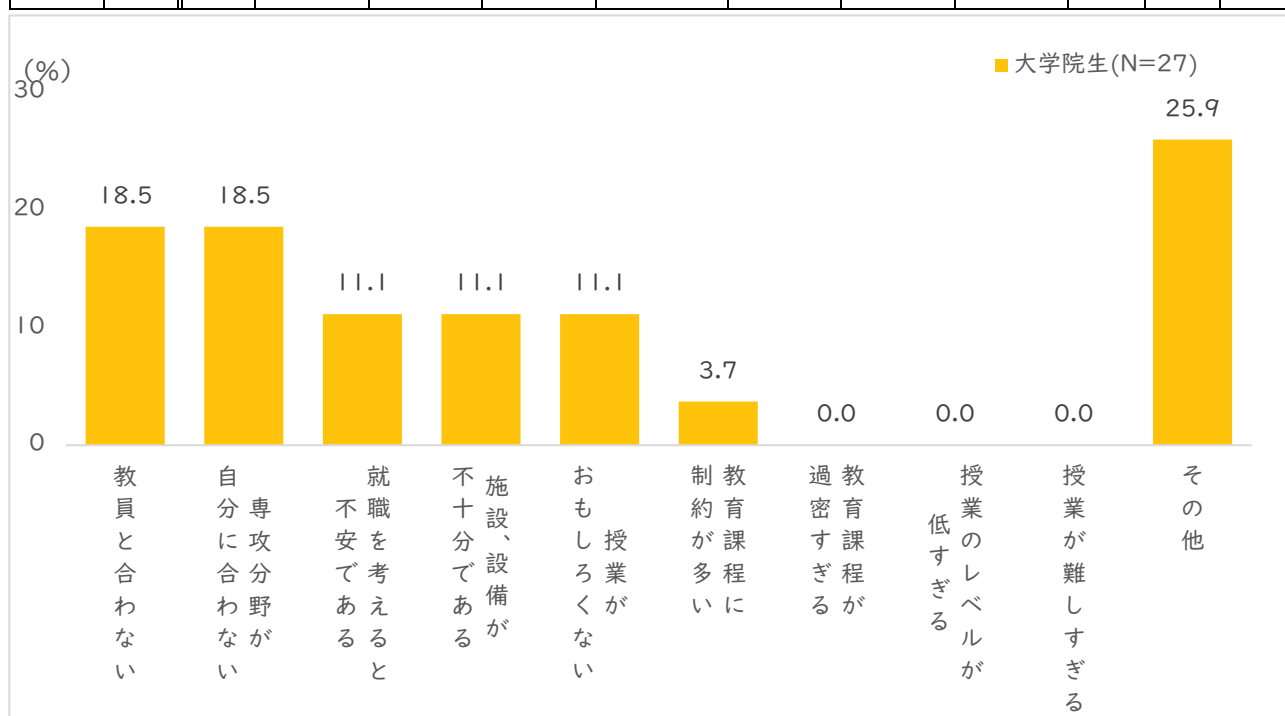
(人)	調査数	学外の大学院に 変わりたい	学内の他学府に 変わりたい	専攻、コースを 変わりたい	研究室(指導、 ゼミ教員)を 変わりたい	変わりたいと思 わない	無回答
大学院生	895	12	2	4	9	343	525



(16-2) 大学院生の現在の所属を変えたい理由

大学院生が所属変更を希望する理由として、「教員と合わない」と「専攻分野が自分に合わない」が多くなっており、前回の調査結果と同様の傾向にあります。一方、「その他」の割合が 25.9%と高く、その具体的な理由が気になります。

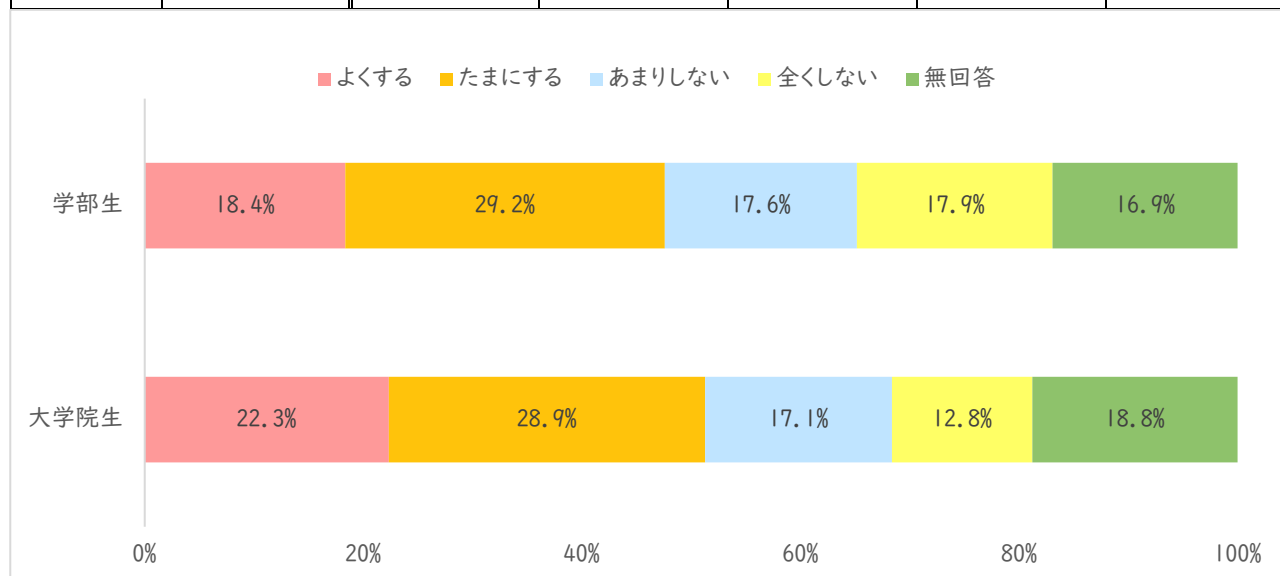
(人)	調査数	教員と合わない	専攻分野が自分に合わない	就職を考えると不安である	施設、設備が不十分である	授業が おもしろくない	教育課程に制約が多い	教育課程が過密すぎる	教育のレベルが低すぎる	授業が難しすぎる	その他	無回答
大学院生	27	5	5	3	3	3	1	0	0	0	7	0



(17) 教員と直接話す機会の有無

教員と直接話す機会について、「よくする」と「たまにする」を合わせると、学部生、大学院生ともに約 50%となりました。前回の調査結果と比較して、この割合は大学院生で大幅に減少しているとともに(88.9%→51.2%)、「まったくしない」と回答した大学院生の割合が増加しています(1.9%→12.8%)。研究を進める上で、教員とより綿密なコミュニケーションを要すると思われる大学院生でのこのような結果は、大変気になるところです。

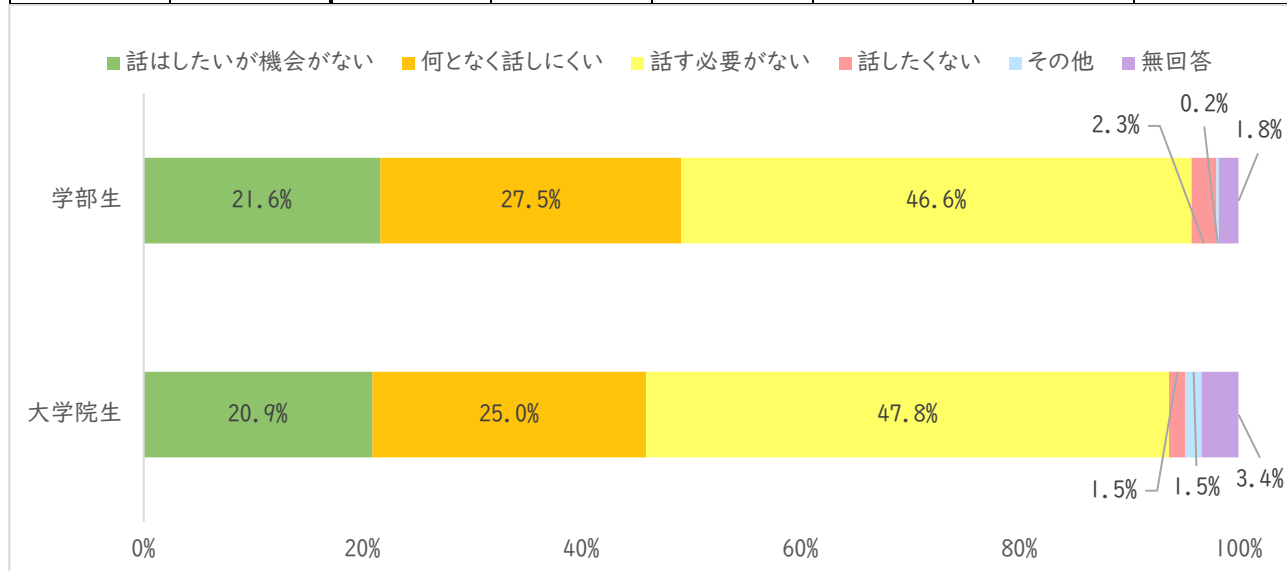
(人)	調査数	よくする	たまにする	あまりしない	まったくしない	無回答
学部生	1,252	230	366	220	224	212
大学院生	895	200	259	153	115	168



(18) 教員と直接話す機会が無い理由

教員と話を「あまりしない」または「まったくしない」理由としては、学部生、大学院生ともに「話す必要がない」と回答した割合が最も高く、約50%を占めています。前回の調査結果と比較して、この割合は大学院生で大幅に増加しています(19.5%→47.8%)。

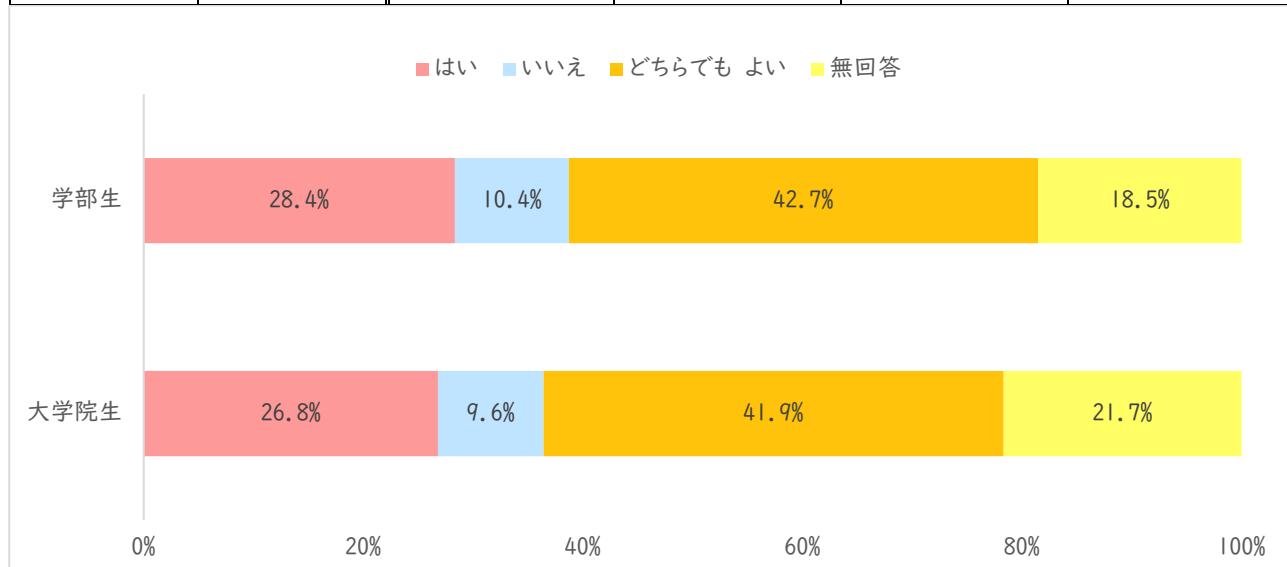
(人)	調査数	話したい が機会が 無い	なんとなく話 しにくい	話す必要が ない	話したく ない	その他	無回答
学部生	444	96	122	207	10	1	8
大学院生	268	56	67	128	4	4	9



(19) 教員ともっと直接話をしたいと思うか

学部生、大学院生ともに、教員ともっと話をしたいと思う学生の割合は 30%弱でした。話をしたくないと回答した学生(約 10%)よりは多かったものの、40%ほどの学生はどちらでもよいと思っており、また無回答の割合が前回の調査より高くなっています(学部生で 3.7%→18.5%、大学院生で 2.4%→21.7%)。

(人)	調査数	はい	いいえ	どちらでもよい	無回答
学部生	1,252	355	130	535	232
大学院生	895	240	86	375	194

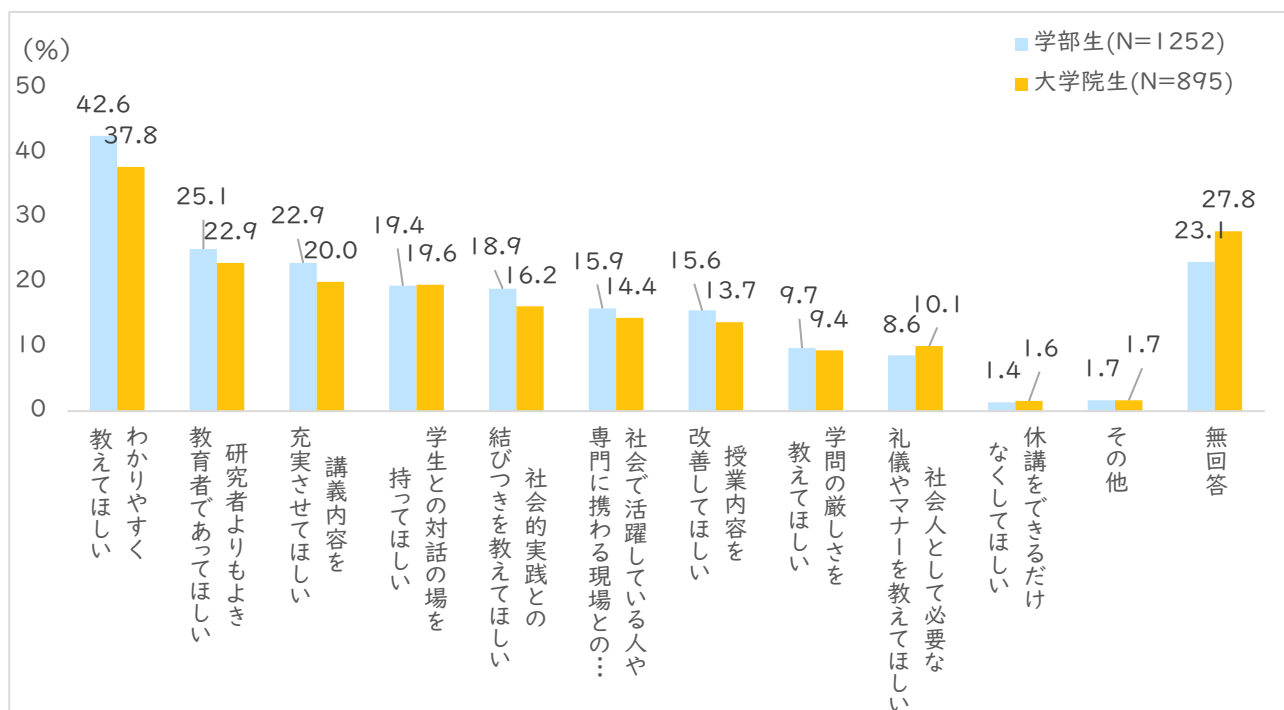


(20) 教員に希望すること【複数回答可】

学部生、大学院生ともに、教員に対して「わかりやすく教えてほしい」と希望する学生の割合が最も高くなりました。これは、大学院生で「研究者よりもよき教育者であってほしい」との回答が最多となった前回の調査結果と異なる傾向です。

また、前回の調査では、「わかりやすく教えてほしい」、「講義内容を充実させてほしい」、「授業内容を改善してほしい」と回答した学生の割合が学部生で顕著に高く、一方、「学問の厳しさを教えてほしい」と回答した学生の割合が大学院生で顕著に低くなっていましたが、今回の調査ではいずれも同程度の割合となり、学部生と大学院生の希望（意識）に差がなくなっているように感じます。

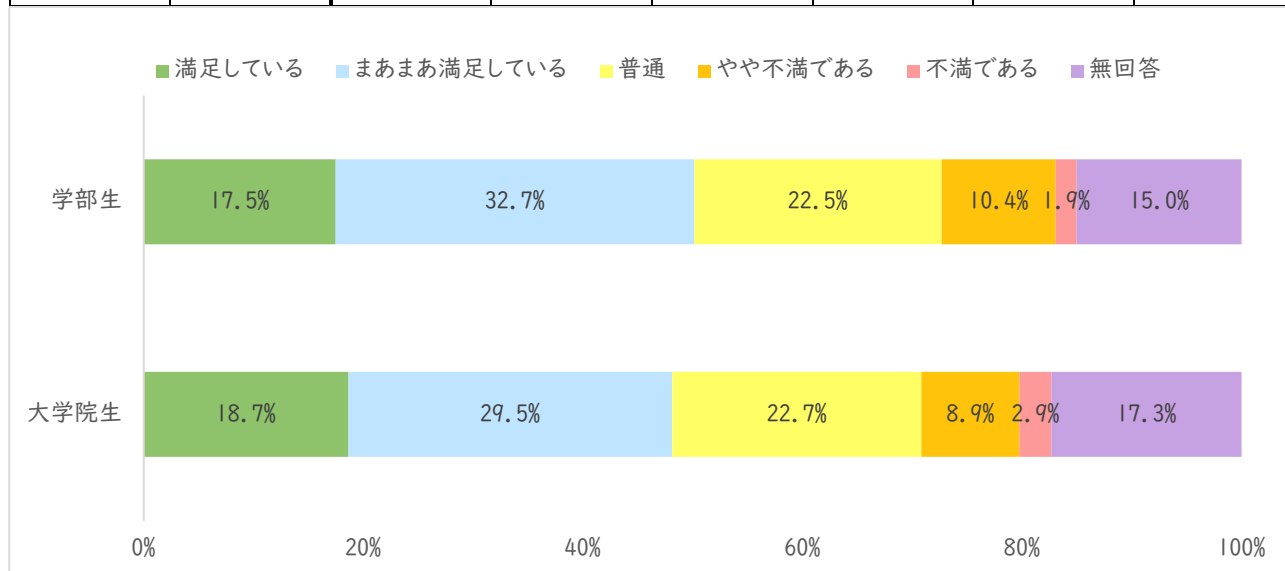
(人)	調査数	わかりやすく教えてほしい	研究者よりもよき教育者であってほしい	講義内容を充実させてほしい	学生との対話の場を持ってほしい	社会的実践との結びつきを教えてほしい	専門に携わる現場との接点を教えてほしい 社会で活躍している人や	授業内容を改善してほしい	学問の厳しさを教えてほしい	礼儀やマナーを教えてほしい 社会人として必要な	休講をできるだけ なくしてほしい	その他	無回答
学部生	1,252	533	314	287	243	237	199	195	122	108	17	21	289
大学院生	895	338	205	179	175	145	129	123	84	90	14	15	249



(21-1) 電子システム(シラバス、学習支援システム(M2B)など)の満足度

電子システムについて、学部生、大学院生ともに「満足している」、「まあまあ満足している」と回答した学生が約半数を占めました。一方、12%程度の学生が不満を感じているようです。前回の調査結果とほぼ同じ傾向にありました。

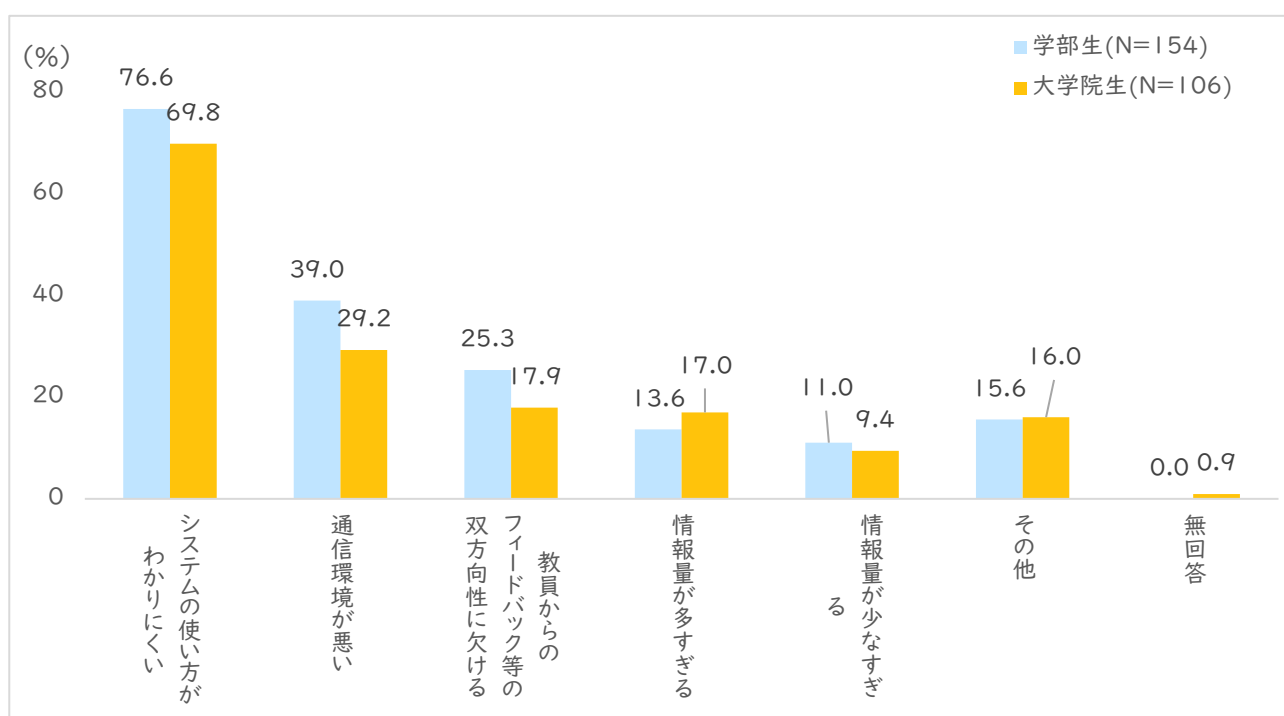
(人)	調査数	満足している	まあまあ満足している	普通	やや不満である	不満である	無回答
学部生	1,252	219	409	282	130	24	188
大学院生	895	167	264	203	80	26	155



(21-2) 電子システムの不満理由【複数回答可】

本設問は今回新たに加えたものです。電子システムに「不満である」、「やや不満である」理由としては、学部生、大学院生ともに「システムの使い方がわかりにくい」が主なもので、次いで「通信環境が悪い」が挙げられました。

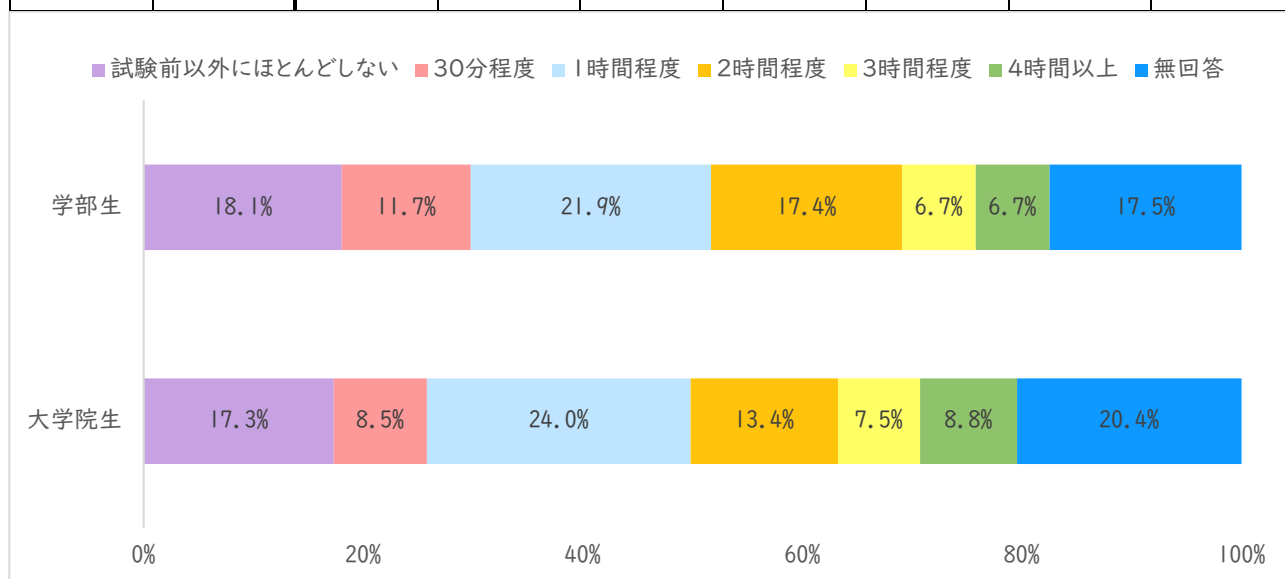
(人)	調査数	システムの使い方がわかりにくい	通信環境が悪い	教員からのフィードバック等の双方向性に欠ける	情報量が多すぎる	情報量が少なすぎる	その他	無回答
学部生	154	118	60	39	21	17	24	0
大学院生	106	74	31	19	18	10	17	1



(22) 授業時間以外の学習に費やしている時間

学部生、大学院生ともに、「1時間程度」と回答した学生の割合が最も高く、前回の調査で最多の「試験前以外にほとんどしない」との回答は大きく減少しました（学部生で 37.5%→18.1%、大学院生で 33.7%→17.3%）。しかしながら、前回の調査では学部生より大学院生の方で学習時間が長い傾向にありましたが、今回の調査では学部生と大学院生でほとんど差が見られなくなっています。

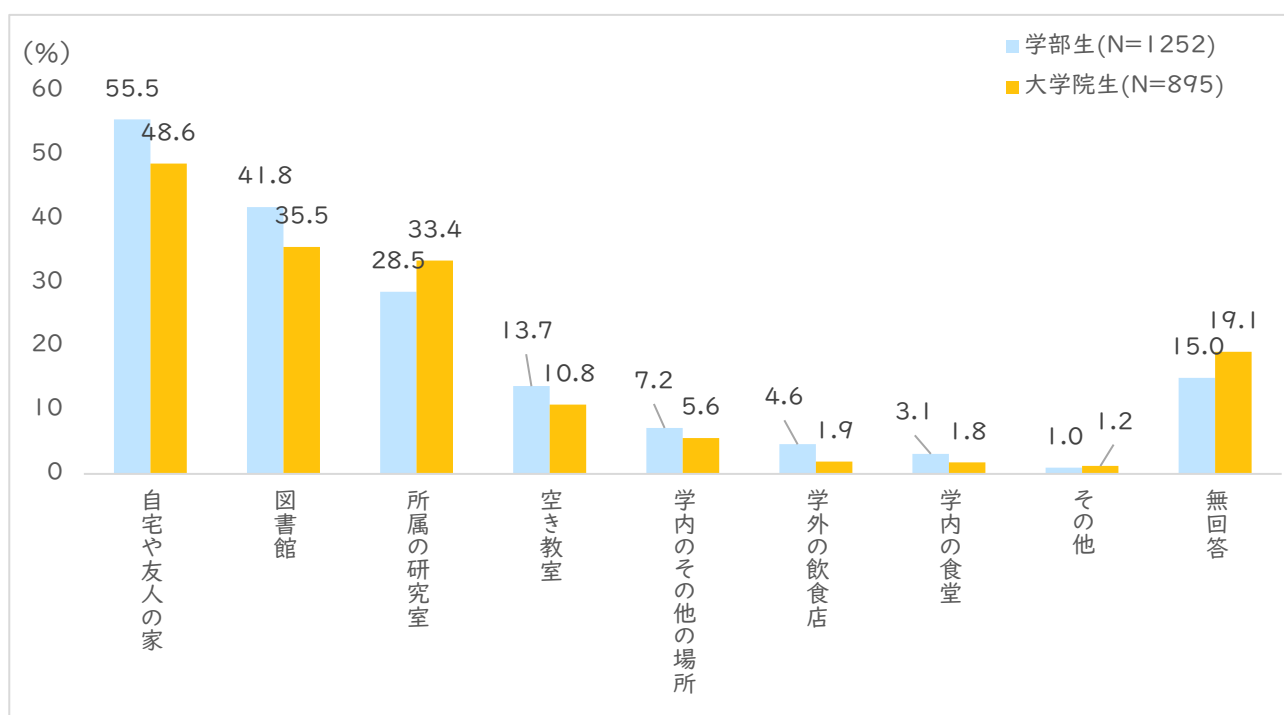
(人)	調査数	試験前以外に ほとんどしない	30 分程度	1 時間程度	2 時間程度	3 時間程度	4 時間以上	無回答
学部生	1,252	226	147	274	218	84	84	219
大学院生	895	155	76	215	120	67	79	183



(23) 授業時間以外の学習を行っている場所【複数回答可】

学習を行っている場所としては、学部生、大学院生ともに「自宅や友人の家」と回答した学生の割合が最も高く、次いで「図書館」、「所属の研究室」となりました。前回の調査では、学部生よりも大学院生で「所属の研究室」と回答した学生が突出して多かったのですが、今回の調査ではいずれも学部生と大学院生でほとんど差が見られなくなっています。

(人)	調査数	自宅や友人の家	図書館	所属の研究室	空き教室	学内のその他の場所	学外の飲食店	学内の食堂	その他	無回答
学部生	1,252	695	523	357	172	90	58	39	12	188
大学院生	895	435	318	299	97	50	17	16	11	171

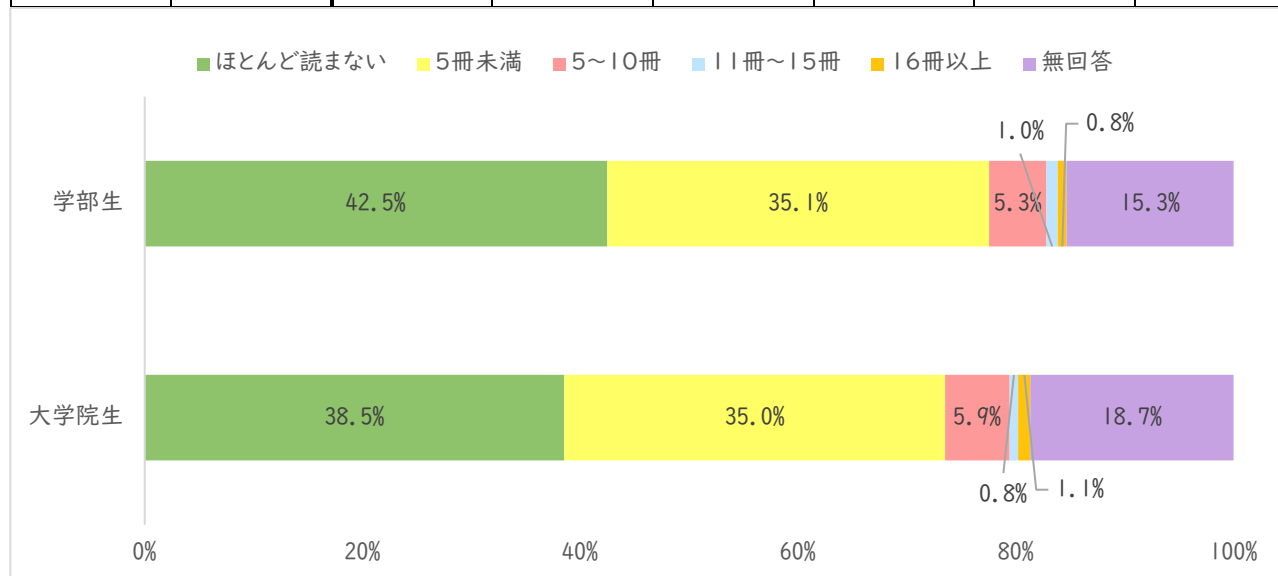


(24) 1か月間の読書の状況

学部生、大学院生ともに、本を「ほとんど読まない」と回答した学生の割合は前回の調査結果より減少しました（学部生で 53.3%→42.5%、大学院生で 42.4%→38.5%）。

しかしながら、無回答の割合が上がっており（学部生で 2.5%→15.3%、大学院生で 1.9%→18.7%）、傾向を正確に把握することは困難です。

(人)	調査数	ほとんど読まない	5冊未満	5～10冊	11～15冊	16冊以上	無回答
学部生	1,252	532	439	66	13	10	192
大学院生	895	345	313	53	7	10	167

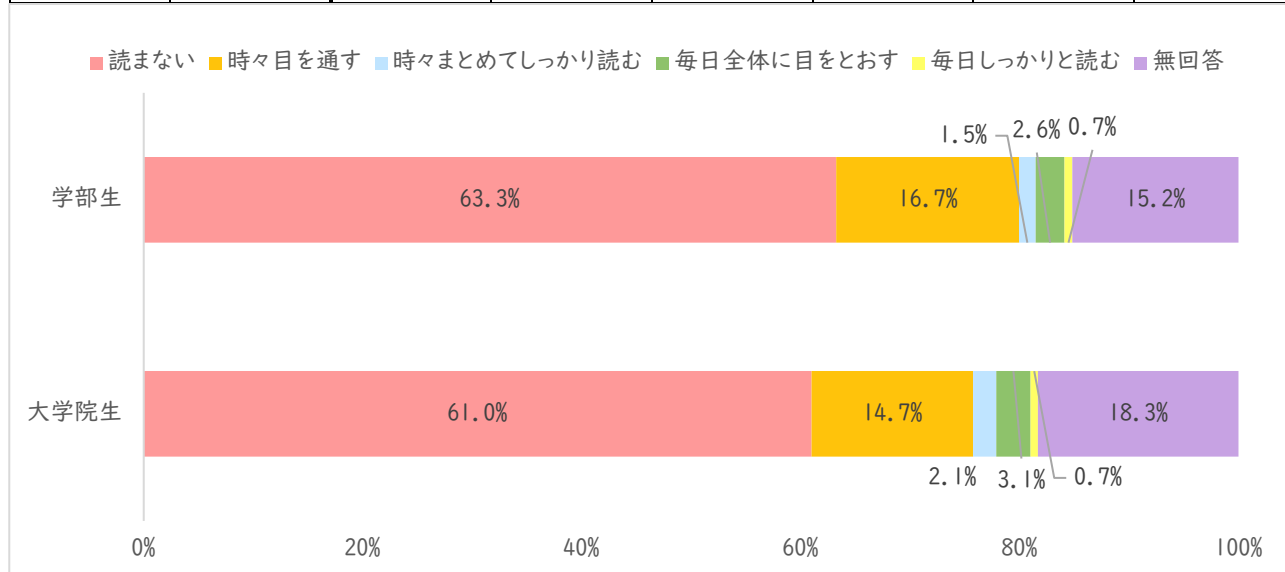


(25) 新聞を読む頻度

学部生、大学院生ともに、新聞を「読まない」と回答した学生の割合は前回の調査結果より減少しました（学部生で 77.4%→63.3%、大学院生で 65.9%→61.0%）。

しかしながら、やはり無回答の割合が上がっており（学部生で 2.6%→15.2%、大学院生で 1.3%→18.3%）、傾向を正確に把握することは困難です。

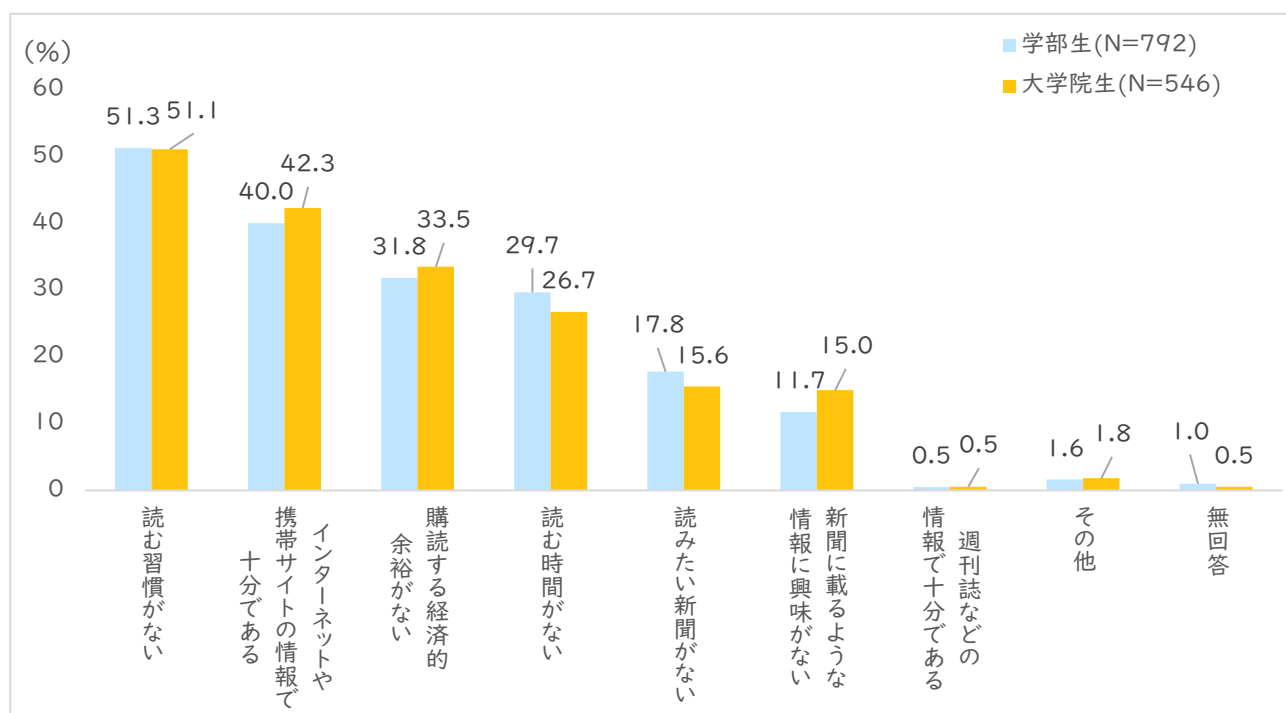
(人)	調査数	読まない	時々目を通す	時々まとめて しっかり読む	毎日全体に 目をとおす	毎日しっかりと読む	無回答
学部生	1,252	792	209	19	33	9	190
大学院生	895	546	132	19	28	6	164



(26)新聞を読まない理由【複数回答可】

新聞を「読まない」と回答した学生にその理由を尋ねたところ、学部生と大学院生の回答割合に差はほとんど認められず、「読む習慣がない」との回答が最も多くなりました。前回の調査結果では、「インターネットや携帯サイトの情報で十分である」との回答が最多で、次いで「購読する経済的余裕がない」、「読む習慣がない」の順でした。今回の調査から、そもそも新聞に馴染みのない学生が多くなったことが窺えます。

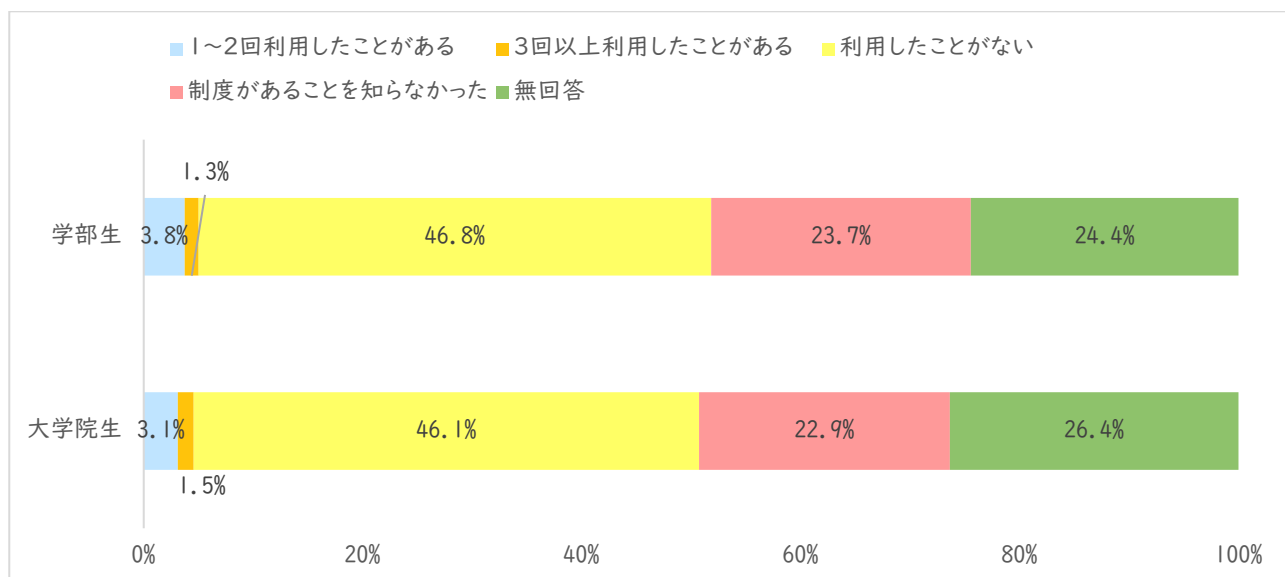
(人)	調査数	読む習慣がない	携帯サイトの情報で十分である インターネットや	購読する経済的余裕がない	読む時間がない	読みたい新聞がない	新聞に載るような 情報に興味がない	週刊誌などの情報で十分である	その他	無回答
学部生	792	406	317	252	235	141	93	4	13	8
大学院生	546	279	231	183	146	85	82	3	10	3



(27) 大学のピア・サポート制度や学習相談を利用した経験

学部生、大学院生ともに「制度を知らなかった」と回答した学生の割合は、前回の調査結果より大きく減少しました（学部生で 34.7%→23.7%、大学院生で 42.2%→22.9%）。前回の調査結果と比較して無回答の割合が高かったこと（学部生、大学院生ともに約 5%→約 25%）を差し引いても、制度の周知は確実に進んでいるようです。

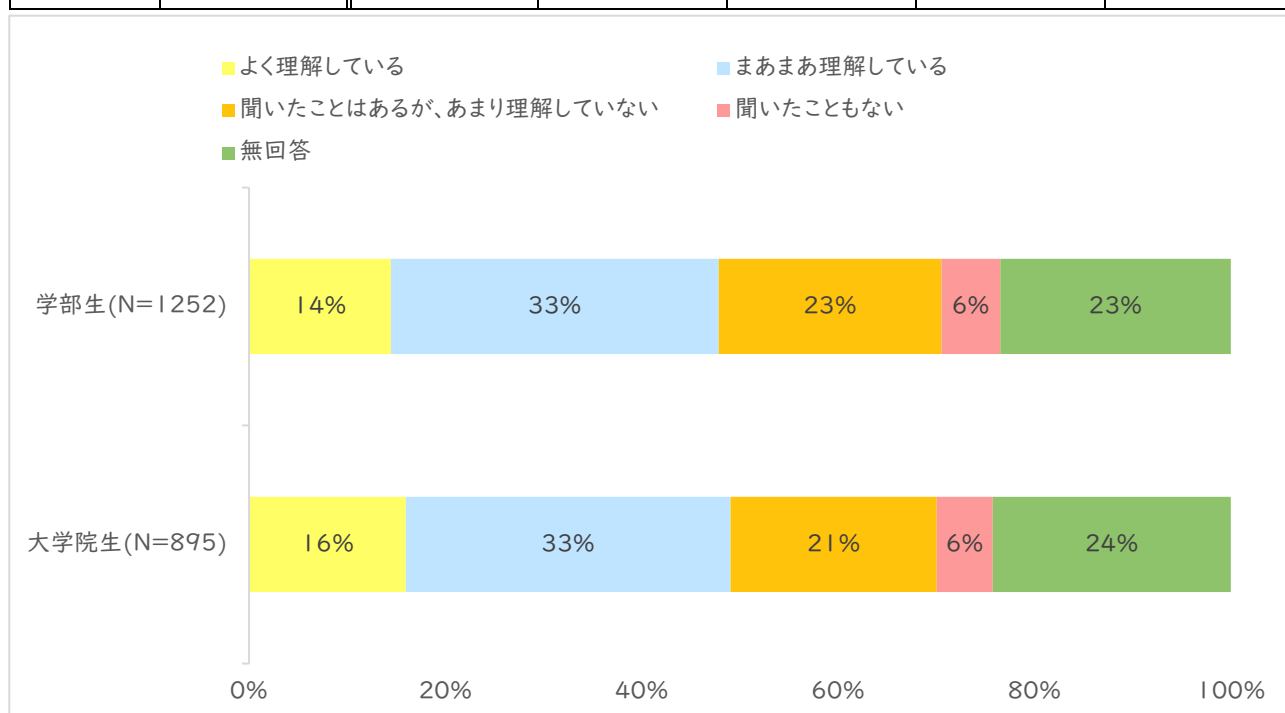
(人)	調査数	1～2回利用 したことがある	3回以上利用 したことがある	利用したことが ない	制度があることを 知らなかった	無回答
学部生	1,252	47	16	586	297	306
大学院生	895	28	13	413	205	236



(28) 合理的配慮の理解

本設問は今回新たに加えたものです。合理的配慮の理解について、約 50%の学生は理解できているようです。一方で、20%程度の学生があまり理解しておらず、また 6%の学生が「聞いたこともない」という回答で、今後も引き続き合理的配慮の理解を促していく必要があります。

(人)	調査数	よく理解している	まあまあ理解している	聞いたことはあるが、あまり理解していない	聞いたこともない	無回答
学部生	1,252	181	418	284	75	294
大学院生	895	143	296	188	51	217

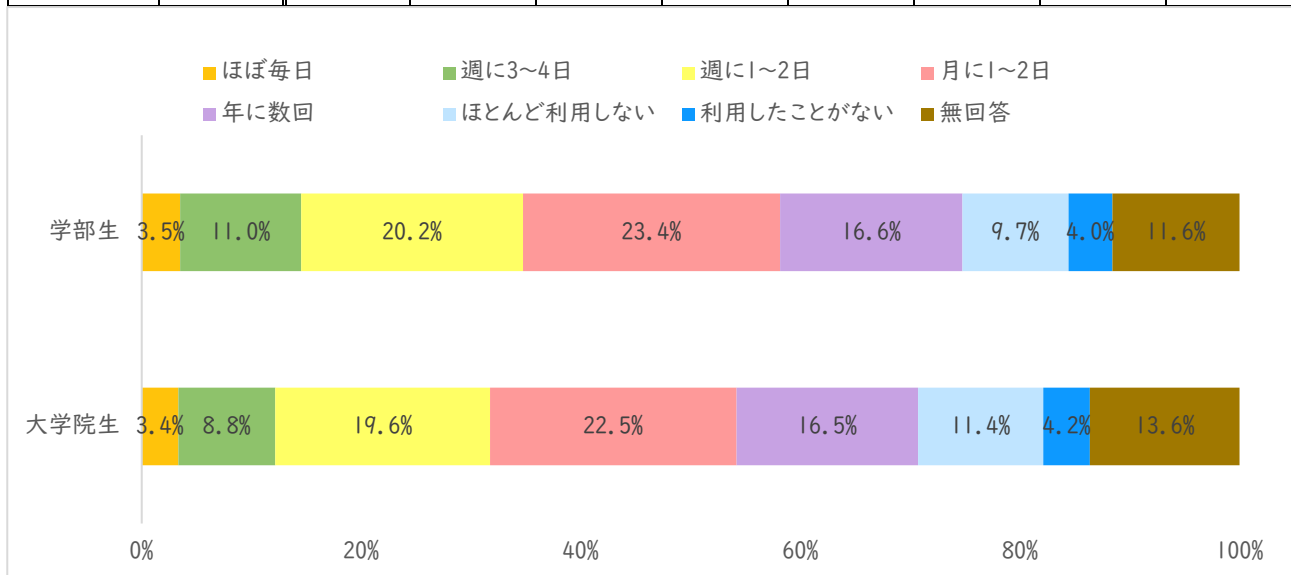


第 11 章 図書館について

(1) 図書館の利用頻度

学部生は3割以上が週に 1 回以上図書館を利用しています。 全体的な傾向は前回調査とあまり変わりませんが、大学院生で図書館を「ほとんど利用しない」「利用したことがない」学生が 35.0% から 15.6% に大きく減少しています。

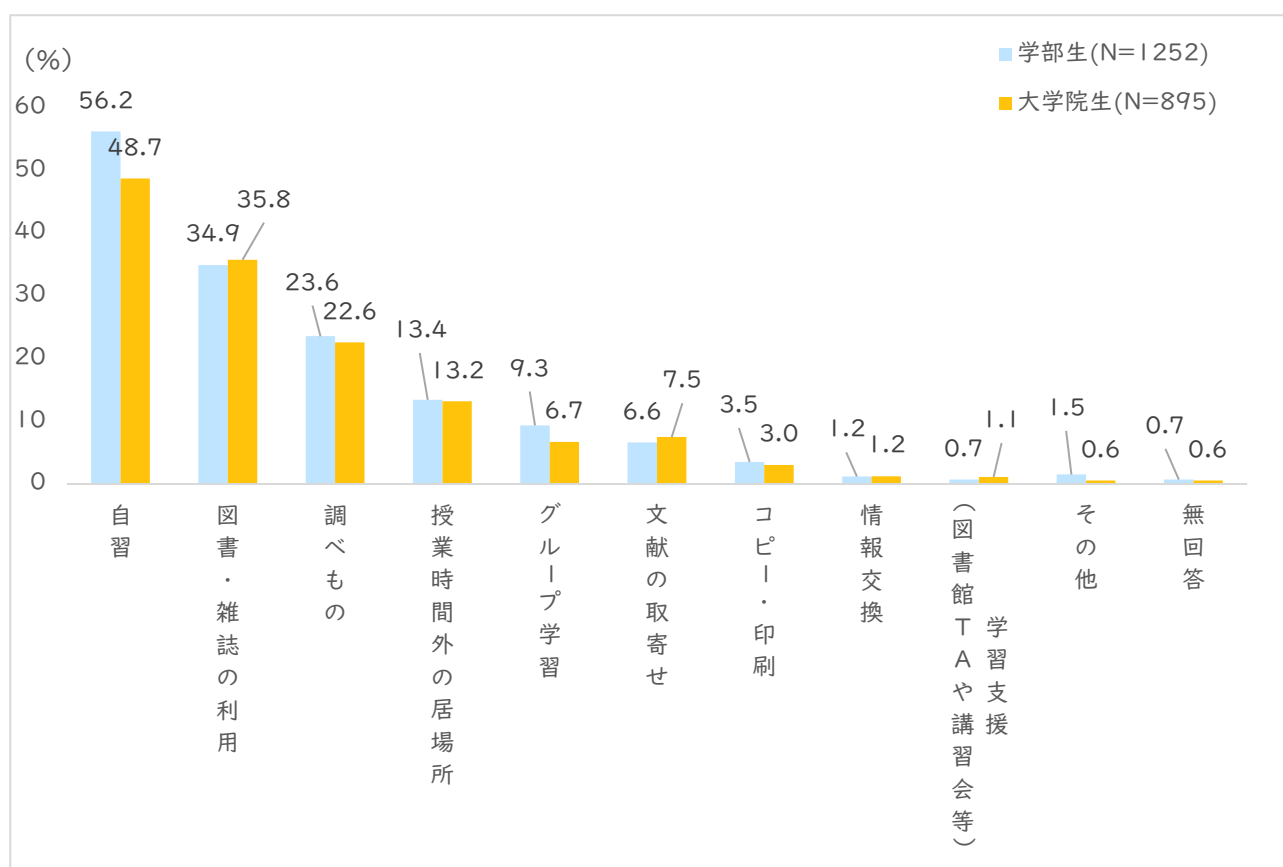
(人)	調査数	ほぼ毎日	週に3～4日	週に1～2日	月に1～2日	年に数回	ほとんど利用しない	利用したことがない	無回答
学部生	1,252	44	138	253	293	208	121	50	145
大学院生	895	30	79	175	201	148	102	38	122



(2) 図書館の利用目的【複数回答可】

学部生・大学院生ともに「自習」が高い割合を示しています。前回「自習」に次いで多かった「図書・雑誌の利用」については学部生が39.4%から34.9%に、大学院生が60.0%から35.8%に減少しました。

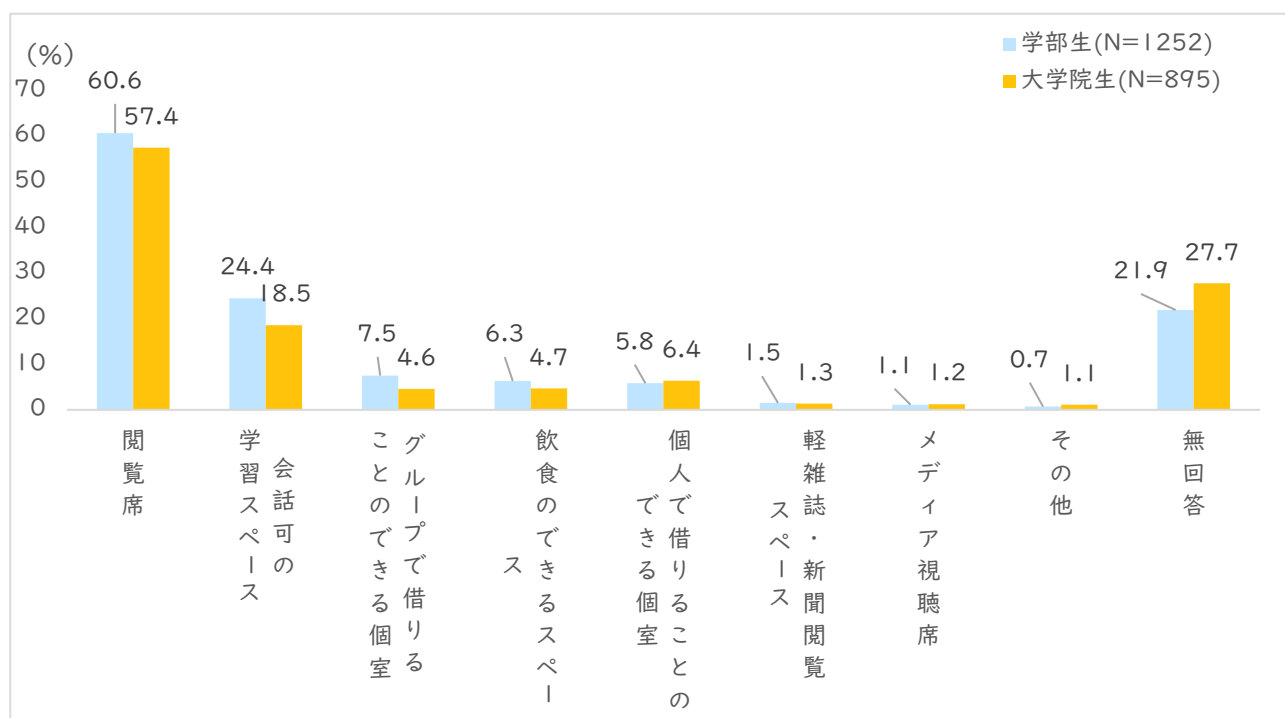
(人)	調査数	自習	図書・雑誌の利用	調べもの	授業時間外の居場所	グループ学習	文献の取寄せ	コピー・印刷	情報交換	学習支援(図書館TAや講習会等)	その他	無回答
学部生	1,252	704	437	295	168	117	83	44	15	9	19	9
大学院生	895	436	320	202	118	60	67	27	11	10	5	5



(3) 図書館でよく利用するスペース【複数回答可】

「閲覧席」を利用する学生が6割近くと多数派ですが、会話のできる学習スペースの需要も高いようです。

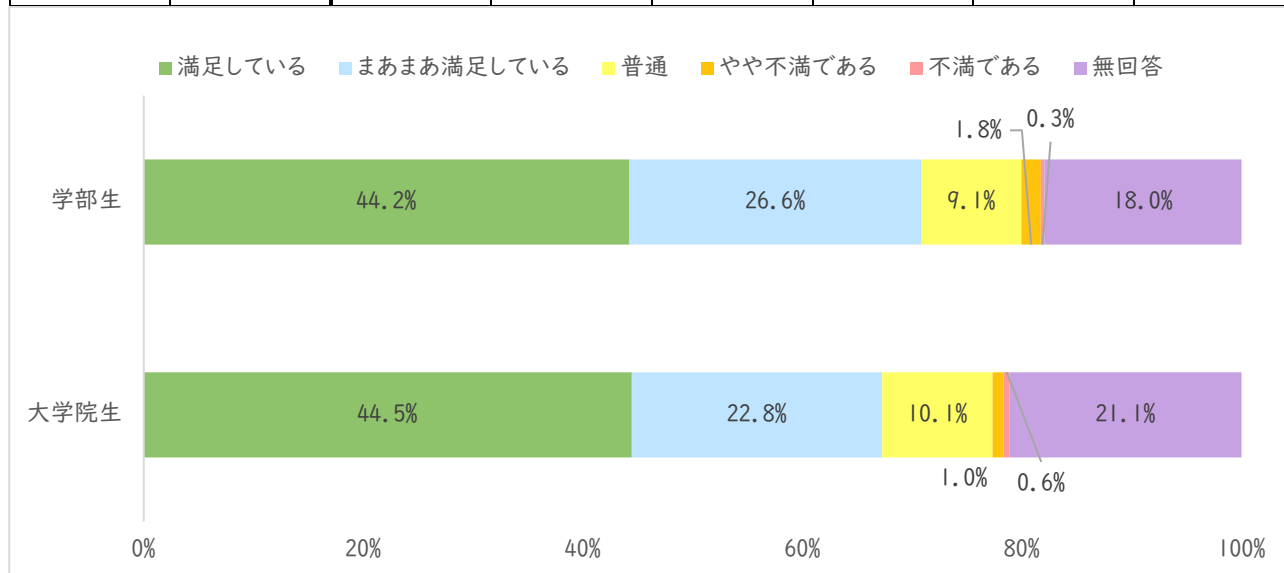
(人)	調査数	閲覧席	会話可の学習スペース	グループで借りることのできる個室	飲食のできるスペース	個人で借りることのできる個室	軽雑誌・新聞閲覧スペース	メディア視聴席	その他	無回答
学部生	1,252	759	306	94	79	73	19	14	9	274
大学院生	895	514	166	41	42	57	12	11	10	248



(4) 図書館の満足度

「満足している」「まあまあ満足している」という回答が約 7 割を占めています。

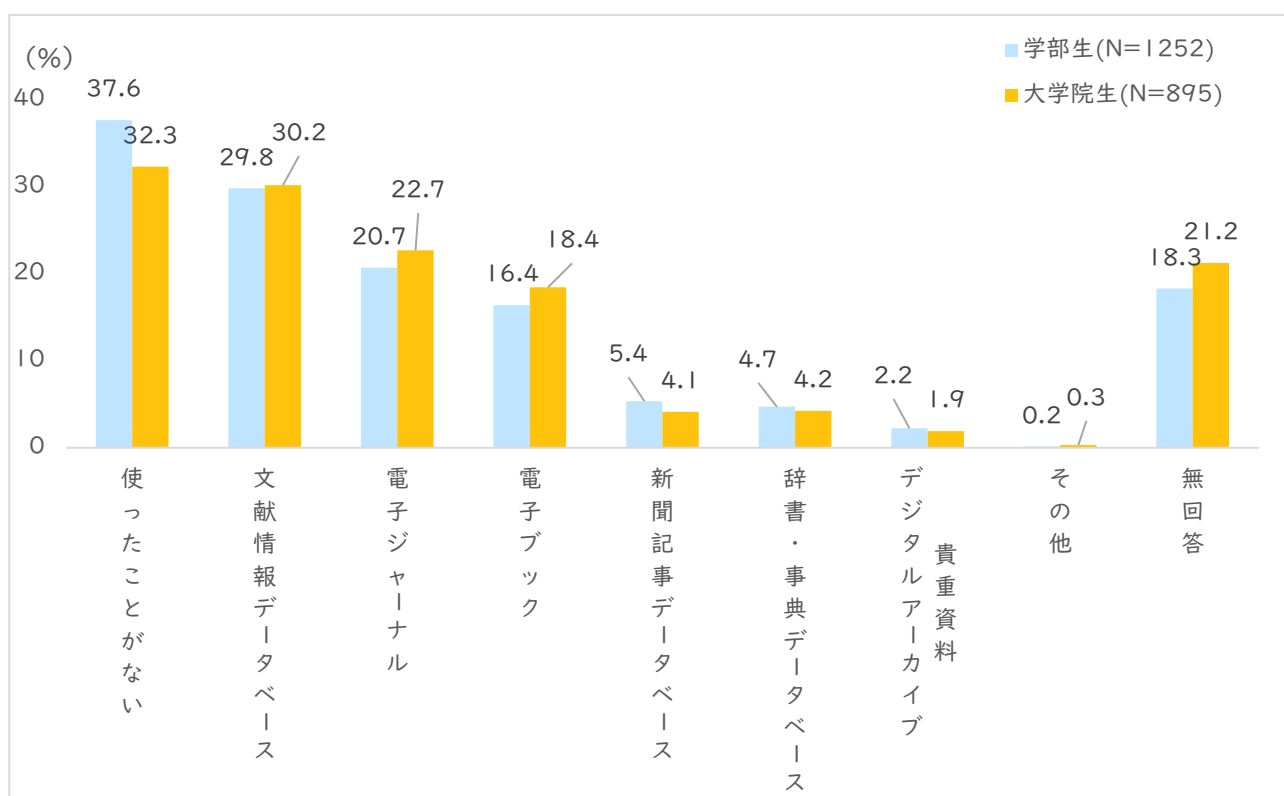
(人)	調査数	満足している	まあまあ満足している	普通	やや不満である	不満である	無回答
学部生	1,252	554	333	114	22	4	225
大学院生	895	398	204	90	9	5	189



(5) 電子リソースで使ったことがあるもの【複数回答可】

電子リソースとしては文献情報データベースを使ったことがあるとの回答が約 3 割となっていますが、学部生・大学院生ともに「使ったことがない」という回答の割合が一番高くなっています。

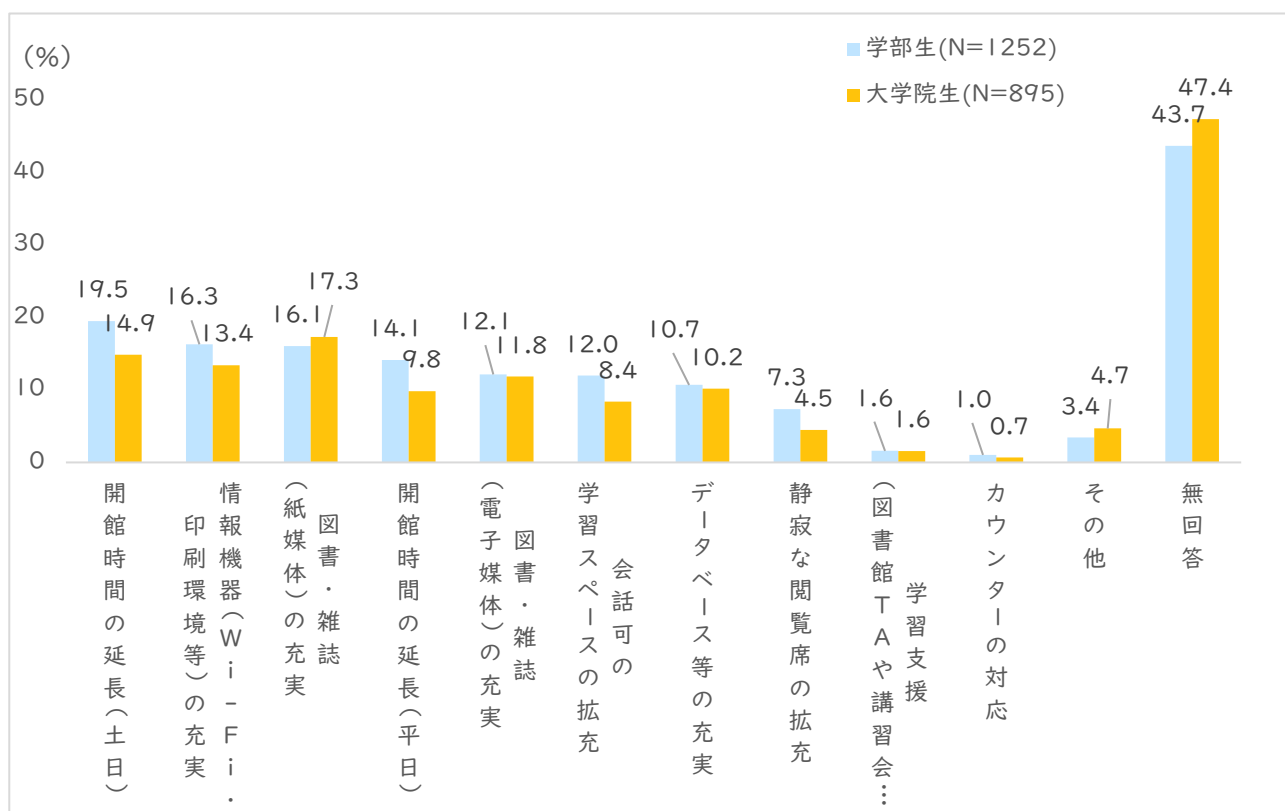
(人)	調査数	使ったことがない	文献情報データベース(Web of Science、Scopus 等)	電子ジャーナル	電子ブック	新聞記事データベース(朝日新聞クロスサーチ、ヨミダス歴史館等)	辞書・事典データベース(Japan Knowledge、大漢和辞典等)	貴重資料デジタルアーカイブ	その他	無回答
学部生	1,252	471	373	259	205	67	59	28	2	229
大学院生	895	289	270	203	165	37	38	17	3	190



(6) 図書館に改善してほしいこと【複数回答可】

学部生・大学院生ともに「開館時間の延長」の要望が大きいことは前回調査と変わりません。「開館時間の延長」の中でも特に土日の延長を要望が高いようです。前回と同様、無回答の割合が大きいことから、特に改善要望を持たない学生が多いようです。

(人)	調査数	開館時間の延長(土日)	情報機器(Wi-Fi・印刷環境等)の充実	図書・雑誌(紙媒体)の充実	開館時間の延長(平日)	図書・雑誌(電子媒体)の充実	会話可の学習スペースの拡充	データベース等の充実	静寂な閲覧席の拡充	学習支援(図書館TAや講習会等)	カウンターの対応	その他	無回答
学部生	1,252	244	204	201	177	152	150	134	92	20	13	43	547
大学院生	895	133	120	155	88	106	75	91	40	14	6	42	424

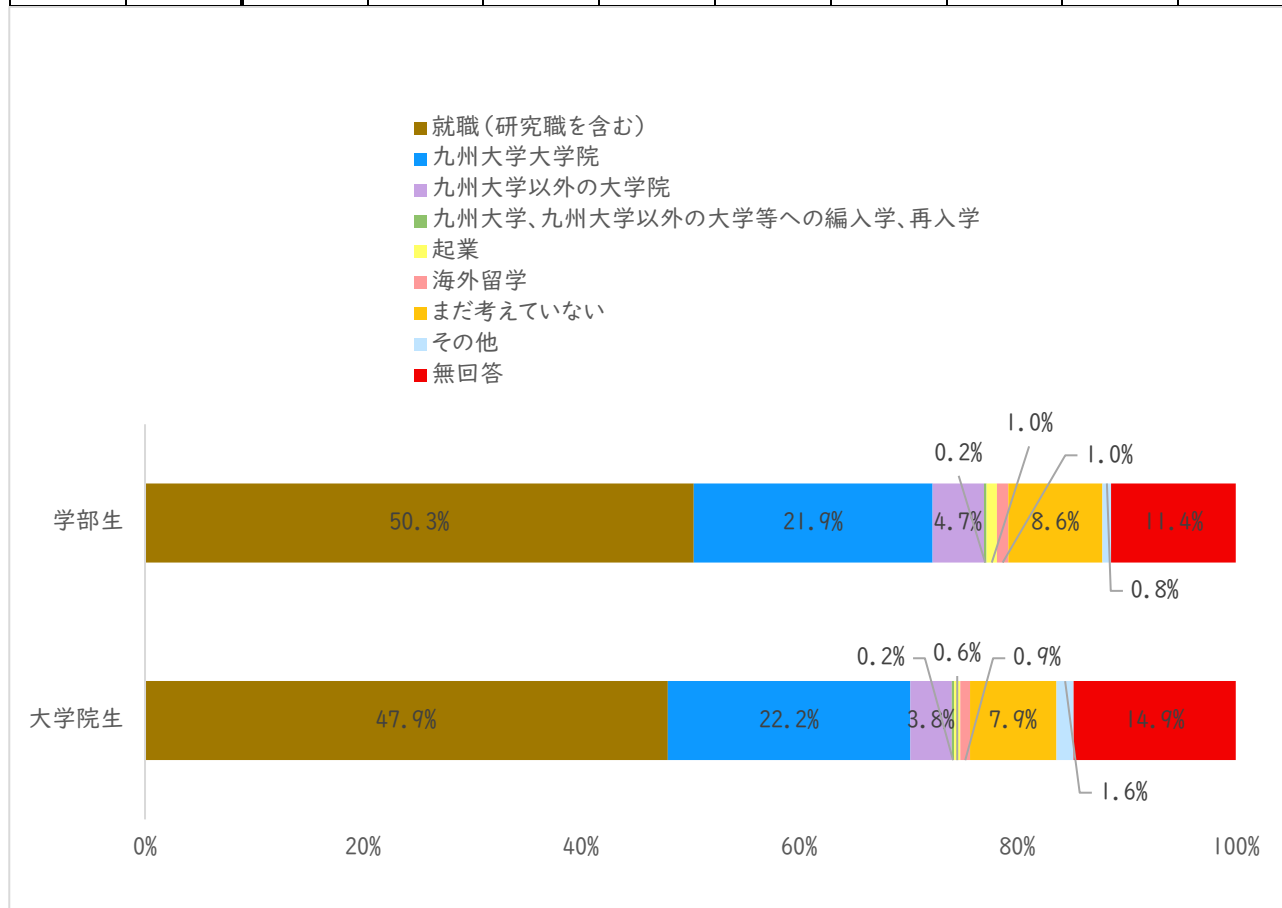


第 12 章 卒業後の進路について

(1) 卒業後の進路希望

今回の調査では無回答者が一割少々いることを加味しても、学部生の進路希望については前回の調査とそれほど変化はありませんでした。一方、大学院生の進路希望については、九大大学院への進学希望が6%から22%に増加、就職希望が81%から48%に減少と、前回の調査と比べて顕著な変化が見られました。

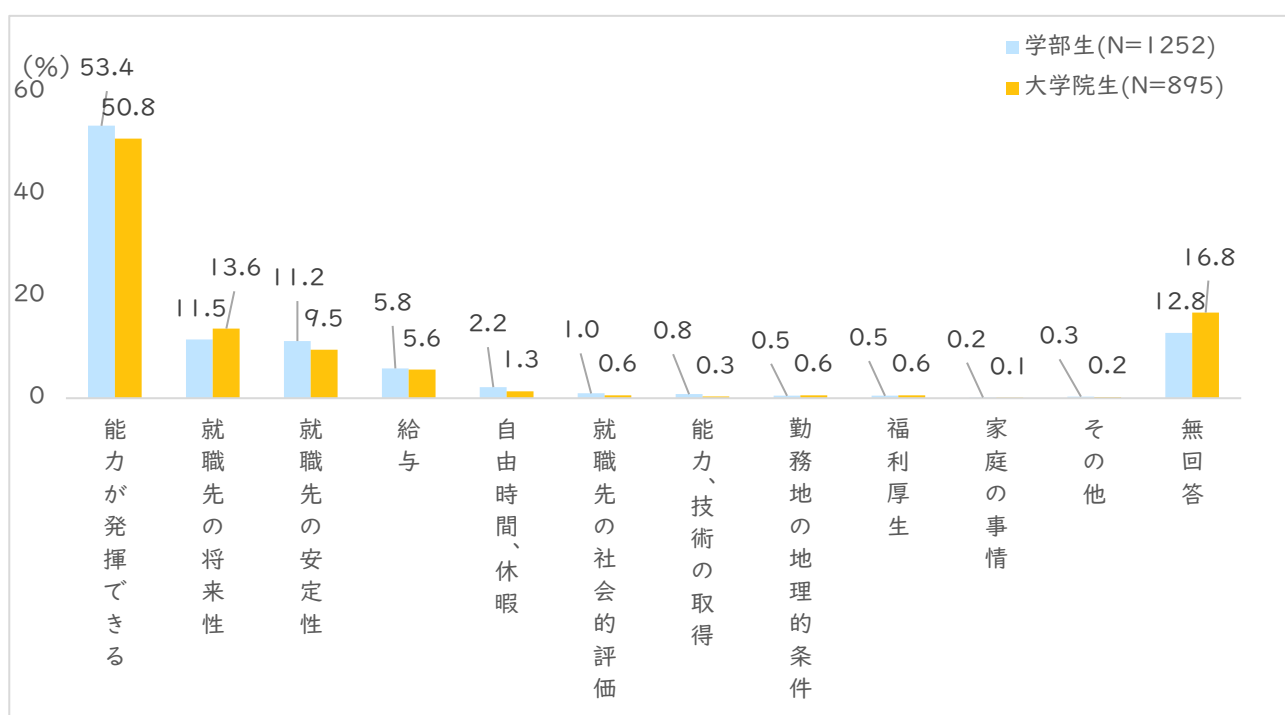
(人)	調査数	就職 (研究職を含む)	九大大学院	九大以外の大学院	九大、九大以外の大学等 への編入学、再編入	起業	海外留学	まだ考えていない	その他	無回答
学部生	1,252	630	274	59	3	12	13	108	10	143
大学院生	895	429	199	34	2	5	8	71	14	133



(2) 将来の就職に関して重要視するもの【複数回答可】

前回の調査では学部生、大学院生とも過半数が「給与」と「能力が発揮できる」ことを重視していたのに対し、今回は「給与」が大幅に減少し、「能力が発揮できる」が極めて多くなっています。

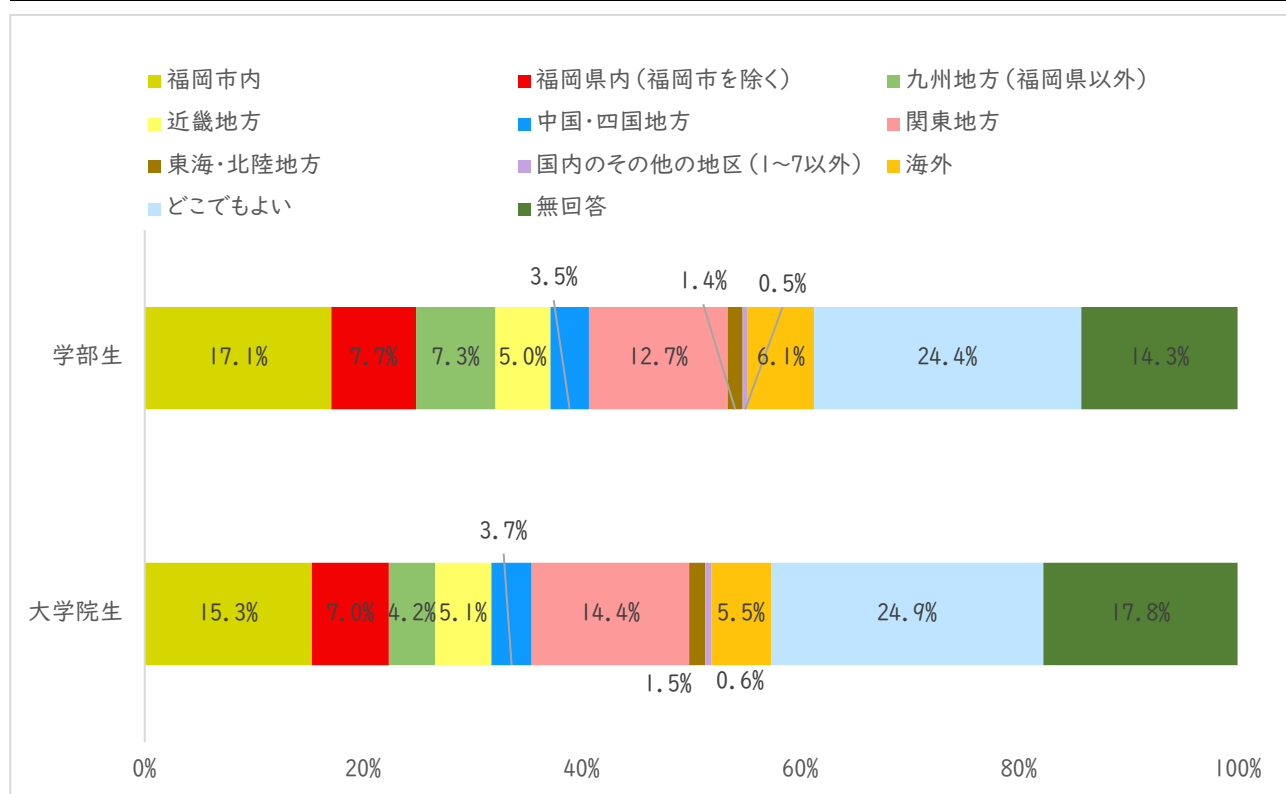
(人)	調査数	能力が発揮できる	就職先の将来性	就職先の安定性	給与	自由時間、休暇	就職先の社会的評価	能力、技術の取得	勤務地の地理的条件	福利厚生	家庭の事情	その他	無回答
学部生	1,252	668	144	140	73	27	12	10	6	6	2	4	160
大学院生	895	455	122	85	50	12	5	3	5	5	1	2	150



(3) 希望する勤務地

福岡市内と関東地方の割合が、前回の調査に比べて多少減っていますが、学部生と大学院生共に、大きな変化はないようです。また、全体の 1/4 近くが「どこでもよい」としている点も前回の調査とあまり変わりません。

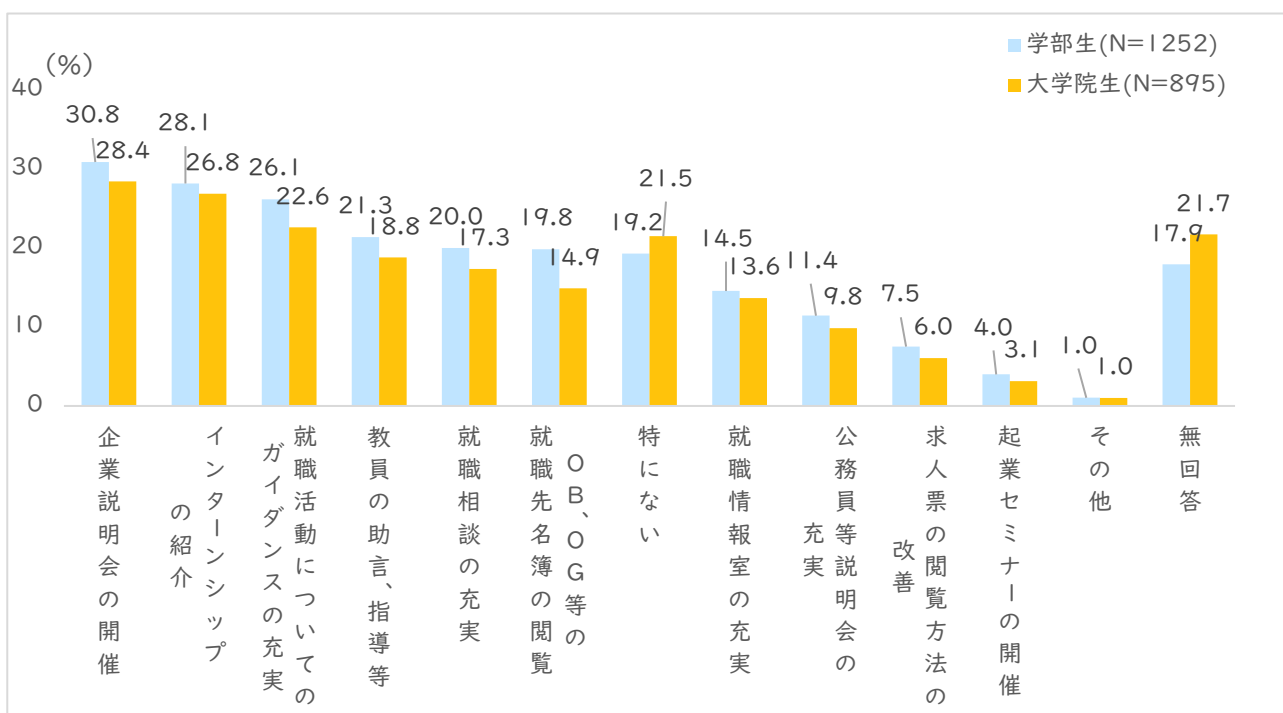
(人)	調査数	福岡市内	福岡県内 (福岡市を除く)	九州地区 (福岡県以外)	近畿地区	中国・四国地方	東海・北陸地方	関東地方	国内のその他の地区	海外	どこでもよい	無回答
学部生	1,252	214	97	91	63	44	17	159	6	76	306	179
大学院生	895	137	63	38	46	33	13	129	5	49	223	159



(4) 就職に関して大学に希望すること【複数回答可】

「特になし」や無回答がそれぞれ2割程度ありますが、企業説明会の開催とインターンシップの紹介が、学部生と大学院生共に、前回の調査同様トップを占めていることには変わりません。

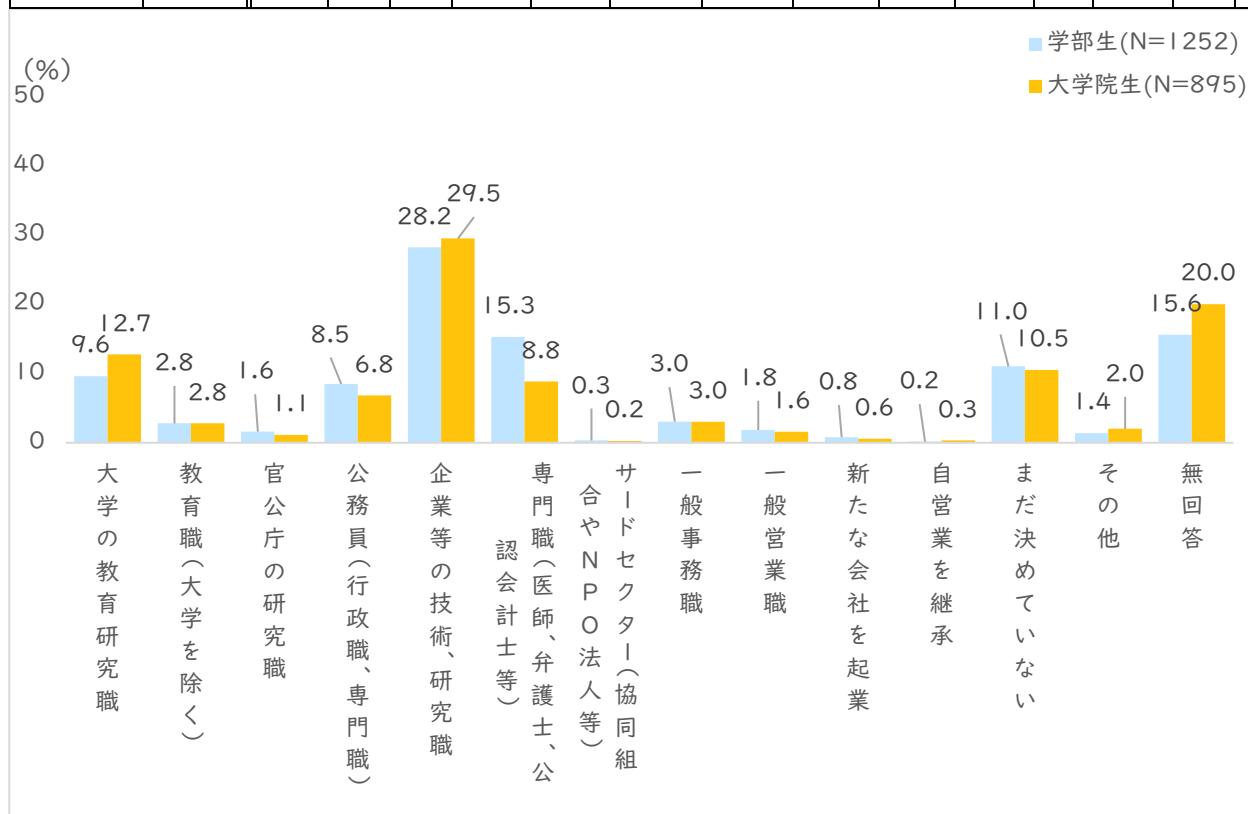
(人)	調査数	企業説明会の開催	インターンシップの紹介	就職活動についてのガイダンスの充実	教員の助言、指導等	就職相談の充実	OB、OG等の就職先名簿の閲覧	特になし	就職情報室の充実	公務員等説明会の充実	求人票の閲覧方法の改善	起業セミナーの開催	その他	無回答
学部生	1,252	386	352	327	267	250	248	241	182	143	94	50	13	224
大学院生	895	254	240	202	168	155	133	192	122	88	54	28	9	194



(5-1) 将来就きたい職業(1番目)

無回答者が前回の3%に対して今回は20%もあり比較は難しいですが、今回の調査では、学部生については、一位が企業等の技術、研究職、二位が専門職となっているのに対して、大学院生については、一位は学部生と同様、企業等の技術、研究職、二位は大学の教育研究職となっています。

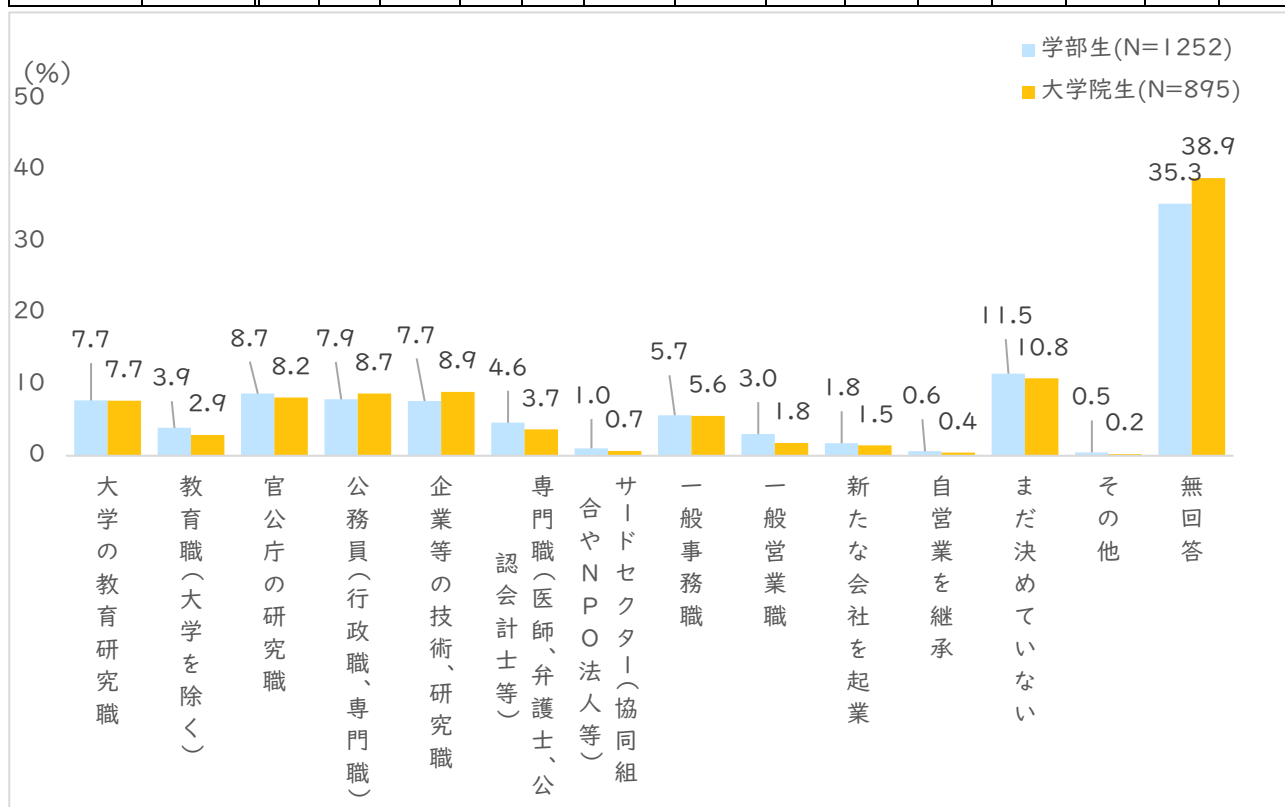
(人)	調査数	大学の教育研究職	教育職(大学を除く)	官公庁の研究職	公務員(行政職、専門職)	企業等の技術、研究職	(医師、弁護士、公認会計士等)専門職	(協同組合やNPO法人等)サイドセクター	一般事務職	一般営業職	新たな会社を起業	自営業を継承	まだ決めていない	その他	無回答
学部生	1,252	120	35	20	106	353	191	4	38	23	10	2	138	17	195
大学院生	895	114	25	10	61	264	79	2	27	14	5	3	94	18	179



(5-2) 将来就きたい職業(2番目)

無回答者が 35～39%なので分析は難しいですが、「自営業を継承」や「起業」は1番目と同様にあまり人気がないようです。その他は万遍なく希望は広がっており、あまり差がみられない状態です。

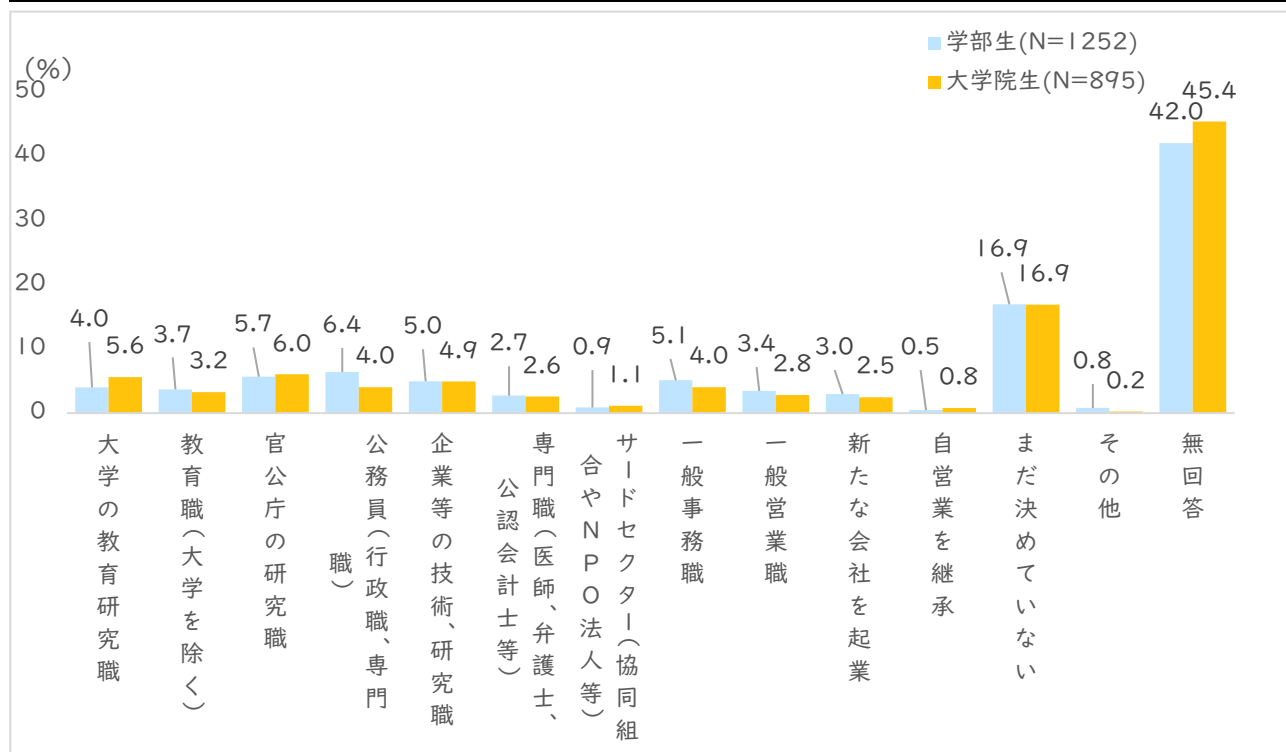
(人)	調査数	大学の教育研究職	教育職(大学を除く)	官公庁の研究職	公務員(行政職、専門職)	企業等の技術、研究職	(医師、弁護士、公認会計士等) 専門職	(協同組合やNPO法人等) サイドセクター	一般事務職	一般営業職	新たな会社を起業	自営業を継承	まだ決めていない	その他	無回答
学部生	1,252	97	49	109	99	96	58	13	71	38	22	8	144	6	442
大学院生	895	69	26	73	78	80	33	6	50	16	13	4	97	2	348



(5-3) 将来就きたい職業(3番目)

無回答者が42~45%なので分析は難しいですが、傾向は2番目とあまり変わりません。

	調査数	大学の教育研究職	教育職(大学を除く)	官公庁の研究職	公務員(行政職、専門職)	企業等の技術、研究職	(医師、弁護士、公認会計士等)専門職	(協同組合やNPO法人等)サイドセクター	一般事務職	一般営業職	新たな会社を起業	自営業を継承	まだ決めていない	その他	無回答
(人)															
学部生	1,252	50	46	71	80	62	34	11	64	43	37	6	212	10	526
大学院生	895	50	29	54	36	44	23	10	36	25	22	7	151	2	406

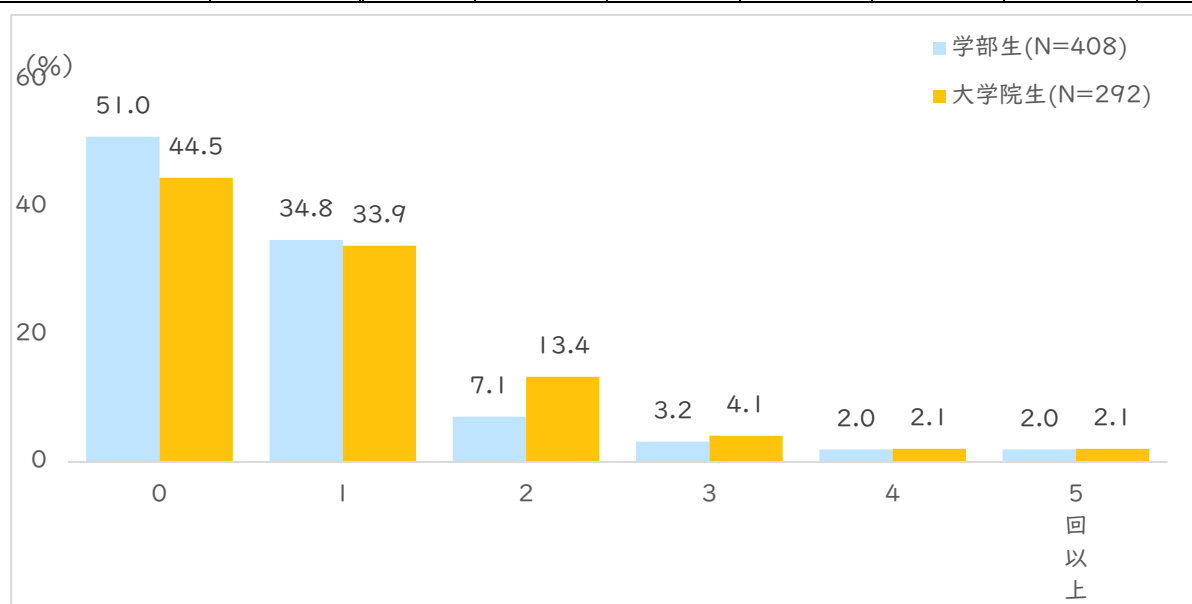


第 13 章 海外渡航・国際交流について

(1) 海外渡航回数

全体的に前回の調査より海外渡航経験のある学生の割合は少し増えています。学部生より大学院生の方が複数回渡航した割合が高くなっているのは、前回の調査と同様の傾向です。

(人)	調査数	0	1	2	3	4	5 回 以上	無 回 答
学部生	1,252	208	142	29	13	8	8	844
大学院生	895	130	99	39	12	6	6	603

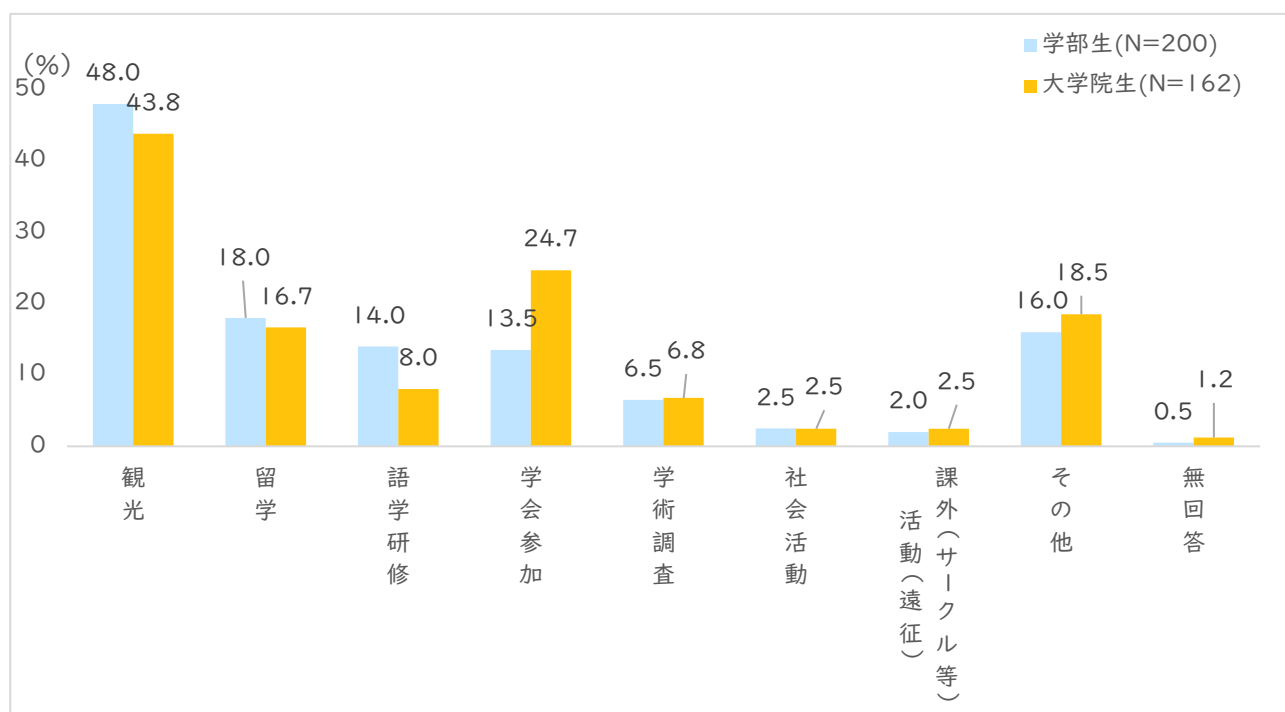


注) 無回答が多かったため、比率のグラフは回答があった数を母数として作成している。

(2) 海外渡航の目的【複数回答可】

観光目的が学部生および大学院生共にトップで半分近くを占めていますが、前回の調査（観光が7割）と比べると、かなり減っています。「その他」が増えているのでどこに移行したかは不明ですが、学部生の学会参加が増えている現状は見て取れます。

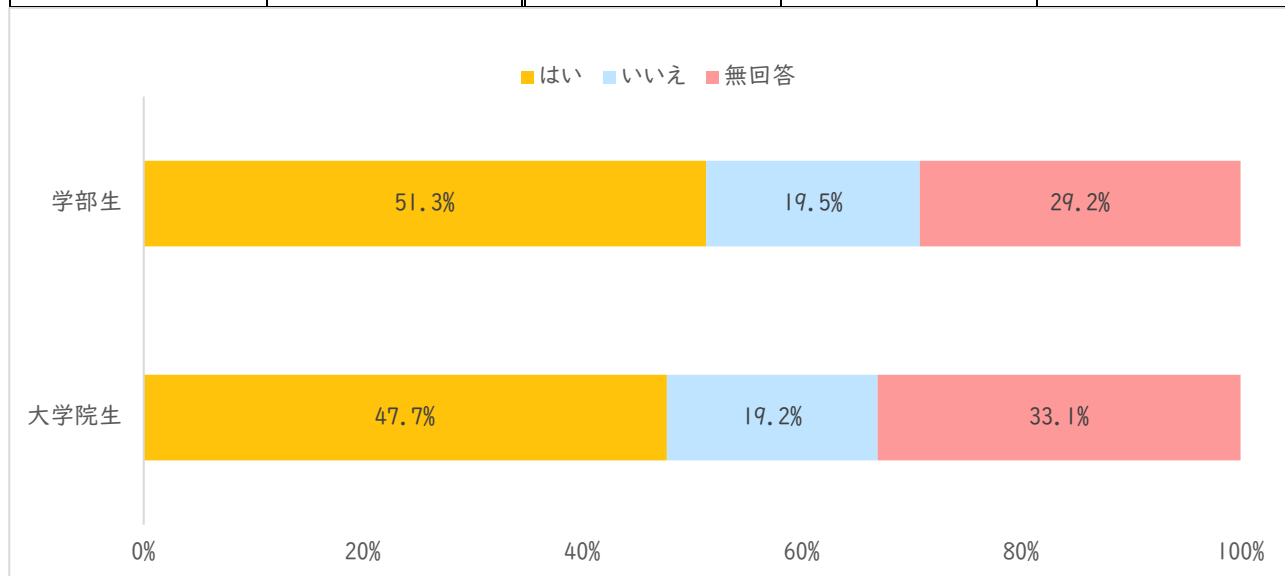
(人)	調査数	観光	留学	語学研修	学会参加	学術調査	社会活動	課外（サークル等）活動（遠征）	その他	無回答
学部生	200	96	36	28	27	13	5	4	32	1
大学院生	162	71	27	13	40	11	4	4	30	2



(3) 交換留学制度の認知度

無回答が3割近くあるので分析は難しいですが、回答があった中での認知度の割合は前回の調査とあまり変わらないようです。

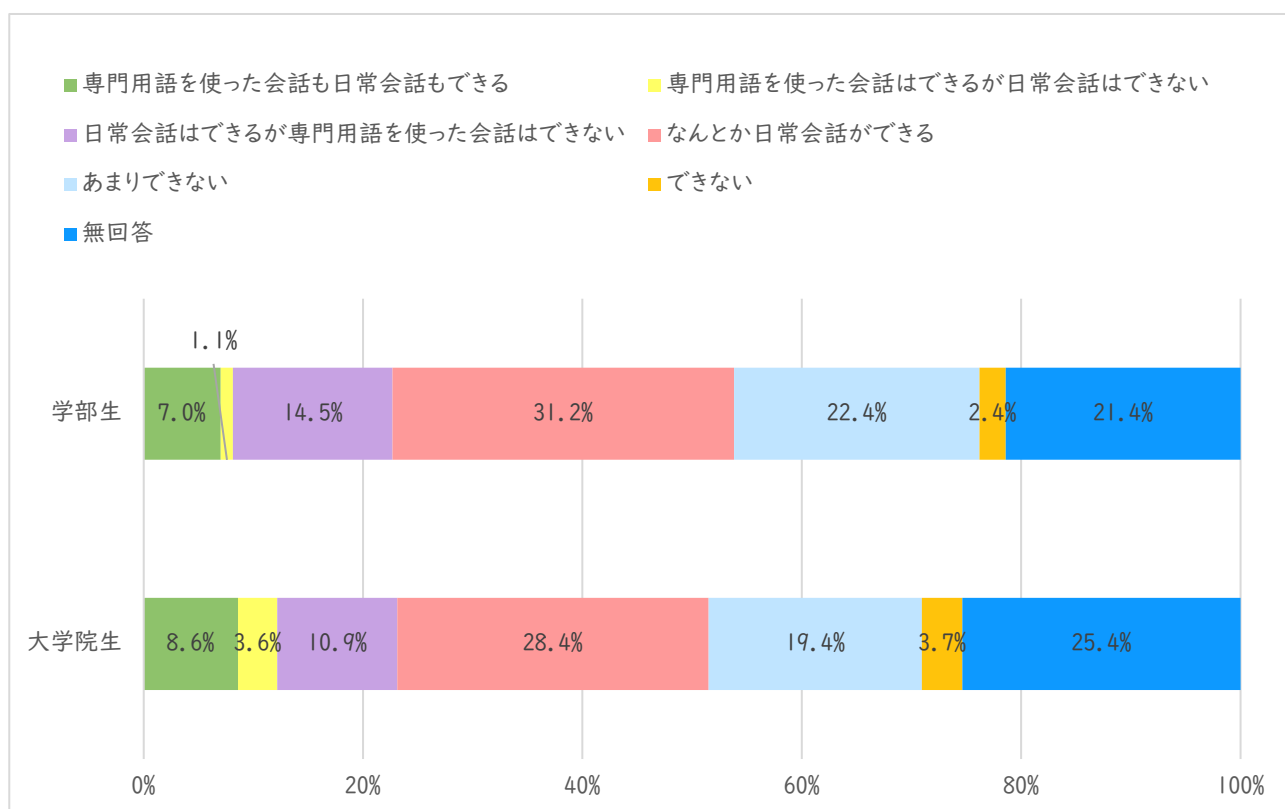
(人)	調査数	はい	いいえ	無回答
学部生	1,252	642	244	366
大学院生	895	427	172	296



(4) 外国語での会話の状況

無回答者の割合が多いため、前回の調査との比較は難しいですが、「専門用語を使った会話も日常会話もできる」と回答した割合について、学部生は 7.0% (前回 2.8%) と増加し、大学院生は 8.6% (前回 17.5%) と減少しています。

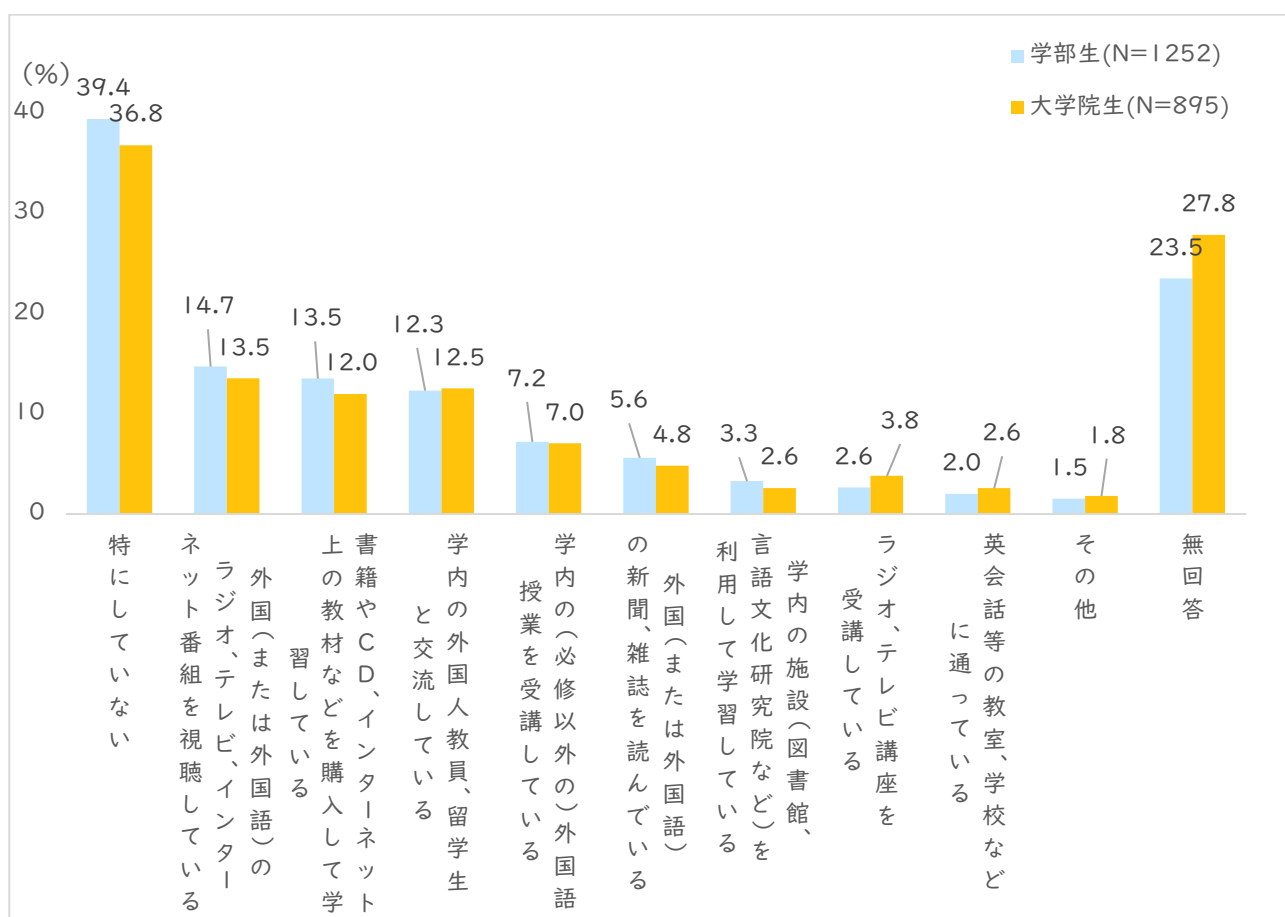
(人)	調査数	専門用語を使った会話も日常会話もできる	専門用語を使った会話はできるが日常会話はできない	日常会話はできるが専門用語を使った会話はできない	なんとか日常会話ができる	あまりできない	できない	無回答
学部生	1,252	88	14	182	390	280	30	268
大学院生	895	77	32	98	254	174	33	227



(5) 語学力を高めるために行っていること【複数回答可】

無回答が1/4くらいありますが、傾向は前回の調査と同様となっています。ただし、大学院生について「学内の外国人教員・留学生と交流している」が相対的に今回の調査では減少しているようです。

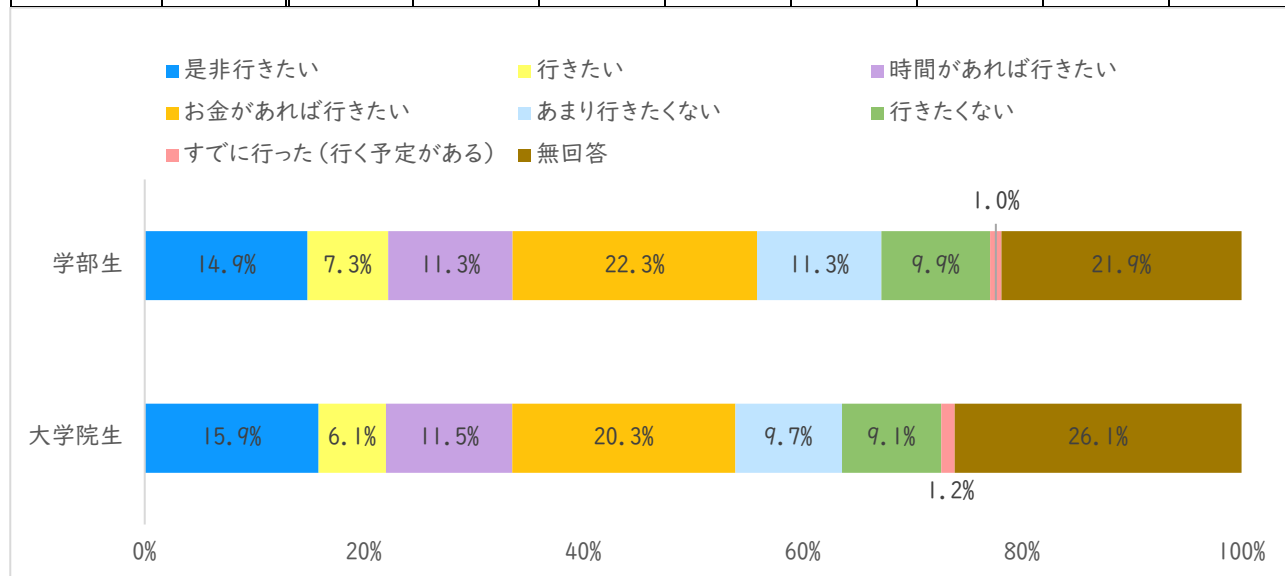
(人)	調査数	特にしていない	外国(または外国語)のラジオ、テレビ、インターネット番組を視聴している	書籍やCD、インターネット上の教材などを購入して学習している	学内の外国人教員、留学生と交流している	学内の(必修以外の)外国語授業を受講している	外国(または外国語)の新聞、雑誌を読んでいる	学内の施設(図書館、言語文化研究院など)を利用して学習している	ラジオ、テレビ講座を受講している	英会話等の教室、学校などに通っている	その他	無回答
学部生	1,252	493	184	169	154	90	70	41	33	25	19	294
大学院生	895	329	121	107	112	63	43	23	34	23	16	249



(6) 留学や研究を目的とした海外渡航の意向

無回答 1/4 程度を抜くと、全体の分布は前回の調査と同様に見えます。「行きたくない」「あまり行きたくない」は、学生および大学院生ともに全体の2割程度ですが、無回答を除くと全体の3割程度となります。7割程度は、事情が許せば行きたいとの回答です。

(人)	調査数	是非行きたい	行きたい	時間があれば行きたい	お金があれば行きたい	(行く予定がある) すでに行った	あまり行きたくない	行きたくない	無回答
学部生	1,252	186	92	142	279	13	142	124	274
大学院生	895	142	55	103	182	11	87	81	234



第 14 章 自由記述

原則として回答者から出された意見を全件そのまま記載しています。(そのため、事実誤認等に基づく意見が含まれる可能性があります)ただし、一部の意見については以下のとおり編集を行っています。

- ・複数の回答者から同様の意見があった場合
→報告書内での記載は 1 件としてまとめた上で、意見の後ろに(同様の意見複数あり)といった文言を追加
- ・記載内容に個人名等が含まれていた場合
→個人名等の特定ができない形(伏字等)に適宜修正
- ・そのほか、明らかな誤字脱字(スペルミス含む)等について適宜修正

今回いただいた意見については、関係部署等と情報を共有の上、今後の改善等につなげていきます。特に「(1)本調査について」の中で多数指摘されているアンケートサイトの操作性に関する苦情(時間がかかりすぎる、一時保存後回答を再開する際に最初のページから進める必要がある、進捗状況を確認できない等)については、アンケートの回収率に直接影響する部分となるため、次回調査に向けて設問項目の見直し(設問数の削減)やサイトの改修等を進めていきたいと考えています。貴重なご意見、ありがとうございました。

(1)本調査について【回答数:257 件】

先述したアンケートサイトの操作性に関する意見の他に、「アンケートを取ったままにせず、ここで出てきた意見を今後の改善に結びつけてほしい」、「改善した結果をしっかりと公表してほしい」といった意見が寄せられました。

- ・4年ごとであるため、量が膨大であるが何とかやれた
- ・4年に1度しか行わないのには何か理由があるのか。
- ・4年に一度は長すぎて、学生からの意見を学生支援の充実・改善に役立てられるとは思えない。2019年度の調査書を見たが、充実・改善した点が見受けられないので、アンケートを取るだけになっていると感じる。
- ・4年間大学で生活する中で、改善されたと感じる部分は少なかった。改善されたと報告されたものは連絡されることはあったが、改善できないものはなぜ改善できないかを教えていただけると納得できると感じた。
- ・a lot of question
- ・Everything is good (同様の意見複数あり:There are multiple similar opinions.)
- ・it was a good survey
- ・It was too long. (同様の意見複数あり:There are multiple similar opinions.)
- ・It's good that the university examines the students' life.
- ・Questions seems not specific enough for internation student.
- ・Thank you for making this survey to give the students the opportunity to express their opinion.
- ・Too long, some questions like going abroad seem like absolute for international students.
- ・Very effective to get know about student's state, ability and conditions.
- ・very long survey that is needed long time

- ・アルバイトの時間で 2.5 と書いた状態で回答送信したら半角数字以外を書くと言われて再入力になったが、1 ページ目に戻された上に 1 ページずつしか先に進めないため非常に面倒くさかった。しかもこの最終ページに行かないと再度の送信もできないのでクツツツツツ面倒くさかった
- ・アンケートが非常に長く、すべて回答するのがとても大変だった。(同様の意見多数あり)
- ・アンケートの総問数やどこまで完了したかを%で出してもらえるとより回答しやすいのではと感じる。(同様の意見多数あり)
- ・アンケートを実施してくださりありがとうございます。
- ・いくつかの問題は答えるのが難しかった。特に出納の質問は個人的な事柄だったこともあり、あまり気が進まなかった。私の理解力の問題だと考えられるが、支出と収入の質問では、自分負担のものだけを書けばよいのか、親負担の分も含めるべきか迷ってしまった。しかし全体として、アンケートを通じて私自身学校生活を振り返ることができ、非常に充実した回答時間を過ごせたと思う。
- ・お金の収支が大変でした。
- ・お疲れ様です
- ・かなり細かな観点で調査が行われていて、素晴らしい調査であると感じた。
- ・このサイトの使用上、もしくは何らかの事情があつてのことかもしれませんが、アンケートの回答に不備があった場合、修正を施したページからこちらのページまでわざわざ遷移せねばならない手間があります。実際、調査とは実質的に関係のないところでストレスを感じました。どのページからでも回答送信のボタンを設置しなければ、回答者が回答を途中で断念し、調査の質が低下する恐れが考えられるのではないのでしょうか。
- ・このような調査をきちんと反映してほしい。反映した場合、その報告を行ってほしい。また、この結果を大学の教職員にきちんと共有してほしい。(同様の意見複数あり)
- ・この調査は問題数的にもシステマ的にも回答時間がかかりすぎるのに対して実際に意見が教員などに届いているのかどうか分らず協力する意味を感じられません。調査結果の見える化や直接的な報酬(金銭的な報酬など)を用意すれば回答率も上がるのではないのでしょうか。
- ・これほど重要な調査を、4 年ごとにしか実施していないのが疑問である。せめて隔年で実施すべきではないか。
- ・スマホだと文字が小さくて見辛い
- ・チェックボタンが小さく押しにくい
- ・ちょくちょく質問が偏っているように感じた
- ・デザインと文章が少し読みにくかったです。
- ・ハラスメントに関する質問について。ハラスメントを受けた、あるいは見た事例のある学生から適切な回答を集めるために、アンケートのうちより前半に問いを設置するのが、自由記述への意欲を向上させるのに効果的ではないかと感じた。
- ・ページの色が固定されており途中で集中力が切れてしまった。一時保存できるのが良かった。
- ・医学生はほとんど医者になると思うので、就きたい職業選択肢に医者をお願いします。おそらく、保健学科の方たちも一般職ではないと思います。
- ・一時保存したら、そのページから開けるようにした方が良いと思う。(同様の意見多数あり)
- ・一時保存をしたらすべたやり直しになった。入力しなおすのが非常に手間である。lording にかなり時間がかかる
- ・何もしないにここまで長いアンケートを答えてと言われてもやる人はかなり少なくなるのではないかと思います。1 回学食 100 円引き、生協で使える何か、などのようにご褒美があるとかなり答える人が増えるのかなと思いました。
- ・解答を簡単に再確認したい

- ・回答しづらい。
- ・回答にかかる時間が長すぎる。もっと入力しやすくすることでアンケート回答者が増える考える。小分けにすることでアンケートに答えやすくなる考える。アンケートを取りたい分野をわかりやすくすることで回答者が増えるのではないかと考える。
- ・改めて、自分が大学生活についてどう考えているのか、何に満足し、何に不満を感じているのかを確認する良い機会になりました（同様の意見複数あり）
- ・学生に対して、幅広く尋ねたい気持ちは十分に理解することはできますが、質問数が多くてすべてを回答することの億劫になってしまいます。実際、私が回答するにも 25 分かかってしまいました。過去の調査をみれば、たとえば 2019 年度版の報告をみれば、回答率が3割程度という計算が出ていることから、なんらかの対応が必要なのではないかと思います。もっとも、アンケートの蓄積の性質上、同様の質問を何度も何度もとることによって見える傾向や特徴もあるので、一概に設問を縮小などということではできませんが、それにしても質問数が膨大すぎるような気がします。3割程度の回答数から、名称にあるような「学生」の現在の「生活実態」を「調査」したことになるのでしょうか。「今後の学生支援の充実・改善に役立てること」につなげるのであれば、設問の数や内容からご検討いただきたいと思います。
- ・学生生活の充実に少しでも貢献できていると嬉しい
- ・学部生、院生の質問の区別を分かりやすくしたほうが良いと思う
- ・記入欄を選択すると画面が拡大されるのが使い辛く感じました。
- ・金関係は面倒くさすぎる。適当に書く人が増えるのでは
- ・最初に学部生か院生かを聞かれているので、それに応じた設問のみが出てくるようにしてほしい。
- ・仕方がないことだと思いますが、英語と日本語が両方あることで質問と回答欄が遠くなっています。回答欄を探す間に質問内容を若干忘れかけてしまうので事前に英語か日本語か選べるといいなと思いました。
- ・自由記述が少ないことが良い。
- ・質問が全部で 253 項目あることをどこかヘッダーなどに記載しておいてほしい。
- ・質問の形態があまり実情に合っていないように感じた。(就職に関する質問の中に、すでに就職が決まったというような選択肢がないなど)
- ・記入に不備があったが最終ページになるまでそれが提示されず、頭に戻されてもう一度最後までページを捲り続けるのは非常に鬱陶しかったので、各ページごとに不備があれば伝えてくれた方が無駄な時間を使わずに済む。
- ・サークルへの参加などは「していない」と回答した時点でその他の質問を表示しないようにしてほしい。
- ・実家暮らしのため収入、支出の記入が困難だった（同様の意見複数あり）
- ・謝礼金をください。
- ・収入・支出など、自分でもあまり把握していないこともあった。
- ・収入・支出の合計の計算が面倒だったので自動計算だと良かったかなと思います。（同様の意見複数あり）
- ・収入と支出を合わせるのなぜか。
- ・収入について、仕送り制ではなく、口座で一括振込または不定期に振り込む形態を取ってるので答えにくかった。改善してほしい。
- ・集計作業頑張ってください。
- ・正直面倒。画面が見にくい
- ・選択肢が細かく自分の意見と合致させやすい
- ・選択肢が少ない。特定学部にとっては解答しにくい質問がある。

・設問が多すぎると思います。特に、多重選択肢の質問が過多であると考えます。これには次のような問題が伴う可能性があります：

回答の曖昧さ：回答者は複数の選択肢を選択するため、実際の嗜好や意見が不明瞭になることがあります。

真剣な回答の不足：一部の回答者は適当に複数の選択肢を選び、各選択肢を真剣に考えないことがあります。したがって、データの品質が低下する恐れがあると思います。

それにつき対応策を教えてください。

・前の設問からして解答しないはずの設問が表示されることがあったので完全ではないのだろうとは思いますが、必要ない質問が自動で消えてくれるシステムはわかりやすくてありがたかった。前回の結果に「性別を男女で答えなくてはならないのはいかがなものか」という意見があったが（私の解答ではありません）、それが反映されてか解答に自由さがあったように思い、きちんと向き合ってくださっているようで嬉しかった。個人的な興味としては、コロナ禍の影響が大きかったころの結果が調査できなかったのがすこし残念に思う（おそらくこの規模のアンケートを4年に1度行うのはかなり大変なのだろうと思うので、このアンケートに対する不満というより偶然そうってしまったのが残念だということ）。

・前回答えた分の情報が残っているのは嬉しいです。

・全てではないですが、質問の内容が、医者としても働いている医系の大学院生にはそもそも当てはまらないものも多かった気がします。そのようなところはデータを取っても参考にならないのではないのでしょうか？

・大学院生ですと、研究が主な活動であったり、常勤で他の職場で勤務しつつ就学していたり、副業がベンチャー企業であったりと様々だと思います。その様な人に沿わない内容であると感じました。長いアンケートを作るのであれば、学部生と大学院生、社会人大学院生等を分けた方が良いのではないのでしょうか？この内容でこの長さでは回収が思わしくなくなるのもうなずけます。

・大量の質問に回答させるのにもう少しUIが何とかならないものではないでしょうか。

・調査結果の公表を楽しみにしております。

・調査結果や学生の悩みがきちんと改善されるならばよい機会だと思う

・調査最後の部分で、九大に在学する留学生からの視点はないと思う

・質問で回答しない箇所が存在する場合は、どの問題まで飛ばしていいかの明記が欲しい。フォントが非常にみづらい、必要以上に太字であるためメリハリが欲しい。日本人か留学生か聞くのであれば、日本語のみ表示するのか英語で表示するのか選べるようになっていた方がやりやすい。"

・Outlookでしか発信していないのも違和感あります。質問内容によって期間を分けて、Moodleなどで専用のページを作ってもいいのでは？

・設定上では「なし」と選んでも「あり」と答えた前提で作られた質問が表示されるために余計に時間がかかります。

・長すぎるし操作性が悪い。ページ数が多いので指定したページに飛べるようにすべき。回答が要件を満たしていない場合は次ページに進む時にわかるようにしてほしい。また、英語版と日本語版を分ければ多少見やすくなると思った。多くの人に回答してもらうためにはアンケートの作り方を工夫すべきだと感じた。

・特になし（同様の意見複数あり）

・入力フォームについて「学部生にお聞きます」や「大学院生にお聞きます」などが見づらく、自身が対象の質問なのか判別しにくい。テキストボックスに入力した文字が外枠の線とかぶって見にくい。"

・年1回にするべきであると思う。

・非常に有意義な調査です。

・必須かどうか分かりにくい。

・冒頭に目次を置いてほしい。

- ・目次が作られていると、全体像が分かるし行きたいページに直接アクセスできるのでいいと思う。

(2) 教育・研究体制について【回答数:122 件】

学部生からの意見としては、基幹教育の内容および専攻教育との関わりに関する意見や、分野の横断に関する意見がいくつか見られました。また、大学院生からの意見としては、研究環境に関する意見が多く寄せられました(研究環境改善のための制度の改革、研究費の増額等)。

(学部生からの意見)

- ・1年次がほとんど基幹教育に充てられるせいで学部の3年間で専攻教育を修了しないといけないのはもったいなく感じる。文学部も他学部のように、人文学基礎以外にも専攻教育に触れる機会をふやしてほしい。また、卒業に必要な基幹教育の単位を減らしてほしい。
- ・3年生からセミナーを行い、4年のセミナー等に慣れる機会が十分にあるため、良いと思う。
- ・B-QUBE が非常に使いにくいのでなくしてほしいです。
- ・CALL 科目の web 教材が使いづらい。CALL 科目で使用する英単語帳について、ワードクエストと比べて九大英単の本としてのクオリティが低い。
- ・GPA が求められる場面が多い関係で GPA を気にしすぎて窮屈に感じる
- ・Moodle などのオンライン設備を利用する先生、しない先生がいて授業によって形態や難易度がかなり異なる
- ・there is no problem
- ・キャンパス問わず受講できる遠隔授業を増やしてほしい
- ・ダブルメジャー制度をもっと拡充してほしい。共創学部の後期入試を設定してほしい。
- ・ディスカッション形式のグループで取り組む授業がない(特に理系)
- ・ブラックな研究室が多い。具体的には、学生を過剰に拘束する研究室がたくさんある。例えば、夏/春期休業中に連休を取ることを認めない研究室や、コアタイムがないゆえに学生が 8~25 時まで研究をさせられている研究室が存在する。また、研究を教授が優先させ過ぎたために国家試験に落ちた、就活を認められなかったという学生の話もある。
- ・悪い。留年率が高い。
- ・一年時の基幹教育の上限単位数を引き上げてほしい。
- ・一部非常勤英語講師の授業の質が非常に悪いと思う。
- ・音響設計コースを他コースと一緒に考えて、カリキュラムを組まないで欲しい。特性が違います。
- ・課題やグループワークを面白くしてほしい
- ・学期末アンケートは役に立っているのか?
- ・学部 3 年次に就職活動を始めたが、授業のカリキュラムが詰め込まれすぎており、授業を欠席して面接を受けざるを得なかった。その際に、公欠等を受け付けられない教授しかいないため、非常に就職活動しづらい状況であった。大学院に進学することが前提であることを全学生に押し付けなくてほしい。
- ・学部の枠に縛られない自由な授業の選択を可能にしてほしい。私は経済工学科の学生だが、物理や工学に興味があった。しかし、受講を所属学部を理由に受講拒否された。そのため私は独学を強いられておりとても不満である。柔軟な学部間の移動を認めてほしい。わたしは大学に入学してからの半年間で自分の本当にやりたいことに関しての理解が深まり、やりたいことをするには学部を変える必要があることに気付いた。しかし、転学の条件があまりにも厳しく、断念せざるを得なかった。私が大学に入学したのは勉学に励むためなのにその目的が達成できないのは非常に悲しい。

・基幹教育科目と専門教育のバランスが悪いと思う。そして、授業で求められる予復習の負担と単位数が釣り合っていない。海外では、しっかりと単位数が割り振られている。つまり、授業選択が難しく、学期中に履修中止や、生活の圧迫に悩まされる。また、留学生と強制的に関われるような必修授業の体制が必要。極東以外の国では英語が使えることが普通になっている。基幹教育の日本人だけの英語科目では、上達は望めない。我々は英語で交流せよという指示があっても、日本語を使う文化を持っている。

・基幹教育制度を改めよ

・旧態依然とした受動的学習カリキュラムを早急に改善してほしい。

・共創学部将来性がない。早急に改善すべき

・教育学部心理学系の講義が内容が重複していることが多く、入学前に知らなかった、知る機会がなかった。そのため、予想より受講できる講義と学べる知識が少ない。

・教育内容が社会や研究でどうつながるか曖昧。研究室訪問の機会を増やす等対策をとってほしい。

・教員の研究以外に割く時間が多すぎて可哀そう。

・教授が言っていることと行なっている教育が違っているのではないかと感じる。国家試験の合格率を上げることが単に留年させることではないと思う。それなら合格率を上げるカリキュラムを採用した方がいいと思う。

・教職過程の授業をウェストゾーンでしてほしい。教職過程の授業の内容を変えてほしい。

・決して先生方の授業内容が悪いわけではないが、同じクラスの人たちの試験の成績や勉強に対する姿勢を見ると、「これが、頑張って入学したあの九州大学のレベルなのか...」と少し残念になってしまう。

・研究室がもっと学部生にも分かりやすい方がいい

・研究室で休みをもっと気軽に申請できるようにしてほしい。休んではいけないというような風潮がもっと変わってほしい。

・研究室のトップが土日休まず仕事をしていることもあり、休みがとりづらかったり(院試が終わってから夏休みなしですぐに研究スタートなど)、教員からの高圧的な発言が見受けられる研究室もある(一方で研究に対する指導は熱心だし、研究の成果を教員が横取りするようなことはなく、ちゃんとファーストオーサーとして学生が論文を出せる)ので、ハラスメント対策推進室が実施しているアンケート調査など、個人が特定されない形での、研究室に所属する学生・教員向けのアンケート調査は定期的の実施した方がいいと思う。

・研究体制:特に不満はない。むしろ素晴らしいくらいだと思う。教育体制:劣悪の一言。国家試験の合格率が悪いことを理由に、明確な根拠も示されないまま進級基準の引き上げが行われている。入学時はポテンシャルが高い人材ばかりだが、歯学部内部の教育が他大学に比べ充実していないので、国家試験直前にはポンコツばかりになっている。"

・現在工学部電気情報工学科2年生であるが、物理、電気系専門科目の基礎に必要なベクトル解析や微分積分、複素数などが中心の数学科目が2年前期後期、または3年の前期に必修となっていたりして、数学的知識が少ないまま物理、電気系専門科目の必修を受けるというようなことがあるので、そういった数学の必修科目は1年時にとれるようにしてほしい。

・語れるほど知らない。唯一、台風などの災害に対する授業の休講などの対応が遅く、不適切である。気象庁から警報が出ているなら些事にとらわれず、一括で休講にするなど、リスクに対する対応策をあらかじめ決めておくべきである。

・今のところ不満に思う点は無い。このままを維持して頂きたい

・今のままでよい

・今の学部学科に入ってよかったです。

・司書過程があると思って入学したら、その年に司書過程の廃止が発表され、受講することが出来なかった。担当の先生が退くため廃止するというのは安直で、しかもかなり一方的だと思う。担当の先生が辞めるというのなら、

代わりに他の先生を求めるなり、そこまでできないなら、他大学で司書過程を受講する学生に自腹で払わせるのではなく、少しでも支援するような策を講じるべきである。

- ・歯学部を根本的に変えたほうがいい。教授の趣味に寄った授業ばかりで国試の対策が全くもって充実していない。留年率の高さの理由をきちんと理解したほうがいいと思う。

- ・自身の担当する講座だけではなく、他講座の教授内容をチェックし、理不尽な試験や学生の人生がかかっている進級確認をもっと丁寧に見直すべきである。現在の歯学部ではとある学年で大量に進級への影響が出ている。一刻も早く改善するべきである。

- ・主に基幹教育に関してですが、必要ないと感じる科目が多すぎて、かえって専門分野の勉強の妨げとなることがあると個人的に感じます。

- ・授業は興味深いものが多いです。設備も充実していると思います。

- ・充実していると思うが、授業をもう少しわかりやすくしてほしい。

- ・人文社会系と自然科学系との間での授業や単位取得の連携を深めてほしいです。また、九州大学と福岡県や九州、あるいは全国の図書館・博物館・美術館等の学術施設との連携をもっと深めて、それを学生にも発信してほしいです。欧米の大学にあるような、単位取得のルールを緩和したりして研究に専念できる学生向けの制度や、授業や事務作業の負担をなくして研究に集中できる教員向けの制度があった方が良いです。

- ・昔からの慣例を引き継いだ授業カリキュラムが多いと感じました。やけに授業数が多い学期もあれば、授業があるのは週2日だけというような学期もあり、その差が大きいと感じました。

- ・先生によって成績のつけ方がバラバラすぎます。課題の量も全然違うので、これで進路の振り分けが決まるのは納得いきません。

- ・素晴らしいと思う。学生の自主性があればいくらかでも研究ができるであろう環境が充実している。私が出会った教員の方々は、おおむね質問するとわかりやすく答えてくださり感謝の念でいっぱいである。

- ・大学の授業はあまり意味がないのです。メリットがないと思う。

- ・大変満足しております。成績の優秀でない私からの意見などは大してあてにはならないかもしれませんが、たくさんの優秀な先生に囲まれ、そのような先生から指導していただけることに大変満足しています。

- ・単位の付け方が恣意的なことがあり、理不尽な判断を下されることがあった。

- ・法学部専攻科目むずすぎませんか

- ・特になし（同様の意見複数あり）

- ・入学当時は院進するのが普通だと言われたが、最近は多くの外国人が大学院入試を受験しており、内部生の院進が前よりも厳しくなっていると聞いた。外国人を多く取るのであれば最初からそう説明して欲しかった。

- ・物理学科の授業が難しい。学部によって学業の負担に差があることが不満。

- ・分かりやすい

- ・分野、研究室と分かれていくごとに先生方との関わりが密になっていき、充実しています。

- ・法学部の教員は自分は教える義理はないと思っている人が多いように思う。とりあえず授業時間にしゃべっているだけ。生徒のレベルや習熟度は無視。研究者に教育をさせるという大学のシステム自体がおかしいのかもしれない。

- ・満足している。（同様の意見複数あり）

- ・薬学部でのTAの制度が不明。院生しかTA費が貰えないようだが、学部生でも実習などに協力している学生もいるので同じ額を払ってほしい。格差をなくしてほしいのと、制度の透明化を求めます。

- ・様々な情報を得て自分の学びに生かしていきたい。

- ・履修制限が多く、空きコマなのに興味のある授業が取れないなどの事態があるので、制限を緩和してほしい。必修科目は仕方ないが、必修でなくとも専攻研究に関係なくとも学びたいことを学ぶのは大切だと思う。

・良好

・話す力や伝える力がない教員が多い。だらだらとしゃべっていて授業中に眠くなるし、面白みがなく感じる。

(大学院生からの意見)

・ALMOST PERFECT.

・As a foreign student, I was always lost. And I am not the only one. I speak some Japanese, but I don't know the cultural differences. But I didn't have any senpai to teach me about it. So, every time I am expecting that what I assume is enough.

・classmate is so complicated

・Everything is good (同様の意見複数あり: There are multiple similar opinions.)

・It is good, but not as advanced as the USA.

・It's already good. But maybe teachers are too nice to students can not make student self-strong. Sometimes stupid students get higher score. Be careful, Japan's future is in your hand.

・more workshop or talks from professionals (in English, both for international students and Japanese students) would be nice.

・No comments

・Nothing in particular.

・Satisfied. (同様の意見複数あり: There are multiple similar opinions.)

・The education system is good

・The Japanese educational system is very trustworthy and considerable to the students.

・システム情報科学府の大学院入試の難易度が高すぎる。大学として進学を勧めるのであれば改善してほしい。また、院試対策と就活の並行に関する支援や院試に失敗した後の就活支援も拡充してほしい。

・とても充実している。

・ヘリウムを注文しても届かない。うまくいかない。

・まともな研究環境を得られるために少しでも制度的な改革をしてもらいたい。難しい場合でも学生の気持ちに寄り添える教員が一人でも増やしてほしい。

・もっと時間をかけて取り組まなければと思いました

・医学部生命科学研究科の学生は学部3年までに基礎実験をさせるべきだと思う。ピペットを触ったことがなく、実験ノートも書いたことがないような学生を受け入れて、研究室単位で全て0から教えなければいけないというのは、院生や教員の負担が大きすぎる。

・学生が特許に繋がる技術を開発してしまった時の仕組みはあるべきだと思います。特許に関しては学産本部が受け付けていましたが、教官用のものです。私は教官に権利の一部(筆頭発明者の名など)を譲渡せざるを得ませんでした。学生のための仕組みのようなものと良いのではないのでしょうか？

・学生の教育において(学部・大学院の両者で)、流行に乗るため、大学は現在不要なほど「機械学習」や「データサイエンス」と言う名前を掲げているように感じる。「機械学習」や「データサイエンス」のことをよく理解している教員が不足している現状も大きな問題である。キーワードだけが一人歩きしているように感じる。本質を教育できないのに名前だけを氾濫させるのは、学生にとっても悪影響である。

・九州大学は研究設備がしっかりとそろっていると思います。とても良かったです。

・研究がしやすい環境が整っている。

・研究や実験のスケジュールは各研究室に任せられているので、何時に研究室にきて、何時に帰宅するのかの基準を設けてほしい。深夜までの研究や徹夜での実験などで心身の健康を損なっている。私と同じような状態にあり、心身の健康を保てていない学生は多いと思う。大学側として何らかの対策を取ってほしいと切実に思う。

・研究活動が楽しいです

・研究室に割り当てられる研究費が少なすぎる。

・研究室の設備が充実しておりまんぞくしている。

・研究費、生活費等の支援が少ない。数少ないモチベーションの高い人材も成長できない環境であると感じるため、研究実績等を参考にした支援システムが欲しい。

・研究費が足りないと思います。(同様の意見複数あり)

・指導教員のパワハラ感が目に余る(学生や技術職員を馬鹿にした発言・メッセージ等)。内部告発しやすい仕組みと指導教員を変えられる仕組みを取り入れてほしい。

・授業評価をきちんと実施して、教員の改善を促してほしい

・大学から研究費を少額でもいいので出して欲しい

・特になし(同様の意見複数あり)

・文系に優しくない。

・編入生の扱いが雑すぎる

・本学の事務の体制が研究の足を引っ張っている。研究費の使用用途に関して事務が曖昧かつ非合理的な判断ばかりを下すため、研究室全体として金銭面で身動きが全く取れない。例えば研究費の工面のために私がわざわざ資金を獲得したのに、事務の勝手な判断でプリンターのトナー一つ買うことが出来ないのははっきり言って異常である。今の制度は「本学の研究を促進する」よりも「事務が快適に仕事ができる」ように出来ており、このような体制を取っている限り本学の研究力促進は絶望的である。これまで事務との受け答えの様子を見ると組織内の自浄作用も見込めない。研究力が衰退するのは当然の事のように思える。

・満足してます。まあ経済系の論文をもうちょっと読めるようになればうれしいです

・良いと思う。(同様の意見複数あり)

(3) 学生支援・相談体制について【回答数:103 件】

支援体制の拡充や制度の改正等を求める意見が多数ある中、制度の周知に関する意見(知らない人が多い、窓口の場所がわからない)も複数寄せられました。

(伊都キャンパスの学生からの意見)

・Everything is good (同様の意見複数あり: There are multiple similar opinions.)

・Everything should be in both Japanese and English.

・I have not used the counseling support systems, but from friends who have used it, more personnel who can speak English are needed to assist foreign students who are not good at speaking Nihongo.

・I haven't tried.

・I'm not familiar with it and I don't know if it offers English support or not. Maybe more information about the place, schedule, and availability of foreign language support could be delivered during student orientation or a reminder could be given each time we hold a health check-up so that people get more familiar with it.

- ・The student support didn't support me. The counselor was very helpful and helped me to look for solutions. With his guidance I discovered how sometimes the student support didn't know enough (because my counselor understood my situation and asked them in Japanese)."
- ・there is no problem
- ・No comments
- ・Satisfied. (同様の意見複数あり: There are multiple similar opinions.)
- ・The staff are cooperative and understandable.
- ・1年間前から今までずっと学生支援センターの●●先生と相談しています。大学で●●先生との出会いは貴重なことだと思います。友達みたいな存在です。ありがたいです!
- ・あまりサポート体制があることがアピールされていない。活用できていないのでは?
- ・あんまり使うことがないので、コメントができません。
- ・システム情報科学府が独自に設置している学府所属者向けの就職相談室を各学府に設置して欲しい。学府ごとに就職先が大きく異なるため、専門とする相談員が居た方が安心である。
- ・センター一号館の奨学金係の態度が高圧的で疲れる。
- ・そこまで利用していない。しかし、就職関連の相談室はよかった。
- ・そもそも大学内の事務室や窓口といった施設がどこにあるのか分からないことが多くあります。ネットで検索しても場所の記載がなく、電話番号くらいしか書いてないのでとても困ることがありました。
- ・どこかでも書きましたが、昭和バスその他の通勤・通学環境について、なんとかしてほしい気持ちがあります。私は学部4年ですので、残り半年しかいません(もしも半年以内に検討する会議などがありましたら喜んで出席いたします)。しかし、後輩たちはあと何年か伊都に滞在しますし、今後の物価高によってはさらなる苦難を強いられかねません。どうか、大学には何らかの対応を取ってほしいと思います。
- ・とても良い! センターゾーンセブンイレブン上の相談室でこの前は本当に助かりました。
- ・ドミトリーの入寮に関する書類について、速達で送って欲しかった。自分は後期試験で合格しドミトリーに入寮することになったが、書類が普通郵便で郵送され到着が遅く困った。
- ・ホームページが見にくい。どのように相談を申請すればいいのかわかりにくい。どこにあるのかもわかりにくい。
- ・メンタルヘルスについて、今すぐに相談したい状況でも数週間ほど先まで予約が埋まっていることが多く、なかなか利用しづらいです。街の心療内科も多くが同様の状況なのでおそらくどこも類似した状況であり、ご対応いただくのは難しいかと思いますが、カウンセラーや相談窓口を増やすなど、支援体制の拡充を図っていただけると幸いです。
- ・もっと就職相談をアピールすべき
- ・学生支援に当たるかはわからないが、以前学生証などを紛失した時の窓口の対応がとてもやさしく、うれしかった。
- ・学生支援センターの存在は知っているが、受付時間やどういったことを相談できるのか知らない。活動内容がよくわからない。こうした相談に対してこうした解決案を提案して結果どうなったか、を一部公表してもいいのでは。公表しているかもしれないが。閲覧したことがない。
- ・学生支援は充実していたと思います。在学中に調べて、もっと利用しておけば良かったなと思います。
- ・学内の給付奨学金を見ると日本人学生より外国人学生の方が多いように感じる。おかしくないですか?
- ・休学していたが、サポートが不十分だと感じた。履修登録などの大学のシステムが一年生のころはよくわからなかった。
- ・健康支援センターの支援体制はすごく優れている。インクルージョン室は障害学生の特性にあった援助をすべき。

- ・健康相談か何かで希死念慮を書いたら家族に連絡することもありますだかなんだかメールで来て脅しかと思った。家族との関係が最悪な人のこと考えてなくて最高だと思います。
- ・現状満足しているが、できれば支援体制をより十全なものにしていきたい
- ・今のままでよい
- ・困ったり悩み事がある時に相談できる機関として利用させていただいています。とても助かっています。
- ・使ったことがない。
- ・支援していただいている側だが、ありがたいと感じている。
- ・私は、学内カウンセリングに通っているのだが、カウンセラーの人が誠実に対応してくれ、現在心の支えとなっている。たまに思った通りのカウンセリング予約が取れないときがあるが、それでも充実している。
- ・自分から聞きに行けば丁寧に対応していただけると感じます。
- ・社会人博士後期課程で入学したが、どのようなものがあるかまとまった説明を受ける機会がなかった。
- ・充実していると感じる。(同様の意見複数あり)
- ・奨学金が足りない。授業料をもっと免除すべき
- ・心理的孤独感を取り除けるよう、集まりの場を積極的にデザインしてほしい。
- ・制度自体は充実しているが、そういう制度があることに気づく機会が少ない。
- ・精神面が不調に陥ったとき、学生相談室を数回活用させていただきました。現状に寄り添った解決策を共に考えてくださり非常にありがたかったのですが、時には「もうなにもしたくない」「現在のことも未来のことも考えたくない」という状態に陥ったこともあり、その時に現状や展望を聞かれると非常に苦しかったです。話さないことには伝わらないので難しい問題だとは思いますが、早急に話を「これからどうすべきか」というような方向へ進められるとさらに気分が落ち込む人もいるのだということを知っていただくと幸いです。まとまりのない文章となってしまいましたが、何卒よろしく願い申し上げます。
- ・精神面などでカウンセリングできる体制が整っており良いと思う
- ・専門分野で学んだ内容を実際に活かす機会があるといいと思う。
- ・相談するのが少し怖い。集団じゃないと入れない気がする
- ・相談に行きづらいと思っています。
- ・相談に行っても中身のある話が聞けない
- ・相談体制をもっと分かりやすく提示してほしい
- ・窓口が分かりにくい。専門的な内容に関する相談をどこですればよいかわかりにくい。自分の進路や転学に関する相談をする TA のような存在があるのかわかりにくい。
- ・卒業要件を満たしているかどうかをキャンパスメイト等で簡単に確認できるようにしてほしいです。手作業で確認するのは手間もかかり不安です。
- ・存在は知っていてもあまり行く気にならない
- ・大学だけの問題ではないが、誰かに頼ることに対するネガティブなイメージがありすぎて、相談しにくい。
- ・知らない(同様の意見複数あり)
- ・特になし(同様の意見複数あり)
- ・聞いている感じだと、良いと思う
- ・満足(同様の意見複数あり)
- ・留学先大学を地域別に分けた留学相談をしてほしい。

(馬出キャンパスの学生からの意見)

- ・Nothing in particular.

・That is super great. People are nice, and very much willing to help. Especially, ●●san working at Maidashi campus, you need increase her salary for her marvelous work.

・ハラスメントを受けた人の相談窓口はありますが、ハラスメントをしてしまった人の相談窓口がありません。

・ブラックサークルについて相談できる窓口が欲しいです。今は連絡を断ちましたが、かつていたサークルが明らかにブラックで相談できる場所もなくかなり精神的に削られました。サークルが酷すぎて自殺を考えたこともあります。

・威圧的である

・医学部系に対してもう少し就職のサポートをしてほしい。企業説明会など開催されるお知らせは来るが、ほとんどが関係ない職種ばかりで、もう少し病院に関して情報が欲しかった。

・学務の試験結果メールをもっと早くして欲しいです。

・学務の対応が基本遅いし、学生思いではないと思います。国試や進路様々なものに対する説明がいつも不十分だし、不親切だと感じます。

・歯学部学生系の対応が終わっている。もっと学生に寄り添ってほしい。

・就活支援の面談制度があるのは認知していますが、利用できるのが12-17 時くらいなので病院薬局実習中は全く利用できない。土日などにも利用でき雨量に制度を拡充してほしい。

・初期研修採用とは別の部署で、マッチングに関してサポートやカウンセリングを行ってくれる部署があれば大変助かる。その他、医療資格(有名どころでいくと心電図検定とか USMLE とか?) など紹介すれば、取得に向けてもっと勉強する人もいるのでは。学年横断的に受験体験を共有している大学もあり、特に低学年でやる気のある熱心な層は時間の余裕も相まってもっと伸びそうな気がする。

・相談しにくい。

・知らないことが多いと感じました

・特になし

・与えられた複数のテーマ(私の場合 4 つ)がうまく行かず、成果が期待できる研究からは外されました。おそらく学位取得は困難です。同研究室の他の学生との扱いの違いも感じ、適応障害を発症しました。私は医学系学府に所属しており、保健室などでも同じ研究室の先生が校医として勤務しています。正直に申して相談しにくい環境でした。時折ストレスチェックのアンケートも送っていただいているのですが、フィードバックはありませんでした。こういった体制を再整備していただきたいと感じました。

・良し悪しは担当者による。

(大橋キャンパスの学生からの意見)

・オンラインやメールでも相談できるようにできたらいいなと思います

・コロナ後遺症への対応。

・とくにないです。

・博士課程まで在籍すると、卒業も皆バラバラなので、他の人の状況や就職の探し方などの情報が全く分からない。不安が大きく、進学を公開することもある。また、卒業がコロナなど含めた様々な影響で1年~2年延長しそうである。学位取得前に経済的に限界を迎える気がして日々不安に駆られている。標準修学期間で卒業できるような指導をして欲しかったし、そのような研究テーマをアドバイスして欲しかった。

・保健室が空いてる時間が少ない。

(筑紫キャンパスの学生からの意見)

・very good (同様の意見複数あり)

- ・筑紫キャンパスの入試課?の職員さんの態度が悪い。院試関連で必要書類を提出しに行ったが、無愛想で書類を雑に卓上にほって別の作業をされていて大丈夫なのかと不安になった。業務がたいへんなのは十分理解できるが、最低限の挨拶や愛想よい対応はできないのかと感じている。
- ・筑紫キャンパスは伊都キャンパスと離れており、サポートは利用できても使いにくいものが多い。筑紫キャンパスでも利用しやすくなってほしい

(4) 大学の経済支援等の諸制度やサポートについて【回答数:92 件】

主に制度の拡充や手続の簡素化についての意見が多数寄せられました。

- ・Everything is good (同様の意見複数あり: There are multiple similar opinions.)
- ・I was told that the university was not going to help me if I had to withdraw from my MEXT scholarship to change my supervisor who constantly harassed me. I think this is part of the responsibility of the university, because I cannot know that the supervisor I am choosing is going to harass me.
- ・K-SPRING 生も授業料全額免除してほしい。学振みたいに。
- ・more part time job opportunities in campus would be nice.
- ・More than enough to have comfortable life here as an International Student.
- ・No comments (同様の意見複数あり: There are multiple similar opinions.)
- ・not much supportive for students
- ・NOT BAD.
- ・not enough
- ・Nothing in particular.
- ・Please provide support for international students who have their families with them.
- ・Satisfied.
- ・Scholarship opportunities and amounts should be higher.
- ・support is good i suppose but i don't know actually about university's financial i think so it is little bad
- ・The information regarding the financial aid and support is available and easy to access.
- ・Too many paper works
- ・University has been supportive to many international students. I am really glad that I chose our University.
- ・ありがとう
- ・アルバイトをしなければ本が買えないが、アルバイトをすることによって本を読む時間がない。故に我々に経済的援助をして少しでも勉学に集中できるようにすべきである。
- ・いいと思う (同様の意見複数あり)
- ・いちいちわかりにくい。
- ・これといって大きな経済支援やサポートを受けているわけでは無いので良いとも悪いとも言えない。もしものために内容をもう少し把握しておこうと思う
- ・もっと増やしてほしいと思う。例えば、ゼミの予定で遠出をする場合の支援を充実させてほしい。新幹線や飛行機での移動費でお金が足りなくなります。

- ・もっと大学生院生のサポートをしないと研究者が他大学に取られてしまう。
- ・遠方から通う学生への経済的支援があつてよいと思う。
- ・学生寮を充実させてほしい。
- ・学費減免、奨学金などを大学院生を優先する意味がわからない。外国人大学院生を大量に合格させ、学位の質を低下させる意味もわからない。
- ・金が欲しいんだなあと
- ・経済支援は富んでいる。
- ・経済支援は利用してません。
- ・研究費、生活費等の支援が少ない。数少ないモチベーションの高い人材も成長できない環境であると感じるため、研究実績等を参考にした支援システムが欲しい。
- ・国立なのに学費が高い。私立ではないメリットがない。
- ・実習費が高い。科目間で連携が取れていないため、同じ道具を複数購入させられたりする。あまり使わない器具を買わされる。
- ・社会人から退職後、直ぐに大学院に入学しました。入学時に、これからの収入はなくて、親の送金も難しいであり、今後の経済面に難しいことがいっぱいあると想像しました。日々忙しいドクター研究とバイトが両立しにくいうちに、生活費と授業料以外、年始から去年の社会人収入による国民健康保険料も月 2 万円程度で払わなければならないため、貯金が一切りに半分ぐらい取られて、半年生活費用をしか維持できない状況に落ちてしまいました。九州大学の授業料免除制度のおかげさまで、社会人 2 年間に残した僅かな貯金の取り崩しが大きく緩和されました。ドクター一年間にできるだけお金のかかり方を最善にして、頑張つて学生生活が維持できました。ご支援のおかげさまで、経済面への苦慮が少なくなり、研究開発に精一杯努力でき、早めに研究成果を出すように頑張つていけています。また、九州大学ご提供いただいた奨学金もいろいろ申請してきている最中です。今まではまだ奨学金が当たっていないが、研究を進めるため、何とか頑張つて自分の経済面の難しいことを改善して努力していきます。お助かっていただき、ありがとうございます！
- ・授業料の免除体制を充実させてほしい。
- ・授業料を免除していただいております、非常に感謝しています。
- ・授業料減額制度は、新制度と旧制度があるが、どちらも世帯家計のみを判断基準とするべきである。学業成績不振の原因には経済及び精神的貧困があるが、今の制度では経済的貧困者しか救うことができない。経済及び精神的貧困者が学業不振に陥ることは容易に想像できるだろうに、本学はその者たちを切り捨てている。これは今の福祉社会に逆行しているのみならず、長期的な日本の教育・科学レベルの向上という観点から、ひどく誤った判断である。
- ・授業料免除の手続きが煩雑な割に審査が通らず、その後再度申請する気が起きなかった。
- ・授業料免除申請のやり方が非常に分かりにくいので改善すべき
- ・充実している（同様の意見複数あり）
- ・奨学金の採用人数が少ない。
- ・奨学金の制度は、九州大学に限らず、かなり条件が厳しいと感じる。
- ・奨学金制度はいいと思いますが、足りない部分もあるので、アルバイトは学生にとって生産性のあるものを増やしてほしいです。
- ・親に収入が多くあつてもそれを子供に使ってくれるとは限らない。子供が何人もいる場合はその分一人に使えるお金が減る。ただ、親の収入だけで図られて裕福だと判断されるのはつらい。親の収入が多いが、三人兄弟の為私個人に使えるお金は少なく、空腹のときに何かを買って食べるのに躊躇するレベルである。このような状況でも支援はしてもらえない。バイトをするしかないため勉強時間が減る。成績優秀者にはなれない。

- ・親の所得がありアルバイトをしていますが、自分で家賃を払い大学の授業料を親に出してもらおうので経済的に精一杯な人もいる（現に私がそうで、妹が音楽大学受験の為家庭的に経済困難）ので、奨学金や助成金などをもっと少し借りやすくしてほしいと思う
 - ・成績に応じた貸与式の奨学金制度を創設してほしい。
 - ・他の国立大学に比べ、九州大学は学部留学生に対する学費免除等経済支援は明らかに不足していると思われる。
 - ・他大学からの成績を認定することで1年次での取得単が減り、数少ない講義の試験やレポートに力を入れて良い成績を収めて基幹教育奨励賞を取得している人が大勢存在する。これは、毎日朝から夕方まで講義がひっきりなしにある人とは大きな違いであり非常に不公平であるため、最低取得単位数や単位認定を受けたものは取得できないようにするべきである。
 - ・大学からメールなどのお知らせがよく来ていますので、とても良いです。
 - ・大学の近くに安価な寮を整備してほしい。私は貧困家庭出身のため、大学の近くに一人暮らしをすることができず、通学時間に体力と勉強の時間の多くを費やせられている。支援制度をわかりやすくしてほしい。教科書代が大きな負担になっており、学生間での中古の本の即売会やできるだけ教科書を使わなくても済む授業の実施、必要のない教科書を買うことを推奨するのをやめてほしい。大学と最寄り駅を結ぶバスの値段が非常に高価であり、学生には非常にづらいものとなっている。原因はこのような立地の悪い場所にキャンパスを設置した大学側にもあるので安価な交通手段の整備に協力してほしい。
 - ・大学独自の授業料免除の制度には本当に助かっています。この経済支援がなければ今頃どうなっていたか分からないです。
 - ・知らない
 - ・低年次向けのインターンシップ等をもっと積極的に紹介してほしい。企業説明会でも、製薬企業など理系学生向けの企業を参加させてほしい。
 - ・提出書類が多すぎる。
 - ・特になし（同様の意見複数あり）
 - ・特に活用していない（同様の意見複数あり）
 - ・特に気にしていない
 - ・内部生が大学院に進学する時に入学金は不要だと思う。
 - ・日本学生支援機構と併用不可の奨学金を受給する際、授業料減額のため九州大学の独自の授業料減免制度を使えたらよいと思った。実際は使えず日本学生支援機構の給付型奨学金に一度申請する必要があり手続きが煩雑だった。
 - ・入学後色んなことで金がかかるんですけど、元々の日本語学校で奨学金を受けているのですが、九州大学に入ってから申請できる奨学金がほぼない。留学生としてアルバイトの時間も制限されただし。だから、もう一生懸命頑張りましたが、生活いつも窮乏して、改善できません。
 - ・博士課程に関しては充実していると思う
 - ・博士課程の学生全員に月20万円の給付型奨学金をください
 - ・博士学生の目線として、より博士学生を増やすためのサポートをお願いします。私は学振を取得しており、授業料が免除になっている点は本当に助かっています。もしなければ就学の継続は難しかったと断言できます。他大の学生からうらやましがられる機会も多いです。この場を借りて、心よりの感謝を申し上げます。ただし、ある程度の支援があると分かったうえで、2点要望があります。
1. 金銭的支援の拡充:学振を取っていても近年のインフレにより生活が苦しいです。もう20年、30年前の日本ではないので、同じ支給額では生活できません。学振取得者でこうなのですから、それ以外の方は、さらに苦し

いはずです。このことは九大ひいては我が国全体に言えることですが、せっかく勉学に励み、研究により社会を良くしようと意欲に燃えた学生が、質素で娯楽もない生活で将来に不安を抱えるのはあんまりです。研究レベルの低下を嘆くのであれば、待遇改善のご一考を願います。

2. 金銭的支援の決定の早期化: 私の周りにも博士進学を考えていても就職した人がそこそこおられます。その理由が、給料もなしに授業料を払って研究する理由がないというものです。非常にもっともな意見だとも思います。博士の願書提出は夏前だと思いますが、この時点では何一つ給与収入のめどが立っていません。皆が取得を目指す学振は10月以降に決定です。一方で、既に就職先が決まっていたりしますと多くの学生は不安から、就職を選ぶのは当然です。

- ・非常に充実しているし、実際に自分がすごく助けられている。
- ・聞いた事はあっても利用したことがないサポートが沢山ありました
- ・返済不要の奨学金などががもしあれば知りたいです。
- ・満足、特に海外渡航の支援が充実したと思います。
- ・留学生に対してもっとうちきん制度を設立するほうがいいと思います。
- ・良いと思う。(同様の意見複数あり)

(5) 大学の施設・設備について【回答数:197 件】

大多数が伊都キャンパスについての意見となりました。中でもインターネット環境の改善や駐輪場・屋根の設置、図書館の開館時間の延長といった要望が多く見られました。

(伊都キャンパスの学生からの意見)

- ・1人で過ごせる空間(個室)がもう少しあれば快適に過ごせるなと思っています。
- ・All the facilities are convenient and all services are available. If possible, provide more cafeterias and cafes that are accessible for a long time around the campus.
- ・Everything is good (同様の意見複数あり: There are multiple similar opinions.)
- ・Facilities can be increased like dormitory, own transportation, etc.
- ・I wonder if it would be possible to offer free drinkable water on campus, so that we don't have to either bring water from dormitory/home or buy it at the vending machine.
- ・Moodle がとても使いにくいので Manaba を導入してほしい。履修登録と講義の Moodle が紐づいておらず、2度の登録が必要なため不便を感じる。また、Moodle 自体の表示がとても分かりにくいので、操作の際にイライラすることがある。
- ・Moodle が非常に使いにくいことが不満です。文学部など、特定の学部・学府では、campusmate と Moodle だけでなく(そもそも1つのサイトで完結できるようにして頂きたい)、他のサイトを参照してシラバスを確認しなければならないのが、非常に不便で扱いづらいです。
- ・Moodle や campusmate が使いにくくて困っています。一つに統合するべきですし、基幹教育科目履修関係のページがなかなか出てきませんし、campusmate のコースと moodle のコースの URL は紐づけておくべきだと思います。それと授業開始直後に Moodle がとても重くてエラーが出てしまうのも、アクセスが集中して仕方がないとはいえ、改善していただきたいです。
- ・More variation of vegetables and non-fried food for the cafeteria menu would be nice (I observed that the agriculture cafeteria (Agri-dining) has more variation in the menu that I wish I could also find in the Big Sky or Main Dining cafeteria)

- ・No comments
- ・Satisfied.
- ・study park の Wi-Fi が悪すぎる。kitenet、edunet どちらもつながりにくい。また study park で大声で喋っている人らが多すぎる。
- ・The main gym is in bad condition
- ・very nice and clean
- ・Wifi の強化をしてほしい。課外活動施設も WiFi 整備を願いたい。
- ・福岡県内の実家から通うのが困難すぎる。立地が悪い分、学生の通学時間を短縮する何らかの努力が必要だと思う。
- ・イーストゾーン・ウエストゾーンのテニスコートが草が生えて使える状態ではないのできちんと整備して一般学生も使えるようにしてほしい
- ・イーストゾーンにコンビニを置いて欲しい
- ・イーストゾーンに無料のコインロッカーを設置してほしい。
- ・イーストゾーンの生活環境を充実させてほしい。
- ・イーストゾーンの駐輪場の改善をしてほしい。数が多い時に原付が数台分にまたがって斜めに停めてあることがよくあり、自転車が溢れてしまっている。
- ・イーストゾーン食堂の混雑をどうにか解消していただけないでしょうか。
- ・いいと思う
- ・ウエスト 1 号館から 4 号館まで中で繋がっているのだから、1 号館の人間も 2~4 号館から IC カードで休日夜間入れるようにしてほしい。ユニバーサルレベルの意味がない。
- ・ウエスト 1 号館のトイレがいつも綺麗で最高です。九大に来てよかった。どこのトイレも綺麗です。疲れた時に外から見えないばーっと出来るところがあると助かります。化学科が使えるロッカーが欲しい。
- ・ウエスト 1 号館横を通るとき、木が 1 本だけ生えている場所をきれいにしてほしい。伊都コンビニ横のまだらに草が生えているスペースが通りにくいため、整備してほしい。ウエスト地区の外を移動する際に全体的に夏の日差しが強いため、理系図書館前のように大きな木を植えてほしい。成長した大きな木は風情があると感じる。
- ・ウエスト 4 号館のトイレにもハンドドライヤーを設置してほしい。
- ・ウエスト 4 号館駐輪場付近のバイク駐車のルール無視が目につく
- ・ウエスト 5 号館西側の駐輪場からウエスト 5 号館入り口まで屋根が欲しい。
- ・ウエスト方面に行くための坂を自転車で上るのがきつすぎるので、ロープリフト的なものを設置してほしい。
- ・エアコンの温度変更などが設定上できないことが多いが、温度管理が自分たちでできればと思うことが多々ある(図書館の学習室など)
- ・かなり素晴らしい。卒業したくないほど素晴らしい。
- ・キャンパスでどこでも蜘蛛の巣を見つけられるし虫も多いし、すごく苦手ですので対策していただきたいです。
- ・キャンパスの施設の清掃をもっとしてほしい。
- ・きれい!
- ・グラウンドを使える時間を増やしてほしい
- ・スーパーが近くにない、バスの運賃があがったなど大変不便、1 か月ほど大学周辺で暮らしてみしてほしい。
- ・センターから理系食堂まで行く際に、雨の日だと濡れてしまうのをどうにかしてほしい。
- ・センターゾーンのエレベータ遅すぎる。一号館と二号館の間の移動も不便。施設利用の方法に関する情報へのアクセスが悪い。
- ・タバコを吸っている人がいるのでやめてほしいです。

- ・でかすぎて移動に時間がかかりすぎる。
- ・テスト・レポート期間になると、図書館の Wi-Fi が一段とつながりにくくなるので、その期間かぎりでも強化してほしいです。
- ・トイレがいつもきれいなのはうれしい
- ・トイレに設置されている手を乾燥させる機械を、再起動していただきたいです。
- ・とても満足しています。(同様の意見複数あり)
- ・とても良いと思います。(同様の意見複数あり)
- ・ムードルのサーバーを強化してほしい。学内 wifi をもっと強化してほしい(学食内などで混雑時は殆ど届かないことが多々ある)
- ・ゆうちょの ATM がイーストゾーンにないので不便です。
- ・暗い
- ・伊都キャンパスが不便すぎる。バスの増便か地下鉄延伸を打診してください。
- ・伊都キャンパスセンターゾーンのトイレを中央図書館ぐらい新しくしてほしい。
- ・伊都キャンパスは風が強すぎる。坂が多すぎる。伊都キャンパスのイーストゾーンは食堂が学生数に対して少ない、混雑しすぎている。
- ・伊都キャンパスへのアクセスをより良くしてほしい。(同様の意見複数あり)
- ・伊都キャンパス周辺に何か魅力のある施設が欲しい。立地が悪すぎる。社会からの刺激が薄すぎる
- ・一般生徒が借りられる実験室的な場所が欲しい
- ・駅から伊都キャンパスへのシャトルバスを運営してほしい。aimo に、時間指定で予約できる機能を付けてほしい。
- ・屋外に座る場所がもっと欲しい
- ・夏の図書館の冷房をもう少し涼しくしてほしい。夏の教室の冷房が寒すぎる。
- ・学校が新しく、施設もきれいだと思う。
- ・学食の時間を伸ばして欲しい
- ・学食の値段をもう少し下げて欲しい。物価高騰で厳しい現状であるのは把握しているが、学生にとって学食が高ければ食べるものが無くなってしまう。(同様の意見複数あり)
- ・喫煙スペースを作るなどして分煙をきちんとしてほしい。
- ・喫煙所の設置による受動喫煙や路上喫煙の緩和(同様の意見複数あり)
- ・休日に大学に入るには学生証をキーとして使いますが、そもそもその説明が全くなく大学内に入れず大変困りました。また、入ることができる入り口も学部によって異なり、用がある建物に入るために遠回りをせざるを得ない状況が多々あり困りました。どこの入り口からも入れるようにしてほしいです。九州大学の南ゲートから自転車で登校しますが、自転車専用道路が草が生い茂っているため車道を走らざるを得ず、怖いないつも思っています。草刈りの業者の方が作業するのは人が通らないようなところばかりで歩道や自転車専用道路の茂みも草刈りをしていただきたいです。"
- ・教室のコンセント少ないです。(同様の意見複数あり)
- ・九州大学伊都キャンパスは外面を意識したデザインにより、学生にとって居心地が悪い設計になっている場所がある。例えば、伊都キャンパスには、開けた場所、人通りの多い場所にベンチが置いてあることが多く、人の少ない場所、影のできる場所で憩うことが難しい。もっと鬱蒼としていて良いと思う。総じて憩う場所が乏しいと思う。私は木陰や建物の陰、時に日の当たる隅でゆっくりと過ごしたいと思う。また、食堂の座席数が少ない。一人席を増やしてほしい。理学部食堂の二階のハニーコーヒーはいらない。高すぎる。吹き抜けも埋めて、座席を確保するべきである。

- ・空港にあるような ” 歩く歩道 ” を設置してほしい。エスカレーターを要所に設置してほしい。蜘蛛の巣の駆除を進めるか、駆除できる薬剤を置いたスタンドを設置してほしい。センター1号館裏の駐輪場に屋根を付けて、日差しの強い日等にも駐輪しやすくほしい（センターゾーン入り口付近駐輪場の混雑回避のため）。
- ・空調の整備に力を入れてほしい。
- ・建物はきれいで最高
- ・建物間に屋根を増やしてほしい
- ・建物同士の距離が遠い（同様の意見複数あり）
- ・研究室に置かれている本をリコールしても、来るのに時間がかかりすぎているので、図書館の蔵書にカウントしてアクセスできるように表示している以上は、迅速に図書館との間で本のやりとりができるようにすべきと思う。また、本の購入リクエストも同様で、リクエストしてからほとんどの場合数か月かかっているため、配架されたときには必要な時期を逸していることが多く、もっと迅速に購入されることを望む。
- ・研究設備は十分に備えて、何とかなデータを取りたい場合、待たせず直ぐとれるような設備があります。また、研究について、定期的先生と相談できて、知らないことを適切に指導してくれてます。毎回の相談にあたって、新しいアイデアが生まれています。
- ・工学府のトイレが汚い。
- ・最寄駅が遠い。バス運賃が高い。
- ・坂を上るのが大変だと感じます。
- ・使用電力やサプライチェーンの脱炭素を本気で進めてほしい
- ・自転車置き場をもう少し広くしてほしい。理学部食堂を広くしてほしい。ローソンをミールプリペイド対応にしてほしい。ウエストゾーンの教室のコンセントを増やしてほしい（特に机につけてほしい）。ウエストゾーンにエスカレーターをつけてほしい。自習室の延長コードを増やしてほしい。
- ・実験棟の環境が極めて悪い。長時間実験を行う必要があるにもかかわらず、長時間滞在すると明らかに健康に悪い。
- ・車通学を許可していただきたいです。
- ・授業時間外に過ごしやすい場所を作してほしい。
- ・充実している（同様の意見複数あり）
- ・十分問題ない設備体制であると思う
- ・女子トイレ内でカバンを置けないトイレがあり、床に置く必要があってやや不便。学内の自転車・バイクの駐輪場の地図が web 上にあったが、視認性が悪い。
- ・情報入手のチャンネルが複数あり、可能であれば一元化できると有難い。経済学府 QBS では、全学のキャンパスメイト、ムードルとともに、QBS のホームページ、そして九州大のメールアドレスに連絡がくるが、ワンソースで連動した情報共有だと良いが個別だと、情報把握が出来ない、あるいは遅れてしまうケースがある恐れのため、改善して頂けると有難い。
- ・食堂、生協の値上げがひどい。世間全体が値上げしているし、ある程度の値上げは仕方ないのは理解しているが、学外のチェーンで食べる方が安いのは納得できない。
- ・新しくしてほしい
- ・新しくて過ごしやすい。昭和バスが高すぎる。
- ・図書館が充実していて良い。
- ・図書館の Wifi の改善に取り組んでいただきたい。ブラウザの検索にすら時間がかかる、動画をスムーズに視聴することができないなどの状態が入学当初からこれまで3年は変化していない。図書館を学習場所として使

うにあたって Wifi が弱いことが大きな足枷となっている。特に中央図書館の 1 階の閲覧スペースを利用している際は、混雑している時には Wifi に接続すらできないこともあるので早急に改善していただきたい。

- ・図書館の一般書コーナーを充実させてほしい
- ・図書館の開館時間がもっと長いと助かります。特に土日祝日の閉館時間が早く、不便さを感じています。また、平日の朝も早めに開館していると新聞が読みやすいです。
- ・図書館の開館時間はもっと長くしてほしい。特に土日の開館時間を平日と同程度にしてほしい。
- ・図書館の開館時間をテスト前だけで良いのもっと伸ばしてほしい
- ・図書館の利用可能時間を延長してほしい。深夜でも勉強できるスペースが欲しい。(同様の意見複数あり)
- ・図書館や情報学習プラザなど、自習するスペースが大学に多くあるのは良いと思う。立地として、最寄り駅から遠すぎると感じる。
- ・図書館を 24 時間開けてほしいです。伊都診療所の予約がなかなか取れないのがつらいです。
- ・節電の取り組みを大々的に行う。図書館の開館時間延長。工学部の学部生に対して、土日や夜間でも学生証をかざすことによってウエスト 2 号館の建物に入れるようにすべきだと思います。私は現在工学府の修士 2 年ですが、学部 3 年のころまでは、土日、夜間は学生証をかざしてもウエスト 2 号館の建物に入ることができませんでした。(その当時はウエスト 2 号館内の学習スペースを使いたかったです) 研究室以外の利用も想定されます。現在どうなっているのかはわかりませんが、もし今も同じような設定になっているのであれば、ご検討いただきたいです。
- ・大学のキャンパスの建物から最寄りのバス停まで雨に濡れずに行けるように、屋根を設置して欲しいです。雷が落ちるのをみると怖いので、キャンパスの建物からバス停まで屋根があると、安心できます。
- ・大学自体が広大な面積を有する分、非常に多くの施設・設備があり、充実していると感じる。
- ・中央図書館前駐輪場が混雑しているのが気になる。イーストゾーンの駐輪場は比較的すいているので、坂を上らなくても上に自転車を手軽に移動できるものがあたらいいと思う。
- ・駐車場が遠い、少ない、バイクの路駐が危険
- ・駐輪場にいつも自転車があふれているので、改善して欲しい。また、イーストゾーンにも土日に空いている店が欲しい。
- ・駐輪場のマナーがとにかく良くない。ほとんどの駐輪場について、その場所が自転車用かバイク用かが決まっていることを、もっと学生に周知しても良いと思う。
- ・駐輪場の拡充、イーストゾーンの食堂や店舗等の拡充・営業時間延長を望む。
- ・駐輪場を増やしてほしい。(車の立体駐車場のよう、自転車やバイク用の立体駐車場など) (同様の意見複数あり)
- ・電車を引いてほしいです
- ・土日に利用できるトイレを増やして欲しい
- ・土日キャンパスを開けてほしい。空き教室も使えるようにしてほしい。
- ・土日祝日も食堂を充分に開放してほしい(日祝の夜など)。
- ・特になし(同様の意見複数あり)
- ・難しいと思うが、課外施設Ⅱの部室の配置を変えてほしい。ドラムやピアノはみんなが通過する通路の入り口側の部屋ではなく奥の部室で弾いてくれるとありがたい。演奏する分にはいいのだが、特にドラム(バンド同好会?)の隣を通るときがうるさくて少し嫌になる。向かいにあるピアノの会もあまりピアノの音が聞こえないのではとも思った。
- ・不満はない。
- ・敷地内における雑草が目立つので、除草作業を行ってほしい。

- ・平日の朝など、センターゾーン付近の駐輪場（自転車）がいっぱいになっていて止められないことがあるので困っています。また、土日は dimo の運行がないため、部活動で上の体育館に行くときにビッグオレンジのバス停から昭和バスを利用しています。学内での移動にお金がかかるのに疑問を感じます。
- ・壁などが汚い（特にセンター）
- ・法律関係の本が少ない。気軽に借りられる小説などの本も数が少ない。福岡市の図書館が頼りない分頑張っ
てほしい。
- ・防犯設備や警備体制をもっと強化した方が良いと思います。
- ・満足している。（同様の意見複数あり）
- ・夜間や休日に入棟する際の、所属による縛りを緩和すべきである。たとえば工学府の学生がウエスト一号館に入れないなど。せっかく研究棟同士が渡り廊下でつながっているのに、それを活用できないような仕組みになっており、極めて非合理的である。そして駐車場の増設を検討すべし。今の駐車場スペースは本学の人員規模に見合ったサイズではない。オープンキャンパス時の大混雑を見れば一目瞭然である。
- ・夜遅くや土日にセンターゾーンのトイレがほぼ空いておらず苦勞する。土日に飲食できる店がすぐ閉まって困る。
- ・履修を組む際にどの授業を取るべきなのかわかりづらいので、わかりやすいシステムを作してほしい。
- ・理学部棟（ウエストⅠ号館）周辺にもゆうちょ銀行や福岡銀行などの ATM があると嬉しいです。
- ・立地悪すぎ
- ・留学生と関われる施設が多いのが個人的に喜ばしいポイントだ。前期の間 SALC や EZ プラットといった施設に通いながら、友人を作りつつ、語学力も高められ、コミュニティへの帰属感ができた。また、図書館はよく使う施設で、本を借りたり、勉強したり、私にとって憩いの場になっている。設備は十分充実しているが、しいて言うとするならば、図書館の営業時間を延長してほしい。
- ・良いと思う（同様の意見複数あり）
- ・嚶鳴天空広場が常に暑く、まともに学習等をできる環境ではない。
- ・綺麗（同様の意見複数あり）

（馬出キャンパスの学生からの意見）

- ・Nothing in particular.
- ・That's is nice. Everyone hopes their school rich, Kyushu University already good enough.
- ・クソですね。左利き用の機械ないから右でやれとか時代遅れすぎるでしょう。金ないからって買ってないだけですよねそれあんだけ一人一人に金かかってるっていう割には。
- ・医学図書館に小説などの一般図書も置いて欲しいです。
- ・医学図書館の本をもっと充実させてほしい。新しいガイドラインなどは図書館として必ず購入してほしい。
- ・学食が高い
- ・空調の調整を一元で職員が管理するのは、その時々気温に対応していないため止めるべきある。
- ・研究を進めるうえで充実していると感じます
- ・故障してもすぐに直さないくせに学生の使用に関してはぐちぐち文句を言ってくる
- ・歯学部棟のセキュリティを厳しくしてほしい。つい先日盗撮犯が捕まった。これでは安心して学生生活を送れない。
- ・土日にロッカーに入らない。土日に大学に入れない。
- ・特になし
- ・読める電子ジャーナルが多いことは良いことです。それが減ったのは少し悲しいです。
- ・馬出キャンパスにプールを設置してほしい

- ・非常に空気が悪く、換気ができずにこまっている。外が涼しくても、中はとてもあつくこもっていて、よくないと感じる。
- ・病院キャンパスの食堂が混雑するのをどうにかして欲しいです。
- ・病院キャンパスの駐輪場が狭い
- ・薬学部の研究設備のさらなる充実を求めます。

(大橋キャンパスの学生からの意見)

- ・芸工図書館の会話可能な自習室がほしい。
- ・私は大橋キャンパスを利用していますが、最近図書館がリニューアルオープンしたのでよく利用しています。自宅ではなかなか集中して勉強できなかったのもとても助かっています。しかし、食堂に入っているマンリーは学校生協に変えて欲しいです。値上げされただけでなく、日替わり定食も廃止され、利用する気になりません。また、スタッフの態度も悪く、学内食堂であるのに学生証がなかったら割引されません。伊都キャンパスの生協食堂は安くて量も多く、毎日のように通っていたので大橋の方も生協に変えて欲しいです。同じ学費を払っているのに、伊都キャンパスも大橋キャンパスも同じようなキャンパスライフを送れるようにして欲しいです。
- ・卒論期間等可能であれば大橋キャンパスの出入りを 24 時間可能にしてほしい(研究室でないとできないことがあるため)
- ・大学設備の更新について、学生や事務の方などの意見を計画前に取り入れるべき。教員の意見が優先され過ぎる気がする。WiFi やコンセントなどインフラが整っていないのはとても不満。24 時間使える学生部屋がほしい。
- ・大橋キャンパス、伊都キャンパス間の連絡バスを作って欲しいです。
- ・大橋キャンパスの学食の値段が高すぎる。外部の事業者ではなく、生協の学食を入れるべきだ。(同様の意見複数あり)

(筑紫キャンパスの学生からの意見)

- ・good (同様の意見複数あり: There are multiple similar opinions.)
- ・not much sports facility available
- ・伊都・筑紫の両方で満足しています。
- ・筑紫キャンパスにシャワー室が欲しいです。
- ・頻度は少ないですが、ATM、ポストがあれば非常に助かります。
- ・筑紫キャンパスに体育館がないことが不満

(6) 大学生活全般について【回答数:117】

こちらも(5)と同様、伊都キャンパスに関する意見が多く寄せられました。(5)と共通するものもありましたが、中でもバスの運賃をはじめとする交通アクセスの問題や、大学近くでのスーパーの設置といった周辺環境の整備、食堂のメニュー・価格の改善についての要望が多数見られました。

(伊都キャンパスの学生からの意見)

- ・1 限の開始時刻を調整してほしいです。(9 時以降)
- ・9 stars.
- ・A little bit hard but it is fun. All is well!

- ・AIMO は健康な人間を体力的にダメにするシステムであると思う。悪天候の日以外は減らすなどの対応をした方が良くはないか。学生は電動自転車や、原付、バスでの通学で弱っている。
- ・As an international student the information is not enough. I understand that many employees and staff members don't speak English. But the university should write useful guides and information. So, when we find an issue, we know where to go, or who to ask. Even this survey is confusing. I need to translate the buttons to find the " finish" option.
- ・COVID-19 下において、対面での課外活動が大幅に制限され、悔いが残った。対面でなければ実施できない課外活動であったこともあり、制限の根拠や感染症対策について疑問を感じることも多くあった。今一度、大学として(課外活動に限らず)パンデミックへの対応を第三者に検証してもらい結果を公開することで、同種の事態が今後発生した際にも学生が充実した学生生活を送れるようにして欲しい。
- ・Everything is good (同様の意見複数あり: There are multiple similar opinions.)
- ・I like my space in my lab as I like studying, and doing research. Before I have been depressed because of many situations happened in my life. However, I finally realize to find my happiness and passion by studying, learning. I will keep learning more and more in the future.
- ・i think that it is peaceful
- ・It is boring, so formal, it should be more casual.
- ・No comments
- ・Satisfied. (同様の意見複数あり: There are multiple similar opinions.)
- ・The transportation fee for the bus is quite expensive
- ・The university is very innovative, diverse, and convenient to spend time on campus.
- ・The University life is a bit boring, and it is difficult to make friends and create networks.
- ・コロナで人間関係もままならないまま時間が流れてしまった感じですがこれはどうしようもないですね、
- ・さまざまな学びの場を提供してくださるので、充実した学校生活が送れている。
- ・スーパーが遠いので誘致してほしい (同様の意見複数あり)
- ・センターゾーン石碑近くの連絡橋の下あたりでタバコを吸うのを禁止してほしい。登下校の時に毎回副流煙を吸ってしまう。
- ・ちょっと伊都キャンパスと病院キャンパスとのバスかなにかをつくってほしい。不便。地下鉄のるのは時間もかかるしお金もかかる。予約制で良いから何かつくってほしい。もし既にあるのであればちゃんと広告してほしい。
- ・とても充実した 6 年間でした。コロナの影響で、思ったようにならなかった部分もありましたが、それでもとても楽しかったです。強いて言えば、大学周辺の施設と交通手段を拡充してもらえると、大学生活の QOL が上がったと思います。特に、大学まで行ける電車と生鮮食品の買えるスーパーが欲しかったです。誘致頑張ってください。
- ・ノンポリしかなくてつまらない。
- ・バスが混雑しすぎている。周辺施設が少なく不便
- ・バスの運行 (運賃・ダイヤ等) について向上を図ってほしい。課外活動施設 II への安価な移動手段を拡充してほしい。生協の取り扱い書籍を増やしてほしい。
- ・バスの運賃が高すぎる
- ・ふつう
- ・まあよい

- ・伊都キャンパスは福岡市の中心部から遠く、市内からはかなり通にくいです。九大学研都市駅から九州大学伊都キャンパスまで、鉄道が通れば通学時間も大幅に短縮でき、大いに行きやすくなり、また今の高校生の多くの人の現状の「通にくいから志望しない」という考えも払拭でき人気度も高まると思うので、ぜひ大学の方においては鉄道会社に対して九大への鉄道の延伸を強くあっせんしてほしいです。また学内の他キャンパスとの交流がかなり希薄な感じがするので、他キャンパスへの移動手段を、具体的には直通バスなどを確立するなどして積極的に確保して行ってほしいです。
- ・伊都キャンパスへの交通の便が非常に悪く、4年間で改善されなかった。
- ・伊都協奏館からだスーパーが遠く、スーパーのある学研都市や周船寺までのバス代が高いので節約のため自転車を使うようにしているが、雨の日や授業のある日は買い出しができず、土日に買い出しができないと次の週の食生活が乱れてしまうので、大学から徒歩圏内でスーパーを作してほしい。
- ・学食の値段が高い(同様の意見複数あり)
- ・学生の学問への造詣がまだまだ低い。
- ・楽しい(同様の意見複数あり)
- ・楽しく授業を受けられる。
- ・教員との関わりがどうしても限られている状況だと思う。
- ・教務の対応が悪い
- ・九大に入学できて満足しています。
- ・九大学研都市は、大学が主体的に街づくりを行わなければ、どこにでもあるような街が形成されようとしている。学術研究都市であるにも関わらず、そう感じさせる文教施設や本屋、自習室が少なく、後輩にこの大学を薦めたいと思わない。
- ・九大学研都市駅-伊都キャンパス間の昭和バスの運賃が高すぎる。(同様の意見複数あり)
- ・九大新町の商業施設があまりに貧弱すぎるので何とかしてほしい。交通機関も貧弱すぎる上に不便すぎるので改善してほしい。
- ・原付のマナーが悪いと感じます。改善してほしいです。
- ・個人の問題が大きいと感じている
- ・交通費が高くなり、便が少なくなってしまう、不便だと思います。
- ・今のセンターゾーンでの学部生キャンパスライフを送りたかった
- ・今のところ楽しく生活できている
- ・最寄り駅が遠すぎる。
- ・大雨等の警報が出た際の学務からの連絡が遅い。
- ・災害時の対応がとても悪いと思う。台風の際に自宅近くの河川が氾濫危険水位を超えたため避難勧告が発表されたが休校にならなかったため、大学に行かなくてはならなかった。また、休校などの授業の連絡がとても遅く、通学に時間がかかる身としては遅くとも朝7時までには連絡をしてほしいと思う。
- ・自然いっぱい環境は良いが、それ以外は良いところがない。
- ・自分の第一志望であった九州大学でこれなら、他の大学ならもっとひどい大学生活を送っていたらう。
- ・充実しているので、特に不満はない。
- ・出会いの場が欲しい!
- ・将来の目標があまり決まっていないので、不安なことも多い。
- ・昭和バスが(西鉄バスなどに比べ)本数が少ない上高すぎる。最寄り駅の九大学研都市駅まで出なければスーパーマーケットがないため自転車等がない場合は使わざるおえず困っている。九州大学の学生数を考えるとキ

キャンパスの最寄りにスーパーマーケットなどが 1 店ぐらいあってもいいのではないか。そのような施設の誘致や、補助金による支援など改善策をとっていただきたい。

- ・昭和バスが高い。休日の泊方面の本数が少ない。運転手の態度が悪い。西鉄にしてほしい。
- ・食堂のメニューが脂っこいものがあまりに多く、野菜をとるとなると、追加で小鉢をとるか、皿に少しのっているキャベツの千切りぐらいしかない。食堂によってメニューは少しずつ違うが、これは多かれ少なかれ同様であると思う。野菜をしっかり摂れて満腹感もある、例えばお好み焼きのようなメニューを拡充してほしい。
- ・食堂の混雑が少し気になります。特に、雨の日などは屋根がある場所にずらりと人が並んでしまい、通行が難しいです
- ・図書館を 24 時間あけておいてほしい。また、昭和バスの終発を遅らせてほしい。
- ・水曜日に学食を利用した際の 10%割引を復活してほしい。
- ・生協の食堂のご飯が高いし少ないのをなんとかして欲しい。なんなら工学部の食堂を盛況ではなく三菱食堂に戻して欲しい。
- ・他大学から来たこともあるが、出身大学、福岡市中心部の大学に比べて学生が物事に消極的な気がする
- ・多学部多学科の講義を受講でき、自らの学びたいことを学べた素敵な大学生活だった。
- ・台風接近時など、何故午後から公共交通機関が計画運休をする可能性がある時に来させようとするのか。毎回のことであるが、学務の判断に不満を持たざるを得ない。
- ・満足している(同様の意見複数あり)
- ・大学の近くの商業施設にスーパーがないのはおかしい
- ・大学の施設なのに他大学と比較して全体的に値段が高すぎる
- ・大学周辺のスーパーがないため大学周辺に住んでいる学生は買い物に移動を強いられるため、ルミエール等のディスカウントストア系のスーパーが欲しい。今年もグッドデーができるらしいが、ホームセンターは周船寺や九大新町にあるためこれ以上はいらない。必要なものを理解していない。本では腹は膨らまないし、家具や日用品で膨らまないのは当然のことである。住居がこれから九大側にできることはあり得るのであるから、学生の QOL 向上のためにスーパーを九大周辺(徒歩 15 分程度まで)に誘致等、積極的な働きかけをお願いしたい。
- ・賃貸アパートの家賃相場が高すぎる。礼金に 10 万かけるなど、学生に対して殿様商売をしかける不動産屋が本学近くにおり、学生活動に著しく悪影響を与える。それに構造のもろいものが多く、隣の部屋の生活音が著しく響く(学生寮含む)。大学周辺の環境そのものが、生活が何たるかを全く理解していない。
- ・通学の際の公共交通機関について不便に感じる人が多い。バスの利用者数とバスの本数が釣りあっていないため明らかな混雑が発生する。九大と昭和バスで連携してこれの改善にあたってほしい。
- ・特になし(同様の意見複数あり)
- ・特に大きな不満はない。忙しいが充実している。
- ・彼女が欲しい。
- ・福岡空港、博多駅からのアクセスが悪く、学会参加などの際に不便を感じる。
- ・勉強が難しく、どうしても時間がかかってしまうので、アルバイトをする決断ができていない。
- ・豊かな学生生活をご提供いただき、ありがとうございました。
- ・満足しています。(同様の意見複数あり)
- ・無灯火の自転車が非常に多いので呼びかけや警察への相談など、対策を行ってほしい。
- ・留学生と関われる機会があり、とても有意義である。また、研究に集中できる環境がよい。食堂が混み合って利用づらい。
- ・留年せずに留学に行けるシステムが欲しい。
- ・良いと思う。(同様の意見複数あり)

(馬出キャンパスの学生からの意見)

- ・Nothing special.
- ・Private reason no comments.
- ・学務なども参加して、きらめきプロジェクトへの参加をもっと学生に促してほしい
- ・楽しいです。
- ・研究室にいる時間が非常に長い。もう少し休みがあってもと思うが、研究が競争的であるため休めない。どうにかありませんか。
- ・個人的な話に近いですが、臨床薬学科の B5 と創薬科学科の M1 が成績優秀として表彰されるシステムがあると思います。創薬だけ奨学金をもらって、臨床はなににもない状況です。おかしくないですか？資金の出处の問題であると想像しますが、制度の透明化と制度の改正を求めます。理由として以下を 1 つ例にあげます。院での日本学生支援機構で借りた奨学金を返済免除できるシステムがありますが創薬の成績優秀者などはそれを利用できるでしょう。一方で臨床は学部になるのでそういった制度自体ありません。奨学金返済の問題は日本学生支援機構の構造上の問題なので特に九州大学に改善を求めるわけではありませんが、このように創薬に有利な現状があることも考慮してほしいです。そして、このような不満を言える学部の窓口がありません。学務に直接言いに行くのは流石に気が引けるので、フォームがあるだけでもなにか違うかなと思います。
- 別件ですが、他大学に比べて研究従事による RA・TA 収入が少ないと感じます。人材の流出に繋がりがねないので、拡充してほしいです。
- ・授業中に私語を慎まない生徒がいる時の対応を考えてほしい。真面目に授業を受けている人がいるのにそれを邪魔するのはあってはならないし、そのような人たちと同等に扱われるのは癪に障る。
- ・特になし
- ・日々の業務とのバランスを保ち、重点を研究におけるようさらに努力が必要だと思いました

(筑紫キャンパスの学生からの意見)

- ・good (同様の意見複数あり: There are multiple similar opinions.)
- ・Please increase the welfare of the student at chikushi campus
- ・研究室の教授が怖いです。連絡を取りたくありません。

(7) 大学におけるダイバーシティ(人権・性別・障害等の多様性)への対応について【回答数:76】

実に多様な意見が寄せられています。これらの意見について、こちらである程度分類別に整理した形で掲載しています。

(全般)

- ・every students who are in here kyushu university are very polite, smart and have a good behavior
- ・Everything is good (同様の意見複数あり: There are multiple similar opinions.)
- ・I haven't experience any.
- ・No comments
- ・Nothing in particular.
- ・Satisfied.

- ・そういうのを授業として必修にして理解促進の手助けを求めたい。
- ・とてもいい対応だと思う
- ・より意欲的な取り組みが必要と考える。
- ・わからない
- ・煙草を吸うことに肯定するわけではありませんが、九州大学全域で禁煙ということで、九大敷地からすぐ出たところや、九大近くのコンビニで煙草を吸う人が大勢いて、逆に迷惑になっている気がします。多様性といった意味では、喫煙室を設けるなどして分煙を進めた方が良い気がします。
- ・過剰な対応するについて反対です。
- ・気にしていない
- ・喫煙室を作らず、全面禁煙にしたからタバコのポイ捨てがなくなるのではないのか。
- ・現状で問題ないと思います。(同様の意見複数あり)
- ・口先だけ多様性を唱えているが実際には伴っていない。九州にずっといる人たちは世界が狭いのだろうと思う。学生で若いのに驚くほど古臭い思想の人ばかりで悲しい。
- ・今のところ大学が問題なく対応してくれているように思う
- ・存在は知ってるけど、実際に何してるか知らない
- ・多様性を感じる。
- ・大学側の対応に不満はないが、学生から多様性を認めないような態度を取られることがある。
- ・知らないです
- ・定期的に学生や教員・職員に対して調査が行われている程、細かく丁寧な対応であると感じる。
- ・特になし。(同様の意見複数あり)
- ・日本において大学は、どこか高校の延長上のような雰囲気があるが、本来、大学とは様々なバックグラウンドを持つ人々が学問を修める場であるはずなので、いい意味でそういった多様性が生まれるのは望ましいことだと思う。
- ・不満はない。
- ・良いと思う。(同様の意見複数あり)

(国際・宗教)

- ・As a foreign student I'm glad that I never experience any uncomfortable experience related to my gender and race. I hope other students feel the same thing too. Keep up the good work.
- ・It is good, only feel racism on language, it is like we are bound to learn Japanese.
- ・Kyushu University has given foreigners enough respect and help. The tolerance of different cultures comes from the kindness of Japanese and Japanese culture. But at the same time, due to the conservative nature of Japanese customs, more open diversity seems to have not yet arrived.
- ・There are several students from different cultures, and there are convenient services for all cultures.
- ・外国出身の方と日本人が交流しやすい機会が少ない。
- ・学生の間に留学生と積極的に交流するカルチャーが無いと感じる。また、伊都地区ウエストゾーンとイーストゾーンのように理系と文系で完全に建物の所在が分かれていることもあり、文理や男女、日本人と留学生が交じり合う機会が少ない。男女比が極端に偏っている学部・学府が理系には多く、改善すべきと考える。

- ・日本人と留学生の間に壁がある。
- ・留学生ばかりを優遇して日本人をおろそかにするのはどうかなと思う。
- ・留学生への日本の文化、慣習への同化教育を大学が責任をもって行うべき

(ジェンダー)

- ・ダイバーシティと言いながら女性研究者しか表彰しない賞を存在させることや、女性しか受講できない英語試験講座を開講するのは男女差別に該当しないのだろうか。
- ・教員や大学上層部の多様性が乏しいと思います。特に、大学上層部は女性の少なさが目立ちます。学生も、人種的な多様性がありますが、女子学生が特に自然科学系は少ないです。大学側がアウトリーチして女子学生が入りやすくなるようにすべきだと思います。
- ・教授教員が女性好きであり、女子学生には甘く、男子学生には厳しいことが多々ある
- ・女性優遇はやめてほしい
- ・工学部電気情報工学科 HP の女子学生の声のようなページは必要なのであろうか。女子学生も男子学生と同じように過ごせるというのであれば、あのページはいらないのではないか。あのページがあることによって、何か女性という性別で入学すると問題が発生するのではないのかという気がしてしまう。
- ・設備面、人員面（特に教員）の両者において、非常に遅れている。特にジェンダーに関しては、ダイバーシティの理解、および「ジェンダーに関するダイバーシティを理解することの重要性」を理解している教員が極めて少ないように感じる。
- ・東京の大学などではジェンダーレスのトイレが普及しているのにも関わらず、未だに九州大学では対応がされていないのと思う。
- ・夢を持って入学し学んでいるのに「どうせ結婚するのにそんなに頑張らなくても」「（自由出席の授業でたまたま多かった女子学生を指して）君たちにはこういう簡単な科とか楽でいいんじゃない」など、何度も耳にした。同性の友人を含め首をかしげる人もいない。大学がインクルージョンを掲げ、授業を行っていても「知らねえ、休む」の一言で一蹴する下級生を見ていると、本設問の観点ではこの業界に希望を見出せない。

(障害・疾患等)

- ・このような傾斜面に大学の一部を移転したことがそもそも障害などへの配慮に欠けている。
- ・階段が多すぎる
- ・教員による配慮が欠けている。
- ・合理的配慮申請を利用して、病院などにも行きやすくなっている。
- ・最近では発達障害もだが、うつ病などの精神疾患も増えてきている。しかし、周りがそれらを理解しているとは思えないことが多々ある。悪気がないことはこちらもわかっているが、特徴を理解していればまた対応が違うのではないかと思う。理解が増えるよう講義などで対応の仕方など説明があると良いと思う。
- ・障害に対する援助の質は援助担当者によってかなり異なってくる。
- ・職場では様々な形で障害をもつ方々に接していますが、学業において支障をきたす事はなかったため、あまり深く考えることがありませんでした。今後、何らかの配慮が必要な方と一緒に学ぶ機会ができれば、積極的に関わり理解し合える関係を築きたいと思います
- ・身体障がい者や精神疾患の方に対する対策は可能だけでも知的障がい者に対する対応というのは可能なのか。
- ・同級生に精神的な疾患がある人がいましたが教員の方はよく配慮されていると感じました。逆に同級生から合理的配慮についてあまり理解が得られてなさそうだったので、少し不憫でした。